

日本語ブックレット2006

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 日本語ブックレット |
| 巻 | 2006 |
| ページ | 1-209 |
| 発行年 | 2008-03 |
| URL | http://doi.org/10.15084/00001627 |

日本語ブックレット 2006

平成20年3月

独立行政法人

国立国語研究所

はじめに

『日本語ブックレット』は、日本語に関する動向や資料を分かりやすい形で広く提供することを目指して編集したものです。平成 15 年度より試作・検討を開始し、平成 17 年度より毎年、電子版として定期刊行しています。

今回刊行した『日本語ブックレット 2006』は、平成 18 年（2006 年）の日本語をめぐる動きを図書、雑誌記事、新聞記事等の資料からまとめたもので、第 1 部はこれらの資料に見られる平成 18 年（2006 年）の動向、第 2 部は、これらの資料から採録した日本語に関する情報の目録となっています。

国立国語研究所では、日本語研究に関する網羅的な文献目録等を掲載した『国語年鑑』を昭和 29 年（1954 年）より毎年刊行しています。また、国民の言語生活に関する情報として、「ことば」に関する新聞記事の収集を昭和 24 年（1949 年）以降継続して行っており、その成果の一部である記事見出しデータベースはインターネット上に公開しています。

これらは基礎的な研究情報として役立つものですが、日本語に関する情報源には、このほかにも様々なものがあります。例えば、刊行物に限っても、『国語年鑑』が扱うもの以外に、総合雑誌、文芸誌、PR 誌、一般向けの日本語に関する本、言葉に関するハウツーものなどがあります。『日本語ブックレット』は、このように多様な情報源に基づいて、日本語に関する最新の動向や情報・資料を提供しています。

今後とも、国立国語研究所における情報収集体制の向上を図りつつ、よりよい『日本語ブックレット』を目指して改良を重ねていきたいと考えています。

この資料は、情報資料部門の以下の者が編集を担当しました。

熊谷康雄，伊藤雅光，新野直哉，池田理恵子，渡辺由貴

日本語は、私たちにとって身近で、生活する上でなくてはならないものです。この『日本語ブックレット』が日本語に関する情報源の一つとして、成長し、言語生活に役立つものとなることを願っています。

平成 20 年 3 月

独立行政法人 国立国語研究所長
杉戸清樹

目次

| | |
|-----------------|----|
| はじめに | 2 |
| 利用案内 | 5 |
| 利用のしかた | 6 |
| 閲覧のしかた | 7 |
| 第1部<動向>の閲覧 | 8 |
| 第2部<文献一覧>の閲覧 | 11 |
| 著作権とリンクについて | 12 |
| 凡例 | 13 |
| 採録の範囲 | 14 |
| 図書の採録の範囲 | 15 |
| 総合雑誌記事の採録の範囲 | 16 |
| 新聞記事の採録の範囲等 | 17 |
| 分類の解説 | 19 |
| 図書・総合雑誌記事の分類 | 20 |
| 新聞記事の分類 | 22 |
| データの構造～項目の対照～ | 25 |
| 第1部 動向 | 29 |
| 全体の動向概観 | 30 |
| 図書の動向 | 31 |
| 藤原正彦氏の著作 | 32 |
| 『えんぴつで奥の細道』 | 33 |
| 『人は見た目が9割』 | 34 |
| 「方言ブーム」と方言関係の図書 | 35 |
| テレビ番組関連の図書 | 37 |
| 辞書とウェブの連動 | 38 |
| 辞書への一般参加 | 40 |
| 『ウィキペディア』 | 42 |
| 総合雑誌記事の動向 | 44 |
| 早期英語教育について | 45 |
| 学力の低下と教育再生会議 | 48 |
| 藤原正彦氏の国語論 | 51 |
| インターネットと言葉 | 53 |
| テレビと言葉 | 56 |
| 「方言ブーム」の行方 | 58 |
| 日本語に関する特集 | 59 |

| | |
|-------------------|-----|
| 新聞記事の動向 | 61 |
| 英語教育をめぐる状況 | 64 |
| 教育の見直しと「言葉の力」への注目 | 70 |
| 出版・読書状況 | 76 |
| 日本語教育をめぐる状況 | 82 |
| マスメディア | 86 |
| 敬語 | 91 |
| 世相を表す言葉 | 94 |
| | |
| 第2部 文献一覧 | 98 |
| 文献一覧 | 99 |
| 図書一覧 | 100 |
| 総合雑誌記事一覧 | 139 |
| 新聞記事一覧 | 180 |
| 関連データの紹介 | 208 |

利用案内



利用のしかた

1. 話題から探す

各年のブックレットの第1部〈動向〉では、収集したデータに基づいて、まず、その年の傾向を概観しています。そして、その中からトピックを取り上げて、更に詳しい考察を加えています。

そのトピックに関して、どのような本や記事があるかを、データから抽出して、「関連文献情報」として一覧にしてあります。

第2部〈文献一覧〉では、Web上でその年のデータ全体を御覧になれます。

2. タイトルや著者名等から探す

〈文献検索〉を御利用ください。

検索画面では、検索語を自由に入力して御利用になれます。

データの構造や項目の詳細については、凡例の「データの構造～項目の対照～」を御覧ください。

3. ジャンルから探す

〈文献検索〉を御利用ください。

検索画面の「分類」の項目に分野名を入力してください。

分野名や、目当てにしている話題がこのブックレットではどのジャンル（分野）に該当するかについては、凡例の「分類の解説」で御確認ください。

新聞記事に関しては・・・

このブックレットでは、「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」のデータから、その年の第1部〈動向〉のトピックに対応するデータを抽出して掲載しています。

このブックレットで取り上げていない記事や、扱っていない話題については、国語研究所のホームページ上で公開している「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」を利用してお探しください（1949年以降のデータを検索することができます）。

<http://www.kokken.go.jp/sinbun/>

閲覧のしかた

第1部<動向>の閲覧

第2部<文献一覧>の閲覧

第1部 < 動向 > の閲覧

(1) 第1部 < 動向 > は、図書・総合雑誌記事・新聞記事それぞれについて、その年の「概観」と「トピック」という構成になっています。

- ・「概観」は、1年間の傾向を全体的にとらえたものです。
- ・「概観」の中から「トピック」を取り上げて、更に詳しく述べています。
- ・それぞれの「トピック」に関連する文献の情報を、第2部 < 文献一覧 > から抽出して「関連文献情報」として示しました。

(2) 図書・総合雑誌記事・新聞記事それぞれの「概観」「トピック」は、以下のように展開します。

ここでは「図書の動向」の場合を例に説明します（展開のしかたは「総合雑誌記事」「新聞記事」の場合も同様です）。

- ・「図書の動向」のトップページでは、図書の「概観」が表示されます。
- ・トピックとして取り上げるところには、文章中にリンクがはってあります。クリックすると「トピック」の画面に切り替わります。

【 図書の概観 】

独立行政法人 国立言語研究所 日本語ブックレット2006

トップページ > 日本語ブックレット2006 > 第1部 動向 > 図書の動向

図書の動向

2006年は、日本語に関する話題が絶えなかった2005年に比べると、この点については「静かな年」であったといえます。図書にもそれが現れています。

まず、前年には年間ベストセラー総合部門(トータル調べ、以下も同)ベスト20の中に言葉を扱った本が3タイトル入っていましたが、2006年は言葉そのものについて論じたベストセラーは生まれませんでした。ただ、それに関連・隣接するテーマを扱ったものとして、まず第1位の藤原正彦『国家の品格』(2005年11月、新潮社)があります。この本はとどころで国語教育の重要性にふれています。「品物」(流行語大賞)の大賞も受賞した藤原氏は、他の著書に加え総合部門で第2位となる特論を展開しました。また第4位の、大迫閑歩著・伊藤洋監督『人みづつで車の細道』(1月、ポプラ社)は「手書き」という行為を再評価させました。さらに第7位の、竹内一郎『人は見た目が9割』(2005年10月、新潮社)は対人コミュニケーションにおける言葉以外の要素の重要性を説いています。

さて2005年夏から秋にかけては、若い世代(特に東京とその近辺の女子高生・女子大生)の間で、全国各地の方言を会話やメールに織り込む「方言ブーム」が起きていると各メディアが報じました。また同年10月には、テレビで日本語に関するクイズ番組が一斉に始まり、「日本語クイズ番組ブーム」が話題になりました。しかし、この二つのブームはいずれも2006年前半には沈静化してしまいました。それでも方言に関する図書や、テレビ番組関連の図書は2006年も発行されています。

第1部 動向

- ▶ 図書の動向
- ▶ 総合雑誌記事の動向
- ▶ 新聞記事の動向
- ▶ 第1部 動向
- ▶ 第2部 文献一覧



- ・画面の右側には、トピックの一覧が示されています。ここからでも、各トピックを見ることができます。
- ・取り上げたトピックが、図書・総合雑誌記事・新聞記事それぞれで関連があるとき、トピックを相互参照することができます。
- ・図書のトピックが、総合雑誌記事・新聞記事のトピックとも関連しているとき、トピックの最後に、資料名とトピック名が表示されます。ここをクリックすると、各資料のトピックにジャンプします。

【 図書のトピック 】

独立行政法人 国立国際言語学研究所
日本語ブックレット2006

トップページ > 日本語ブックレット2006 > 第1部 動向 > 図書の動向 > 『えんびつで奥の細道』

『えんびつで奥の細道』

この本は、書家である大迫氏の書いた『奥の細道』の本文が薄く印象された上を読者が鉛筆でなぞる、という趣旨です。各メディアもとりあげ、「パソコン全盛の時代に手書きというのが逆に新鮮だった」「心静かな自分の時間を持てるのがよかった」とヒットの理由が新聞記事を眺めていくと、「主な読者は、50〜70歳代の女性」(4月6日「読書」欄)、「年齢層は、20代まで、30〜40代、50代以上がそれぞれ3分の1を占める」(6月4日付朝日「読書」面「売れてる本」欄)、「30、40歳代の購買者が多く、若者も少なくない」(6月8日付読売「読書」欄)、「当初、ターゲットと考えていたのは団塊世代以上の人たち」(だが予想外だったのは、20〜30歳代からの大きな反響だった) (8月16日付読売夕刊)となり、購買層が次第に下の世代に広がっていったことがうかがえます。総合雑誌の書評(『中央公論』8月号「ベストセラー温故知新」欄)でも取り上げられました。

2002年にベストセラーとなった、斎藤孝『声に出して読みたい日本語』(2001、草思社)、柴田武『常識として知っておきたい日本語』(2002、幻冬舎)は、当初は若い世代に読んでもらうことを考えて編集されたものの、読者の支持を得られ、この「見込み違い」が大ヒットにつながったといわれます。

他の資料では [新聞](#) [出版](#) [読書状況](#)

トピック一覧

- ▶ 藤原正彦氏の著作
- ▶ 『えんびつで奥の細道』
- ▶ 『人は見た目が9割』
- ▶ 「方言ブーム」と方言関係の図書
- ▶ テレビ番組関連の図書
- ▶ 読書とウェブの運動
- ▶ 読書への一般参加
- ▶ 『ウィキペディア』

相互リンク

関連文献情報

『えんびつで奥の細道』

| 文献番号 | 書名(著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 |
|---------|---------------------------|--------|------|----------|----|-------|
| 2006201 | えんびつで奥の細道 (大迫閑歩/書@伊藤洋/監修) | 2006-1 | 227p | ポプラ社 | B5 | 1400円 |

[◀ 前のページへ戻る](#) [▶ このページのトップへ](#)

■ 文献検索
■ 利用案内
■ 凡例
■ 既刊一覧
■ 関連データの紹介
■ お問い合わせ

【 新聞記事のトピック 】

[トップページ](#) > [日本語ブックレット2006](#) > [第1部 動向](#) > [新聞記事の動向](#) > [出版・読書状況](#)

出版・読書状況

2006年のベストセラー

藤原正彦著『国家の品格』（新潮新書、2005年11月刊）や、「なぞり書き本」が相次いで刊行されベストセラーになりました。藤原氏には『祖国とは国語』『世にも美しい日本語入門』などの著作がありますが、新聞紙上でも、新聞の「特殊指定」見直しや小学校の英語必修化などについて発言し、国語の教育の重要性を説いています。また、薄く印身された「書家が書いた字」をえんひつでなぞる『えんひつで奥の細道』（書・大迫閑歩、監修・伊藤洋、ポプラ社、2006年1月刊）は、習字や写経のように、落ち着く、懐かしさがある、集中できると、団塊世代はもとより、若い世代にも人気となりました。

文字・活字文化推進活動

学校での「朝の読書」運動や書店店頭での読み聞かせなど、これまでも様々な形で読書推進運動が行われてきましたが、2005年7月、「文字・活字文化振興法」が成立しました。

2006年10月、読書環境を整備するための国の施策を具体化するために文字・活字文化推進機構設立準備会が発足し、11月25日には同会がシンポジウム「言葉の力と日本の未来」を開催しました。そして、このシンポジウムでは、「文字・活字文化推進機構」の設立や、子どもたちの言語力、読書力を育むための「[国語教育の推進](#)」や「[読書環境の整備](#)」など、[整備五カ年計画](#)」を策定、実施するよう国と自治体に強く求めることなどが

相互リンク

- 他の資料では
- [藤原正彦氏の著作](#)
 - [『えんひつで奥の細道』](#)
 - [藤原正彦氏の国語論](#)
 - [インターネットと言葉](#)

関連文献情報

出版・読書状況

| 文献番号 | 記事標題 | 【備考】 | （著者） | 新聞名 | 朝夕刊 | 発行年月日 | ページ |
|-----------|--|------|------|-----|-----|-----------|-----|
| 200600690 | 文化総合 文化 鑑賞してますか4 崇高さより自分さがし 総クリエイター時代 イベントに参加 居場所を確認【自費出版 ネット検索が強い風】 | | | 朝日 | 朝刊 | 2006-1-10 | p21 |
| 200600760 | テレビ情報 OX 鈴木美潮の donna どんな 新聞読んで記憶力改善（『脳を鍛える新聞の読みかた』中央公論新社）（鈴木 美潮） | | | 読売 | 夕刊 | 2006-1-10 | p12 |
| 200600920 | 文化総合 文化 パソコンで作家気分 原稿用紙、明朝体などソフト化【ワープロソフト「一次郎文芸」】 | | | 朝日 | 朝刊 | 2006-1-12 | p31 |

新聞記事の動向

- ▶ 英語教育をめぐる状況
- ▶ 教育の見直しと「言葉の力」への注目
- ▶ 出版・読書状況
- ▶ 日本語教育をめぐる状況
- ▶ マスメディア
- ▶ 敬語
- ▶ 世相を表す言葉
- ▶ **国語の動向**
- ▶ 総合雑誌記事の動向
- ▶ **新聞記事の動向**

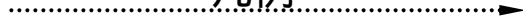
第2部<文献一覧>の閲覧

- (1) 第2部<文献一覧>には、その年の研究書・研究論文以外の、図書・総合雑誌記事・新聞記事から採録した日本語に関するデータを掲載しています。
- 図書・総合雑誌記事については、その年のデータ全体を掲載しています。
- 新聞記事については、国立国語研究所で作成している「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」の、その年のデータから抽出したものを掲載しています。
- 採録の範囲等に関する詳細は、凡例の「採録の範囲」を御覧ください。
- (2) 第2部<文献一覧>では、資料別に文献データを一覧することができます。
- ・図書・総合雑誌記事については、分野ごとにまとめ、配列しています。分野については「分類の解説」を御覧ください。
 - ・新聞記事については、第1部<動向>のトピックごとにまとめ、その順に配列しています。
 - ・掲載項目は、資料ごとに異なります。詳しくは、凡例の「データの構造～項目の対照～」を御覧ください。

著作権とリンクについて

- ・ 「日本語ブックレット」へのリンクは自由です。事前・事後の御連絡は必要ありません。
- ・ 「日本語ブックレット」の著作権は、国立国語研究所が保有します。
- ・ 資料を引用，若しくは，複製使用する場合は，出典を明示してください。

凡例



採録の範囲

図書の採録の範囲

総合雑誌記事の採録の範囲

新聞記事の採録の範囲等

図書の採録の範囲

1. このブックレットで対象としている「図書」は次のようなものです。

「国内で刊行された日本語についての図書で、専門書以外の、一般の読者を主な対象としていると考えられるもの（雑誌やその増刊、別冊は除く）」

2. 1であっても以下のいずれかに当てはまるものは原則として除きました。

(1) 非売品、私家版など一般の読者が入手しにくいと思われるもの。

(2) テキスト・参考書・問題集の類（小中高校の児童・生徒，大学生，外国人日本語学習者を主対象としていること，また入学・就職・各種検定等の試験対策用であることが書名にうたわれているもの）。

(3) 言葉の使い方に関する実用書（いわゆるハウ・ツーもの）のうち、『結婚披露宴でのスピーチの仕方』『年賀状の書き方』など極めて限定的な目的・場面のために書かれたもの。「話の仕方」「文章の書き方」一般に関するものは採択しました。

(4) 辞典のうち，英和辞典，独和辞典など外国語との対訳辞典，及び古語辞典。国語辞典・漢和辞典は(2)に当てはまるものを除き採択しました。

(5) 『経済用語辞典』『地学事典』など，特定の分野の専門語辞(事)典。『現代用語の基礎知識』のような各分野の専門語を広く収載したものは採択しました。

3. 資料収集は，主に『国語年鑑』，『日本全国書誌』，『出版年鑑』によりました。

総合雑誌記事の採録の範囲

1．総合雑誌（このブックレットでは，2に挙げる「総合雑誌・文芸誌・PR誌」の総称として，「総合雑誌」という語を使っています）に掲載された記事の中で，日本語について書かれているものを一覧にしました。

2．この目録を作成するに当たっては，以下の雑誌を調査の対象としました。

(1)総合雑誌

市販されている総合雑誌のうち，主要新聞に広告が掲載される月刊のものを対象にしました（五十音順）。

『潮』（潮出版社） 『現代』（講談社） 『諸君！』（文芸春秋） 『新潮45』（新潮社） 『正論』（産経新聞社） 『世界』（岩波書店） 『中央公論』（中央公論新社） 『文芸春秋』（文芸春秋） 『Voice』（PHP研究所） 『論座』（朝日新聞社）

『論座』は2008年10月号を，『現代』は2009年1月号をもって休刊となりました。

(2)文芸誌

市販されている文芸誌のうち，主要新聞に広告が掲載される月刊のものを対象にしました（五十音順）。

『群像』（講談社） 『新潮』（新潮社） 『すばる』（集英社） 『文学界』（文芸春秋）

(3)PR誌

日本語学（言語学）・日本文学関係の専門書を発行している出版社のPR誌です。

ただし，国立国語研究所図書館で調査が可能なものだけを対象にしました（五十音順）。

『学鑑』（丸善） 『漢文教室』（大修館書店） 『汲古』（汲古書院） 『ぐんしょ』（続群書類従完成会） 『国語教室』（大修館書店） 『ちくま』（筑摩書房） 『中国図書』（内山書店） 『図書』（岩波書店） 『波』（新潮社） 『本』（講談社） 『本郷』（吉川弘文館） 『本の窓』（小学館） 『MYB みやび通信』（みやび出版） 『未来』（未来社） 『UP』（東京大学出版会）

新聞記事の採録の範囲等

1. このブックレットでは、第1部<新聞記事の動向>で取り上げた話題のそれぞれについて、基になった記事の一覧を掲げました。なお、ここで紹介した新聞記事は、それぞれの記事に関する記事を網羅しているわけではなく、主なものを挙げています。各話題についての各新聞社の報道全体を過不足なく反映するものではないことに御留意ください。

2. 一覧にした記事情報は、国立国語研究所が作成している「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」に収録されたデータを基に、適宜、一覧作成のために必要な情報を付け加えたものです。収集対象とした新聞は、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の三紙（いずれも東京本社発行の都区版）です。

3. 一覧にある新聞記事を読みたい方は

(1)縮刷版やマイクロフィルム等が利用できます。

このブックレットで取り上げた新聞記事について、記事本文をお読みにになりたい場合には、国立国会図書館や地域の公共の図書館、学校の図書館などに所蔵されている縮刷版やマイクロフィルム等を利用する方法があります。

例えば、国立国会図書館の全国新聞総合目録データベース（<http://sinbun.ndl.go.jp/>）を利用すると、見たい新聞を所蔵している機関や、その機関の連絡先・複写の可否等について情報を得ることができます。

(2)新聞社や商用の記事データベースを利用する方法もあります。

この冊子で取り上げた朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の三紙については、縮刷版やマイクロフィルムのほか、インターネットやCD-ROM版でも記事を読むことができます（著作権により一部閲覧できない記事もあります）。

インターネットを利用して記事を検索したり閲覧したりするためには、新聞社や検索サービスを行っている会社との契約が必要となったり、利用料金がかかったりする場合があります。また、これらの検索サービスには、個人向けだけでなく、企業・学校向けのコースもあり、学校の授業に利用しやすくするため、検索機能を限定して利用しやすい料金に設定したコースが用意されている場合があります。

朝日、毎日、読売の各新聞社の新聞記事データベースについては、各新聞社に直接お問合せください。

新聞三紙の発行元は、以下のとおりです。（発行 郵便番号 所在地 電話）

朝日新聞社（東京本社）

104-8011 中央区築地5-3-2 (03)3545-0131（代）

毎日新聞社（東京本社）

100-8051 千代田区一ツ橋 1-1-1 (03)3212-0321 (代)
読売新聞東京本社
100-8055 千代田区大手町 1-7-1 (03)3242-1111 (代)

なお、以下のホームページでも、各社の各種データベースについての情報が掲載されています。

朝日新聞有料記事検索のご案内

<http://www.asahi.com/information/db/index.html>

毎日新聞 DATABASE (有料記事検索)

<http://www.mainichi.co.jp/mds/database/index.html>

読売新聞データベース

<http://www.yomiuri.co.jp/database/>

商用データベースには、各社の新聞記事が蓄積されていて、インターネットを利用して希望の記事を検索することができます。ただし、このサービスの利用には、会員登録と利用料が必要です。インターネットを利用した有料記事検索には、次のようなものがあります。

@ニフティ

<http://www.nifty.com/common/cat/newspaper1.htm>

ジー・サーチ

<http://db.g-search.or.jp/>

日経テレコン 21

<http://www.nikkei.co.jp/telecom21/>

分類の解説

図書・総合雑誌記事と新聞記事では分類の枠組みが異なります。

分類の示し方例

例

| 資料名 | (項目略) | 書名・記事標題 | (項目略) | 分類 |
|--------|----------|--------------------------------|-------|-----------|
| 図書 | …… …… | 生まれる地名,消える地名「平成の大合併」で日本地図に大異変! | …… | 語彙>固有名>地名 |
| 総合雑誌記事 | …… …… | 平成大合併で創出される地名,姿を消す地名 | …… | 語彙>固有名>地名 |
| 新聞記事 | …… …… | 平成の大合併ひらがな市町約30誕生 狙いは摩擦回避? | …… | 地名 仮名 漢字 |

(この表は説明のためのもので、実際のデータとは異なります)

(1) 図書・総合雑誌記事では、分野(大分類)に下位分類として中分類、更に小分類が存在する場合があります。その分野に関連する図書の分類は、例にあるように「語彙(大分類)>固有名(中分類)>地名(小分類)」という形で示しています。また、複数の分野・分類に関連している図書・総合雑誌記事でも、大・中・小それぞれのレベルで最も関係が深いと思われる分類名を一つだけ掲げています。

(2) 新聞記事では、内容が複数の分野に関連している場合は、一つの分野に絞ることはせず、84個の分類情報(検索キー)の中から、対応するすべての分類情報(1件の記事に最大5個)を付けています。例でいえば、「地名」「仮名」「漢字」の3個はこの順に上位分類>下位分類ということではなく、いずれも同格で並列されています。

図書・総合雑誌記事の分類

新聞記事の分類

図書・総合雑誌記事の分類

1. 各分野（大分類）は、下位分類として中分類，更に下位分類している場合があります。
2. 複数の分野・分類に関連している図書・記事は，最も関係が深いと思われる一つの分野・分類名を掲げています。
3. 以下の分類のなかには，年によっては該当するデータがない場合があります。

以下では，図書・総合雑誌記事の分野についての説明を，次のような形式で示します。

.....

分野 その分野についての解説

中分類（小分類）

.....

日本語一般 日本語全体にわたって，その特色や現状などについて述べたものです。

日本語の歴史 日本語の現在までの歴史的な歩みについて述べたものです。言葉のどの分野の歴史を扱っているかによって，更に分類をしています。

日本語一般の歴史，音声・音韻の歴史，文字の歴史，語彙の歴史，文法の歴史，文章・文体の歴史，方言の歴史，言葉と機械の歴史，コミュニケーションの歴史，マスコミュニケーションの歴史，国語教育の歴史，日本語教育の歴史，言語一般の歴史，辞書・辞典の歴史

音声・音韻 日本語の発音や，アクセント，イントネーションなどについて述べたものです。なお，日本各地の方言の音声に関しては，**方言** に分類しています。

文字 漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字といった文字や句読点・かっこなどの記号の性格，更にそれらの実際の使われ方について述べたものです。なお，漢字の読み・書き能力に関しては **コミュニケーション** に分類しています。

文字一般，漢字，かな，ローマ字，その他の文字，記号，表記法，文字（その他）

語彙 単語の意味や語源，更に，新語・漢語・外来語，ことわざ，慣用句，人名・地名などの話題について述べたものです。なお，人名や地名の表記については，**文字** に分類しています。

言葉の意味，語源，新語・流行語・和語・漢語・外来語，特殊語，ことわざ・慣用句・熟語，固有名（固有名一般，命名，人名，地名，固有名（その他）），語彙（その他）

文法 語を組み合わせる文を構成する上での規則や，文中での語の役割などについて述べたものです。なお，敬語に関する話題は，**コミュニケーション** に分類しています。

文章・文体 文章の構成や様式，文章の種類などについて述べたものです。なお，文章を書くための技術的なことに関しては **コミュニケーション** ，学校での作文・詩歌の創作などに関しては **国語教育** に分類しています。

方言 日本各地の方言の発音・単語・文法などについて述べたものです。

方言一般，各地の方言

言葉と機械 情報検索・音声認識など，コンピューターを使った日本語の情報処理について述べたものです。なお，インターネットやメールなど，電子メディアによるコミュニケーションに関する話題は **コミュニケーション** に分類しています。

コミュニケーション ここは大きく二つに分かれます。一つは，コミュニケーションの様々な側面について述べた「言葉と生活」，もう一つは，敬語の使い方や文章の書き方など，よりよいコミュニケーションのための「言葉の使い方」です。

言葉と生活（言葉と生活一般，言葉と社会，談話，非言語行動，手話，言葉遊び，言葉と生活（その他）），言葉の使い方（言葉の使い方一般，敬語，話す，聞く，書く，読む，漢字能力）

マスコミュニケーション 新聞・雑誌・テレビ・広告といったメディアでの日本語について述べたものです。

マスコミュニケーション一般，マスコミの用字・用語

国語教育 小中高校の国語教育に関すること，乳幼児の言葉の発達に関することについて述べたものです。図書一覧では，学校現場だけにとどまらず広く国民一般にかかわりがある，と思われるものを取り上げています。

国語教育一般，読む，書く，教科書，国語教育（その他）

日本語教育 日本語を母語としない人に対する日本語の教育や，日本語の学習について述べたものです。

言語 世界の言語にかかわる問題や，日本語と他言語との比較，翻訳などについて述べたものです。

言語一般，日本語と他言語，翻訳，他言語の教育・学習

辞書・辞典 辞典について，その編集・選び方・エピソードなどを収めています。図書一覧には，国語辞典・漢和辞典など辞典そのものも収めています。

辞書をめぐって，国語辞典，固有名辞典，類語辞典，方言辞典，新語・外来語・特殊語辞典，ことわざ・慣用句・熟語辞典，語源辞典，表現辞典，その他言葉辞典，漢和辞典

書評・紹介 言葉に関する本の書評や紹介などを，ここに集めています（総合雑誌記事のみ）。なお，実際のデータでは，どの分野の本についての書評・紹介であるのかがわかるように示してあります。

新聞記事の分類

1. このブックレットでは、「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」のデータから、第1部〈新聞記事の動向〉のトピックに対応するデータを抽出して掲載しています。
2. 第2部〈新聞記事一覧〉では、第1部〈新聞記事の動向〉のトピックの順に掲載しています。
3. 分類情報（検索キー）は、各記事データの末尾に示しています。
4. 新聞記事では、その記事が扱っている分野・内容を示す情報として、84個の検索キーを設定し、原則として、一つの記事に1~5個のキーを付けています。記事の内容が複数の分野にかかわっている場合、一つの分野に絞ることはせず、対応するすべての分類情報を付けています。
5. キーは基本的には分野を示すものですが、記事の内容によって収集件数に多寡があり、より細かく分けた分野もあります（厳密な上位・下位といった分け方ではありません）。そして、それらのキーを同格・並列に扱っています（図書・総合雑誌記事のように、上位・下位という分け方をしていません）。
6. キーの中には、年によっては該当するデータがないものもあります。

以下では、84個の検索キーを、便宜上、18の分野に分けて示します。

.....

分野 その分野についての解説

検索キー { 検索キーについての補足説明 }

.....

A 言語学・日本語学 言語一般に関する研究、外国人・外国の機関が行っている日本語の研究、日本人が行っている日本語以外の研究などについて述べたものです。なお、日本人が行っている日本語の研究については、その内容に応じて各分野に振り分けています。

言語学 日本語研究 日本語の起源 外国語研究

B 音声・音韻 声、発音、アクセント、イントネーションなどについて述べたものです。

音声・音韻

C 文字・表記 漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字といった文字や句読点・かっこなどの記号の性格、更にそれらの使われ方について述べたものです。

文字 漢字 漢字制限 仮名 仮名遣い 送り仮名 外来語の表記 ローマ字

用字 表記(その他) { 縦書き・横書き、分かち書き、振り仮名、句読法など限定的。 }

D 語彙・用語 単語の意味や語源、専門分野の用語、漢語・外来語・新語・流行語、ことわざ、慣用語などの話題について述べたものです。

専門用語ほか 差別語・不快語 外来語 流行語 成句 語源

語彙・用語(その他) { (上記以外の) その他の語の意味・用法について }

E 命名 人名・地名や、名づけなどの話題について述べたものです。

命名 人名 地名

F 文法 語を組み合わせる文を構成する上での規則や、文中での語の役割などについて述べたものです。

文法

G 文章・文体 文章の構成や様式、文章の種類などについて述べたものです。

文章 文体

H 方言・共通語 日本各地の方言の発音・単語・文法などについて述べたものです。

方言 共通語

地域が特定できる場合は、「北海道／東北／関東／中部／近畿／中国／四国／九州／沖縄／東京」の中から選んで、「方言（北海道）」のように入力しています。

I マスコミュニケーション 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告といったメディアでの日本語について述べたものです。

新聞 放送 出版 広告・宣伝

J コミュニケーション コミュニケーションの様々な側面、また、敬語の使い方や文章の書き方など、より良いコミュニケーションのための言葉の使い方について述べたものです。

言語生活（その他） { 名刺，印鑑，など限定的。（他に収まりにくい）「雑」のようなもの。 }

コミュニケーション（その他） { ユーモア，うそ，デマ，など限定的。（他に収まりにくい）「雑」のようなもの。 }

非言語行動 生活時間調査 言語遊戯 言語芸術 表示・標識 ことばづかい あいさつ 敬語 呼称 男ことば・女ことば 話す・聞く 書く・読む 読書 電話 郵便 図書館 言語障害 識字 異文化コミュニケーション

K 情報化社会 インターネットやメールなど、電子メディアによるコミュニケーションについて述べたもの、また、情報検索・音声認識など、コンピューターを使った日本語の情報処理について述べたものです。

情報化社会 { 電子機器の利用やその影響など。タイプライターなども含みます。 }

L 言語・日本語一般 日本語や世界の言語についての全般的な特色や現状など、また、日本語と他言語との比較、翻訳などについて述べたものです。

日本語 外国語 { 日本語の特質，美しい日本語，異文化コミュニケーションにおける日本語／外国語の使用，など。 }

アイヌ語 翻訳

言語の比較 { 異なる言語間での，ある言語事象について比較対照しているもの（学術的なものに限定しません）。 }

M 言語問題・政策 日本語や世界の言語一般にかかわる問題などについて述べたものです。

ことばの問題 { 諸外国におけることばの問題を含みます。問題が特定できれば（送り仮名など）そのキーだけを付けて、「ことばの問題」は付けていません。 }

言語政策 { 国語審議会の答申など，及びそれらに対する意見も含まれます。 }

教育政策 { 学習指導要領など，及びそれらに対する意見も含まれます。 }

N 国語教育 小・中・高・大学における国語教育に関すること，乳幼児の言葉の発達に関することについて述べたものです。なお，国語科教育に限定せず，学校教育における言葉の教育について述べたものも取り上げています。

国語教育 海外・帰国子女教育 幼児教育

O 日本語教育 日本語を母語としない人に対する日本語の教育や，日本語の学習について述べたものです。

日本語教育

P 外国語習得 外国語の学習，教育について述べたものです。

外国語習得

Q 辞典・資料・学界動向等 辞典の刊行や，編集・選び方・エピソードなどについて述べたものです。また，国語学的資料の発見や，言葉に関する研究の動向，国立国語研究所の研究・事業について述べたものも取り上げています。

辞典 言語資料 { 木簡・古文書の発見など } **学界動向 国立国語研究所**

R 海外言語事情 日本以外の国々での言葉や言語生活に関して述べたものです。なお，外国における日本語や，外国で生活する日本人の言語生活に関するものも取り上げています。

海外言語事情

データの構造～項目の対照～

図書・総合雑誌記事・新聞記事の文献データは、本来、独立したデータベースに収録されているため、データの構造（項目の立て方や、入力形式など）は異なっています。このブックレットでは、横断検索ができるように、三つの資料のデータの項目を整理・統一して示しています。

三つの資料のそれぞれの情報が、どの項目に対応しているのかを、以下に一覧にしました。適宜「」をつけて説明を加えました。また特に説明が必要な場合や、例を挙げるのが適当な場合は、「 1」のように注番号をつけて、表の後に説明を加えました。注内の例は説明のためのもので、実際にこのブックレットに収められているデータとは異なります。

* ご注意

- ・×の付いている項目は、文献一覧では表示していません。文献検索の結果画面では空欄になっています。
- ・「分類」については、「分類の解説」も併せて御覧ください。

| 資料 1 | 図書 | 総合雑誌記事 | 新聞記事 |
|------------|--|-------------------------------|--|
| 共通の項目名 | 各資料の本来の項目名 | | |
| 文献番号 | 文献番号 | 文献番号 | ID番号 |
| 文献番号 | その年の『ブックレット』で取り上げたデータに対する通し番号 | その年の『ブックレット』で取り上げたデータに対する通し番号 | 「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」のその年の全データに対する通し番号 |
| 書名 記事標題 | 叢書名，叢書名巻次，副叢書名，副叢書名巻次，書名，書名巻次，副書名，副書名巻次，版次 | 特集名，中題・連載名，記事標題，記事副題 2 | 別刷の名称，掲載面，欄名，見出し，〔備考〕 3 |
| 著者 4 | 著者名 5 | 筆者 6 | 氏名 7 |
| 誌名 新聞名 | × | 誌名 | 新聞名 |
| 巻号 朝夕刊 | × | 巻号 | 朝夕 「夕刊」以外（「日曜版」「〇〇特集」などの別刷の場合を含む）を「朝刊」として入力 |

| | | | |
|--------------|---|---|--|
| 日付 | 発行年，発行月 日のデータはなし | 発行年，発行月 日のデータはなし | 年，月日 |
| | | | |
| ページ 8 | ページ | ページ | ページ |
| 発行所 (発売所) | 発行所，発売所 | 発行元 | × |
| 判型 | 判型 | × | × |
| 本体価格 | 本体価格 | × | × |
| 分類 | 分類 | 分類 | キー 1 |
| トピック | トピック | トピック | トピック |
| | 第 1 部<動向>の「トピック」で「関連文献」に挙がっているデータのみに、そのトピック名を表示 | 第 1 部<動向>の「トピック」で「関連文献」に挙がっているデータのみに、そのトピック名を表示 | 「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」のその年のデータの中から、第 1 部<動向>で取り上げた話題の基になったデータのみを抽出して掲載しており、すべてのデータに、該当するトピック名を表示 |

1：各資料の文献データの表記

(1) 図書・総合雑誌記事では、算用数字・アルファベットは、「発行所・発売所」を除き半角で入力しています。

(2) 新聞記事の場合、この一覧の基になった「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」では、掲載年月日・掲載ページ以外の項目については、全角で入力しています。また、表記については、原則として、新聞に書かれているとおり入力していますが、“ ” や “ ” などの記号は「」に置き換えている場合があります。

例・(図書・総合雑誌記事) Matthew's Best Hit TV+
(新聞記事) Matthew s Best Hit TV+

2：総合雑誌記事文献データでの記事標題の示し方

特集名・連載名、及び中題は、雑誌での示し方にかかわらず、「；」、及び<>を付して示しました。

3：新聞記事文献データでの記事標題の示し方

(1) 「日曜版」「〇〇特集」などの別刷の場合は、その名称を[]を付けて冒頭に示しました。

例・[青少年読書感想文コンクール特集] 第50回 青少年読書感想文全国コンクール
本との対話心躍らせ 感動刻み半世紀きょう表彰式

(2)掲載面名,欄名,見出しは,全角スペースで区切って,この順に並べて示しました。なお,
掲載面名や欄名がない記事もあります。

(3)見出しのない記事の場合,適宜補い,[]を付けて示しました。

例・編集手帳 [文化庁の「国語に関する世論調査」に驚かされる 言葉は変わりゆくもの
だからこそ「誰かが,保守的に抵抗しなければならない」]
・近事片々 [「クールビズ」の語感は変]

(4)見出しだけでは記事の内容が分かりにくい場合,適宜,情報を補い,[]を付けて備考と
して示しました。

例・東京 日本語勉強成果競う [「外国人による日本語スピーチ大会&交流会」 板橋区
文化・国際交流財団]
・「英語の教科化反対」と要望書 [英語教育に携わる大学関係者らが小学校での英語教
科化に反対]

4:各資料の文献データの著者の示し方

(1)複数の場合は「;」で区切ってあります。

例・伊藤正男;榊原洋一;柳沢正史;河原ノリエ
・林真理子;鹿島茂

(2)カタカナ表記の外国人名の場合,図書・総合雑誌記事では「姓,名」の順に統一していま
すが,新聞記事は原典の表記のまま(多くは「名・姓」の形)です。

例・(図書・総合雑誌記事)ピナード,アーサー (新聞記事)アーサー・ピナード
・(図書・総合雑誌記事)ニコル,C.W. (新聞記事)C・W・ニコル

5:図書の文献データでの「著者名」情報の示し方

著者名の後に「著」「編」等を「/」を介して示しています。また1件の図書に著者と監修
者の両方がいるような場合は,「@」で区切って示しています。

例・金田一秀穂/著
・佐竹秀雄;佐竹久仁子/著
・島田宣子/著@近藤珠実/監修
・日本情報システム・ユーザー協会/編@福田修/著

6:総合雑誌記事の文献データでの「筆者」情報の示し方

執筆者の氏名または,対談などの場合の,出席者の氏名を示しています。その後に,特に

書かれている場合のみ「聞き手」「司会」等を「/」を介して示しています。また複数の出席者のうち1名だけが「司会」となっているような場合は、「@」で区切って示しています。

例・上村祐子；白川浩介；吉川洋平@永江朗/司会

7：新聞記事の文献データでの「氏名」情報の示し方

(1)執筆者（新聞記者以外の専門家・有識者等。新聞記者は除く）の氏名または、対談やシンポジウムなどの場合の、出席者の氏名（新聞記者は除く）を示しています。

(2)氏名に読み仮名がついている場合は、対応する部分の直後に（ ）でくくって示しています。

例・西尾実（にしおみのる）

・林大（おおき）

・岩淵（いわぶち）悦太郎

8：各資料の文献データの「ページ」情報の示し方

(1)図書では総ページ数を、総合雑誌記事・新聞記事では掲載ページを示しています。

(2)掲載ページが2ページ以上にわたる場合、総合雑誌記事では開始ページと終了ページを、新聞記事では開始ページのみを示しています。

例・【「2ページから3ページまで」の場合】(総合雑誌記事)「2-3」 (新聞記事)「2」

第1部 動向



全体の動向概観

2006年、教育に関しては、前年に続き、「学力低下」という調査結果を受けてのゆとり教育見直しを軸とした教育再生、さらに小学校からの英語必修化に関して、議論がなされました。その中で、国語教育の重要性がたびたび説かれ、ベストセラー『国家の品格』の著者藤原正彦氏が、3資料それぞれで持論を展開したのが目立ちました。

また、ウェブ上の一般参加型百科事典『ウィキペディア』の台頭、電子辞書やウェブ辞書の普及による紙の辞書の売上げ減、誰もが情報の発信者となれるブログ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの流行、「ケータイ小説」の急成長といった、IT化のさらなる進展が日本語をめぐる状況に与える影響についての話題も、各資料をにぎわせました。

図書の動向

2006年は、日本語に関する話題が絶えなかった2005年に比べると、この点については「静かな年」であったといえます。図書にもそれが現れています。

まず、前年には年間ベストセラー総合部門（トータル調べ。以下も同）ベスト20の中に言葉を扱った本が3タイトル入っていましたが、2006年は言葉そのものについて論じたベストセラーは生まれませんでした。ただ、それに関連・隣接するテーマを扱ったものとして、まず第1位の藤原正彦『国家の品格』（2005年11月、新潮社）があります。この本はところどころで国語教育の重要性にふれています。「品格」で「2005 ユーキャン新語・流行語大賞」の大賞も受賞した藤原氏は、他の著書に加え総合雑誌や新聞でも国語教育に関する持論を展開しました。また第4位の、大迫閑歩書・伊藤洋監修『えんぴつで奥の細道』（1月、ポプラ社）は「手書き」という行為を再評価させました。さらに第7位の、竹内一郎『人は見た目が9割』（2005年10月、新潮社）は対人コミュニケーションにおける言葉以外の要素の重要性を説いています。

さて2005年夏から秋にかけては、若い世代（特に東京とその近辺の女子高生・女子大生）の間で、全国各地の方言を会話やメールに織り込む「方言ブーム」が起きていると各メディアが報じました。また同年10月には、テレビで日本語に関するクイズ番組が一斉に始まり、「日本語クイズ番組ブーム」が話題になりました。しかし、この二つのブームはいずれも2006年前半には沈静化してしまいました。それでも方言に関する図書や、テレビ番組関連の図書は2006年も刊行されています。

また2006年は辞書をめぐっていくつかの新しい動きが見られました。電子辞書の普及などにより、書籍体 すなわち紙の辞書の売上げ低下が続いている中、出版各社では書籍体の辞書とウェブを連動させる動きが進んでいます。辞書の項目選定や意味記述・例文についての情報をウェブ上などで一般から募集するという、辞書への一般参加の動きも注目されます。さらにウェブ上の一般参加型百科事典『ウィキペディア』も大きな注目を集めるようになりました。

各トピックで引用した新聞記事は、特に断わらない限り2006年のものです。また朝夕刊の別は、夕刊の場合のみそう示しました。

藤原正彦氏の著作

作家を両親に持つ藤原氏は数学者ではありますが、以前から国語教育の大切さを主張しており、2003年には『祖国とは国語』（講談社）を刊行しています。2006年に入ると同書の文庫版が刊行され、さらに『世にも美しい日本語入門』などの著作で、「美しい日本語」を守ることとそのため为国語教育の重要性を述べています。

総合雑誌でも、小学校の国語の授業時間が明治期から減少の一途をたどっていることを指摘し、初等教育で大事なのは一にも二にも国語である、と主張しています（『中央公論』1月号「特集；教育再建」、『正論』3月号「読書の時間 Book Lesson」、『文芸春秋』11月臨時増刊号「特集；教育の力を取り戻す」）。さらに新聞でも、新聞の「特殊指定」見直し問題に関する特集に「見直しは宅配制度の衰退につながり、活字復興に水を差す結果になる」という意見を寄せたり（3月2日付毎日）、小学校の英語必修化に対して「英語より国語のほうが優先度が高い」と反対意見を述べたり（5月15日付毎日「闘論」欄）しています。小学校の英語必修化に関連しては、文芸誌の対談でも反対意見を述べています（『文学界』7月号「特集；国語再建」）。

他の資料では

| | |
|----|-----------|
| 雑誌 | 藤原正彦氏の国語論 |
| 新聞 | 出版・読書状況 |

関連文献情報

藤原正彦氏の著作

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所 (発売所) 判型 本体価格

2006003 ちくまプリマー新書 027 世にも美しい日本語入門 (安野光雅;藤原正彦/著) 2006-1
137p 筑摩書房 B40 700円

2006456 新潮文庫 祖国とは国語 (藤原正彦/著) 2006-1 236p 新潮社 A6 400円

『えんぴつで奥の細道』

この本は、書家である大迫氏の書いた『奥の細道』の本文が薄く印刷された上を読者が鉛筆でなぞる、という趣旨です。各メディアもとりあげ、「パソコン全盛の時代に手書きというのが逆に新鮮だった」「心静かな自分の時間を持てるのがよかった」とヒットの理由を分析しています。また新聞記事を順に見ていくと、「主な読者は、50～70歳代の女性」（4月6日付読売「くらし」面「家庭 彩事記」欄） 「年齢層は、20代まで、30～40代、50代以上がそれぞれ3分の1を占める」（6月4日付朝日「読書」面「売れてる本」欄）、「30、40歳代の購買者が多く、若者も少なくない」（6月8日付読売「顔」欄） 「当初、ターゲットと考えていたのは団塊世代以上の人たち」「だが予想外だったのは、20～30歳代からの大きな反響だった」（8月16日付読売夕刊）となっており、購買層が次第に下の世代に広がっていったことがうかがえます。総合雑誌の書評（『中央公論』8月号「ベストセラー温故知新」欄）でも取り上げられました。

2002年にベストセラーとなった、斎藤孝『声に出して読みたい日本語』（2001、草思社）、柴田武『常識として知っておきたい日本語』（2002、幻冬舎）は、当初は若い世代に読んでもらうことを考えて編集されたものの、予想以上に中高年層に支持され、この「見込み違い」が大ヒットにつながったといわれます。『えんぴつで～』はその逆のパターンということになります。

他の資料では 新聞 出版・読書状況

関連文献情報

『えんぴつで奥の細道』

文献番号 書名（著者） 発行年月 ページ 発行所（発売所） 判型 本体価格

2006201 えんぴつで奥の細道（大迫閑歩/書@伊藤洋/監修） 2006-1 227p ポプラ社 B5
1400円

『人は見た目が9割』

この本で言うところの「見た目」は顔立ちや服装だけでなく、表情やしぐさ、さらには匂いや相手との距離等、「非言語コミュニケーション」全般を表します。対人コミュニケーションにおいて言葉以外の要素が重要だ、というのは従来言われてきたことですが、「人は見かけによらない」「外見よりも中身が大事」という伝統的かつタテマエ的な価値観を否定するような書名もヒットの一因でしょう（1995年の「新語・流行語大賞」トップテンに入った、「見ただ目で選んで何が悪いの！」というCMコピーを連想させます）。総合雑誌の書評（『中央公論』3月号「ベストセラー温故知新」欄）や新聞（1月16日付毎日夕刊「売れてます ほんの森」欄、12月15日付毎日夕刊「読みたい 本の現場」欄）でも取り上げられています。そして、ベストセラーが出ると往々にしてあることですが、明らかにこの本を意識していると思われる、タイトルに「9割」という語を含む本が次々に出版されました。

「方言ブーム」と方言関係の図書

2005年の夏から秋にかけ、各メディアが、若い世代 特に東京とその近辺の女子高生・女子大生の間で全国各地の方言を会話やメールに織り込む「方言ブーム」が起きていると報じました（『日本語ブックレット 2005』参照）。

このブームを、方言を専門とする研究者はどうとらえたのでしょうか。2006年の学術誌に掲載された見解をいくつか挙げてみます。

- ・ 関西方言に限らず、方言一般への好感度が増している現在、かつては抑圧され追放されていた方言が、今や首都圏の若者世代には「(コミュニケーション上の：引用者注)化粧品」として重宝されているわけである。(陣内正敬「特集：若者の「方言」 方言の年齢差 若者を中心に」、『日本語学』25-1, 1月)
- ・ 方言を理解するだけでなく使用する段階までできているのが興味深いですが、もとの方言から切り離して使うのだから、体系としての方言は考慮されていない。切り花を飾るような使い方である。(佐藤貴裕「特集：日本語の謎 方言が時折「ブーム」になるのは」、『国文学解釈と教材の研究』51-4, 4月)
- ・ 地域の伝統色を失った都市部で、伝統色にまみれた方言を「ふるさとのことば」として鑑賞する風潮は、すでに今期(2004年～2005年：引用者注)以前にも見受けられたが、ここにいたり、方言を新奇なものとして消費する時代が来たわけである。(日高水穂「特集 2004・2005年における日本語学界の展望 地域言語・方言」、『日本語の研究』2-3, 7月)

本来、各地の人々が素顔でふれあう時の言葉であり、生活に根ざして馴染んだ言葉である方言が、東京とその近辺の若者にはそれとは異なる「(コミュニケーション上の)化粧品」「切り花」「新奇なもの」として使われたわけです。

一方総合雑誌がこのブームを取り上げたのは2006年になってからで、『文芸春秋』3月号「特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識44」、『Voice』6月号に記事が見られました。しかし、ブームは2006年に入ったころにはすでに峠を越えており、火付け役と目されたテレビ朝日系のパラエティー番組『Matthew's best hit TV+』も3月には放送が終了しました。2005年後半に相次いで刊行された、若い女性をターゲットとした全国の方言を紹介する本も、2006年には1月の『使える方言あそび メールで、会話であそんじゃえ!』程度でした。

ブームについての報道がすっかり見られなくなった後半にも、方言に関するさまざまな話題をわかりやすい文体で記述した『日本語でなまらナイト しのぎ教授のなまらやさしい方言講座』『ことばのとびら』などが刊行されました。しかしこれらは2005年後半の一連の本とは一線を画し、研究者の立場から客観性に留意しつつ書かれたものでした。今回のようなメディアがこぞって報じ、盛り上げるといふ形のブームが再来するかはともかく、方言に

対する人々の関心は都市部・地方を問わず一貫して高いものがあり，それに応えるような図書の刊行は今後も継続していくことでしょう。

他の資料では 雑誌 「方言ブーム」の行方

関連文献情報

「方言ブーム」と方言関係の図書

| 文献番号 | 書名 | (著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 |
|---------|-------------|--------------------|----------------------|----------|-----------------|-----|----------|
| 2006157 | プチブティックシリーズ | | 406 | 使える方言あそび | メールで、会話であそんじゃえ！ | | |
| 2006-1 | 80p | ブティック社 | B6 | 500円 | | | |
| 2006159 | 日本語でなまらナイト | しのざき教授のなまらやさしい方言講座 | (柳川圭子/著@しのざきこういち/監修) | 2006-10 | 191p | 小学館 | B6 1200円 |
| 2006160 | ことばのとびら | (都染直也/著) | 2006-12 | 239p | 神戸新聞総合出版センター | B6 | 1500円 |

テレビ番組関連の図書

2005年の日本語関係のもう一つのブームが、10月の番組改編期に民放各局で言葉に関するクイズ番組が一斉に始まるという、「日本語クイズ番組ブーム」でした（『日本語ブックレット2005』参照）。2006年元日付の朝日新聞は、「第2部 テレビ・ラジオ」の中で17面全面を使い、「日本語のサプリ」と題してこの特集を組みました。しかしこのブームも長続きせず、1年後の2006年10月以降も続いたのは『タモリのジャポニカロゴス』（フジテレビ系）1番組だけでした（2008年3月現在も放送中）。他の番組は裏番組に人気バラエティーやクイズがひしめく夜7～8時台の放送でしたが、『タモリ～』は裏番組がほとんどニュースである深夜11時からの放送で、ニュース以外の番組を見たい視聴者を取り込むことができた、ということでしょうか。この番組で取り上げた問題を収録した『タモリのジャポニカロゴス 国語辞典 第1版』が刊行されました（『～第2版』も2007年10月に刊行）。

一方このブームとは別に、NHK総合・同教育テレビで放送されてきた、『ことばおじさんの気になることば』を基にした『NHK ことばおじさんのナットク日本語塾1』も刊行されました。ことばおじさんこと梅津正樹アナが若手アナたちをバックコーラスに従えて歌う、若者言葉を題材にした『これってホメことば?』という曲が同局の『みんなのうた』で流され、さらにCD・DVD化されるという話題もあり、新聞でも取り上げられました（9月20日付毎日夕刊「特集ワールド」欄）。

このほか、8月から2007年3月まで、『語源刑事』という身近な語の語源を扱った番組が毎週金曜深夜テレビ東京系で放送されたことも付け加えておきます。

関連文献情報

テレビ番組関連の図書

| 文献番号 | 書名 | （著者） | 発行年月 | ページ | 発行所（発売所） | 判型 | 本体価格 |
|---------|--------------|------|-------------------|------------------|----------|------|----------------------|
| 2006021 | タモリのジャポニカロゴス | 国語辞典 | 第1版 | （フジテレビ出版/編刊） | 2006-8 | 205p | フジテレビ出版（扶桑社） B6 952円 |
| 2006220 | ステラMOOK | NHK | ことばおじさんのナットク日本語塾1 | （NHKサービスセンター/編刊） | 2006-10 | 136p | NHKサービスセンター B5小 762円 |

辞書とウェブの連動

携帯・検索に便利な電子辞書の普及により、書籍体 すなわち紙の辞書は窮地に立たされている、と言われ始めて久しくなった感があります。ウェブ上でも各種辞書が無料で引けるようになったことがそれに拍車をかけています。新聞では

- ・電子辞書時代「紙」の憂鬱 特定ブランド偏重 / 搭載料は数百円 多様性薄れ、改訂困難に？（7月24日付読売文化面「潮流」欄）
- ・辞書ネット化 書籍版ピンチ 電子辞書は寡占化進む 採算に悩む出版社（12月9日付朝日夕刊「土曜フォーカス」欄）

のような記事が見られました。後者では、書籍体の辞書は1998年と比べ2006年は販売数が4割以上減少しているとしています（ただ、小学生向けの辞書に関しては、私立小学校の教頭を務める深谷圭助氏が『7歳から「辞書」を引いて頭をきたえる』で提唱した「辞書引き学習法」が注目されたことで、それ以降売上げが大きく伸びている、と新聞（2007年7月12日付朝日「文化」欄）が報じました）。

その一方で、出版各社でウェブと書籍体の辞書を連動させる動きも進んでいます（岩波書店では、すでに2001年4月に、単語や一字漢字による検索機能を備えた『広辞苑』のiモード配信を開始しています）。

三省堂は、10月に刊行した『大辞林』第3版の購入者に、11月からウェブ上で同書の検索サービス（さまざまな検索システムに加え、書籍体のほうには載っていない項目や用例も見ることができます）の提供を開始しました。このニュースは新聞各紙も注目しています。

- ・11年ぶり改訂『大辞林』第3版 「増補ネット版」連動 IT関連語など7000以上の新項目（10月18日付読売夕刊「本よみうり堂 トレンド館」欄）
- ・『大辞林』「21世紀型」リニューアル ネット連動 成否は？（10月24日付毎日夕刊「2006チャンネルYou 知りたい」欄）
- ・大辞林 11年ぶりの改訂 購入者向けに特典 ネット上にサイト（10月26日付朝日「文化」欄）

また2007年7月からは、小学館が、デジタル化された『日本国語大辞典』第2版の内容をウェブ上で検索できる有料サービスを開始しています。

辞書以外についても、検索語句を含む図書の本文をパソコン上で「立ち読み」できる、インターネット書店アマゾンの「なか見！検索」が2005年11月に開始されました。さらに2007年7月には同種のサービス「Googleブック検索」も開始されました。後者は新刊書に加え、図書館の蔵書なども対象となる点が大きな違いで、開始直後に慶応義塾大学図書館が協力を表明しました。

これら2007年の動きについては『日本語ブックレット2007』で更に詳しくお伝えしたい

と思います。

関連文献情報

辞書とウェブの連動

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格

2006474 7歳から「辞書」を引いて頭をきたえる (深谷圭助/著) 2006-9 253p すばる舎
B6 1500円
2006511 大辞林 第3版 (松村明;三省堂編修所/編) 2006-10 2974p 三省堂 B5 7800
円

辞書への一般参加

辞書というのは日本語研究の専門家とベテランの編集者が力をあわせて作りあげるもの、というイメージがありますが、一般から広く情報を集めて辞書の作成・改訂を行う動きが見られており、新聞でも取り上げられました(2月5日付朝日「ニュースに迫る」欄)。

小学館の『日本国語大辞典』は現在我が国で最大規模の国語辞典として知られていますが、第2版の刊行(2001~2003年)後、新たに載せるべき項目や、既存の項目に追加すべき意味、より早い実例(この辞典に挙げられている最も早い実例が、「その言葉が日本語の歴史においていつごろから使われ始めたのか」を知る目安とされる場合が多く、より早い実例が挙げられるということは大きな意味を持っています)などの情報をウェブサイト上で一般から募集しており、その結果を随時公開しています。その成果を盛り込んだ『日本国語大辞典 精選版』全3巻も刊行され、新聞に書評が掲載されました(5月21日付毎日)。

また『明鏡国語辞典』の版元である大修館書店は、2005年10月から2006年3月にかけて、国語辞典に載せたい言葉や意味・例文を募集するキャンペーンをホームページなどで大々的に行いました。このキャンペーンについては、同書店発行のPR誌『国語教室』11月号「特集：国語辞典を作る楽しさ」でくわしく取り上げられています。特色があるのは個人で応募する「一般部門」と学校単位で応募する「学校部門」を設けたことです(後者については、中学・高校を中心に国語の授業に取り入れられたケースもありました)。12月にはその結果集まった11万あまりの作品(このうち「学校部門」が約9万件)のうち約1300件を収めた『みんなで国語辞典! これも、日本語』が刊行されました。2007年にはこのキャンペーンの第2回も行われています。

なお『みんなで国語辞典!』の「若者のことば」には、中高年にはなじみのない新しい言葉に混じって、「ぱーぺき」(「完全」の意。「パーフェクト」と「完璧」から)「ホワイトキック」(「白ける」の意。「ホワイト(白)」と「キック(蹴る)」から)といった、1970年代に「若者語」と呼ばれて一時流行し、すぐに使われなくなった語が見られます。実は細々と使われ続けていたのか、それとも前の流行を知らない世代が偶然同じ発想で再度同じ語を作り出したのか、どちらでしょうか。

ともあれ、このような一般参加による辞書の作成・改訂という動きは、今後さらに広がっていくことになりそうです。

関連文献情報

辞書への一般参加

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格

2006506 日本国語大辞典 精選版1 あ~こ (小学館国語辞典編集部/編) 2006-1 2190p 小

学館 B5 15000 円

2006508 日本国語大辞典 精選版2 さ～の (小学館国語辞典編集部/編) 2006-2 2158p 小学館 B5 15000 円

2006510 日本国語大辞典 精選版3 は～ん 漢字索引 (小学館国語辞典編集部/編) 2006-3 2125p 小学館 B5 15000 円

2006533 みんなで国語辞典! これも、日本語 (「もっと明鏡」委員会/編@北原保雄/監修) 2006-12 199p 大修館書店 B6 950 円

『ウィキペディア』

辞書とウェブ、辞書への一般参加という二つのトピックに関連して、もう一つ大きな話題がありました。誰でも項目の追加や記述内容の変更ができる、ウェブ上の無料百科事典『ウィキペディア』が、「本家」の英語版と日本語版ともに大きな注目を集めるようになり、新聞各紙でも取り上げられました。

- ・ウィキペディア日本語版 登録項目が20万を突破（5月22日付毎日夕刊）
- ・ウェブが変える1 無料百科事典 誰でも執筆刻々改良（7月27日付朝日）
- ・知的にエンジョイ3 膨らむ「ウィキペディア」 「集合知」築き合う快感（11月23日付読売「くらし」面）

これらの記事では「誰もが参加できる」「誤りはすぐ修正される」といった良い面が強調され、負の側面にはほとんど言及がありません。しかし2007年1月には、アメリカのある大学の史学部が、複数の学生が試験で同じ誤答をした原因が『ウィキペディア』の記述にあったと判断されたことから、試験やレポートに『ウィキペディア』やウェブ上の同種の情報源からの引用を認めないとの措置をとりました（2007年2月23日付朝日）。日本でも、大学生の卒業論文や単位レポートでは、一昔前までは参考書や辞典の丸写しが問題でしたが、昨今は『ウィキペディア』等の記述を「コピー＆ペースト」でつぎはぎに引用してまとめあげたものが提出されることがままあり、大学教官を悩ませています。

記述の正確さについて、アメリカ文学者青山南氏は、英語版で不正確な記事があったので訂正する書き込みをしたものの一日後には元に戻っていた、という自らの経験を文芸誌の連載で語っています。氏はその中でさらに、

- ・おおまかなところは間違いがないが、細かなところに大胆に私情が混じっている。

と述べたうえで、

- ・おおまかなところにおいては信頼できる「ウィキペディア」である。多少は事実とちがうんだらうという姿勢でさえ臨めば、「ブリタニカ」の代わりにはなってしまうのである。

と、一定の評価を与えています（『すばる』12月号「ロスト・オン・ザ・ネット」）。なお、『ウィキペディア』英語版と世界的に著名な百科事典『ブリタニカ』との比較については、イギリスの科学雑誌『Nature』（オンライン版）が2005年12月、「両者の正確さに大きな差はない」という内容の記事を掲載し、『ブリタニカ』側が反論して記事の撤回を求めるといふ事件も起きました。

物事を新たに調べ始める上での入口の一つとして役に立つことは確かですが、正確性・厳密性についてはまだ評価が定まっていない「事典」として当面は利用するのが安全といえま

す。

他の資料では 雑誌 インターネットと言葉

関連文献情報

『ウィキペディア』

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格

2006504 MAX ムック Wikipedia 完全活用ガイド (吉沢英明/著) 2006-11 95p マックス
B5 1000 円

総合雑誌記事の動向

2006年の総合雑誌記事の大きな傾向として、国語力の重視ということがあります。

近年、早期英語教育についての議論が活発ですが、総合雑誌記事では、英語教育の前に国語教育をしっかり行うべきである、英語の習得にも国語の力が必要である、といった意見が主流です。

学力低下が問題になり、ゆとり教育が見直され、教育再生についての議論がなされる中でも、国語教育の重要性が説かれることが多くなっています。同じ立場に立つ、『国家の品格』の著者である藤原正彦氏が各誌に登場しています。

また、インターネットの発達により、誰もが情報の発信者となれる時代となりました。例えば、ブログ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などが流行し、多くの人が、自分の書いた文章を広く公開するようになりました。一億総ライター時代とも言われる現在、世の中の、言葉への関心は高まっています。

文章を書くという面だけでなく、読むという面でも、インターネットは、検索システムの発達、電子図書館の構想など、引き続き言語生活の場に影響を与えることでしょう。

インターネット以外のメディアに関して言えば、依然としてテレビも日本人が高い関心を持ち続けているメディアであり、テレビ番組の中での言葉遣いや政治の言葉のテレビ化などが話題になっています。

2005年にメディアをにぎわせた「方言ブーム」に関しては、一時期ほど報道されなくなりました。また日本語に関する記事を掲載する特集は、2005年には41タイトル組まれていますが、2006年も引き続き多く、44タイトル組まれました。

早期英語教育について

小学校での英語必修化の本格的な検討が 2004 年から始まり、2005 年から引き続き、2006 年も早期英語教育について話題となっています。

「<言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育」(正論 412, 2006 年 7 月)や「特集;揺れる小学校英語教育」(中央公論 121-10, 2006 年 10 月)など、特集も生まれ、各誌で活発な議論がなされています。

課題は多いが、日本の英語公教育改善への大きな一歩を、まずは見守ろう(「<Ushio News Index>高まる賛否両論!「小学校英語必修化」あなたはどっち?」前原政之 潮 568 2006 年 6 月)とする肯定的な意見が見られる一方、初等教育段階では十分な英語教師の確保が困難である以上、正しい日本語で行われる他教科の授業が減り、お世辞にも正しいとはいえない英語で行われる「英会話ごっこ」が増えるということで、これは児童の母語習得においても、英語習得においてもマイナスである(「小学校に英語はいらない!」斎藤兆史 論座 130 2006 年 3 月)という反対意見も見られます。

国語学者である大野晋氏から、中途半端に英語をかじることで、子供達の自国語に対する意識が低下することを危惧する、次代に伝えたいのは正確な日本語を使う国民的態度である(「特集;次代に伝えたい日本語 なぜ今、英語よりも日本語なのか」大野晋 中央公論 121-6 2006 年 6 月)という意見が出されていますが、英語教育を研究する鳥飼玖美子氏からも、授業時間は限られているのだから、小学校で「英語ごっこ」を一時間やるくらいなら、まずは母語教育を充実させるべきだ(「<対談> 何で小学校で英語やるの 異議あり英語教育」鳥飼玖美子;ピーターセン, マーク 文芸春秋 84-11 2006 年 8 月)という意見が出されているのが興味深いところです。

外国語教育自体に賛成する意見も見られますが、総合雑誌では、手放しの早期英語教育賛成論より、効果を疑問視する声や、質の良い教材や教師の確保の困難さを危惧する声、英語は中学校からが妥当である、英語教育より国語教育が重要である、英語習得にも日本語の力が必要である、という意見が多く、小学校での英語必修化の議論によって、国語教育や日本語の大切さが見直される結果になっています。

他の資料では 新聞 英語教育をめぐる状況

関連文献情報

早期英語教育について

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

2006028 <対談> 何で小学校で英語やるの 異議あり英語教育 (鳥飼玖美子;ピーターセン, マーク) 文芸春秋 84-11 2006-8 pp.200-208 文芸春秋

- 2006030 ずいひつ波音 英語って何なの? (西垣通) 潮 571 2006-9 pp.52-53 潮出版社
- 2006482 小学校に英語はいらない! (斎藤兆史) 論座 130 2006-3 pp.154-161 朝日新聞社
- 2006483 <Ushio News Index> 親子で海外留学!新しい英語教育が目玉的。(小此木律子) 潮 566 2006-4 pp.64-65 潮出版社
- 2006485 特集;日本はどっちだ 小学生に英語教育は必要か (中西輝政) 文芸春秋 84-7 2006-5 pp.161-164 文芸春秋
- 2006487 <Ushio News Index> 高まる賛否両論!「小学校英語必修化」あなたはどっち? (前原政之) 潮 568 2006-6 pp.62-63 潮出版社
- 2006489 誰が責任をとるのか?「英語教育」の惨状 (樽谷賢二) 新潮 45 25-6 2006-6 pp.224-228 新潮社
- 2006490 時評 2006 思想なき英語教育熱の危うさ (藤原智美) 中央公論 121-6 2006-6 pp.30-31 中央公論新社
- 2006491 特集;次代に伝えたい日本語 なぜ今、英語よりも日本語なのか (大野晋) 中央公論 121-6 2006-6 pp.56-57 中央公論新社
- 2006492 誤解だらけの英語教育 (篠沢秀夫) 正論 412 2006-7 pp.252-259 産経新聞社
- 2006493 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 外国人力士の日本語 (田代忠彦) 正論 412 2006-7 p.370 産経新聞社
- 2006494 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 小学校はカルチャーセンターにあらざ (丘哲也) 正論 412 2006-7 pp.371-372 産経新聞社
- 2006495 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 個人・企業・国の将来を左右する英語力 (古田紀年) 正論 412 2006-7 p.372 産経新聞社
- 2006496 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 教育の究極の目的を考えて (鈴木規章) 正論 412 2006-7 pp.372-373 産経新聞社
- 2006497 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 英語教育は中学からが妥当 (峰芳子) 正論 412 2006-7 pp.373-374 産経新聞社
- 2006498 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 英語にも日本語力が必要 (中本義信) 正論 412 2006-7 p.374 産経新聞社
- 2006499 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 言葉の壁を取り除け (加藤啓) 正論 412 2006-7 p.375 産経新聞社
- 2006500 連載;虹の彼方に 小学校から英語教育? (池沢夏樹) 現代 40-9 2006-9 p.27 講談社
- 2006501 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 英語は中学校からが妥当 (峰ヨシ子) 文芸春秋 84-12 2006-9 pp.492-493 文芸春秋
- 2006502 特集;揺れる小学校英語教育 <ルポ> 現場はこんなに進んでいる 地方実験校の取り組み (杉山春) 中央公論 121-10 2006-10 pp.199-210 中央公論新社
- 2006503 特集;揺れる小学校英語教育 子どもの可能性を広げる多言語学習 「害酷語教育」という思い込み (金森強) 中央公論 121-10 2006-10 pp.211-218 中央公論新社

- 2006504 特集;揺れる小学校英語教育 今こそ挫折の歴史に学べ 日本人は明治時代から始めていた (斎藤兆史) 中央公論 121-10 2006-10 pp.219-227 中央公論新社
- 2006505 特集;「教育再生」やるなら,この手しかない ザけんなヨ!「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 英語以外は切り捨ての「外国語教育」は× (薬師院仁志) 諸君! 38-12 2006-12 pp.148-149 文芸春秋
- 2006599 <Book Plaza 本の広場> 鳥飼玖美子著『危うし!小学校英語』 諸君! 38-8 2006-8 pp.256-257 文芸春秋

学力の低下と教育再生会議

2006年の総合雑誌では、教育全般に関連する記事も多く見られました。

2006年の前半は、2005年から引き続き、国語科も含めた学力低下やゆとり教育に対する問題提起、批判の記事が多くありました。「エリート」「秀才」といった従来使用が避けられていた、ゆとり教育の制度とは対極に位置するような言葉が、2006年の記事タイトルには見られるようになりました。桜井よしこ氏は、「これまでは落ちこぼれが問題でしたが、いまはどんどんレベルを低くしたものですから、能力をもっと伸ばしたい子どもがふきこぼれてしまって、諦めてしまっている」(「特集；教育再建 <対談> 秀才殺しの教育はもうやめよ学校に任せず、家庭で鍛えろ」藤原正彦；桜井よしこ 中央公論 121-1 2006年1月)と指摘します。福田和也氏は、日本がめざすべき方向を定められないでいる中で、エリートによるリーダーシップが必要なのではないかと、一定のエリート層を育成しなければならないのではないかと声が出てきている(「<対談> エリートの復権」福田和也；北康利 Voice 343 2006年7月)と述べています。これらの記事では国語に重点を置く旧来の教育の良さなどを主張しています。

2006年の後半は、安倍内閣(当時)における「教育再生会議」の設置(10月10日)に関連して、各誌で、11月号から早くも「教育再生」をキーワードとする記事が見られるようになります。「特集；教育は再生するか」(Voice 347 2006年11月)「特集；「教育再生」やるなら、この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった！」(諸君！ 38-12 2006年12月)などの特集も組まれました。学校教育に関する議論はいつの時代でも行われていますが、近年では特にゆとり教育や学力低下に関連して、盛んになっています。

他の資料では 新聞 教育の見直しと「言葉の力」への注目

関連文献情報

学力の低下と教育再生会議

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

2006026 特集；国語再建 言葉をめぐる 12章 (荒川洋治) 文学界 60-7 2006-7 pp.130-139 文芸春秋

2006112 特集；国語再建 文字政策は漱石の時代を目標とせよ (白川静@石川忠司/聞き手) 文学界 60-7 2006-7 pp.122-129 文芸春秋

2006117 特集；国語再建 まず筆の持ち方を教えよ (石川九楊) 文学界 60-7 2006-7 pp.140-155 文芸春秋

2006171 特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 学力低下 (陰山英男) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.276-277 文芸春秋

2006270 特集；教育の力を取り戻す <巻頭エッセイ> 小石と核兵器の違い (柳田邦男) 文

- 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.12-13 芸春秋
- 2006305 <ルポ> 「学力低下」を追う(上) こどもの生活破壊{ライフハザード}が学力低下をまねく? (滝井宏臣) 世界 751 2006-4 pp.270-280 岩波書店
- 2006307 <ルポ> 「学力低下」を追う(下) 子育てネットワークが「見えない学力」をはぐくむ (滝井宏臣) 世界 752 2006-5 pp.198-208 岩波書店
- 2006354 特集;子供たちを守れ! 「ゆとり教育」が招いた混乱と残骸 キーマンの元次官が明かした文科省の失敗 (前屋毅) 現代 40-1 2006-1 pp.242-251 講談社
- 2006355 特集;教育再建 <対談> 秀才殺しの教育はもうやめよ 学校に任せず,家庭で鍛える (藤原正彦;桜井よしこ) 中央公論 121-1 2006-1 pp.40-49 中央公論新社
- 2006357 ゆとり教育の先にあるもの ちくまプリマー新書一周年に寄せて (三好由紀彦) ちくま 419 2006-2 pp.20-21 筑摩書房
- 2006361 特集;日本の教育を糺す <対談> 起死回生のカギはエリート教育にあり 人間とケダモノの違いは本を読むか読まないかだ! (藤原正彦;曾野綾子) 諸君! 38-5 2006-5 pp.130-141 芸春秋
- 2006366 <対談> エリートの復権 (福田和也;北康利) Voice 343 2006-7 pp.116-126 PHP 研究所
- 2006367 特集;国語再建 <対談> 「日本人の誇り」は国語教育から (藤原正彦;斎藤孝) 文学界 60-7 2006-7 pp.106-120 芸春秋
- 2006369 特集;「親力」がわが子の能力を決める 正しい生活習慣が学力を伸ばす 「百ます計算」よりも「早寝・早起き・朝御飯」 (陰山英男) 中央公論 121-9 2006-9 pp.32-41 中央公論新社
- 2006370 文科省にこれだけは言っておきたい! (松永暢史) 正論 415 2006-10 pp.330-337 産経新聞社
- 2006375 特集;教育の力を取り戻す <巻頭エッセイ> 教育崩壊と経済合理性 (内田樹) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.14-15 芸春秋
- 2006376 特集;教育の力を取り戻す 民間人校長連続インタビュー&ルポ 学校はどう変わり,どこへ向かうのか(アンケート付き) (久田恵) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.16-33 芸春秋
- 2006377 特集;教育の力を取り戻す このままでは手遅れになる 子供たちに「心の母港」を (鈴木孝夫) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.34-42 芸春秋
- 2006378 特集;教育の力を取り戻す <特別対談> 教育に夢と憧れを 僕が小学校の先生になったら (斎藤孝;乙武洋匡) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.70-79 芸春秋
- 2006379 特集;教育の力を取り戻す 私の教師時代 七十年前の三年半 (秋山ちえ子) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.82-83 芸春秋
- 2006380 特集;教育の力を取り戻す 素読とテレビ電話と (加地伸行) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.184-189 芸春秋
- 2006381 特集;教育の力を取り戻す <特別対談> 品格ある日本人を育てるには (阿川弘之;藤原正彦) 芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.190-202 芸春秋

- 2006383 特集；教育は再生するか <対談> 母親よ，哲学を語れ 子供たちに「耐える力」を
（曾野綾子；上坂冬子） Voice 347 2006-11 pp.48-57 PHP 研究所
- 2006385 特集；「教育再生」やるなら，この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言
いなりにやったからこうなった！ 読書教育は図書館より古本屋で （出久根達郎） 諸君！
38-12 2006-12 pp.146-148 文芸春秋
- 2006386 特集；「教育再生」やるなら，この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言
いなりにやったからこうなった！ 「読解力，理解力」「想像力」「表現力」の三位一体で （鈴
木光司） 諸君！ 38-12 2006-12 pp.150-151 文芸春秋
- 2006387 特集；「教育再生」やるなら，この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言
いなりにやったからこうなった！ 「教育に朝日新聞を」の弊害 （潮匡人） 諸君！ 38-12
2006-12 pp.159-160 文芸春秋
- 2006388 教育特集；子供を殺すのは教師か親か これが本物の教育再生会議だ カリスマ教育者
3 人が論じ尽くす （陰山英男；斎藤孝；藤原和博） 文芸春秋 84-17 2006-12 pp.130-144
文芸春秋
- 2006392 特集；教育は再生するか 子供を強くする8つのアイデア 古典に学ぶ日本人の信仰心
（山折哲雄） Voice 347 2006-11 pp.84-85 PHP 研究所
- 2006393 特集；「教育再生」やるなら，この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言
いなりにやったからこうなった！ 小中学生にはもっと古文・漢文を （岡崎久彦） 諸君！
38-12 2006-12 pp.145-146 文芸春秋
- 2006396 特集；教育は再生するか 大学教育は工場でもできる （渡部昇一） Voice 347
2006-11 pp.72-77 PHP 研究所
- 2006505 特集；「教育再生」やるなら，この手しかない ザけんなヨ！「文科省&日教組」の言
いなりにやったからこうなった！ 英語以外は切り捨ての「外国語教育」は× （薬師院仁志）
諸君！ 38-12 2006-12 pp.148-149 文芸春秋
- 2006523 特集；教育は再生するか 子供を強くする8つのアイデア 「ことば科」で感性を伸ば
そう （金田一秀穂） Voice 347 2006-11 pp.92-93 PHP 研究所

藤原正彦氏の国語論

2006年は、前年刊行された藤原正彦氏の『国家の品格』がベストセラーとなりました。『国家の品格』の中には、国語の大切さに触れている箇所があります。ベストセラーになった理由については、著者自身が以下のように分析しています。

- ・やはり社会に漂う閉塞感でしょう。(中略)国民も、何かおかしい、改革すなわち改善だとかだまされてきたのではないかと心の中では思っていた。しかしそれを言語化できずにいた。そんな時に私がはっきりと『おかしい』と言ったから、みなさんが共感したんじゃないでしょうか。(「<インタビュー> 著者・藤原正彦氏に聞く ベストセラー『国家の品格』への質問」藤原正彦；薬師寺克行/聞き手 論座 132 2006年5月)

総合雑誌では、たびたびこの藤原氏がインタビューを受けたり、対談に登場したりしました。著作の書評も各誌で見られました。特に、国語教育関連の記事が目立っており、読書が重要である、小学校においてまず重要なのは国語である、といった主張がなされています。

- ・教育しかないと思います。そして、初等教育で大事なの一にも二にも国語。三、四がなくて五に数学が来るぐらいです。小学校から英語やパソコンを教えるより、国語をしっかり教えることが大事なんです。今の若い人たちは、本や新聞を読まない。活字離れですね。でも、情緒や形や教養を育てるのは読書の力に負うところが大きい。(「<読書の時間 Book Lesson> 藤原正彦著『国家の品格』 藤原正彦；喜多由浩/聞き手正論 408 2006年3月) また、藤原氏関連の記事以外でも、タイトルに「品格」という語が散見されました。

他の資料では

| | |
|----|----------|
| 図書 | 藤原正彦氏の著作 |
| 新聞 | 出版・読書状況 |

関連文献情報

藤原正彦氏の国語論

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

2006005 <読書の時間 Book Lesson> 藤原正彦著『国家の品格』 (藤原正彦@喜多由浩/聞き手) 正論 408 2006-3 pp.356-359 産経新聞社

2006019 <インタビュー> 著者・藤原正彦氏に聞く ベストセラー『国家の品格』への質問 (藤原正彦@薬師寺克行/聞き手) 論座 132 2006-5 pp.28-37 朝日新聞社

2006139 連載；流行語辞典 ブックカフェ；国家の品格；デート DV；市民記者；待ち組；ポケモン遊園地 (亀井肇) 潮 567 2006-5 p.178 潮出版社

2006333 特集；次代に伝えたい日本語 テレビに品格を生む、話し方の基本 (鈴木健二) 中央公論 121-6 2006-6 pp.60-61 中央公論新社

2006351 テレビの品格を問う みのもんたから亀田兄弟まで (永六輔；黒柳徹子；久米宏) 文芸春秋 84-13 2006-10 pp.196-206 文芸春秋

2006355 特集；教育再建 <対談> 秀才殺しの教育はもうやめよ 学校に任せず、家庭で鍛え

ろ (藤原正彦; 桜井よしこ) 中央公論 121-1 2006-1 pp.40-49 中央公論新社

2006361 特集;日本の教育を糺す <対談> 起死回生のカギはエリート教育にあり 人間とケダモノの違いは本を読むか読まないかだ! (藤原正彦; 曾野綾子) 諸君! 38-5 2006-5 pp.130-141 文芸春秋

2006367 特集;国語再建 <対談> 「日本人の誇り」は国語教育から (藤原正彦; 斎藤孝) 文学界 60-7 2006-7 pp.106-120 文芸春秋

2006381 特集;教育の力を取り戻す <特別対談> 品格ある日本人を育てるには (阿川弘之; 藤原正彦) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.190-202 文芸春秋

2006513 <読まずにすませるベストセラー> 藤原正彦著『国家の品格』 論理以前の情緒で祖国と日本人を作り直せ! (紅林一馬) 新潮 45 25-2 2006-2 pp.181-182 新潮社

2006514 世にも楽しい 安野光雅・藤原正彦著『世にも美しい日本語入門』 (南伸坊) ちくま 419 2006-2 pp.10-11 筑摩書房

2006516 連載;ベストセラー温故知新 藤原正彦著『国家の品格』 (岡崎武志) 中央公論 121-4 2006-4 pp.354-355 中央公論新社

2006520 <Book Street 企業家の一冊> 藤原正彦著『国家の品格』 (鈴木英夫) Voice 344 2006-8 pp.180-181 PHP 研究所

インターネットと言葉

インターネットが登場した当初は情報を提供する側とされる側との間に明確な境界線が引かれていましたが、現在では、コンテンツ（情報内容）の制作などに利用者が積極的に関わることによってサービスを成立させる、というあり方へと変化しています。新しい Web のあり方は、「Web2.0」とも呼ばれ、このことばもよく目にするようになりました。

2006 年は「ブログ」に加え、「mixi」をはじめとする SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が流行し、多くの人々が情報の発信者となることが可能となりました。また、検索システムの発達や、電子図書館の構想など、インターネットは文章を読むという面でも言語生活に影響を与えているといえるでしょう。

しかし一方で、インターネットの問題点を指摘する記事も見られます。

柳田邦男氏は、ネット社会における情報の発信には、匿名化が可能であり、匿名化社会は、無責任の横行を認める社会でもある（「連載；日本人の教養(28) IT バブルと脳内汚染」柳田邦男 新潮 45 25-3 2006 年 3 月）とネットの匿名性の問題を提示し、赤瀬川原平氏は、パソコンによる情報伝達は、離れた場所への情報のコピーであり、著作権問題というのは、じつはパソコンの能力とは反りの合わないもので、法的にはいけないといわれながら、陰では著作物のコピーが当たり前におこなわれている（「連載；もったいない・・・(11) パクリの時代」赤瀬川原平 ちくま 418 2006 年 1 月）と著作権の問題を提示しています。

個人情報が出ていることに関する危険性や、インターネットの匿名性の生む暴走の恐れ、「コピー&ペースト」のような安易な情報収集の仕方などについて批判する意見が多く、今後、インターネット上の情報管理やモラル、秩序の維持をどう行っていくかなども注目されています。

他の資料では

| | |
|----|-----------|
| 図書 | 『ウィキペディア』 |
| 新聞 | 出版・読書状況 |

関連文献情報

インターネットと言葉

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

2006176 特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 ブログ (山本一郎) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.301-303 文芸春秋
2006235 連載；日本人の教養(26) 個人情報保護でこの世は暗黒へ (柳田邦男) 新潮 45 25-1 2006-1 pp.114-122 新潮社
2006236 Foreign Affairs インターネットの管理を誰に委ねるのか 自由放任か規制か (クキエル, ケネス・ニール) 論座 128 2006-1 pp.273-281 朝日新聞社

2006237 連載;都築響一の夜露死苦現代詩(13) アイ・シング・ザ・ボディ・エレクトリック あるいは箱の中の見えない詩人たち (都築響一) 新潮 103-1 2006-1 pp.400-404 新潮社

2006238 連載;もったいない...(11) パクリの時代 (赤瀬川原平) ちくま 418 2006-1 pp.34-37 筑摩書房

2006240 連載;未来の窓(107) 「エディタリ안의会」の発足 (西谷能英) 未来 473 2006-2 pp.42-43 未来社

2006241 連載;日本人の教養(28) ITバブルと脳内汚染 (柳田邦男) 新潮 45 25-3 2006-3 pp.250-258 新潮社

2006242 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(65) 調べることは調べられること (青山南) すばる 28-3 2006-3 pp.320-323 集英社

2006244 潮流 06 『ウェブ進化論』に疑問が二つ (東浩紀) 論座 132 2006-5 pp.26-27 朝日新聞社

2006245 特集;インターネットの新局面 ネットワーク化が生む「危機」と「創発」 (茂木健一郎) 論座 132 2006-5 pp.113-119 朝日新聞社

2006246 特集;インターネットの新局面 世界は検索し尽くされるのか (森健) 論座 132 2006-5 pp.120-127 朝日新聞社

2006247 <徹底討論> ウェブ進化と人間の変容 (梅田望夫;平野啓一郎) 新潮 103-6 2006-6 pp.154-168 新潮社

2006248 コミュニケーション形態の変化と世論の重層性を考える (池田謙一) UP 35-6 2006-6 pp.19-23 東京大学出版会

2006249 連載;麹町電網測候所 諸君! 38-7 2006-7 pp.332-337 文芸春秋

2006250 連載;コラム 10 の眼 経済 インターネットの中の隠者 (竹内靖雄) 新潮 45 25-7 2006-7 pp.198-199 新潮社

2006251 ITだけに頼るな (桜井正光) 文芸春秋 84-9 2006-7 pp.90-91 文芸春秋

2006252 <徹底討論> ウェブ進化と人間の変容(2) (梅田望夫;平野啓一郎) 新潮 103-7 2006-7 pp.200-213 新潮社

2006254 連載;ブログ・ハンティング Web2.0 (吉田操) 中央公論 121-8 2006-8 pp.308-309 中央公論新社

2006255 グーグルを倒すのは'75世代だ (梅田望夫@森健/聞き手) 文芸春秋 84-11 2006-8 pp.296-304 文芸春秋

2006257 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(69) 国境なき言葉たち (青山南) すばる 28-8 2006-8 pp.320-323 集英社

2006258 <学術出版> グーグルブックサーチ UP 35-8 2006-8 p.61 東京大学出版会

2006259 「古代チベット語文献オンライン」プロジェクト (今枝由郎) 図書 688 2006-8 pp.22-27 岩波書店

2006262 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(70) 全世界図書館への接近 (青山南) すばる 28-9 2006-9 pp.448-451 集英社

2006263 <Ushio News Index> Web2.0 でネットはどう進化する。 (小沢一樹) 潮 572 2006-10 pp.60-61 潮出版社

- 2006264 <ボイス往来> インターネットは負の存在か (木村晴美) Voice 346 2006-10 p.258 PHP 研究所
- 2006266 連載;日本人の教養(36) 名を隠す日本人 お前は何者か? (柳田邦男) 新潮 45 25-11 2006-11 pp.246-254 新潮社
- 2006267 連載;ブログ時評 on SEKAI ネット言論はいま 「オーマイニュース 日本版」が直面する危機 (団藤保晴) 世界 758 2006-11 pp.162-163 岩波書店
- 2006269 ミクシィ 時価総額二千億円の罫 (佐々木俊尚) 文芸春秋 84-16 2006-11 pp.278-285 文芸春秋
- 2006272 インターネット制覇をもくろむ中国の野望 誰も書かないレッドチャイナの禁忌 (佐々木俊尚) 諸君! 38-12 2006-12 pp.182-189 文芸春秋
- 2006274 <対談> 現代科学を“身体性”と“クオリア”で乗り越える グーグルVS.古武術&最新脳科学 (甲野善紀;茂木健一郎) 中央公論 121-12 2006-12 pp.202-212 中央公論新社
- 2006277 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(72・最終回) ネットからは逃げられないが (青山南) すばる 28-12 2006-12 pp.318-321 集英社
- 2006454 連載;韓流 出版事情(7) “デジログ”時代には情報の“味”が大切だ (韓淇皓) 論座 131 2006-4 pp.234-239 朝日新聞社
- 2006549 <読まずにすませるベストセラー> 佐々木俊尚著『グーグル Google』 中小企業経営者向けのネット新時代の案内書 (紀田伊輔) 新潮 45 25-8 2006-8 pp.160-161 新潮社
- 2006556 <Monthly Book Review> 梅田望夫著『ウェブ進化論』 IT革命の第二幕を伝える「架け橋」 (吉崎達彦) 中央公論 121-5 2006-5 pp.281-282 中央公論新社
- 2006557 <読書空間 Book Review> 梅田望夫著『ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる』 (山本一郎) 論座 132 2006-5 p.307 朝日新聞社
- 2006558 『ウェブ進化論』のさきにあるもの 梅田望夫著『ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる』 (東浩紀) ちくま 423 2006-6 pp.4-5 筑摩書房
- 2006559 <読書空間 Book Review> 佐々木俊尚著『グーグル Google 既存のビジネスを破壊する』 (森健) 論座 134 2006-7 p.323 朝日新聞社
- 2006561 <読書空間 Book Review> 森健著『グーグル・アマゾン化する社会』 (西垣通) 論座 139 2006-12 p.316 朝日新聞社

テレビと言葉

メディアとしてのインターネットについて、盛んに論じられるようになった近年は、インターネットの利用でテレビの視聴時間が減っているとも言われていますが、依然として人々はテレビにも高い関心を持ち続けているようです。

2006年の総合雑誌記事に、テレビでの言葉遣いに対する批判が見られました。

元アナウンサーの鈴木健二氏は、「この花です」と言うべきところを「この花なんです」と言うこと、アナウンサーが一人称に「わたくし」を使わないことを品格がない（「特集；次代に伝えたい日本語 テレビに品格を生む、話し方の基本」鈴木健二 中央公論 121-6 2006年6月）と評しています。

『正論』4月号では、「乱れた日本語」というテーマでの投稿を掲載していますが、この中にもテレビでの言葉遣いに対して問題提起する投稿が二件ありました。

その内容は、「言葉は時代とともに変わる」という人もいるが、「言葉の乱れ」にはマスコミの責任もあるのではないかと。よく「最近の若者は××のような言葉を使う」などの報道をするが、そのような言葉は無視して報道しないか、誤りを指摘する立場の報道をすべきだろう（「＜言ったもん勝ち＞「乱れた日本語」 プロのアナウンサーでさえ」鈴木晃 正論 409 2006年4月）、一般に与える影響の大きいマスコミ関係者や芸能人の、基本的な国語の再教育を望みたい（「＜言ったもん勝ち＞「乱れた日本語」 「方」の大安売り 後閑暢夫 正論 409 2006年4月）というものです。

また、『世界』では、短期集中連載「テレビ国家」が掲載されました。連載の第三回では、政治の言葉のテレビ化についても書かれており、政治家たちがカメラを意識的に計算した発話を身につけ、政治の言葉がテレビ・コマーシャルのような言語と化していく傾向は、論理的な説得や抽象的な理念の議論を避ける傾向につながり、政治ロゴスの基盤を掘り崩す直接の原因になっていく（「連載；テレビ国家(3) 政治の変容について」石田英敬 世界 756 2006年9月）と述べられています。

インターネットが普及した現在でも、テレビというメディアには、人々は高い関心を持ち、また、テレビで使われている言葉に規範性を求める意見にも根強いものがあります。テレビが日本人の言語生活に影響を与え続けている様子がうかがえ、テレビというメディアと言語生活との関係は、今後とも注目されます。

関連文献情報

テレビと言葉

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

-
- 2006290 連載；テレビ国家(1) 権力のメディア的変容について (石田英敬) 世界 753
2006-6 pp.49-57 岩波書店
- 2006291 連載；テレビ国家(2) 公共空間の変容について (石田英敬) 世界 754 2006-7
pp.138-146 岩波書店
- 2006295 連載；テレビ国家(4) 内面化されるネオリベラリズム (石田英敬) 世界 757
2006-10 pp.104-112 岩波書店
- 2006333 特集；次代に伝えたい日本語 テレビに品格を生む，話し方の基本 (鈴木健二) 中
央公論 121-6 2006-6 pp.60-61 中央公論新社
- 2006348 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」 「方」の大安売り (後閑暢夫) 正論 409
2006-4 pp.352-353 産経新聞社
- 2006349 「言葉のチカラ」と新聞，そしてテレビ (佐柄木俊郎) 世界 754 2006-7
pp.147-155 岩波書店
- 2006350 連載；テレビ国家(3) 政治の変容について (石田英敬) 世界 756 2006-9
pp.41-49 岩波書店
- 2006351 テレビの品格を問う みのもんだから亀田兄弟まで (永六輔；黒柳徹子；久米宏) 文
芸春秋 84-13 2006-10 pp.196-206 文芸春秋
- 2006352 だからラジオは面白い (清水克彦) 新潮 45 25-4 2006-4 pp.130-136 新潮社
- 2006353 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」 プロのアナウンサーでさえ (鈴木晃) 正論
409 2006-4 pp.351-352 産経新聞社
- 2006380 特集；教育の力を取り戻す 素読とテレビ電話と (加地伸行) 文芸春秋 特別版/
臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.184-189 文芸春秋
- 2006488 連載；コラム 10 の眼 テレビ 発情するか，外国語講座 (岩切徹) 新潮 45 25-6
2006-6 pp.208-209 新潮社

「方言ブーム」の行方

2005年には各メディアが、東京とその近辺の女子高生・女子大生を中心とした若い世代の間で、全国各地の方言を会話やメールに織り込むことが流行するという「方言ブーム」が起こっていると伝えました。

総合雑誌では、2005年にはこの「方言ブーム」に関する記事は見られませんでした。2006年にはこのことに触れている記事がありました。

「特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 方言ブーム」の中で、金田一秀穂氏は、この方言ブームがいつまで続くものなのかと疑問を呈し、方言はいずれなくなるだろうと予測されており、「方言ブーム」はその流れに対しての単なる停滞なのだろう、という見解を示しています。

一方で、「方言はいずれなくなるだろう」との予測には異論も強く、方言の活力を示す例として、若い世代に向けて使用者が多くなりつつある非共通語形で、使用者自身も方言扱いしているという「新方言」も、各地で報告されています（飛田良文ほか編『日本語学研究事典』（2007年、明治書院）の「新方言」の項（井上史雄執筆）参照）。

この若い世代の「方言ブーム」に関する記事は、2006年下半期には見られなくなりました。しかし、かつては方言というものを蔑視するような風潮がありましたが、近年では例えば、生活に根ざしたあたたかみのある貴重な言葉などとして評価され、人々の関心を集めるようになってきています。

他の資料では 図書 「方言ブーム」と方言関係の図書

関連文献情報

「方言ブーム」の行方

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所

2006174 特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 方言ブーム (金田一秀穂)
文芸春秋 84-4 2006-3 pp.295-296 文芸春秋
2006226 <対談> 方言ブームは日本人を温める (斎藤孝;金田一秀穂) Voice 342 2006-6
pp.164-173 PHP 研究所

日本語に関する特集

2006年の総合雑誌の中には、日本語に関する記事を掲載する特集が44タイトルありました。

国語教育に関する特集と、言語に関する特集が特に多くなっています。他にも、コミュニケーション、日本語一般、語彙、辞書、ことばと機械、詩歌などに関する記事が掲載されている特集が、複数ありました。

以下に、特集のテーマ(内容例)・・・主な特集名 の順で紹介します。

国語教育について(学力の向上や低下、国語教育の重要性 など)

・・・揺れる小学校国語教育(中央公論 121-10, 2006年10月), 日本の教育を糺す, 「教育再生」やるなら, この手しかない(諸君! 38-12, 2006年12月), 教育は再生するか (Voice347, 2006年11月)

言語について(言語学, 世界の言語の問題 など)

・・・脳とことば(潮 570, 2006年8月), 日台作家キャラバン(すばる 28-4, 2006年4月), 昔話の再発見(my b9, 2006年5月), 言語のリストラ 滅びゆくことばの行方(my b8, 2006年3月)

コミュニケーションについて(対話・家庭内コミュニケーション など)

・・・「対話」のすすめ(潮 565, 2006年3月), 「親力」がわが子の能力を決める(中央公論 121-9, 2006年9月), 心にのこる「出会い」(潮 574, 2006年12月)

日本語一般について(日本語の美しさ, 乱れ など)

・・・豊かな日本語表現(本の窓 29-9, 2006年11月), 次代に伝えたい日本語(中央公論 121-6, 2006年6月), 気になる日本語(潮 586, 2006年4月)

語彙について(人名, 時事用語 など)

・・・エッセー特集 君の名は(正論 408, 2006年3月), 現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44(文芸春秋 84-4, 2006年3月)

辞書について(辞書にまつわるエピソード など)

・・・辞書は愛しい(本の窓 29-1, 2006年1月), 国語辞典を作る楽しさ(国語教室 84, 2006年11月)

ことばと機械について(メディアとしてのインターネット など)

・・・インターネットの新局面(論座 132, 2006年5月), 「子どもの安全」を考える(論座 135, 2006年8月)

詩歌について（俳句，短歌 など）

・・・短詩形文学の試み 切れと近代（すばる 28-10，2006年10月），現代短歌の主題（my b7，2006年7月）

新聞記事の動向

新聞は広く一般に読まれている媒体であり、そこには、事実の伝達、解説、投書など多様な記事が掲載されていて、その時々々の社会の状況や動きの一端が反映されています。

国立国語研究所で作成している「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」を基に、2006年の日本語をめぐる状況を、目立った動きや変化があった話題を中心に、見ていくことにします。

なお、ここで紹介した新聞記事は、それぞれの話題に関する記事を網羅しているわけではなく、主なものだけをあげています。各話題についての各新聞社の報道全体を過不足なく反映するものではないことに御留意ください。

近年、小学校からの英語教育に関する話題が目立っていましたが、2006年3月には、中央教育審議会外国語専門部会で、小学5年生から週1時間程度を必修化する必要があるとの提言がまとめられました。また、大学入試センター試験では、「外国語」科目の英語に初めてリスニングが導入されました。

トピック「英語教育をめぐる状況」

近年、国際的な学力調査などでも、学力低下、特に読解力の低下を示す結果が出たことを受けて、教育の見直し、「ゆとり」教育の転換が議論されてきましたが、2006年2月には、中央教育審議会が報告書案をまとめ、授業時数を増やし、すべての教科の基本に「言葉の力」を据えるよう提言しました。

10月、安倍内閣(当時)において「教育再生会議」が設置されましたが、11月には、中学・高校で、受験にかかわりの少ない科目の「必修漏れ」が次々と発覚し、国語科では、毛筆や書写の未履修が明らかになりました。また、同じころ、小中学生の(言葉による)いじめを苦しめた自殺が相次ぎ、文科相あてに予告が届いたこともあり、社会の関心を集め、携帯電話やインターネットの利用の影響などが指摘されました。

トピック「教育の見直しと「言葉の力」への注目」

2006年の出版・読書状況を見てみると、藤原正彦著『国家の品格』(新潮新書、2005年11月刊)や、『えんぴつで奥の細道』(書・大迫閑歩、監修・伊藤洋、ポプラ社、2006年1月刊)をはじめとする「なぞり書き本」が相次いで刊行されベストセラーになりました。

また、近年の「日本語ブーム」や「脳トレ」ブームを受け、『脳を鍛える大人の書写ドリル』(川島隆太著、くもん出版)や、「日本語を鍛えよう」とうたったゲームやパソコンソフトが発売されました。

ブロードバンドや無線LANなどの普及、携帯電話の機能向上により、電子書籍の市場は大きく成長し、中でも携帯電話で閲覧・執筆する「ケータイ小説」は急成長し、本の形で出

版されベストセラーとなるものもありました。

読書推進運動は、2005年7月の「文字・活字文化振興法」成立を受け、2006年10月、読書環境を整備するための国の施策を具体化するために文字・活字文化推進機構設立準備会が発足し、11月25日には同会がシンポジウム「言葉の力と日本の未来」を開催しました。

トピック「出版・読書状況」

日本語教育をめぐる状況はといえば、6月に発表された文部科学省の調査結果により、日本語の指導が必要な外国人児童生徒の数は、2005年9月1日時点で2万692人と、2001年度の調査開始以来初めて2万人を超えたことが分かりました。教育環境は十分なものとは言えず、「不就学」が深刻な問題となっており、企業や自治体の中には、基金を設けたり、通訳サポーターを活用するなど、独自の教育支援に取り組むところもあります。

また、4月の経済財政諮問会議で、当時の小泉首相と安倍官房長官が、外国人の生活環境整備の必要性を指摘し、「生活者としての外国人」について検討が進められました。

トピック「日本語教育をめぐる状況」

国際放送では、CNN、BBCなど米英メディアの独占状態が続いていますが、フランスが国際ニュース放送局「FRANCE 24」を開局し、90か国で放送を開始したり、衛星テレビ局アルジャジーラが世界に向け英語放送を開始するなど、新しい動きもありました。

日本は、国際放送では遅れをとっていましたが、2月、小泉首相（当時）が、「NHKで外国人向け放送を」と国際放送強化の方針を示したことを受けて、2007年度から、米国などの地元ケーブルテレビ局と契約し、ニュース等の海外配信を強化することとなりました。

活字メディアの代表格とも言える新聞についても大きな動きがありました。経営基盤にかかわる「特殊指定」について、公正取引委員会が廃止の方針を発表しましたが、新聞社をはじめ、識者、議員らからも大きな反対運動が起こり、新聞の特殊指定は当面維持されることとなりました。また、市民が記者として参加する韓国最大のインターネット新聞「オーマイニュース」が日本に進出し、8月、「オーマイニュース日本版」が創刊されました。

トピック「マスメディア」

敬語は、新聞にしばしば取り上げられる話題であり、人々が高い関心を寄せていることがうかがわれます。文化庁が7月に結果を発表した「国語に関する世論調査」は、敬語に関する意識を中心に調べていますが、社会生活を送るうえで敬語は「必要だから使いたい」「使わざるを得ない」という人が9割を超える一方で、「敬語が難しい」と感じている人が6割を超え、敬語の使用については悩みも多いようです。

文化審議会では、敬語に関する指針作りについて検討を行ってききましたが、2006年10月、現在は一般に尊敬・謙譲・丁寧の三つに分類されている敬語を、五つに分類する「敬語の指針（報告案）」をまとめました。文化庁が一般から募集した意見、及び社説や識者の意見記事の中でも、「理解の助けになる」という意見と、「かえって分かりにくい」「混乱の元」といった意見とがあり、議論が高まりました。新聞では、三種類が五種類にというところが特に注

目されましたが、この答申は、「報告案の性格」にも述べられているように、「敬語使用の「よりどころ」の基盤、すなわち、〈よりどころのよりどころ〉として、敬語の基本的な考え方や具体的な使い方を示」したものとと言えます。

トピック「敬語」

2006年の世相を表す言葉を見てみると、「流行語大賞」には「イナバウアー」と「品格」が、そして「今年の漢字」には「命」が選ばれました。また、2006年に生まれた子どもの名前は、男子は「陸」、女子は「陽菜」がトップでした。

トピック「世相を表す言葉」

(1) 小学校での英語必修化の提言

文部科学省では、2003年3月に『『英語が使える日本人』の育成のための行動計画』を策定するとともに、毎年、調査を実施しています。調査結果によると、全国の公立小学校で英語活動を行っている学校の割合は、2003年度の88%から、2004年度は92%、そして2005年度の93%へと着実に増えています（いずれも各年度末の3月に発表）。

さて、近年、小学校からの英語教育に関する話題が注目を集め、2004年からは本格的な検討が始まりました。そして、2006年3月には、中央教育審議会外国語専門部会で、小学5年生から週1時間程度を必修化し、2010年度にも導入するとの提言がまとめられました。

小学英語必修化については、「親は高い関心を持ち賛成が多い」と伝える記事があるものの、調査によって賛否の割合はやや異なっています。

「教育」本社世論調査 学力低下根強い危機感 英語必修化 小学生の親高い関心 賛成67% 反対の80%日本語が先（5月28日付読売）

テーマ：小学生の英語 3500人が答えました 英語は小学校から必修にすべきだと思いますか？ 必修化に反対が多数派（5月13日付朝日「Readers be between」欄）

小学英語 積極派54%、消極派40% 文科省調査（8月30日付朝日夕刊）

「児童の英語は国語にも良い影響」（6月25日付毎日「みんなの広場」欄）のような賛成意見も見られますが、「まずは国語」といった意見や、教員の質や指導力・教材など態勢不十分な点も含め、全体としては、反対や疑問の意を表す記事が多い傾向にあります。

注目を集めたこの話題も、2007年8月、中央教育審議会の小学校、教育課程の両部会で、小学校での英語必修化の方針を大筋で了承したことで、いよいよ本決まりとなりました。

(2) センター試験の英語にリスニング導入

1月の大学入試センター試験では、英語のリスニング試験が初めて実施されました。各地でICプレーヤーの不具合などが発生し、450人を超す受験生が再試験を受ける事態となりました。このため、機器の質の向上と試験の公平性の確保、トラブルへの対応態勢の整備などが今後の課題とされました。

このような課題はあるものの、「リスニング導入 英語教師質向上の契機に」（1月30日付読売、「論点」欄 井上貞明氏）といった意見や、英語の実践的教育の流れを止めることのないようにといった意見に見られるように、「使える英語」を身につけることの重要性が意識されています。

(3)大学の英語教育やさまざまな英語学習の機会

大学でも「使える英語」を掲げて、TOEICやTOEFLを単位認定に利用するなどして、英語教育に力を入れるところがありますが、基準点に達しない学生が多いなど、成果に結び付けるのは容易ではない面もあるようです。

一般的にも英語の学習・教育についての関心は高く、携帯電話で英語を学習するサイトの開設やゲーム開発など、さまざまな学習の機会が提供されました。また、語学番組では料理家の栗原はるみさんを起用し、趣味を通じて英会話の上達を目指す「ホビングリッシュ」講座が人気を集めるなど、「遊びながら」「楽しみながら」英語を学ぶ機会が増えているようです。

他の資料では 雑誌 早期英語教育について

関連文献情報

英語教育をめぐる状況

文献番号 記事タイトル [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200601140 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 小学英語 一辺倒な世界観をただせ (笹田巖) 朝日 朝刊 2006-1-14 p.12
200601290 総合 スキャナー ICプレーヤー50万台 故障絶対しない? センター試験初の英語リスニング 予備校側「トラブル心配」 センター「準備は万全」 読売 朝刊 2006-1-15 p.3
200601670 2006 チャンネルYou 知りたい! 故障は大丈夫? センター試験初の英語リスニング ICプレーヤーで実施 毎日 夕刊 2006-1-18 p.1
200601990 ライバルは騒音 大学、対策あの手この手 初のリスニング試験 続く実学志向 経済・教育に人気 朝日 夕刊 2006-1-21 p.14
200602080 社会 センター試験リスニング不具合 耳に「ザー」 受験生動揺 「音漏れ・騒音あった」 公平性確保へ見直し必要 朝日 朝刊 2006-1-22 p.39
200602110 とうきょう 千代田区の中高一貫校 区外応募が10倍超す 独自の英語教育など評価か [九段中等教育学校] 毎日 朝刊 2006-1-22 p.29
200602120 センター試験 リスニング機器不良続出 受験生「ショック」 毎日 朝刊 2006-1-22 p.31
200602130 リスニング425人再テスト センター試験 機器の故障など 読売 朝刊 2006-1-22 p.1
200602180 総合 社説 センター試験 新機軸はいいけれど [英語のリスニングテスト] 朝日 朝刊 2006-1-23 p.3

200602220 第2社会 リスニング 不具合「1100人に1人」 予備校の模試より高率〔大学入試センター試験〕 朝日 朝刊 2006-1-23 p.38

200602260 リスニング不具合461人 センター側「想定内」 「機器不良ゼロ」一転 9人が28日再試験 毎日 朝刊 2006-1-23 p.31

200602280 社会 機器不調の5人「放置」 センター試験リスニング 訴え通らず 別問題で再試へ 人的ミス明らか 読売 朝刊 2006-1-23 p.38

200602490 オピニオン 声 リスニングの試験まだ尚早〔センター試験〕 朝日 朝刊 2006-1-26 p.14

200602610 公立小で英語授業 自治体判断で正式科目に 2008年度から 読売 夕刊 2006-1-26 p.1

200602670 投書 気流 英語リスニング入試にも必要? 読売 朝刊 2006-1-27 p.12

200602800 KODOMO 知る ニュースウィークリー 大学入試センター試験 英語リスニングで混乱 読売 夕刊 2006-1-28 p.16

200602980 解説 論点 リスニング導入 英語教師質向上の契機に〔大学入試センター試験〕(井上貞明) 読売 朝刊 2006-1-30 p.9

200603010 教育 教育ルネサンス 月曜版 センター試験リスニング 「易しかった」が大勢でも... 「問題、途中で急に長く」「隣の音漏れ、気になる」 読売 朝刊 2006-1-30 p.29

200603540 オピニオン 声 リスニングは公平な方法で〔大学入試センター試験の英語〕 朝日 朝刊 2006-2-6 p.10

200604500 政治 公立小学校で英語授業 「教育の弾力化」全国展開 特区推進本部決定 読売 朝刊 2006-2-16 p.4

200605630 小学英語 イエスかノーか 教研集会で効果を論議 読売 夕刊 2006-2-27 p.22

200606420 オピニオン 大学 全入時代、薄れる理念 転換期のセンター試験 「序列化から到達度判断へ難度そろえデータ活用を」 天野郁夫・国立大学財務・経営センター研究部長〔センター試験でリスニングテストを行うことに疑問〕 朝日 朝刊 2006-3-6 p.8

200606780 とれんど 小学生の英語に賛否 読売 夕刊 2006-3-8 p.2

200606920 暮らしWORLD からだ百科 早期教育は有効か 対話しながら長所を探して学習に締め切り? 「英語耳」つくるには 脳の潜在力 毎日 夕刊 2006-3-9 p.4

200606980 とうきょうワイド 中高一貫校 外国語やキャリア教育特色に 08年度開校2校 検討委が報告書 立川、武蔵野地区で計280人 毎日 朝刊 2006-3-10 p.26

200607720 社会 全国の公立小学校 93%で英語教育 文科省調査 1年生から75%/6割超で外国人ら指導助手 読売 朝刊 2006-3-17 p.37

200608110 公立小、93%が「英語活動」 文科省調査 朝日 夕刊 2006-3-20 p.3

200608720 あなたに問いたいことがある 日本のスイッチ 第172回 結果発表 公立小の93%が英語教育をしているとの調査結果 いいことだ62% 必要性に疑問38% 毎日 朝刊 2006-3-27 p.30

200608780 総合 「小学生も英語必修」 中教審部会 5年から週1時間 導入に異論の委員も 朝日 朝刊 2006-3-28 p.3

200608810 小学校で英語必修 中教審提言 2年後にも 高学年で週1回 毎日 朝刊

2006-3-28 p.1
200608890 社会 英語 小5から必修化へ 親、財界は歓迎 専門家「まずは国語」 読売 朝刊 2006-3-28 p.38
200608970 総合 社説 小学校の英語 必修化して「国語力」は大丈夫か 読売 朝刊 2006-3-29 p.3
200610210 とうきょうワイド 石原知事 「新しい発想を培うのは国語力」 英語必修化を再批判 毎日 朝刊 2006-4-8 p.22
200610230 投書 気流 小学校の英語必修化 本場の発音聴き正しい英語学べ 読売 朝刊 2006-4-8 p.12
200610240 投書 気流 小学校の英語必修化 質低い中学授業まず改善すべき 読売 朝刊 2006-4-8 p.12
200610250 投書 気流 小学校の英語必修化 まず日本語学び「読み書き」磨け 読売 朝刊 2006-4-8 p.12
200610280 地域 都民版 「英語より国語の教育」 知事 小学校からの必修批判 読売 朝刊 2006-4-8 p.35
200611050 2006 チャンネルYou 知りたい 小学校の英語必修化 先生募る不安 発音に自信ない 親からプレッシャー 質と量の差是正を狙い 中教審 毎日 夕刊 2006-4-15 p.1
200611060 週刊KODOMO新聞 ニュースウイークリー 小5から英語を必修に? 「国際人へ」早く親しむ 保護者は高い関心 韓国などでは定着 学者に反対の声 時間確保など問題 読売 夕刊 2006-4-15 p.5
200611400 いきいき生活 石田衣良の白黒つけます!! 小学生に英語教育は必要? 不必要? ゼロサムじゃないよ (石田衣良) 毎日 朝刊 2006-4-18 p.15
200611480 経済 ゲーセン留学 コナミとNOVA、ゲーム開発 難易度いろいろ 遊びながら英語力 朝日 朝刊 2006-4-19 p.11
200612000 時代の風 国際会議の公用語 アジアでも現実的課題 [英語の位置付け 小学校での英語教育についても] (青木保) 毎日 朝刊 2006-4-23 p.2
200612070 オピニオン きょうの論点 小学校から英語を必修? 国際教養大学長 中嶋嶺雄 (なかじまみねお)さん 地球市民の発信力育成を 立教大教授(英語教育、通訳翻訳論) 鳥飼玖美子(とりかいくみこ)さん 日本語で考える教育こそ 朝日 朝刊 2006-4-24 p.9
200612870 投書 気流 4月の投書 英語や「公立塾」 教育の質に関心 読売 朝刊 2006-5-1 p.8
200612880 投書 気流 小学校英語より中高を見直して 読売 朝刊 2006-5-1 p.8
200612920 解説 論陣論客 小学校の英語必修化 国家戦略と位置づけて 中学以降の支援充実を (中嶋嶺雄; 大津由紀雄) 読売 朝刊 2006-5-2 p.13
200613480 オピニオン 声 英語と国語の教育の連携を 朝日 朝刊 2006-5-9 p.12
200613670 英語教育実態は? 同じ? 違う? 世界と日本 英 外国語オンチ 政府は苦慮 米安全保障のため促進 外国語教育 中 3億人が学習 仏 大学・高校の9割学ぶ 露 語学力も「カネ次第」 イラン アラビア語不人気? 日本 公立小94%英語教育 必修化提言も 毎

日 朝刊 2006-5-11 p.8
200613880 [be-b] Readers be between テーマ:小学生の英語 3
500人が答えました 英語は小学校から必修にすべきだと思いますか? 必修化に反対が多数
派 朝日 朝刊 2006-5-13 p.7
200614020 闘論 小学校の英語必修化 国際教養大学長 中嶋嶺雄氏 英語教育は国家戦略
グローバル化遅れる お茶の水女子大教授 藤原正彦氏 優先順位はずっと下 「英語で国際人」
うそ 毎日 朝刊 2006-5-15 p.3
200614300 諮問会議が新戦略 フリーター2割減/TOEIC700点倍増 毎日 朝刊
2006-5-19 p.2
200615250 「教育」本社世論調査 学力低下根強い危機感 英語必修化 小学生の親高い関心
賛成67% 反対の80%日本語が先 読売 朝刊 2006-5-28 p.21
200615540 生活 生活 趣味で上達 英会話 「ホビングリッシュ」講座が人気 「楽しまない
と続かない」 台本なしでもてなし英語 教育番組 「ジスイズペン」より「アクすくう」 料
理家栗原さん [NHK教育「3か月トピック英会話」] 朝日 朝刊 2006-6-1 p.24
200616350 総合 発見「英語脳スイッチ」 京大など報告 バイリンガルの大脳奥でON 朝日
朝刊 2006-6-9 p.3
200616500 教育 Re: 「小学校英語の必修化に疑問」 日本語力への影響めぐり賛否 朝日
朝刊 2006-6-11 p.33
200617660 オピニオン みんなの広場 児童の英語は国語にも良い影響 毎日 朝刊
2006-6-25 p.5
200617920 くらし 教育 くらし 学び 小学校の英語活動支援5地域決まる 文科省 読売
朝刊 2006-6-28 p.16
200618280 教育 Re: 「小学校英語の必修化に疑問」に反響 「最低週2回」「教員に不安」
〔6月11日付記事に対して〕 朝日 朝刊 2006-7-2 p.32
200618790 文化 本よみうり堂 文庫新書 『危うし!小学校英語』 鳥飼玖美子著 文春新書
読売 朝刊 2006-7-9 p.15
200618940 オピニオンワイド みんなの広場 失敗必至 児童への英語教育 毎日 朝刊
2006-7-12 p.4
200618970 くらし 教育 くらし 学び 国立大「使える英語」 TOEIC、TOEFLで単
位認定 読売 朝刊 2006-7-12 p.19
200619720 くらし 教育 くらし 学び 教育ルネサンス No.370 小中一貫9 英語力
強化へ教材工夫 読売 朝刊 2006-7-21 p.12
200620410 オピニオンワイド みんなの広場 児童英語導入の考え自体お粗末 毎日 朝刊
2006-7-27 p.7
200621180 経済 ケータイで英語学習 NTT子会社とTBSがサイト [「キャットチャット
ABC」] 読売 朝刊 2006-8-5 p.8
200621320 新教育の森 英語力UP 先生から 小学校必修化 沖縄・名護市 「08年想定い
ち早く」 「英検レベル一つ上げよう」 パソコンで集中学習 毎日 朝刊 2006-8-7 p.23
200622910 総合 小学校英語、充実へ予算 来年度38億円 文科省が要求 教材費や人材増員

朝日 朝刊 2006-8-29 p.2

200623090 小学英語 積極派 54%、消極派 40% 文科省調査 朝日 夕刊 2006-8-30 p.14

200625670 第2社会 「小学校英語必修は不要」 伊吹文科相〔最低限の日本語の能力が身につけていない現状〕 朝日 朝刊 2006-9-28 p.38

200625680 小学英語「必修化は不要」 伊吹文科相〔日本語など最低限の素養や学力をつけさせるのが先決〕 毎日 朝刊 2006-9-28 p.2

200625700 政治 小学校の英語必修 文科相が慎重姿勢 「国語しっかりと」 読売 朝刊 2006-9-28 p.4

200625830 小学校の英語必修化 お菓子にたとえ 文科相が再否定〔国語などの基礎教科の重要性訴える〕 朝日 夕刊 2006-9-29 p.22

200625960 週刊KODOMO新聞 ジュニアプレス どうしてる？ 短期留学 高校生年3万5000人豪や米へ 読売 夕刊 2006-9-30 p.14

200625970 オピニオン 声 英語必修よりも日本語力 朝日 朝刊 2006-10-1 p.8

200626520 暮らし 教育 暮らし 学び 考 小学校の英語必修化 何のため学ぶ？もう一度原点に 読売 朝刊 2006-10-7 p.14

200626850 オピニオン 声 今の英語教育まず見直して〔小学校の英語教育義務化よりも〕 朝日 朝刊 2006-10-12 p.14

200630410 教育 小学校英語 教員の大半「態勢不十分」 民間調査 教材・指導力 特に課題〔ベネッセコーポレーション調査〕 朝日 朝刊 2006-11-19 p.31

200630560 新教育の森 特区で小中一貫英語教育 熊本県富合町 楽しくゆったり 少人数、ゲーム交え学力も向上 毎日 朝刊 2006-11-20 p.21

200632000 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 小学英語 九九のように基礎体得を（フォスター敬子） 朝日 朝刊 2006-12-2 p.14

200632970 横浜市立大・国際総合科学部 2年生半数、留年の危機 英語充実への必修化 TOEFL 500点に届かず 朝日 夕刊 2006-12-8 p.14

200634710 スピーキングなど回答はパソコンで TOEIC、来年から 毎日 朝刊 2006-12-25 p.22

(1) すべての教科の基本に「言葉の力」を

近年、国際的な学力調査などでも、学力低下、特に読解力の低下を示す結果が出たことを受けて、教育の見直し、「ゆとり」教育の転換が議論されてきました。2006年2月には、中央教育審議会が報告書案をまとめ、授業時数を増やし、すべての教科の基本に「言葉の力」を据えるよう提言しました。その中では、古典の音読・暗記や要約する力を促進すること、国語力の育成と関連づけた論理的思考力や表現力を身に付けることの重要性が強調されました。

読売新聞「くらし 学び 教育ルネサンス」欄では「深める伝え合う力」と題して連載が組まれ(2月)、「表現力磨く“ことば科”」「“群読”でつく基礎体力」「全校で“表現力”系統立て“話すこと・聞くこと”を学ぶ時間」「“日本語力”特区を活用」「聞き書きで学ぶ会話術」など、全国の小中学校の取り組みが紹介されました。

(2)「教育再生会議」

10月、安倍内閣(当時)において「教育再生会議」が閣議決定の後、設置されました。10月14日付読売新聞には「対話力育てたい」という見出しで座長の野依良治氏の抱負が掲載され、一連の審議の中では、国語力の強化、授業時数の増加なども検討されました。

(3)「必修漏れ」と基礎学力

教育再生会議が設置されて間もない11月、中学・高校では、受験にかかわりの少ない科目の「必修漏れ」が次々と発覚し、国語科では、毛筆や書写の未履修が明らかになりました。

また、大学では「語彙力不足で論文が読めない」「英検3級が取れない」など、学生の基礎学力不足が深刻な問題となっており、「中高レベル」指導に力を入れたり、補習を行っている大学もあります。

さて、2007年8月、中央教育審議会小学校部会では、授業時数の増加などを柱とした素案がまとめられ、国語、算数などを増やし、英語活動を新設する一方で、「ゆとり教育」の象徴だった「総合的な学習の時間(総合学習)」は減らすことが提言されました。

(4)(言葉による)いじめと「対人力」

11月には小中学生のいじめを苦にした自殺が相次ぎ、文科相あてに予告が届いたこともあり、社会の関心を集めました。携帯電話やインターネットの利用により、「軽い感覚」で匿名

で大量に悪口や中傷が書き込まれたりするというように、いじめが陰湿化していることなどが指摘されました。

読売新聞「くらし 学び 教育ルネサンス」欄では、11月、「命」を学ぶ」というテーマを掲げ、「心遣い言葉遣いから」「ネット相談 心の闇に光」「読者の声 「あったか言葉」探したい」など、子どもを取り巻く状況や対応を取り上げました。

学校では対話ゲームや話し合いなどが行われ、また、電話では話しにくい子どもたちのために「いのちのメール」が設置されました（2007年には「24時間いじめ相談ダイヤル」も設置されました）。

なお、コミュニケーション能力は、社会人の基礎力としても重視されています。経済産業省が「発信力」「傾聴力」などを「社会人基礎力」として定義したり、読売新聞「くらし 家庭」欄（4月）では、「対人力を磨く」というテーマで、大学や会社でのコミュニケーションのあり方、改善策などを紹介しました。

他の資料では 雑誌 学力の低下と教育再生会議

関連文献情報

教育の見直しと「言葉の力」への注目

文献番号 記事タイトル 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200603810 次期学習指導要領 「言葉の力」を柱に 「ゆとり」転換 思考力を育成 全面改訂へ文科省原案 〔古典の音読・暗記や要約力の促進(国語)など 国語力の育成と関連づけた論理的思考力や表現力の重要性を強調〕 朝日 朝刊 2006-2-9 p.1

200603840 第2社会 論理力強化どう道筋 次期学習指導要領 〔基本的な考え方に「言葉の力」据える〕 朝日 朝刊 2006-2-9 p.38

200603850 「国数理」小中で授業増 学力低下食い止め 中教審部会報告案 〔国語はすべての教科の基本 古典や名作に触れ、日本の言語文化に親しむ 表現力を身につける〕 読売 朝刊 2006-2-9 p.1

200604200 中教審部会 授業時数増加を検討 審議経過報告 「国語力や理数充実を」 〔小学校での英語教育も充実する必要がある〕 毎日 夕刊 2006-2-13 p.3

200604220 総合 指導要領「06年度中にも改訂」 文科次官 〔すべての教科の基本に言葉の力を据えるよう提言〕 朝日 朝刊 2006-2-14 p.3

200604300 [ぴーぷる] PRのページ 特集 「社会人基礎力」に定義 経産省 若者育成の観点から 求める「人材像」も明確化 〔コミュニケーション能力など〕 読売 朝刊 2006-2-14 p.1

200610270 暮らし 教育 暮らし 学び 小1「軟着陸」作戦 スター作り、紙芝居授業も〔子どもにコミュニケーション力や適応力が育っていないことから起こる小1ギャップ問題〕 読売朝刊 2006-4-8 p.17

200613120 暮らし 教育 暮らし 学び 漢検で国語力アップ 中学校の団体受検増加 文章への苦手意識薄れる 読売朝刊 2006-5-4 p.16

200613950 総合 社会人 12の基礎力 課題発見力主体性など 政府が評価基準〔発信力、傾聴力〕 読売朝刊 2006-5-14 p.2

200615320 [Y&Yしごと] 人間関係を重視の傾向 今年度の新入社員〔日本能率協会実施の「会社や社会に対する意識調査」 今後伸ばしたい能力にコミュニケーション能力、語学力〕 読売朝刊 2006-5-29 p.3

200616380 地域 都学力テスト 中学理数で正答率上昇 小学生は国語、理科が微増 読売朝刊 2006-6-9 p.34

200617310 オピニオンワイド 記者の目 「基礎学力充実」を掲げる大学 「最高学府」の意義どこへ 「ひらがな」学生も人材〔日本語を学び直す大学生〕 毎日朝刊 2006-6-21 p.6

200617380 第2社会 九九暗記・接続詞使い分け 小学校で 都、最低限の学力明示へ〔ローマ字で自分の名前が書けない高校生も〕 朝日朝刊 2006-6-22 p.38

200619210 第3社会 論理的な思考「苦手」 小4～中3 国・数の課題調査 「文章書く訓練を」教育研 朝日朝刊 2006-7-15 p.29

200619240 小中学生学力テスト 学習意欲高める工夫を 学年応じ正答率上昇 同時実施のアンケート 漢字練習、年々嫌いに 毎日朝刊 2006-7-15 p.29

200619280 解説 解説スペシャル 3万7000人学力調査に見る課題 文章書く力なお弱点 国語 記憶中心、応用きかず 算数数学 日本の子供の学力低下 国際調査に危機感 文科省「考える力」問う流れ定着 読売朝刊 2006-7-15 p.15

200619300 社会 小・中学生学力調査 「現場の実感と同じ」 授業時間不足 教師悲鳴も 読売朝刊 2006-7-15 p.38

200620620 総合 次期指導要領 国語、学習の基本に 「論理的思考」を重視〔文部科学省次期学習指導要領〕 朝日朝刊 2006-7-29 p.3

200620720 教育 漢字「必要」でも「嫌い」? 国立教育研 児童・生徒調査 高学年ほど顕著な傾向〔文章を書くことについても〕 朝日朝刊 2006-7-30 p.22

200623280 社会 小中学生 計算「文章題」は苦手〔総合初等教育研究所「「計算の力」の習得に関する調査」〕 読売朝刊 2006-9-2 p.38

200624240 第2社会 つかめぬ暴力の原因 公立小学生 衝動的に刺す・殴る 小学校にもカウンセラー〔会話をしたり、言語化されない相手の気持ちを察したりする力弱い今の子ども〕 朝日朝刊 2006-9-14 p.34

200624270 暮らし 教育 暮らし 学び 入学前に復習 大学「中高レベル」指導に力〔リメディアル(再履修)教育 論文が書けない学生が多いため、日本語表現を最重点に挙げる大学も多い〕 読売朝刊 2006-9-14 p.16

200626020 教育 あんてな ホットする会話 学校で外で〔子どものコミュニケーション能力の衰え 指導要領では国語を中心に「話す」「聞く」が大きな柱に〕 朝日朝刊 2006-10-1 p.29

200626830 「いのちのメール」16日から 若者の電話離れに対応 朝日 夕刊 2006-10-11 p.3

200626960 政治 教育再生会議座長 野依良治氏 「対話力育てたい」 読売 朝刊 2006-10-14 p.4

200627550 週刊KODOMO新聞 青春リサーチ 上手な勉強法わからない科目は「解法」ない国語が1位〔中学生対象読売新聞社調査 英語に男女差〕 読売 夕刊 2006-10-21 p.8

200629150 中学毛筆「必修逃れ」 大阪・枚方 14校「通常の国語確保」 読売 夕刊 2006-11-4 p.18

200629870 死なないで いじめ 救いの手どこに ネットで悪口、中傷 「軽い感覚」匿名で大量に 学校、教委対応後手 毎日 夕刊 2006-11-14 p.8

200629950 無視や悪口など精神的いじめ 「被害も加害も経験」4割 高校生6400人調査〔京都大大学院木原雅子助教授と全国高等学校PTA連合会調査 携帯電話やインターネットの利用でいじめが陰湿化〕 読売 朝刊 2006-11-15 p.1

200630530 オピニオン 時流自論 いじめという集団の自傷行為〔携帯電話所持は年齢により線引きをすべき〕(藤原新也) 朝日 朝刊 2006-11-20 p.9

200630590 投書 気流 書写で必修逃れ 良さを見直して 読売 朝刊 2006-11-20 p.11

200630920 第2東京 いのち 自殺予防メール手応え 開始1カ月 東京いのちの電話 新たな試み 若者からの相談4割 「最初と最後の1行難しい」 4年目の相談員 書く行為に抑止効果 田村毅・東京学芸大助教授 朝日 朝刊 2006-11-23 p.34

200630940 投書 気流 書写を学ぶには時間が足りない〔11月20日付投書「書写で必修逃れ良さを見直して」に対して〕 読売 朝刊 2006-11-23 p.10

200631220 第2社会 「I j i m e (イジメ)」ドイツ注目 連日報道 自国の暴力問題と絡め 朝日 朝刊 2006-11-25 p.38

200632450 第2社会 対話ゲームでいじめ防げ さいたま市の全小中学校 「嫌と言えるように」 朝日 朝刊 2006-12-4 p.38

200633100 授業時間30年ぶり増加? 教育再生集中審議 歓迎派「詳しく教えられる」 不安派「子の帰宅遅くなる」 教師複雑〔国語の授業時間数 音読のための時間ほしい〕 読売 夕刊 2006-12-9 p.14

200633250 解説 緩話急題 いじめ緊急アピール 心に届かない言葉 読売 朝刊 2006-12-12 p.15

200633410 地域 都民版 いじめ根絶へ小中学生提言 港区でふれあいトーク 見ぬふりしない 汚い言葉使わない 読売 朝刊 2006-12-13 p.35

200633740 教育 「ゆとり」原因学力不足深刻 大学の2割で補習 「せめて必修は学んで」 必修漏れ多い肯定意見 大阪の大学生68人アンケート「機会奪われた」の声も〔語彙力不足で論文が読めない、英検3級が取れないなど〕 朝日 朝刊 2006-12-17 p.18

教育の見直しと「言葉の力」への注目_連載「教育ルネサンス」

文献番号 記事標題〔備考〕(著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200603790 社会 教育ルネサンス No.255 深める伝え合う力2 対人関係スキルで円満読売 朝刊 2006-2-8 p.37

200603880 社会 教育ルネサンス No.256 深める伝え合う力3 企画運営自分の言葉で〔関西文化学術研究都市「大川センター」で「子どもたちが企画運営する子どもたちのためのワークショップ(参加型体験学習)」〕読売 朝刊 2006-2-9 p.37

200604000 社会 教育ルネサンス No.257 深める伝え合う力4 接し方の「物差し」学ぶ 低下する「表現する力」読売 朝刊 2006-2-10 p.37

200604110 社会 教育ルネサンス No.258 深める伝え合う力5 吉本流「ツッコミ笑学校」〔笑いを取り入れた授業やクラブ活動〕読売 朝刊 2006-2-11 p.37

200604280 社会 教育ルネサンス No.259 深める伝え合う力6 「話す・聞く」指導手探り〔大津市瀬田北中学校〕読売 朝刊 2006-2-14 p.37

200604430 社会 教育ルネサンス No.260 深める伝え合う力7 表現力磨く「ことば科」広島県の「ことばの教育」〔広島県立広島中学校、竹原市立忠海中学校〕読売 朝刊 2006-2-15 p.37

200604510 社会 教育ルネサンス No.261 深める伝え合う力8 「群読」でつく基礎体力〔島根県太田市立朝波小学校 群馬大学元教授高橋俊三さん〕読売 朝刊 2006-2-16 p.37

200604580 社会 教育ルネサンス No.262 深める伝え合う力9 全校で「表現力」系統立て 「話すこと・聞くこと」を学ぶ時間〔金沢市立米泉小学校〕読売 朝刊 2006-2-17 p.37

200604650 社会 教育ルネサンス No.263 深める伝え合う力10 「日本語力」特区を活用〔宇都宮市立清原北小学校 東京都世田谷区〕読売 朝刊 2006-2-18 p.37

200605050 社会 教育ルネサンス No.264 深める伝え合う力11 聞き書きで学ぶ会話術〔秋田県仙北市立角館中学校〕読売 朝刊 2006-2-21 p.37

200605400 社会 教育ルネサンス No.267 深める伝え合う力14 ギブ&テーク気持ち 培養 樋口裕一さんに聞く〔書くことを介してコミュニケーション力をはぐくむ小論文教育〕読売 朝刊 2006-2-24 p.37

200605490 社会 教育ルネサンス No.268 深める伝え合う力15 読者の声 大人も巻き込んで訓練 米国で学んだ方法の実践も〔コーチングなど〕読売 朝刊 2006-2-25 p.37

200629550 暮らし 教育 暮らし 学び 教育ルネサンス No.448 「命」を学ぶ8 心遣い言葉遣いから 読売 朝刊 2006-11-9 p.19

200629970 暮らし 教育 教育ルネサンス No.452 「命」を学ぶ12 ネット相談 心の闇に光〔「いのちの電話」 若者の電話離れからネット相談導入〕読売 朝刊 2006-11-15 p.21

200630230 暮らし 教育 教育ルネサンス No.454 「命」を学ぶ14 読者の声 「あったか言葉」探したい〔子供の話に耳を傾けるのは親の務め 子供たちの最近の言葉遣いのひどさ〕読売 朝刊 2006-11-17 p.19

教育の見直しと「言葉の力」への注目_連載「対人力を磨く」

文献番号 記事標題 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200609840 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く3 「あいさつを」「質問恐れず」 生活態度
冊子に学ぶ 〔名古屋大学 読書量も減る傾向〕 読売 朝刊 2006-4-6 p.15

200610050 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く4 新入生キャンプで議論 意見まとめるコ
ツつかむ 〔立教大学〕 読売 朝刊 2006-4-7 p.15

200610260 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く5 初対面に強くなる研修 社会人と会話
面接の練習 読売 朝刊 2006-4-8 p.15

200610510 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く6 社内コミュニケーション重視 味わい深
い「同じ釜の飯」 読売 朝刊 2006-4-11 p.19

200610650 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く7 あいさつは「即戦力」 マナー教育に再び
注目 読売 朝刊 2006-4-12 p.17

200610780 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く8 部下の話に耳を傾ける ×訊く ×聞く
聴く 読売 朝刊 2006-4-13 p.21

200611040 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く10 会話しやすい「自由席」 メールだけに
頼らない 〔企業や大学で〕 読売 朝刊 2006-4-15 p.15

200612460 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く 読者の反響 信頼とは積み上げるもの 無
理せず一歩ずつ 読売 朝刊 2006-4-28 p.15

(1) 2006年のベストセラー

藤原正彦著『国家の品格』（新潮新書，2005年11月刊）や、「なぞり書き本」が相次いで刊行されベストセラーになりました。藤原氏には『祖国とは国語』『世にも美しい日本語入門』などの著作がありますが、新聞紙上でも、新聞の「特殊指定」見直しや小学校の英語必修化などについて発言し、国語の教育の重要性を説いています。また、薄く印刷された「書家が書いた字」をえんぴつでなぞる『えんぴつで奥の細道』（書・大迫閑歩，監修・伊藤洋，ポプラ社，2006年1月刊）は、習字や写経のように、落ち着く、懐かしさがある、集中できると、団塊世代はもとより、若い世代にも人気となりました。

また、近年の「日本語ブーム」や「脳トレ」ブームを受け、『脳を鍛える大人の書写ドリル』（川島隆太著，くもん出版）や、「日本語を鍛えよう」とうたったゲームやパソコンソフトが発売されました（9月9日付朝日，「Digital てく的生活入門」欄など）。

パソコンや携帯電話の普及によって漢字をめぐる環境が激変している中、手書きと人間の認知能力の関係という視点からは、「書ける漢字」と「読める漢字」はかけ離れる一方だという指摘もあります。また、ブログ言語のはんらんで漢字や日本語表現の誤用が増幅している、とも指摘されています。このような状況もブームの一因と考えられるでしょう。

(2) 「ケータイ小説」が急成長

ブロードバンドや無線LANなどの普及，携帯電話の機能向上により，電子書籍の市場は大きく成長し，中でも携帯電話で閲覧・執筆する「ケータイ小説」は急成長しました。

メール感覚で読める「10分小説」で，毎回ヤマ場があることなどが受け，5か月で150万アクセスを記録し（7月11日付読売），インターネット生活研究所のまとめによれば，携帯向け電子書籍の市場は前年の3.8倍になりました（10月5日付毎日夕刊）。

ケータイ小説は，画面の制約から改行を多用したり，修飾語句を減らすなど，独特の新しい文体を生み出しました。語彙に乏しく文章表現が稚拙だという指摘もありますが，本を（あまり）読まない世代，特に中高生にとっては，抵抗が少なく支持を得やすい面もあるようです。

ケータイ小説の中には，本の形で出版されベストセラーとなるものもありました。また，高校生の木堂椎氏が「いじり」を題材に，携帯電話を使って執筆した小説『りはめより100倍恐ろしい』（角川書店）は，青春文学大賞を受賞しました。

(3) 文字・活字文化推進活動

学校での「朝の読書」運動や書店店頭での読み聞かせなど、これまでも様々な形で読書推進運動が行われてきましたが、2005年7月、「文字・活字文化振興法」が成立しました。

2006年10月、読書環境を整備するための国の施策を具体化するために文字・活字文化推進機構設立準備会が発足し、11月25日には同会がシンポジウム「言葉の力と日本の未来」を開催しました。そして、このシンポジウムでは、「文字・活字文化推進機構」の設立や、子どもたちの言語力、読書力を育むための「新学校図書館図書整備五カ年計画」を策定、実施するよう国と自治体に強く求めることなどが提言されました。

他の資料では

| | |
|----|-------------|
| 図書 | 藤原正彦氏の著作 |
| 図書 | 『えんぴつで奥の細道』 |
| 雑誌 | 藤原正彦氏の国語論 |
| 雑誌 | インターネットと言葉 |

関連文献情報

出版・読書状況

| 文献番号 | 記事タイトル | 〔備考〕 | （著者） | 新聞名 | 朝夕刊 | 発行年月日 | ページ | | | | | | |
|-----------|-------------|-------------|--------------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------------|----|-----------|-----------|-----|
| 200600690 | 文化総合 | 文化 | 鑑賞してありますか4 | 崇高さより自分さがし | 総クリエイター時代 | イベントに参加 | 居場所を確認 | 〔自費出版 ネット検索が追い風〕 | 朝日 | 朝刊 | 2006-1-10 | p.21 | |
| 200600760 | テレビ情報BOX | 鈴木美潮の | donna | どんな | 新聞読んで記憶力改善 | 〔『脳を鍛える新聞の読みかた』 | 中央公論新社〕 | （鈴木美潮） | 読売 | 夕刊 | 2006-1-10 | p.12 | |
| 200600920 | 文化総合 | 文化 | パソコンで作家気分 | 原稿用紙、明朝体などソフト化 | 〔ワープロソフト「一太郎文芸」〕 | 朝日 | 朝刊 | 2006-1-12 | p.31 | | | | |
| 200602350 | PR | 読書と出版 | 『「朝の読書」はもうひとつの学校』 | 朝の読書推進協議会編、メディアパル | 読売 | 夕刊 | 2006-1-24 | p.19 | | | | | |
| 200603610 | 教育 | 教育ルネサンス | 月曜版 | 書道特区 | 静岡・伊東市 | 小1から指導 | パソコン時代こそ字を書こう | 「情緒安定」「礼儀身につく」期待 | 読売 | 朝刊 | 2006-2-6 | p.33 | |
| 200604090 | 国会図書館、独立法人化 | 自民・国会事務局改革案 | 憲政記念館も | 毎日 | 朝刊 | 2006-2-11 | p.2 | | | | | | |
| 200604900 | 文化 | 文化 | 単眼複眼 | ケータイ小説が「青春文学大賞」受賞 | 高校生、「いじり」題材に | 『りはめより100倍恐ろしい』 | 木堂椎 | 角川書店 | 〔ケータイで執筆したことで独特の抑揚〕 | 朝日 | 夕刊 | 2006-2-20 | p.4 |
| 200605060 | 社会 | 小学生限定の小説賞 | 〔小学館が「12歳の文学賞」を創設〕 | 読売 | 朝刊 | 2006-2-21 | p.37 | | | | | | |
| 200605610 | 全面広告 | 読書文化の新潮流 | つくる1 | 版元、電子書籍に積極進出 | 読者に根強い | 「紙でなければ」 | 新刊7万8000点、2兆円市場 | つくる2 | ネットと出版、融合の時代 | ベ | | | |

ストセラー、いまの空気映す タイトルに強烈なインパクト うる1 読者の手元へ「早く確実に」 出版界の発展支えた取次業 効率化阻む「多品種少量生産」 うる2 「偶然の出会い」
楽しめる本屋 書店員、店頭POPに工夫 読み聞かせ・共同仕入れも (清田義昭) 朝日 夕刊
2006-2-27 p.8

200605770 文化 高2、ケータイで書いた小説 木堂椎さん『りはめより100倍恐ろしい』
〔第1回野生時代青春文学大賞を受賞 文章は削るより継ぎ足していく〕 読売 夕刊
2006-2-28 p.4

200607040 「ケータイ小説」大ブームに ネット発ベストセラー続々 新しい文体、作家生まれるかも 毎日 夕刊 2006-3-10 p.9

200608030 闘論 国会図書館改革 参議院議員 坂本由紀子氏 人員スリム化は可能 第三者評価が必要 駿河台大副学長 成田憲彦氏 議員の調査力に打撃 「政治主導」に逆行 朝日 朝刊
2006-3-20 p.3

200609850 暮らし 暮らし 家庭 彩事記 えんぴつ 世代を超え愛される感触 読売 朝刊
2006-4-6 p.15

200610120 とれんど 国会図書館の改革 読売 夕刊 2006-4-7 p.2

200610910 ブログ登録者半年で83%増 868万人、総務省調べ 毎日 朝刊 2006-4-14 p.8

200611330 文化 「本すべて収集」は命綱 国会図書館の独立行政法人化 (藤本由香里) 朝日 夕刊 2006-4-17 p.10

200611720 暮らし 教育 暮らし 学び 「図書整備費なお増額を」 学校図書館協議会など要望書 読売 朝刊 2006-4-20 p.17

200612500 文化芸能 パソコン活字に手書き文字 「気分」や「味わい」求める 朝日 夕刊
2006-4-28 p.7

200613550 地域 新宿に「こども図書館」 23区初の区営、蔵書6万冊 読売 朝刊 2006-5-9 p.30

200613870 総合 「読み聞かせ」に細かい注文 絵本の著作権めぐり作家・出版団体 現場は「萎縮が心配」 朝日 朝刊 2006-5-13 p.3

200614190 朗読CD、カセットの対象拡大 人気作家作品やエッセーも 高齢化社会に対応 毎日 夕刊 2006-5-17 p.5

200614650 文化 潮流 日本型ブログ文化 ルーツは平安朝? 〔日記などの個人的な内容が中心〕 (和田雄志) 読売 朝刊 2006-5-22 p.17

200614980 特集ワールド 川島隆太・東北大教授に脳を聞く 「創造」すれば活性化 朝食抜くとガス欠 〔読み書き計算、コミュニケーションは重要〕 毎日 夕刊 2006-5-25 p.4

200615840 読書 読書 売れてる本 『えんぴつで奥の細道』 大迫閑歩書 伊藤洋監修 ポプラ社 〔薄く印刷された書き文字を鉛筆でなぞる〕 (小柳学) 朝日 朝刊 2006-6-4 p.16

200615890 千代田区立全4図書館 「指定管理者制度」へ移行 専門業者に運営一任 より柔軟なサービス目指す 新庁舎移転に合わせ導入へ 毎日 朝刊 2006-6-4 p.28

200616160 窓 論説委員室から 変わる図書館 〔インターネットで検索と予約〕 朝日 夕刊
2006-6-6 p.2

200616230 オピニオンワイド 記者の目 民営化が進む図書館 利用者軽視の公費削減 地域との議論尽くせ 毎日 朝刊 2006-6-7 p.6

200616310 総合 顔 55万部のベストセラーになった『えんぴつで奥の細道』の編集者 浅井四葉(あさいしろう)さん 名文なぞり俳聖の旅追体験 読売 朝刊 2006-6-8 p.2

200616330 文字・活字文化振興法推進協議会を発足 全国出版協会 毎日 夕刊 2006-6-8 p.6

200616710 暮らし 教育 暮らし 学び 読書離れ対策 10代の気持ちで 図書館大作戦 中学生と感想やり取り 高校生が「お薦めリスト」 読売 朝刊 2006-6-13 p.18

200617210 暮らし 暮らし 家庭 図書館 広がる月曜開館 開館日数・時間も拡大傾向 読売 朝刊 2006-6-19 p.15

200617220 小中学校の蔵書足りない!? 文科省2004年度末調査 基準達成は3割台 読売 夕刊 2006-6-19 p.2

200617320 BOOK WATCHING 新刊 暮らし・教育 『脳の力こぶ 科学と文学による新『学問のすゝめ』』 川島隆太/藤原智美著 集英社 [危ない英語教育 読み書き計算、読書の重要性] 毎日 朝刊 2006-6-21 p.11

200617830 経済 情報ディスク クイズで鍛える日本語 [日本語トレーニング機「日本語鍛えよう」 金田一秀穂監修 タカラトミー] 読売 朝刊 2006-6-27 p.13

200618860 社会 ケータイ文化1 メール感覚で「10分小説」 5か月で150万アクセス 毎回ヤマ場あり 読売 朝刊 2006-7-11 p.37

200619860 第2社会 活字離れストップ? 図書館で借りた本 小学生最多18.7冊 [文部科学省調査] 朝日 朝刊 2006-7-22 p.38

200619890 小学生は本が大好き 04年度の貸出冊数過去最高 [文部科学省の社会教育調査中間報告] 毎日 朝刊 2006-7-22 p.26

200619910 社会 小学生 活字離れに歯止め? 図書館貸し出し過去最高 年18.7冊 2004年度 [文部科学省の社会教育調査中間報告] 読売 朝刊 2006-7-22 p.37

200620130 暮らし 暮らし 家庭 ブログ製本 サービス次々 形になる喜び 読売 朝刊 2006-7-24 p.13

200620750 電子書籍が急成長 凸版印刷から分社の「ビットウェイ」 通信速度の向上が転機に 4万件を提供 毎日 朝刊 2006-7-30 p.25

200621750 夏の読書特集 読む+ で脳を鍛える 書写 赤瀬川氏 手本通りが受ける 井上氏 癒しの波が来た 辛酸氏 すぐ入っていける懐かしさ 井上氏 ひょっとして世界の先端? [『えんぴつで奥の細道』ポプラ社 書・大迫閑歩、監修・伊藤洋] (赤瀬川原平;辛酸なめ子;井上 章一) 朝日 朝刊 2006-8-13 p.10

200621890 本よみうり堂 トレンド館 『これも日本語!あれもニホン語?』 米川明彦著 N H K出版 読売 夕刊 2006-8-16 p.5

200621910 なぞり書き本 えんぴつで行く奥の細道 なぜか若者に人気 読売 夕刊 2006-8-16 p.14

200622100 総合 時時刻刻 「学習療法」300施設に 「脳トレ」川島教授が考案 認知症改善に効果? スタッフ目を見て会話、機能改善の傾向 効果疑問視する声 満足・達成感に意味

朝日 朝刊 2006-8-20 p.2
200622590 地域 立川に「雑誌図書館」 都方針 124万冊、09年度までに〔「マガジンバンク」(仮称)〕 読売 朝刊 2006-8-25 p.30
200622630 朗読ブームの背景を探る 団塊に人気 若者はPCで ボランティア主導 ビジネスでも注目 本にふれる機会にも 毎日 夕刊 2006-8-25 p.6
200622850 メディア事情 癒やしの「する本」 〔『えんぴつで奥の細道』ポプラ社 ブログ、自費出版 自分の主体性を出版物に反映させたいことの表現のひとつ〕 (清田義昭) 毎日 朝刊 2006-8-28 p.27
200622860 文化 小説はブログに...隔世の感 大衆文壇2作家のひ孫連載開始 〔平山瑞穂さん「シュガーな俺」 菊池勇生さん「タナトスと危険なダンスを」〕 読売 朝刊 2006-8-28 p.12
200623820 [b e - b] D i g i t a l てく的生活入門 あの手どう書く?と思ったら 三カ条 一、生活の中で言葉を意識する習慣身につける 二、タイピングでたたき込めば、一石二鳥? 三、正しい用法・用例の学習にもパソコン活用 〔タカラトミー「日本語鍛えよう」 ジャストシステム「たたいて気づく「問題な日本語」」「日本語ドリル」〕 朝日 朝刊 2006-9-9 p.6
200625850 読みたい 本の現場 『えんぴつで奥の細道』監修伊藤洋 ポプラ社 大迫閑歩さん えんぴつで「書く本」ブーム作り90万部 書家がこだわった「あたたかい字」 毎日 夕刊 2006-9-29 p.3
200626330 とうきょう 全国おはなし隊 児童書500冊乗せ読み聞かせ あすから都内巡回 毎日 朝刊 2006-10-4 p.23
200626410 携帯向け電子書籍の市場が前年の3.8倍に 〔インターネット生活研究所まとめ〕 毎日 夕刊 2006-10-5 p.8
200626820 文化 論壇 論の現場1 ブログ大きな影響力 成果を本に、信頼性確保 無責任な議論 読売 朝刊 2006-10-11 p.21
200627530 総合 「活字文化推進機構」設立へ 来年10月にも 経済、労働、新聞など協力 読売 朝刊 2006-10-21 p.2
200628160 学校読書調査 「読む楽しみ知る」が最多 小学生月に読書9.7冊 毎日 朝刊 2006-10-27 p.3
200628210 総合 社説 活字文化の日 読書の楽しさを伝えていきたい 読売 朝刊 2006-10-27 p.3
200628510 20代の「本離れ」進む 「1か月読まず」7ポイント増48% 本社世論調査 読売 朝刊 2006-10-30 p.1
200628880 とうきょうワイド 記者M a i コラム 進化する図書館 総合的な情報発信の場へ 毎日 朝刊 2006-11-2 p.22
200629370 文化 ライトノベル進化論(上 マンガ的な内容 10代狙い続々参入 読売 朝刊 2006-11-7 p.23
200629860 文化 単眼複眼 「書けない」常用漢字 文化審議会国語分科会 見直し議論も 〔ブログ言語のはんらんで漢字や日本語表現の誤用が増幅〕 朝日 夕刊 2006-11-14 p.7
200630750 文化 ライトノベル進化論(下 「良質な青春小説」のような...? 読売 朝刊

2006-11-21 p.23

200630800 広告のページ 広告 P R 読書と出版 『脳を鍛える大人の書写ドリル』 川島隆太著 くもん出版 読売 夕刊 2006-11-21 p.14

200631480 総合 活字離れに危機感 読書の楽しさ訴え 「言葉の力」シンポ [「言葉の力と日本の未来」(文字・活字文化推進機構設立準備会主催)] 読売 朝刊 2006-11-26 p.2

200632230 企画特集 読書推進シンポジウム ストップ!活字離れ 「言葉の力と日本の未来」シンポ 大人になるにつれ減る読書量 進む言語能力の低下 美しい日本語守ろう 「文字・活字文化推進機構」来秋創設へ (林真理子;高木剛;肥田美代子;村山隆雄;斉藤博明;北村正任;児玉清) 毎日 朝刊 2006-12-3 p.8

200632480 シンポジウム「言葉の力と日本の未来」 美しい日本語大切に 日本の将来に危機感 英語よりまず国語力 読書で人生切り開く 広めたいN I E活動 生き方考える契機に 学校図書館の整備を (児玉清;林真理子;斉藤博明;北村正任;高木剛;村山隆雄) 読売 朝刊 2006-12-4 p.13

200632490 シンポジウム「言葉の力と日本の未来」 言葉の貧しさ いじめの一因 肥田美代子さん 出版文化産業振興財団理事長 [読書体験の不足] 読売 朝刊 2006-12-4 p.13

200632810 経済 携帯で「日本語力」全国一斉判定 初回は70万人参加 [2007年1月にジャストシステム実施] 朝日 朝刊 2006-12-7 p.11

200632840 これが売れた 06 鉛筆と関連商品 大人の塗り絵ブームで復権 子どもの減少で生産量落ち込む 毎日 朝刊 2006-12-7 p.13

200633820 [Y&Y日曜版] 旬 THEヒットチャート ニンテンドーDSソフト 常識、漢字「脳力」試そう [アイイーインスティテュート 「200万人の漢検 とことん漢字脳」] 読売 朝刊 2006-12-17 p.4

200633940 文化 潮流 回顧出版2006 ネット進化「紙」転換点 雑誌苦戦、電子化に活路 評判増幅され本は堅調 本文検索の衝撃 広がる無料事典 電子コミック活況 人気集中しやすい 読売 朝刊 2006-12-18 p.17

200634190 広告のページ 広告 うちどく 「朝の読書」の次は「家読(うちどく)」 家ではボクたちが先生さ。 読売 朝刊 2006-12-20 p.8

200634310 EVENING INFO P R ニンテンドーDSソフト「クイズ!日本語王」発売 読売 夕刊 2006-12-20 p.6

200634610 読書 読書 年末特集 2006ベストセラーこの1年 トップは『国家の品格』 2006出版界この1年 雑誌は依然不振、書店経営苦境に 朝日 朝刊 2006-12-24 p.11

(1) 日本語の指導が必要な外国人児童生徒

2000年6月に「出入国管理及び難民認定法」の改正が施行されたことなどにより、日系人を含め、日本に住む外国人が増え、外国人の子どもも増加しました。そして、2006年6月に発表された文部科学省の調査結果により、日本語の指導が必要な外国人児童生徒の数は、2005年9月1日時点で2万692人と、2001年度の調査開始以来初めて2万人を超えたことが分かりました。

この子たちの置かれた教育環境は十分なものとは言えません。「言葉の壁」や公教育になじめないなどの事情から不登校や中退が増えているとも報じられています。国の対策はこれからの状況であり、企業や自治体の中には、基金を設けたり、通訳サポーターを活用するなど、独自の教育支援に取り組むところもあります。

読売新聞「教育ルネサンス」欄では「築く多文化共生」をテーマに、日本各地の外国人児童生徒の状況を伝えました(3月21日～31日)。また、毎日新聞「いきいき生活」欄では「ニッポンの壁 来日少年は今」と題して3回(7月13日～15日)にわたり「さまざまな壁にぶつかる外国籍の子どもたちに学校や地域社会はどう対応しているのか」を伝えました。

(2) 「生活者としての外国人」

4月の経済財政諮問会議で、当時の小泉首相と安倍官房長官が、外国人の生活環境整備の必要性を指摘し、「生活者としての外国人」について検討が進められました。また、外国人労働者受け入れ拡大の方針が示され、一定の日本語能力の必要性が指摘されました。

諸外国の移民政策に関する記事を見てみると、フランスやオーストラリアなどの国々では、移民政策の見直し機運が高まり、定住国の言語の習得を求める方針が打ち出されています。例えば、フランスでは、2005年秋、移民系若者らによる暴動が各地で頻発したのを機に、移民政策の見直し機運が高まり、国家にとって、利益になるかどうかを基準に、移民の選別受け入れを打ち出しましたが、フランス語習得の意欲なども判断基準となっています。

関連文献情報

日本語教育をめぐる状況

文献番号 記事標題 [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200600310 オピニオンワイド 記者の目 少年少女の夢の扉を閉ざすな 外国人の義務教育化

急務 法律で国民理解獲得を 毎日 朝刊 2006-1-6 p.7

200602950 新教育の森 日系南米人の教育問題 国の対策これから 課程の研究、不就学の実態調査 公教育なじめず中退多数 民間が学習支援 独自に取り組む自治体も 母国語と日本語 通訳サポーター 毎日 朝刊 2006-1-30 p.14

200604270 国際 仏、移民「選別」へ 政策見直し 有能人材受け入れ優遇 〔仏語習得を求め る〕 読売 朝刊 2006-2-14 p.6

200606550 「難民冷遇国」返上へ 初の定住支援施設 来月に都内に 〔日本語・母国語教育な ど〕 毎日 夕刊 2006-3-6 p.10

200608140 第2東京 ガイジンから隣人へ1 日本語教室ボランティア頼み 孤立化防ぐ「居場 所」にも 朝日 朝刊 2006-3-21 p.34

200608220 東京 東京 ガイジンから隣人へ2 壁厚い高校受験 習得へ日本語漬けの日々 朝日 朝刊 2006-3-22 p.37

200608280 「外国人労働者」対応に遅れ 独の先進事例を紹介 都内シンポ 〔外務省・国際移 住機関共催 「外国人問題にどう対処すべきか」〕 読売 朝刊 2006-3-22 p.23

200608960 とうきょうワイド 支える 東京ボランティア奮闘記 日本語教室、相談、交流が柱 対等な関係、大きな課題 外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク 毎日 朝刊 2006-3-29 p.26

200610720 日本での生活改善検討へ 在住外国人 言葉 雇用 社会保障...管理も強化 安倍 官房長官主導 来月にも連絡会議 毎日 朝刊 2006-4-13 p.2

200611410 国際 米の日本語授業存続の危機 中国・スペイン語 削れぬ一方 〔公立小中高校〕 読売 朝刊 2006-4-18 p.9

200612380 第3社会 日本語指導必要な子 最多の2万人超 〔文部科学省調査〕 朝日 朝刊 2006-4-27 p.37

200613260 オピニオン 発言席 外国人受け入れ体制整備を (北脇保之) 毎日 朝刊 2006-5-7 p.5

200613890 国際 06点描中国東北5 鶏西 日本語教育 街のブランド 夢見る若者集まる 炭鉱都市 徹底した実力主義で評判に 読売 朝刊 2006-5-13 p.6

200615430 総合 日本語力たりないと在留日系人資格再考も 法務省が試案 朝日 朝刊 2006-5-31 p.2

200615480 政治 外国人労働者解禁試案 法務省PT 日本語検定など義務化 読売 朝刊 2006-5-31 p.4

200615710 暮らし 教育 暮らし 学び 日本語指導必要な児童・生徒2万人 読売 朝刊 2006-6-2 p.18

200616670 オピニオン 声 外国語情報も緊急時に必要 朝日 朝刊 2006-6-13 p.12

200618750 教育 Re: 「外国人児童の指導 自治体でばらつき」 社会的問題と考えるかど うか 朝日 朝刊 2006-7-9 p.33

200619020 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(上 少年院国際科で 読み書き幼稚園 レベル 学校行かず非行に走り 日本語づけ24時間 褒められ自信 社会での心得も学ぶ 毎 日 朝刊 2006-7-13 p.13

200619110 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(中 県立高校で 卒業2~3割...別室で「取り出し授業」 学力・日本語能力大きい個人差 個別指導の制度化痛感 毎日 朝刊 2006-7-14 p.13

200619230 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(下 新宿・親子日本語教室で 孤立する女性たちの居場所に 友得て暮らしに張り 支えはボランティア どう向き合う多文化共生 毎日 朝刊 2006-7-15 p.14

200619540 総合 外国人労働者受け入れ拡大 自民特別委が方針 [一定の日本語能力や技能を持つ「優秀な人材」の受け入れ、外国人子弟への日本語教育の実施などを求める] 読売 朝刊 2006-7-19 p.2

200620970 総合 在日ブラジル人の子教育支援 「言葉の壁」 不登校急増 群馬、静岡などの企業中心に基金 読売 朝刊 2006-8-2 p.2

200622470 外国人労働者 健保加入実態を調査 政府方針 企業の指導強化 [外国人労働者の日本語習得体制も充実させる方針] 毎日 朝刊 2006-8-24 p.1

200623480 国際 「すべての移民は英語を」 豪首相、イスラム批判 読売 朝刊 2006-9-5 p.7

200623930 看護師など受け入れへ 人数枠盛られず 比と経済協定 自動車は日本譲歩 労働市場 一層の開放要求へ フィリピン 語学研修など不満 毎日 朝刊 2006-9-10 p.7

200624560 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 朝日新聞アジアネットワーク 日本語熱海外普及に戦略的対応を [中国東北延辺朝鮮族自治州で日本語学習離れ] (李鋼哲) 朝日朝刊 2006-9-16 p.12

200624850 国際 豪 移民に「市民権テスト」 政権が方針 英語力、民主主義理解問う 読売朝刊 2006-9-19 p.9

200624910 不法移民7000世帯に許可証 フランス [仏語習得の意欲なども判断基準に] 朝日 朝刊 2006-9-20 p.6

200625250 総合 外国人研修の廃止検討 法務省チーム 「労働者確保に悪用」 [一定の日本語能力があることなどを条件とする新制度を創設する案] 朝日 朝刊 2006-9-23 p.3

200627380 中国大学生に日本語ブーム 対日観、なお複雑 毎日 朝刊 2006-10-19 p.8

200629560 地域 都民版 外国人、子供向け 「手書き」絵本 ただしいひらがな 東京学芸大生 2年かけ力作 [『ひらがないろは』日本地域社会研究所] 読売 朝刊 2006-11-9 p.35

200630000 求む、日本語話せる人材... ビジネス拡大で需要増 中国・大連 朝日 夕刊 2006-11-15 p.2

200630030 オピニオン 私の視点 教育改革 外国人受け入れ態勢整備を [外国人の子どもに対する日本語教育] 朝日 朝刊 2006-11-16 p.14

200632530 受験の4割中国で 48カ国で日本語能力試験 53万人中21万人! 人材需要高まり 毎日 夕刊 2006-12-4 p.6

200633110 東京 東京 西日暮里で教室 NPOに「地球市民賞」 外国籍の子受験後押し 初年度は全員合格 [多文化共生センター東京] 朝日 朝刊 2006-12-10 p.37

日本語教育をめぐる状況_連載「教育ルネサンス」

文献番号 記事標題 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

- 200608210 社会 教育ルネサンス No. 284 築く多文化共生1 外国人子弟に市立教室
28.6万人...ブラジル人の外国人登録者 〔岐阜県可児市「ばら教室KANI(可児)」〕 読
売 朝刊 2006-3-21 p.37
- 200608400 社会 教育ルネサンス No. 285 築く多文化共生2 理解助ける2か国語授業
2万人...日本語指導が必要な子供 読売 朝刊 2006-3-23 p.37
- 200608490 社会 教育ルネサンス No. 286 築く多文化共生3 外国人学校 広がる支援
117校...各種学校として認可された外国人学校 〔静岡県浜松市南米系外国人学校「ムンド・
デ・アレグリア」〕 読売 朝刊 2006-3-24 p.37
- 200608570 社会 教育ルネサンス No. 287 築く多文化共生4 大学院生ら「助っ人」起
用 3万9511組...年間の国際結婚数 〔早稲田大学日本語教育研究科〕 読売 朝刊
2006-3-25 p.37
- 200608880 社会 教育ルネサンス No. 288 築く多文化共生5 入試の日本語高い壁 8
131人...公立高校に在籍する外国人生徒数 〔「多文化共生センター・東京21」の「たぶんか
フリースクール」〕 読売 朝刊 2006-3-28 p.37
- 200609090 社会 教育ルネサンス No. 290 築く多文化共生7 外国人同士で問題共有
12万8500人...国内で日本語を学ぶ外国人 〔中・高の外国人生徒〕 読売 朝刊 2006-3-30
p.37
- 200609180 社会 教育ルネサンス No. 291 築く多文化共生8 ブイ・チ・トルンさんに
聞く 「橋渡し役」の養成必要 〔愛知県豊田市国際交流協会事務局長 外国人の子供に対する
日本語教育〕 読売 朝刊 2006-3-31 p.37
- 200622580 暮らし 教育 暮らし 学び 教育ルネサンス No. 395 夏の学校14 外国
人の子日本語特訓 2万人、日本語の指導必要 〔NPO 「全国日本語教師会」〕 読売 朝刊
2006-8-25 p.15

(1) 国際放送強化

国際放送では、CNN、BBCなど米英メディアの独占状態が続いていますが、新しい動きもありました。フランスが国際ニュース放送局「FRANCE 24」を開局し、90 か国で放送が始まりました。また、衛星テレビ局アルジャジーラが世界に向け英語放送を開始しました。

日本は国際放送では遅れをとっていましたが、2月、小泉首相（当時）が「NHKで外国人向け放送を」と国際放送強化の方針を示しました。これを受けて、2007年度から外国人向けにニュースや情報番組を24時間放送している「NHKワールドTV」について、米国などの地元ケーブルテレビ局と契約し、海外配信力を強化することとなりました。

ところで、国際放送をめぐる情報の流れの双方向が一段と高まっています。アルジャジーラが英語放送を開始する一方、英BBCは、2007年からアラビア語テレビ放送を開始すると発表しました。フランスも新たにフランス国際情報チャンネルCFIIを2006年末までに開局する方針を明らかにし、ニュースなどをまずフランス語で24時間体制で放送し、その後直ちに英語、アラビア語、スペイン語に転換して放送するという計画を発表しました。また、アメリカは2005年から中東向けのアラビア語テレビ局アルフッラ（アラビア語で「自由なるもの」）を開局しています。

(2) 新聞の「特殊指定」見直し問題

新聞は、広く一般に読まれている、活字メディアの代表格と言えます。その経営基盤にかかわる「特殊指定」について、公正取引委員会は3月、必要性が薄れたとして問題がなければ廃止すると発表しました。

これに対して、新聞社をはじめ、識者、議員らは、新聞の定価販売・戸別配達制度は、再販制度と特殊指定とが一对の関係となって維持されてきたとして、特殊指定堅持を訴えました。また、特殊指定の見直し・廃止は、2005年7月に施行された文字・活字文化振興法の趣旨に背くものであると批判しました。

このような反対運動の結果、公正取引委員会は6月、新聞の特殊指定を当面維持すると発表しました。なお、同時に見直しの対象とされた教科書については、9月1日付で特殊指定を廃止することが発表されました。

(3) 市民参加型のニュースサイト「オーマイニュース日本版」

市民が記者として参加する韓国最大のインターネット新聞「オーマイニュース」が日本に進出し、8月、「オーマイニュース日本版」が創刊されました。鳥越俊太郎氏が編集長に就任

し(2007年6月1日付退任,元木昌彦氏が新編集長に就任),編集部員16名(発足当時)が市民記者から寄せられた原稿をチェックするほか,自ら取材・執筆も行う形です。

当初2006年内に5000人の市民記者登録を目指して始動しましたが,創刊1周年で3800人となっています。既存のマスコミや市民メディア「JANJAN」などとの差別化をどこまで図るのか,「主観的」との批判にどのように取り組むのかが注目されます。

関連文献情報

マスメディア

| 文献番号 | 記事標題 | 〔備考〕 | (著者) | 新聞名 | 朝夕刊 | 発行年月日 | ページ |
|-----------|-----------------|------|------|--|--|-----------------|--|
| 200604010 | 「NHKで外国人向け放送を」 | | | 首相が検討指示、縮小論に影響? | 朝日 | 夕刊 2006-2-10 | p.3 |
| 200604830 | 全国で同一価格 | | | 新聞の特殊指定「存続」84% | 本社世論調査 | 「宅配制維持」91% | 〔p.2に調査結果あり 役立っているメディアについても〕 読売 朝刊 2006-2-20 p.1 |
| 200604870 | 解説 ワイド時典 | | | 新聞の特殊指定 社会的使命を重視 公共性配慮 異なる定価 割引を禁止 指定見直し 戸別配達網崩壊の危機 価格競争 「知る権利」損なう恐れ 「読者が 待っている」雪壁越え新聞配達 記録的豪雪 新潟・津南町 災害時には避難所にも | 読売 朝 刊 | 2006-2-20 | p.15 |
| 200604910 | 総合 新聞販売 | | | 宅配制「維持」91% | 本社世論調査 | 「値段同じに」75% | 朝 日 朝刊 2006-2-21 p.2 |
| 200605240 | 総合 韓国ネット紙、日本進出 | | | 「市民記者」浸透するか | 〔インターネット新聞「オ ーマイニュース」〕 | 朝日 朝刊 | 2006-2-23 p.3 |
| 200605310 | 社会 韓流ネット新聞上陸 | | | 「オーマイニュース」日本版 | 市民記者の告発が売り | 読売 朝刊 | 2006-2-23 p.37 |
| 200605510 | 2006 チャンネルYou | | | 知りたい! 韓国政権「生みの親」 | ネット新聞日本へ 根付くか市民記者 身近な記事売り物 | 「主観的」と批判も | 毎日 夕刊 2006-2-25 p.1 |
| 200605920 | 特集 新聞の「特殊指定」 | | | 見直し問題 言論文化守る基盤 | 新聞宅配が揺れる 「特 殊指定」 新聞の定価を維持 公平な情報伝達のため再販制度を補完 | 86% 「宅配制度存続を」 | 数学者・お茶の水女子大教授藤原正彦さん 活字復興に水差すな 毎日 朝刊 2006-3-2 p.10 |
| 200606110 | 総合 新聞販売 | | | 特殊指定見直し反対 | 自民懇話会 | 公取委に申し入れ | 朝日 朝 刊 2006-3-4 p.2 |
| 200606190 | 新聞特殊指定「国民望んでいる」 | | | 「見直し反対」相次ぐ | 自民懇話会 | 毎日 朝刊 | 2006-3-4 p.1 |
| 200606270 | 「新聞宅配、民主主義の基礎」 | | | 特殊指定見直し | 自民、異論続出 | 読売 朝刊 | 2006-3-4 p.37 |
| 200607540 | 新聞協会 | | | 「特殊指定」堅持を | 特別決議 | 全会一致で採択 | 毎日 朝刊 2006-3-16 |

p.1

- 200607600 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「読者が待つ」責任の重さ (山本一力) 読売 朝刊 2006-3-16 p.15
- 200607610 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「安売り競争」でどうなる (上田隆穂) 読売 朝刊 2006-3-16 p.15
- 200607620 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「知る権利」脅かす可能性 (鈴木秀美) 読売 朝刊 2006-3-16 p.15
- 200607640 社会 「特殊指定と再販 車の両輪」 特別決議 新聞協会会長ら会見 新聞特殊指定の堅持を求める特別決議(全文) 読売 朝刊 2006-3-16 p.37
- 200608060 新聞の「全国同一価格」 特殊指定なぜ必要か 明日もお宅に届けたい 新聞は実質的公共財 皆が読める環境守って 堀田力さんに聞く 各戸配達に世論の支持 本社調査 雪の坂道一步一步 Q & A 再販制だけでは不十分 朝日 朝刊 2006-3-20 p.33
- 200608150 第3社会 メディア 韓国ネット新聞上陸へ 「市民記者」根付くか 韓国 チップ OK / 主観的と批判も 日本 関係者「刺激になる」 オーマイニュース呉連鎬代表に聞く 両国共同取材、実現したい 朝日 朝刊 2006-3-21 p.37
- 200608260 総合 NHK国際放送強化論点 外務省 「海外交流審」きょう発足 読売 朝刊 2006-3-22 p.2
- 200608980 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(上 生活支える情報源 避難所に届く励ましの記事 読売 朝刊 2006-3-29 p.15
- 200609080 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(中 活字文化と教育 読解力養う好教材 身近にあってこそ 読売 朝刊 2006-3-30 p.13
- 200609170 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(下 「見直し」広がる反対 公取委の独断 与野党が疑義 読売 朝刊 2006-3-31 p.13
- 200609550 新聞特殊指定 「維持するべきだ」73% 本社世論調査 宅配支持も80% 毎日 朝刊 2006-4-4 p.1
- 200609960 新聞特殊指定 「維持」へ議員立法 毎日 朝刊 2006-4-7 p.2
- 200610020 新聞シンポ 宅配制の大切さ訴え 鹿島茂さん「購読二極化」を憂慮 毎日 朝刊 2006-4-7 p.27
- 200610040 総合 新聞の特殊指定撤廃 活字文化振興に影響 新聞協会シンポ 公取委への批判相次ぐ 自民 丹羽・古賀派も撤廃反対 読売 朝刊 2006-4-7 p.2
- 200610380 新聞の「特殊指定」見直し問題 宅配崩壊に危惧 公取委方針相次ぐ批判 「同一価格は社会基盤」 竹島・公取委委員長 「マインドコントロールの議論」 「特殊指定は矛盾」 50年の行政否定 毎日 朝刊 2006-4-9 p.28
- 200610540 日本新聞協会 公開シンポジウム 活字文化があぶない!メディアの役割と責任 育て考える力 言葉の力信じ 「電車で読書」今は昔 多様な論調守る宅配 ネット、短絡思考 招く 人権口実に報道規制 新聞通じた教育期待 (藤田博司; 鹿島茂; 鈴木秀美; 山川洋一郎; 山本哲朗) 朝日 朝刊 2006-4-12 p.16
- 200610580 シンポ「活字文化が危ない!」 多メディアの時代 新聞、大きな役割 乱暴な規制 緩和論 鈴木氏 公取委に説明責任 山川氏 表現力低下を危惧 山本氏 情報格差で混乱も

鹿島氏 特殊指定の維持訴え 新聞協会 (藤田博司; 鹿島茂; 鈴木秀美; 山川洋一郎; 山本哲朗) 毎日 朝刊 2006-4-12 p.10

200610640 日本新聞協会 公開シンポジウム 「活字文化があぶない! メディアの役割と責任」 知る権利に「黄信号」 宅配制度の崩壊防げ 仏は情報二極化進む 鹿島 特殊指定に配慮必要 鈴木 保護が必要な規制も 藤田 多様な論調守るべき 山川 子供に「活字環境」を 山本 (藤田博司; 山川洋一郎; 鈴木秀美; 鹿島茂; 山本哲朗) 読売 朝刊 2006-4-12 p.14

200610890 活字議連 「特殊指定堅持」を決議 新聞の配達網崩壊を懸念 毎日 朝刊 2006-4-14 p.3

200610920 総合 「新聞特殊指定 堅持を」 超党派議連が決議採択 [p . 3 7 に決議の全文あり] 読売 朝刊 2006-4-14 p.2

200611680 インタビュー 新聞「特殊指定」を考える 司会者 みのもんださん 「情報発信減ってもいいの?」 毎日 朝刊 2006-4-20 p.27

200612180 インタビュー 新聞「特殊指定」を考える 公正取引委員会委員長 竹島一彦さん 「宅配」「知る権利」ピントずれてる 独禁法に反する値引き規制 毎日 朝刊 2006-4-25 p.24

200614000 新聞特殊指定維持か廃止か 全政党が廃止反対表明 公取「個別配達に影響なし」 「知る権利損なう」議員立法へ 日本新聞協会の考え 全国同一価格多様な言論守る 竹島一彦 公取委員長インタビュー 価格競争行われていない 朝日 朝刊 2006-5-15 p.31

200615600 新聞特殊指定存続へ 公取委、与党に見解伝達 [p . 3 7 に要旨あり] 読売 朝刊 2006-6-1 p.1

200615770 第2社会 新聞特殊指定 廃止見合わせを発表 公取委 見直し再開は未定 教科書は廃止決定 「適切な判断」新聞協会談話 「実害」指摘後押しなく 朝日 朝刊 2006-6-3 p.38

200615780 新聞特殊指定 廃止見送り正式発表 公取委 今後の見直しは未定 「国民の意見適切に判断」 北村正任・新聞協会会長 毎日 朝刊 2006-6-3 p.2

200615800 解説 解説スペシャル 新聞特殊指定廃止見送り 論点を検証 法的根拠 新聞公正な競争確保に必要 公取委 50年にわたる告示「誤り」 戸別配達への影響 議論は平行線 伊従寛(いよりひろし)弁護士(元公取委委員) 一方的な見直し問題 鈴木秀美・大阪大大学院高等司法研究科教授(憲法、メディア法) 新聞も必要な改革を 読売 朝刊 2006-6-3 p.14

200622920 第2社会 オーマイニュース日本版サイト始動 [「市民記者」の書いた記事を掲載するのが特徴] 朝日 朝刊 2006-8-29 p.34

200624620 日本版オーマイニュース 市民参加型...差別化がカギ 毎日 朝刊 2006-9-16 p.16

200630160 国際 衛星テレビ局アルジャジーラ 世界向け英語放送 目標は「文明の懸け橋」 欧米メディアへの挑戦 朝日 朝刊 2006-11-17 p.8

200632940 国際 仏版CNN誕生 放送90か国 本家やBBCに対抗 読売 朝刊 2006-12-8 p.7

200633540 解説 論点 海外への情報発信 英語のTV放送効果的 (笹川陽平) 読売 朝刊 2006-12-14 p.15

200634880 国際 英語版アル・ジャジーラ 1 か月 中東の視点に存在感 英 B B C アラビア語
で対抗 読売 朝刊 2006-12-27 p.6

200635060 総合 ニュース海外配信来年度から強化 政府、米 C A T V と契約へ 読売 朝刊
2006-12-29 p.2

敬語は、投書や解説、コラムなど様々なタイプの記事で、新聞にしばしば取り上げられる話題であり、人々が高い関心を寄せていることがうかがわれます。

(1) 「国語に関する世論調査」

文化庁が7月に結果を発表した「国語に関する世論調査」は、敬語に関する意識を中心に調べています。

社会生活を送るうえで敬語が必要かどうかについては、計約93%が「必要だから使いたい」「使わざるを得ない」と回答していますが、「敬語が難しい」と感じている人は68%、「正しい敬語を使っているか自信がない」人は37%と、敬語の使用については悩みも多いようです。

また、付け過ぎがよく指摘される「お」は、言葉によって使い分けられていて、男女差も大きいことが分かりました。さらに、部下に対して「ご苦労さま」を使う人は少数派で、「お疲れさま(でした)」を使っている人が半数以上いるということが分かりました。

(2) 「敬語の指針」(報告案)

文化審議会は2005年3月、文科相から敬語に関する指針作りと情報化時代の漢字政策のあり方について諮問を受け、検討を行ってきました。そして2006年10月、現在は一般に「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」の三つに分類されている敬語を、五つに分類する指針案をまとめました。従来のもので三種類に基づいて、現在の敬語の使い方をより適切に理解するために、三種類のうち、「謙譲語」を「謙譲語」と「謙譲語(丁寧語)」に、また「丁寧語」を「丁寧語」と「美化語」に分けるといふものです。

その後、10月23日の国語分科会総会を経て、11月8日から12月7日までの間、「敬語の指針(報告案)」について広く一般から意見募集を行いました。文化庁に寄せられた意見は、個人や団体から計44件で、「敬語が理解しやすく教えやすくなるので賛成」といった意見と「分類の細分化は敬語の混乱や衰退を助長する恐れがあるので反対」といった意見に分かれたと報道されました。

社説や識者の意見記事の中にも、「理解の助けになる」という意見と「かえって分かりにくい」という意見とが掲載され、議論が高まりました。

2007年2月には、報告案のように、「尊敬語」「謙譲語」「謙譲語(丁寧語)」「丁寧語」「美化語」の五種類に分けるといふ答申がまとめられました。この答申は、実際の敬語使用の「よりどころ」の基盤となる、敬語のより基本的な指針を示すことを目標としたものです。新聞紙上では、「難解」「子供は区別難しい」など、特に学校教育場面での課題が指摘されましたが、今後どのように理解を広めていくのかが注目されます。

関連文献情報

敬語

文献番号 記事タイトル 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

- 200606610 掲示板2006 丁寧も度が過ぎると... 〔「する」「人」を「させていただく」「方」と言う傾向〕 毎日 朝刊 2006-3-7 p.28
- 200611980 第3社会 ことば談話室 ~いただけます 高度成長時代に広まる 朝日 朝刊 2006-4-23 p.33
- 200613250 第3社会 ことば談話室 敬語の使い方 文化審が指針づくり 〔「ご いただけます」という言い方〕 朝日 朝刊 2006-5-7 p.37
- 200615170 オピニオン 声 若い世代 バイトで敬語初めて学んだ 朝日 朝刊 2006-5-28 p.6
- 200615920 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 敬語は主語を意識して 敬語は人間関係を良くする 敬語の規則を覚えよう 迷ったら主語を思い出そう 読売 朝刊 2006-6-4 p.7
- 200617180 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 真意伝わらない二重敬語 敬語は意味を考えて使おう 二重敬語に気を付けよう 尊敬語と謙譲語の混在に気を付けよう 〔「 でよろしかったでしょうか」「 になります」などの誤用についても〕 読売 朝刊 2006-6-18 p.7
- 200617690 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 悪い話の後に良い話 話し方一つで印象は変化 前向きな言葉で話そう 言葉本来の意味を大切に 読売 朝刊 2006-6-25 p.9
- 200620380 総合 おつけしますか? 菓子、茶わん、手紙、くつした... 使い分け・性差歴然 「美化語」文化庁調査 怒り心頭に達する? 発する? 振りまくのはあいそ? あいきょう? 〔05年度「国語に関する世論調査」 重複表現についても〕 朝日 朝刊 2006-7-27 p.3
- 200620420 4人に3人誤って使用 文化庁国語世論調査 誤 怒り心頭に達する 正 怒り心頭に発する 〔敬語、慣用句、重複表現などについて〕 毎日 朝刊 2006-7-27 p.30
- 200620430 総合 社説 敬語の使い方 「お疲れさま」か「ご苦労さま」か 〔文化庁の「国語に関する世論調査」〕 読売 朝刊 2006-7-27 p.3
- 200620480 社会 文化庁調査 部下に「お疲れさま」 今や常識 上下の意識薄れて... 「ご苦労さま」少数派に 「怒り心頭に達する」慣用句誤用も 〔「国語に関する世論調査」〕 読売 朝刊 2006-7-27 p.35
- 200621430 解説 論陣論客 基本学び、けいこ重ねて 永崎一則(ながさきかずのり)氏 応用きかぬ「バイト敬語」 井上史雄(いのうえふみお)氏 読売 朝刊 2006-8-8 p.13
- 200622890 特集ワールド ちょっと待った! 上司をねぎらう言葉 北原保雄さん その場に応じて「ご苦労さま」 デーブ・スペクターさん 無難で中立っぽい「お疲れさま」 毎日 夕刊 2006-8-28 p.2
- 200623080 窓 論説委員室から させていただく 〔過剰な敬語〕 朝日 夕刊 2006-8-30

p.2

200623720 窓 論説委員室から 続・させていただく〔8月30日付本欄「させていただく」
に対して〕朝日 夕刊 2006-9-7 p.2

200626220 敬語にQ & A 取引先の年下に使う必要は？ 文化審小委が指針 毎日 朝刊
2006-10-3 p.30

200626310 文化総合 文化 敬語3 5分類に「美化語」新設「謙讓語」分割 文化審議会
小委が指針案 朝日 朝刊 2006-10-4 p.23

200626540 悩める社会人に朗報！？ 敬語使い方虎の巻 文化審議会指針作り Q & A 5分
類に背景 読売 夕刊 2006-10-7 p.14

200627850 第3社会 文化審議会分科会 敬語の分類議論 朝日 朝刊 2006-10-24 p.33

200628310 [b e - e] らいふ 95歳・私の証 あるがまゝ行く 病院内での敬語の使い方
〔敬語を五つに分類する新しい指針案 患者さんを「さん」「様」と呼ぶ〕(日野原重
明) 朝日 朝刊 2006-10-28 p.5

200628480 総合 社説 敬語の指針 かえって分かりづらい〔文化審議会の国語分科会〕朝
日 朝刊 2006-10-30 p.3

200629530 敬語指針で意見募集〔文化庁文化審議会国語分科会〕毎日 朝刊 2006-11-9
p.3

200629580 敬語指針の意見公募〔文化審議会国語分科会〕朝日 夕刊 2006-11-9 p.14

200629690 街 ひと メガロポリス ホテルマン 敬語研修 マニュアル語に危機感 東京
都・椿山荘の藤田観光 朝日 夕刊 2006-11-11 p.15

200629780 [Y & Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・平井智子 就活
完結で正確な敬語で 言葉遣いはビジネスの大事なマナー 電話で話すときも笑顔で 一言を惜
しまない 読売 朝刊 2006-11-12 p.7

200630660 文化 敬語指針を問う 思いやる心あればこそ 分類より身近な具体例で解説を
敬語がなかった故郷「丁寧語」を定めては(出久根達郎) 朝日 夕刊 2006-11-20 p.4

200631640 総合 社説 敬語の指針「5分類」も理解の助けになる 読売 朝刊 2006-11-27
p.3

200631880 文化 敬語指針を問う 敬語5分類は混乱の元 謙讓語の変化は途中段階 電車が
まいります「敬意低減の法則」(井上史雄) 朝日 夕刊 2006-11-30 p.17

200631990 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 敬語指針「美化語」新設に疑義あり(萩
野貞樹) 朝日 朝刊 2006-12-2 p.14

200632900 オピニオン 声 心こもる言葉必要なのでは〔12月2日付私の視点「美化語」
新設に疑義あり」に共感〕朝日 朝刊 2006-12-8 p.14

200634010 第3社会 「敬語5分類案」賛否半々〔文化審議会国語分科会〕朝日 朝刊
2006-12-19 p.33

200634690 [Y & Y日曜版] オ マナーB Z check! マナー講師・友野由佳子「ち
ゃん」付けはやめて 親しき仲にも礼儀あり 社内での呼び方にも注意 一人ひとりが小さな気
遣いを 読売 朝刊 2006-12-24 p.5

(1) 流行語大賞

自由国民社『現代用語の基礎知識』が選んだ2006年の「ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞には、「イナバウアー」と「品格」が選ばれました(この賞は1984年の創始から2003年までは「日本新語・流行語大賞」という名称で知られていましたが、2004年から「現代用語の基礎知識選/ユーキャン新語・流行語大賞」と改称されました)。

「イナバウアー」は、トリノオリンピックのフィギュアスケート金メダリスト・荒川静香選手の得意技です。上体を大きく反らした独特の姿が話題になりましたが、本来は、足を前後に開き、両足の爪先を大きく外側に開いて横に滑る技を指し、1950年代に活躍した西ドイツの選手が開発し、その名が冠されたものです。

一方の「品格」は、藤原正彦氏の『国家の品格』がベストセラーになるとともに広まりました。

このほか、トップテンには「エロカッコイイ(エロカワイイ)」「格差社会」「シンジラレナ～イ」「たらこ・たらこ・たらこ」「脳トレ」「ハンカチ王子」「ミクシィ」「メタボリックシンドローム(メタボ)」が入りました。

自由国民社のホームページでは、授賞式の模様とことばの解説のほか、第1回(1984年)から昨年までの、年度別の授賞記録(ことばと受賞者)が掲載されています。

<http://www.jiyu.co.jp/singo/>

(2) 今年の漢字

財団法人日本漢字能力検定協会が「今年の漢字」を全国公募した結果、応募総数92509通のうち、「命」が8363票(9.04%)を集め、「今年の漢字」に決まりました。2位以下には順に、悠(3793票, 4.10%), 生, 核, 子, 殺, 球, 心, 新, 絆の字が選ばれました。

「命」が選ばれた理由としては、「親王「悠仁さま」ご誕生」「自殺の多発」「痛ましい事故・事件の多発」「命に不安を覚える出来事の多発」が挙げられ、「ひとつしかない命の重み, 大切さを痛感した年」と意識されています。なお、「親王「悠仁さま」ご誕生」は、2位「悠」の主な理由にもなっています。

「今年の漢字」の公募・選定は1995年から始まりました。これまでの「今年の漢字」を振り返ってみると、以下の漢字が選ばれています。

震(1995年), 食(1996年), 倒(1997年), 毒(1998年), 末(1999年), 金(2000年), 戦

(2001年), 帰(2002年), 虎(2003年), 災(2004年), 愛(2005年)

日本漢字能力検定協会のホームページには, 2006年の「今年の漢字」に「命」を選んだ応募者の声や, 過去に選ばれた「今年の漢字」と説明などが掲載されています。

<http://www.kanken.or.jp/kanji/kanji2006/kanji.html#C>

(3)2006年に生まれた子どもの名前

毎年, 年末になると, 明治安田生命保険が個人保険・個人年金保険の加入者を対象に行った生年別名前調査の結果を基に, その年に生まれた子どもの名前の上位が新聞紙上で紹介されます。

2006年は, 男子は「陸」, 女子は「陽菜」がトップでした。「陸」は2005年の14位から躍進, 「陽菜」は2年連続3回目(2003年, 2005年)のトップとなりました。

また, 2006年は親王「悠仁さま」ご誕生もあり, 「悠斗」(6位), 「悠人」(18位), 「悠」「悠真」「悠翔」(25位), 「悠希」(54位), 「悠太」(68位)がベスト100に入るなど, 「悠」を使った名前の人気に拍車がかかりました。

ちなみに, 2006年のベストテンは, 以下のとおりでした。

男子: 1位「陸」, 2位「大翔」, 3位「大輝」「蓮」, 5位「翼」, 6位「悠斗」, 7位「翔太」, 8位「海斗」「空」「優太」「陽斗」

女子: 1位「陽菜」, 2位「美羽」, 3位「美咲」, 4位「さくら」, 5位「愛」「葵」「七海」, 8位「真央」, 9位「優衣」, 10位「愛美」「杏」「結菜」「優奈」

明治安田生命保険のホームページには, 生年別の「名前ベスト10」も掲載されていて, 明治45年・大正元年(1912年)から昨年までの各年の, 男女別の名前ベストテンを見ることができます。

<http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/etc/ranking/>

関連文献情報

世相を表す言葉

文献番号 記事標題 [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ

200602700 長屋のご隠居てれび指南帳 長屋のホリエモン考 [「カルイ、ヤバイ、アブナイ」の否定的な意味が逆転 負け犬、勝ち組・負け組、ニート、下層社会は不愉快な言葉 ボランティアは義民と訳せないか] (松尾羊一) 毎日 夕刊 2006-1-27 p.4

200603170 そのほかのニュース エロかわいい女 [形容詞の合成がブーム] (荻原魚雷) 毎日 夕刊 2006-2-1 p.6

- 200603500 政治 「勝ち組」「負け組」批判に対抗 反省すべきは「待ち組」 フリーター、ニート意味 首相「力発揮できる社会に」 読売 朝刊 2006-2-5 p.4
- 200604390 オピニオンワイド みんなの広場 人生の評価 勝ち負けではない 【「勝ち組、負け組」】 毎日 朝刊 2006-2-15 p.4
- 200610030 Newsの窓 勝ち組 本来の意味変え 毎日 朝刊 2006-4-7 p.27
- 200611550 文化 つれづれ 銭カネのこと3 【最近、「下流」「下層」という用語が一人歩き】 読売 朝刊 2006-4-19 p.19
- 200611600 本よみうり堂 トレンド館 辰巳渚の「捨てない！本」 価値ある「希望」への取り組み 【「下流社会」という流行語は受け入れられない】（辰巳渚） 読売 夕刊 2006-4-19 p.5
- 200613040 第3社会 ニュースがわからん！ 「萌え～」ってなんじゃ？ アニメ・ゲームファンの隠語 内からわきあがる熱い思い 朝日 朝刊 2006-5-3 p.29
- 200617040 よみうり寸評 【『キャリアガイダンス』（リクルート）特集 仕事に求められる「傾聴力」 多用される「力」という言い方】 読売 夕刊 2006-6-17 p.1
- 200617360 そのほかのニュース 大人の女の「力」（荻原魚雷） 毎日 夕刊 2006-6-21 p.4
- 200624680 文化芸能 「王子」が来たワケ ひたむき・飾り気なし・かわいさ 中高年女性の心をギュ ヨン様ブームと重なる 【早稲田実業斎藤祐樹投手の愛称「ハンカチ王子」】 朝日 夕刊 2006-9-16 p.5
- 200627830 あなたに聞きたいことがある 日本のスイッチ 第202回 結果発表 「ようつべ」って言葉、どこかで聞いたことがあります13% ないです87% 映画を見に行く時、上映時間を事前に調べるなら 新聞や雑誌で31% ネットで68% 【米の動画投稿サイト「YouTube」のローマ字読み】 毎日 朝刊 2006-10-23 p.28
- 200629510 第2社会 「ハンカチ王子」今年の言葉に 【「ワード・オブ・ザ・イヤー2006」（朝日新聞社主催）】 朝日 朝刊 2006-11-9 p.38
- 200631820 特集ワイド 流行語大賞 今年は何？ スポーツ14語大漁 政治2語不作 「候補語はなんか、軽い」 毎日 夕刊 2006-11-29 p.2
- 200632010 第2社会 流行語大賞は「イナバウアー」「品格」も同時受賞 【ユーキャン新語・流行語大賞】 朝日 朝刊 2006-12-2 p.38
- 200632060 伝統の品格 輝き再びイナバウアー 新語・流行語大賞 【ユーキャン】 毎日 朝刊 2006-12-2 p.30
- 200632100 社会 イナバウアー流行語も「金」 ハンカチ王子も入選 【ユーキャン新語・流行語大賞】 読売 朝刊 2006-12-2 p.38
- 200632350 文化 本よみうり堂 文庫新書 『「流行語大賞」を読み解く』 木下幸雄著 NHK出版生活人新書 読売 朝刊 2006-12-3 p.13
- 200633190 国際 今年の言葉truthiness 「真実であってほしいこと」 【米国辞書出版社メリアム・ウェブスターがサイト利用者の投票を基に発表】 読売 朝刊 2006-12-10 p.7
- 200633320 第2社会 「命」改めて思う06年 【日本漢字能力検定協会公募 今年の漢字】 朝

日 朝刊 2006-12-13 p.38
200633370 現代の深い苦しみが潜む今年の漢字は... 〔財団法人・日本漢字能力検定協会公募〕
毎日 朝刊 2006-12-13 p.28
200633380 命名、1位は大翔、陽奈 〔ベネッセコーポレーション発表〕 毎日 朝刊
2006-12-13 p.28
200633390 今年は「命」 〔日本漢字能力検定協会 今年の漢字〕 読売 朝刊 2006-12-13
p.1
200634070 経済 来年の注目ワード 松坂大輔、メタボ 今年は1位「核実験」、2位「耐震偽
装」 〔エレクトリック・ライブラリー発表〕 読売 朝刊 2006-12-19 p.13
200634330 総合 今年の人気「陸」くん「陽菜」ちゃん 新生児命名 明治安田生命調査 朝日
朝刊 2006-12-21 p.2
200634360 「陸」くん、「陽菜」ちゃんが1位 06年生まれ名前ベスト10 毎日 朝刊
2006-12-21 p.30
200634410 社会 男の子は「陸(りく)」 女の子は「陽菜(ひな)」 2006年の命名1位 〔明
治安田生命保険発表〕 読売 朝刊 2006-12-21 p.33
200634550 [b e - b] R e a d e r s b e t w e e n テーマ：今年を振り返る 全員が
答えました 今年を漢字で表せば？ 「虚」の年救いはスポーツ 朝日 朝刊 2006-12-23 p.7
200634920 ポップスタイルvol.38 News Review 検索ワードこの1年 アク
セス多いのは不祥事や犯罪関連！？ 〔ヤフーのインターネット検索ランキング「mixi(ミ
クシィ)」が1位 「モバイル検索数ランキング」はパソコンよりさらにパーソナル〕 読売 夕
刊 2006-12-27 p.7

第2部 文献一覽



文献一覧

ここでは、資料別に文献データを一覧することができます。

図書・総合雑誌記事については、分野ごとにまとめ、配列しています。分野については「分類の解説」を御覧ください。

新聞記事については、第1部<動向>のトピックごとにまとめ、その順に配列しています。

掲載項目は、資料ごとに異なります。詳しくは、凡例の「データの構造～項目の対照～」を御覧ください。

図書一覧

総合雑誌記事一覧

新聞記事一覧

図書一覧

日本語一般

日本語の歴史

音声・音韻

文字

語彙

文法

文章・文体

方言

言葉と機械

コミュニケーション

マスコミュニケーション

国語教育

日本語教育

言語

辞書・辞典

日本語一般

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

- 2006001 あのひとと語った素敵な日本語 覆面雑談 (「あのひと」; ユビキタ・スタジオ/
著) 2006-1 251p ユビキタ・スタジオ(KTC中央出版) B6 1500円 日本語一般
- 2006002 どうしてそんなにダメされる? ウソとコトバの魔術 日本語を正しく・わかりや
すく・切れ味よく・ふさわしく (下川浩/著) 2006-1 311p 国際語学社 B6 2000円
日本語一般
- 2006003 ちくまプリマー新書 027 世にも美しい日本語入門 (安野光雅; 藤原正彦/著)
2006-1 137p 筑摩書房 B40 700円 日本語一般 【藤原正彦氏の著作】
- 2006004 おいしい日本語 大人のための言語学入門 (金川欣二/著) 2006-2 253p 出
版芸術社 B6 1600円 日本語一般
- 2006005 講談社文庫 はじめてわかる国語 (清水義範/著) 2006-2 351p 講談社 A6
619円 日本語一般
- 2006006 お言葉ですが...10 ちょっとヘンだぞ四字熟語 (高島俊男/著) 2006-3 255p
文芸春秋 B6 1905円 日本語一般
- 2006007 なるほど!日本語うんちく事典 思わず人に話したくなる (中江克己/著)
2006-3 223p P H P 研究所 B6 476円 日本語一般
- 2006008 詩の森文庫 E7 現代詩入門 ことば・日本語・詩 対談 (大岡信; 谷川俊太郎/
著) 2006-3 206p 思潮社 B6 980円 日本語一般
- 2006009 達人の日本語 心に染み込み人生に幸せのパワーをもたらす (本の森編修所/編)
2006-3 179p シーエイチシー(コアラブックス) A5 1333円 日本語一般
- 2006010 文春文庫 司馬遼太郎対話選集2 日本語の本質 (司馬遼太郎/著代表) 2006-4
247p 文芸春秋 A6 457円 日本語一般
- 2006011 ちくま新書 590 日本語を叱る! (加賀野井秀一/著) 2006-4 190p 筑摩書
房 B40 680円 日本語一般
- 2006012 Dr.金田一&柴田理恵のことば診療所 (金田一秀穂; 柴田理恵/著) 2006-5 222p
明治書院 B6 1200円 日本語一般
- 2006013 講談社+ 新書 174-2C 食べる日本語 (塩田丸男/著) 2006-5 206p 講談社
B40 800円 日本語一般
- 2006014 講談社現代新書 1844 「関係の空気」「場の空気」 (冷泉彰彦/著) 2006-6 220p
講談社 B6 720円 日本語一般
- 2006015 メイコとカンナのことばの取説 (中村メイコ; 神津カンナ/著) 2006-6 251p
亜紀書房 B6 1500円 日本語一般

- 2006016 日本語“ どうして ”Q&A100 (中村幸弘/著) 2006-6 221p 右文書院 A5 1500円 日本語一般
- 2006017 日本語不思議図鑑 (定延利之/著) 2006-6 126p 大修館書店 B6 1000円 日本語一般
- 2006018 これも日本語!あれもニホン語? (米川明彦/著) 2006-7 206p 日本放送出版協会 B6 1300円 日本語一般
- 2006019 集英社文庫 日本語の力 (中西進/著) 2006-7 275p 集英社 A6 476円 日本語一般
- 2006020 世論調査報告書 日本人の敬語意識 平成17年度 国語に関する世論調査 (文化庁/編) 2006-7 83p 国立印刷局 A4 1200円 日本語一般
- 2006021 タモリのジャポニカロゴス 国語辞典 第1版 (フジテレビ出版/編刊) 2006-8 205p フジテレビ出版(扶桑社) B6 952円 日本語一般 【テレビ番組関連の図書】
- 2006022 子どもたちに残したい日本語 (斎藤一夫/著) 2006-9 191p 冬青社 B6 1600円 日本語一般
- 2006023 ことば、ことば、ことば (久保田淳/著) 2006-10 251p 翰林書房 B6 2500円 日本語一般
- 2006024 お言葉ですが...11 (高島俊男/著) 2006-11 350p 連合出版 B6 2200円 日本語一般
- 2006025 白水Uブックス 1088 ことばの波止場 (和田誠/著) 2006-11 142p 白水社 B6 900円 日本語一般
- 2006026 生活人新書 204 ふしぎ日本語ゼミナール (金田一秀穂/著) 2006-12 205p 日本放送出版協会 B40 700円 日本語一般
- 2006027 ほぼ日ブックス 金の言いまつがい あらゆる人の心にはジャーゲのジョージが隠れている。(ほぼ日刊イトイ新聞/著) 2006-12 346p 東京糸井重里事務所 B6 1200円 日本語一般
- 2006028 日本語の心 ことばの原風景をたずねて (呉善花/著) 2006-12 283p 日本教文社 B6 1429円 日本語一般
- 2006029 ベスト新書 128 日本人を元気にするホンモノの日本語 言葉の力を取り戻す (大岡信;金田一秀穂/著) 2006-12 179p ベストセラーズ B40 780円 日本語一般
- 2006030 Shinpu Books 幻語辞典 (伴隆志/著) 2006-1 51p 新風舎 B6 1000円 日本語一般
- 2006031 美人のいろは (山下景子/著) 2006-2 279p 幻冬舎 B6 1300円 日本語一般
- 2006032 きれいを磨く 美しい日本語帳 (道行めぐ;一校舎国語研究会/著) 2006-4 255p 永岡書店 A6 571円 日本語一般
- 2006033 ことばの切っ先 心にせまるセリフ (葛西聖司/著) 2006-4 254p 小学館 B6 1800円 日本語一般
- 2006034 湖の本エッセイ 38 ころころ言葉の日本 (秦恒平/著) 2006-5 148p 湖の本版

- 元 A5 1900 円 日本語一般
- 2006035 Toppu 拝啓、金田一先生 (小鳥遊柊子/著) 2006-8 36p 新風舎 A6 700 円 日本語一般
- 2006036 ことばのしおり (堀井正子/著) 2006-10 151p 信濃毎日新聞社 B6 1200 円 日本語一般
- 2006037 男と女の品格 ことばは「カッコよく」使いたい (深谷三工/著) 2006-10 178p 文芸社 B6 1300 円 日本語一般
- 2006038 さんずいあそび (別役実/著) 2006-11 260p 白水社 B6 1800 円 日本語一般
- 2006039 人々を幸せにする日本語 (池田裕/著) 2006-11 212p 麗沢大学出版会(広池学園事業部) B6 1400 円 日本語一般
- 2006040 日本語とはどういう言語か (石川九楊/著) 2006-1 276p 中央公論新社 B6 2200 円 日本語一般
- 2006041 放送大学教材 日本語概説 母語のすがた (杉浦克己/著) 2006-3 243p 放送大学教育振興会(日本放送出版協会) A5 2500 円 日本語一般
- 2006042 新編日本語要説 (鈴木真喜男;長尾勇/著) 2006-4 191p 学芸図書 A5 1700 円 日本語一般
- 2006043 図解日本語 (沖森卓也;木村義之;陳力衛;山本真吾/著) 2006-9 167p 三省堂 A5 2000 円 日本語一般
- 2006044 ことばと文化をめぐって 外から見た日本語発見記 (中田清一;秋元美晴/編) 2006-3 147p ひつじ書房 A5 1800 円 日本語一般
- 2006045 GYROS 日本語の現在 (諏訪春雄/責任編) 2006-3 241p 勉誠出版 A5 2500 円 日本語一般
- 2006046 金田一春彦著作集 別巻 (金田一春彦/著) 2006-5 354p 玉川大学出版部 A5 5000 円 日本語一般

日本語の歴史

| 文献番号 | 書名 (著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 | 分類 |
|------|---------|------|-----|----------|----|------|----|
|------|---------|------|-----|----------|----|------|----|

【トピック】

- 2006047 国語施策百年史 (文化庁/編) 2006-1 992p ぎょうせい A5 6476 円 日本語の歴史>日本語一般の歴史
- 2006048 岩波新書 新赤版 1018 日本語の歴史 (山口仲美/著) 2006-5 236p 岩波書店 B40 740 円 日本語の歴史>日本語一般の歴史

2006049 国語政策の戦後史 (野村敏夫/著) 2006-11 317p 大修館書店 B6 2400 円
日本語の歴史>日本語一般の歴史

2006050 中公新書 1875 「国語」の近代史 帝国日本と国語学者たち (安田敏朗/著)
2006-12 312p 中央公論新社 B40 880 円 日本語の歴史>日本語一般の歴史

2006051 中公文庫 文字の現在書の現在 その起源を読み解く (石川九楊/著) 2006-1
403p 中央公論新社 A6 1429 円 日本語の歴史>文字の歴史

2006052 岩波新書 新赤版 1031 漢字伝来 (大島正二/著) 2006-8 233p 岩波書店
B40 740 円 日本語の歴史>文字の歴史

2006053 歴史文化ライブラリー-210 数え方の日本史 (三保忠夫/著) 2006-3 225p 吉
川弘文館 B6 1700 円 日本語の歴史>語彙の歴史

2006054 日本の女性名 歴史的展望 新版 (角田文衛/著) 2006-4 633p 国書刊行会
A5 8000 円 日本語の歴史>語彙の歴史

2006055 遊子館歴史選書 4 絵で見て楽しむ! 江戸っ子語のイキ・イナセ (笹間良彦/
著) 2006-8 256p 遊子館 B6 1800 円 日本語の歴史>語彙の歴史

2006056 美しい落語のこぼれ (長井好弘/著) 2006-12 104p アスペクト B6 980 円
日本語の歴史>語彙の歴史

2006057 角川学芸ブックス 標語誕生! 大衆を動かす力 (筑紫磐井/著) 2006-12
309p 角川学芸出版(角川書店) B6 1700 円 日本語の歴史>語彙の歴史

2006058 光文社新書 242 漢文の素養 誰が日本文化をつくったのか? (加藤徹/著)
2006-2 240p 光文社 B40 720 円 日本語の歴史>文章・文体の歴史

2006059 祥伝社新書 37 志賀直哉はなぜ名文か あじわいたい美しい日本語 (山口翼/著)
2006-5 228p 祥伝社 B6 740 円 日本語の歴史>文章・文体の歴史

2006060 円朝さんまい よみがえる江戸・明治のこぼれ (森まゆみ/著) 2006-10 354p
平凡社 B6 1800 円 日本語の歴史>文章・文体の歴史

2006061 もっと知りたい!日本語 方言が明かす日本語の歴史 (小林隆/著) 2006-2
223p 岩波書店 B6 1600 円 日本語の歴史>方言の歴史

2006062 沖縄の方言札 さまよえる沖縄の言葉(ウチナーグチ)をめぐる論考 (井谷泰彦/
著) 2006-5 220p ボーダーインク B6 1600 円 日本語の歴史>方言の歴史

2006063 <悪口>という文化 (山本幸司/著) 2006-11 221p 平凡社 B6 2400 円 日
本語の歴史>コミュニケーションの歴史

2006064 国語の底力 知を開き情を養う (塩原経央/著) 2006-4 203p 産経新聞出版
B6 1400 円 日本語の歴史>国語教育の歴史

2006065 シリーズ言葉と社会 4 国語教科書の戦後史 (佐藤泉/著) 2006-5 226p 勤
草書房 B6 2100 円 日本語の歴史>国語教育の歴史

2006066 標準語の村 遠藤熊吉と秋田西成瀬小学校 (北条常久/著) 2006-7 122p 無
明舎出版 A5 1200 円 日本語の歴史>国語教育の歴史

2006067 図説 文字の起源と歴史 ヒエログリフ、アルファベット、漢字 (ロビンソン,
アンドルー/著@片山陽子/訳) 2006-2 282p 創元社 A5 3600 円 日本語の歴史>言語

一般の歴史

音声・音韻

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006068 音の百科事典 (音の百科事典編集委員会/編) 2006-1 1034p 丸善 A5 23000
円 音声・音韻
2006069 現代日本語発音の基礎知識 (榎本正嗣/著) 2006-2 124p 学文社 A5 1500
円 音声・音韻
2006070 声の不思議 診察室からのアプローチ (一色信彦/著) 2006-5 198p 中山書
店 A5 2500円 音声・音韻

文字

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006071 岩波新書 新赤版 991 日本の漢字 (笹原宏之/著) 2006-1 225p 岩波書店
B6 740円 文字>漢字
2006072 中公新書 1831 部首のはなし2 もっと漢字を解剖する (阿辻哲次/著) 2006-1
205p 中央公論新社 B40 720円 文字>漢字
2006073 宝島社文庫 目からウロコの漢字の本 (津田秀樹/編著) 2006-1 317p 宝島
社 A6 648円 文字>漢字
2006074 「完璧」はなぜ「完ぺき」と書くのか これでいいのか? 交ぜ書き語 (田部井文
雄/著) 2006-2 159p 大修館書店 B6 900円 文字>漢字
2006075 居住福祉ブックレット3 漢字の語源にみる居住福祉の思想 (李桓/著) 2006-3
70p 東信堂 B6 700円 文字>漢字
2006076 下村昇の漢字ワールド2 漢字の成り立ち (下村昇/著) 2006-4 174p 高文
研 A5 1600円 文字>漢字
2006077 桂東雑記4 (白川静/著) 2006-4 317p 平凡社 B6 1800円 文字>漢字

- 2006078 漢字の姿1 読み、書き、知る、漢字の世界 (原田幹久/書・著) 2006-5 141p
芸術新聞社 B5 1800円 文字>漢字
- 2006079 日本エディタースクール講義ノート 02 常用漢字字体一覧 デジタル原稿の漢字
の知識 1 (日本エディタースクール/編) 2006-5 97p 日本エディタースクール出版部
B5 1200円 文字>漢字
- 2006080 心、踊る 漢字と戯れて (杜さつき/著) 2006-10 75p 新風舎 B6 1100円
文字>漢字
- 2006081 知って得する漢字の歳時記 (藤本明男/著) 2006-10 286p 清流出版 B6
1700円 文字>漢字
- 2006082 講談社学術文庫 漢字の起源 (藤堂明保/著) 2006-11 237p 講談社 A6 840
円 文字>漢字
- 2006083 白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい (小山鉄郎/著@白川静/監修) 2006-12 190p
共同通信社 B6 1000円 文字>漢字
- 2006084 おもしろ古文書館 古文書の世界をひらく 10の方法 9 ハリガネ流手習い読本
上 (樋口政則/著) 2006-6 34p 名著出版 B5 900円 文字>かな
- 2006085 図説かなの成り立ち事典 (森岡隆/著) 2006-8 234p 教育出版 A5 2500円
文字>かな
- 2006086 おもしろ古文書館 古文書の世界をひらく 10の方法 10 ハリガネ流手習い読本
下 (樋口政則/著) 2006-9 38p 名著出版 B5 900円 文字>かな
- 2006087 旧かなと親しむ 俳句・短歌がゆたかに自在に! (萩野貞樹/著) 2006-3 270p
リヨン社(二見書房) B6 1800円 文字>表記法
- 2006088 古文書も読めるくずし字辞典 新版 (池田こういち/著) 2006-3 360p 学習
研究社 B6 1500円 文字>表記法

語彙

 文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
 【トピック】

- 2006089 青春文庫 335 新語・造語の生みの親 そんなルーツがあったのか! (ことばの
謎研究会/著) 2006-2 268p 青春出版社 A6 600円 語彙>語源
- 2006090 実用 言葉の語源 (生活情報研究会/編) 2006-5 183p ごま書房 A5 1200
円 語彙>語源
- 2006091 日本語の語源の謎 (三浦正好/著) 2006-8 231p 東京図書出版会(リフレ出
版) B6 1300円 語彙>語源

- 2006092 語源たどれば京都 (黒田正子/著) 2006-10 247p ランダムハウス講談社 A6
680 円 語彙>語源
- 2006093 気になる日本語の気になる語源 (杉本つとむ/著) 2006-12 286p 東京書籍
B6 1600 円 語彙>語源
- 2006094 雅な日本語 (加藤糸み子/著) 2006-12 127p ディスカヴァー・トゥエンティ
ワン B6 1300 円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006095 漢語いろいろ (一海知義; 笈久美子; 笈文生/著) 2006-1 275p 岩波書店 B6
2400 円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006096 クイズ!カタカナ語 (カタカナ語研究会/編) 2006-3 150p 三修社 B6 950
円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006097 新「ことば」シリーズ19 外来語と現代社会 (国立国語研究所/編) 2006-3 126p
国立印刷局 A5 460 円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006098 外来語言い換え手引き 分かりやすく伝える (国立国語研究所「外来語」委員会
/編) 2006-6 275p ぎょうせい B6 1524 円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来
語
- 2006099 英語になった日本語 (早川勇/著) 2006-11 200p 春風社 B6 1600 円 語
彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006100 生活人新書201 「流行語大賞」を読み解く (木下幸男/著) 2006-11 221p 日
本放送出版協会 B40 700 円 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006101 暮らしのことばシリーズ1 これは面白い!! 衣のことば 言い得て妙 (三宮庄
二; 幸田美智子/著) 2006-12 161p 宮帯出版社 B6 980 円 語彙>新語・流行語・和
語・漢語・外来語
- 2006102 新潟のことわざ一〇〇話 (田中つとむ/著) 2006-2 238p 考古堂書店 B6
1500 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006103 頭がよくなる四字熟語力 (斎藤孝/著) 2006-5 253p 角川書店 B6 1200 円
語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006104 名作に学ぶ四字熟語 (鵜川昇/著) 2006-8 223p サンマーク出版 B6 1300
円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006105 ことわざ栄養学 食生活の知恵の宝庫 (辻啓介/著) 2006-9 196p 健学社 B6
1400 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006106 近代文芸社新書 世界の諺に学ぶ友人・友情の真実 (岡田春馬/編訳) 2006-9
168p 近代文芸社 B6 1000 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006107 他諺の空似 ことわざ人類学 (米原万里/著) 2006-9 287p 光文社 B6 1400
円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語
- 2006108 知的大人となるためのことわざ社会心理学 日本の常識・「日本人道」を極める
(穴田義孝/著) 2006-9 399p 文化書房博文社 A5 2800 円 語彙>ことわざ・慣用句・
熟語
- 2006109 集英社文庫 恋する四字熟語 (佐藤真由美/著) 2006-9 206p 集英社 A6

552 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006110 ことわざびじん (橋本テツヤ/著) 2006-10 238p 太陽出版 B6 1300 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006111 スポーツに言葉を 現象学的スポーツ学と創作ことわざ (山口政信/著) 2006-11 237p 遊戯社 A5 2600 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006112 中公新書 1871 故事成語でわかる経済学のキーワード (梶井厚志/著) 2006-11 288p 中央公論新社 B6 840 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006113 五〇歳から貝原益軒になる 心と体のことわざ養生術 (山崎光夫/監修) 2006-11 238p 講談社 B6 1400 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006114 でんしゃでよめる四字熟語のはこ (国語研究会/編) 2006-12 192p むさし書房 B6 700 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006115 食のことわざ春夏秋冬 語りつがれる「食育」の宝庫 (沢野勉/著) 2006-12 159p 全国学校給食協会 A5 1300 円 語彙>ことわざ・慣用句・熟語

2006116 D0 BOOKS 「売れるネーミング」の成功法則 よくわかる!ネーミングによるブランド戦略 (岩永嘉弘/著) 2006-4 219p 同文館出版 A5 1600 円 語彙>固有名>命名

2006117 歴史文化ライブラリー-211 苗字と名前の歴史 (坂田聡/著) 2006-4 205p 吉川弘文館 B6 1700 円 語彙>固有名>人名

2006118 九州の苗字を歩く 熊本編 (岬茫洋/著) 2006-5 284p 梓書院 A5 2095 円 語彙>固有名>人名

2006119 静新新書 003 静岡県 名字の由来 (渡辺三義/著) 2006-6 272p 静岡新聞社 B40 1048 円 語彙>固有名>人名

2006120 えひめ名字の秘密 名字でたどるあなたのルーツと愛媛の歴史 第2版 (土井中照/著) 2006-7 175p アトラス出版 B6 1238 円 語彙>固有名>人名

2006121 祥伝社新書 49 戒名と日本人 あの世の名前は必要か (保坂俊司/著) 2006-9 275p 祥伝社 B6 780 円 語彙>固有名>人名

2006122 小学館文庫 姓名力 現代人物篇 有名人の名前検定 1000 (結城信孝/著) 2006-10 237p 小学館 A6 495 円 語彙>固有名>人名

2006123 ニッポン人の姓名(なまえ) (市川香舟/著) 2006-11 248p 秀和システム B6 1500 円 語彙>固有名>人名

2006124 仙台地方の家紋と苗字 (鈴木常夫/著) 2006-11 252p 本の森 B6 1800 円 語彙>固有名>人名

2006125 アイヌ語地名 2 紋別 (伊藤せいち/編著) 2006-1 341p 北海道出版企画センター A5 2800 円 語彙>固有名>地名

2006126 アイヌ語地名釣歩記 北海道のエコ・ツーリズムを考える (榊原正文/著) 2006-2 195p 北海道出版企画センター A5 2400 円 語彙>固有名>地名

2006127 徳間文庫 こだわり地名クイズ (楠原佑介/著) 2006-4 257p 徳間書店 A6 571 円 語彙>固有名>地名

- 2006128 やまがた地名伝説 3 (山形新聞社/編) 2006-4 141p 山形新聞社 A4 1400円 語彙>固有名>地名
- 2006129 知らないと恥ずかしい日本の地名+日本のかたち (日本の地名研究会/編纂) 2006-4 126p 彩図社 B6 680円 語彙>固有名>地名
- 2006130 北海道海岸線地名めぐりの旅 新旧地形図が語る 100選 (尾崎功/著) 2006-8 257p 北海道出版企画センター B5 2800円 語彙>固有名>地名
- 2006131 歴春ふくしま文庫 88 ふくしまの地名を拾う (笹川寿夫/著) 2006-10 198p 歴史春秋出版 B6 1200円 語彙>固有名>地名
- 2006132 喜多方地名散歩 (佐藤健郎/著) 2006-10 177p 歴史春秋出版 B6 857円 語彙>固有名>地名
- 2006133 KAWADE 夢文庫 K729 地名の歴史 そんな秘密があったのか (武光誠/著) 2006-10 220p 河出書房新社 A6 514円 語彙>固有名>地名
- 2006134 地名を歩く 奄美・沖縄の人・神・自然 増補改訂 (南島地名研究センター/編著) 2006-10 260p ボーダーインク B6 1800円 語彙>固有名>地名
- 2006135 平凡社新書 347 47都道府県地名うんちく大全 (八幡和郎/著) 2006-11 358p 平凡社 B40 840円 語彙>固有名>地名
- 2006136 のじぎく文庫 兵庫県の難読地名がわかる本 (神戸新聞総合出版センター/編) 2006-11 358p 神戸新聞総合出版センター B6 1500円 語彙>固有名>地名
- 2006137 魚の名称 (中村庸夫/文・写真) 2006-4 191p 東京書籍 A5 2200円 語彙>固有名>固有名(その他)
- 2006138 日本商船・船名考 (松井邦夫/著・画) 2006-8 361p 海文堂出版 A5 3500円 語彙>固有名>固有名(その他)
- 2006139 中公新書ラクレ 227 ぐっとくる題名 (ブルボン小林/著) 2006-9 205p 中央公論新社 B6 720円 語彙>固有名>固有名(その他)
- 2006140 列車名変遷大事典 (三宅俊彦/著) 2006-9 526p ネコ・パブリッシング 規格外 11429円 語彙>固有名>固有名(その他)
- 2006141 絵でわかる日本語使い分け辞典 1000 (荻原稚佳子/著) 2006-1 203p アルク A5 2200円 語彙>語彙(その他)
- 2006142 ニッポンの名称 和の暮らしモノ図鑑 (服部幸応;市田ひろみ;山本成一郎/監修) 2006-2 167p 淡交社 A5 1600円 語彙>語彙(その他)
- 2006143 略語天国 (藤井青銅/著) 2006-8 206p 小学館 B6 1200円 語彙>語彙(その他)
- 2006144 ことばのビミョーな違いがわかる本 (日本語研究会/編) 2006-9 255p 永岡書店 A6 486円 語彙>語彙(その他)
- 2006145 数々のナゾ kazunazo (岡田ただし/著) 2006-9 167p 東京書籍 A6 1000円 語彙>語彙(その他)
- 2006146 PHP文庫 知っているようで知らない「数字」の雑学 1週間はなぜ7日? 煩悩はなぜ108? 2月はなぜ28日? (日本博学倶楽部/著) 2006-10 297p PHP研究所 A6

571 円 語彙 > 語彙 (その他)

2006147 「擬音語・擬態語」使い分け帳 似ているようで微妙に違う! (山口仲美; 佐藤有紀/著) 2006-11 183p 山海堂 B6 1000 円 語彙 > 語彙 (その他)

2006148 ぶんか社文庫 知ってスッキリ 2 つの違い決定版 (似たもの比較研究室/著) 2006-11 230p ぶんか社 A6 590 円 語彙 > 語彙 (その他)

文法

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所 (発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006149 北原保雄の日本語文法セミナー (北原保雄/著) 2006-8 252p 大修館書店 B6
1600 円 文法

2006150 ふしぎ発見! 日本語文法。(名古屋大学日本語研究会 GA6/編著) 2006-9 186p
三弥井書店 A5 1600 円 文法

2006151 日本語文法 入門ハンドブック (加藤重広/著) 2006-12 156p 研究社 A5
1600 円 文法

文章・文体

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所 (発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006152 文の彩り 顔・姿・心を描く名表現 (中村明/著) 2006-2 222p 岩波書店 B6
2300 円 文章・文体

2006153 大人のための国語授業 名文に宿る「美しい」日本の言葉 (町田健/著) 2006-3
191p 主婦の友社 B6 1200 円 文章・文体

2006154 日本語は人間をどう見ているか (初山洋介/著) 2006-9 169p 研究社 B6
1300 円 文章・文体

2006155 歴代首相の言語力を診断する (東照二/著) 2006-7 228p 研究社 B6 1400
円 文章・文体

2006156 現代“うたことば”入門 (伊藤一彦/著) 2006-12 230p 日本放送出版協会 B6
1300 円 文章・文体

方言

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006157 プチブティックシリーズ 406 使える方言あそび メールで、会話であそんじゃえ! 2006-1 80p ブティック社 B6 500 円 方言>方言一般 【「方言ブーム」と方言関係の図書】

2006158 角川文庫 14176 方言なるほど辞典 (現代言語セミナー/編) 2006-3 190p 角川学芸出版(角川書店) A6 476 円 方言>方言一般

2006159 日本語でなまらナイト しのざき教授のなまらやさしい方言講座 (柳川圭子/著 @しのざきこういち/監修) 2006-10 191p 小学館 B6 1200 円 方言>方言一般 【「方言ブーム」と方言関係の図書】

2006160 ことばのとびら (都染直也/著) 2006-12 239p 神戸新聞総合出版センター B6 1500 円 方言>方言一般 【「方言ブーム」と方言関係の図書】

2006161 天沼香の方言生活徹底講座 (天沼香/著) 2006-3 194p 黎明書房 B6 1500 円 方言>各地の方言

2006162 MC 新書 8 東日本と西日本 列島社会の多様な歴史世界 (大野晋;宮本常一/ほか著) 2006-11 325p 洋泉社 B6 1700 円 方言>各地の方言

2006163 お国ことばで川柳 NHK あおもり 1 (渋谷伯龍/著) 2006-9 184p 北方新社 B6 1000 円 方言>各地の方言

2006164 国立国語研究所資料集 13-2 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 2 岩手・秋田 (国立国語研究所/編) 2006-10 293p 国書刊行会 A5 6800 円 方言>各地の方言

2006165 国立国語研究所資料集 13-3 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 3 宮城・山形・福島 (国立国語研究所/編) 2006-5 285p 国書刊行会 A5 6800 円 方言>各地の方言

2006166 栃木方言の源(ルーツ)を求めて (森下喜一/著) 2006-2 239p 随想舎 A5 2800 円 方言>各地の方言

2006167 ごじゃっぺこくでね~ 栃木弁大全集 (まいふれ那須/編) 2006-7 255p 随想舎 B6 952 円 方言>各地の方言

2006168 歴研選書 東京方言録 (下山照夫/編著) 2006-3 279p 歴研 A5 2000 円 方言>各地の方言

2006169 文春新書 512 とっておきの東京ことば (京須偕充/著) 2006-6 214p 文芸

- 春秋 B40 720円 方言>各地の方言
- 2006170 蒲原の暮らしのことば 新潟方言誌 (野口幸雄/著) 2006-7 226p (新潟日報事業社) A5 2600円 方言>各地の方言
- 2006171 京ことば事典 復刻版 (真下五一/著) 2006-12 255p アートダイジェスト B6 2000円 方言>各地の方言
- 2006172 講談社文庫 大阪弁の詰め合わせ (わかぎゑふ/著) 2006-11 387p 講談社 A6 695円 方言>各地の方言
- 2006173 新潮新書 160 大阪弁「ほんまもん」講座 (札埜和男/著) 2006-3 195p 新潮社 B40 680円 方言>各地の方言
- 2006174 龍馬語がゆく 日常をハイに生きる土佐弁 (渡辺瑠海/著) 2006-10 213p 口コミーションパブリッシング B6 1400円 方言>各地の方言
- 2006175 はんぴ話 方言民話 (寺原重次/著) 2006-8 205p 鉦脈社 B6 1200円 方言>各地の方言
- 2006176 かごしま言葉の泉 (橋口満/著) 2006-4 211p 高城書房 B6 1300円 方言>各地の方言
- 2006177 鹿児島島の伝統産業と職人ことば (福田陽子/著) 2006-9 226p 海鳥社 A5 2000円 方言>各地の方言
- 2006178 新潮文庫 沖縄学 ウチナーンチュ丸裸 (仲村清司/著) 2006-2 334p 新潮社 A6 514円 方言>各地の方言
- 2006179 くまから・かまから 宮古島方言マガジン傑作選 みゃーくふつでつづる宮古のあっちこっち (くまから・かまからライターズ/編著) 2006-7 258p ボーダーインク A5 1600円 方言>各地の方言
- 2006180 うちなあぐち賛歌 (比嘉清/著) 2006-10 176p 三元社 A5 2200円 方言>各地の方言
- 2006181 沖縄語の入門 たのしいウチナーグチ CD付改訂版 (西岡敏;仲原穰/著) 2006-12 212p 白水社 B6 2100円 方言>各地の方言

言葉と機械

-
- | 文献番号 | 書名 (著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 | 分類 |
|---------|---|--------|------|----------|-----|-------|-------|
| 2006182 | 文字符号の歴史 欧米と日本編 (安岡孝一;安岡素子/著) | 2006-2 | 286p | 共立出版 | B5小 | 6000円 | 言葉と機械 |
| 2006183 | 漢検学べる変[×漢]換ミス 変換ミスコンテスト (日本漢字教育振興会/編@日) | | | | | | |
-

本漢字能力検定協会/監修) 2006-2 127p 日本漢字能力検定協会 B6 800円 言葉と機械

2006184 ゆかいな誤変換。DX (ヨシナガ/編著) 2006-5 155p イースト・プレス B6 880円 言葉と機械

コミュニケーション

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
【トピック】

2006185 コミュニケーション基本テキスト プレゼン力・面接力・接客力を身につける (五十嵐健/著) 2006-1 134p 日本能率協会マネジメントセンター B5 1400円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006186 ビジネス・コミュニケーション 基本知識と実践スキル (林香都恵/著) 2006-12 203p 生産性出版 A5 2000円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006187 生活シリーズ 大人の日本語「ウラ読み」講座 (三上文明/著) 2006-2 175p 主婦と生活社 B6 476円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006188 宝島社文庫 499 図解見た目で人はわかる! (津田秀樹/著) 2006-3 237p 宝島社 A6 600円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006189 即興<インプロ>の技術 ここ一番でアガらない 直感力が高まる (吉村竜児/著) 2006-4 201p 日本実業出版社 A5 1400円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006190 なんで挨拶しなきゃいけないんですかぁ~ それに初めて答えた本! (金原亭世之介/著) 2006-7 174p 三五館 B6 1000円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

2006191 東大生が書いたお役人コトバの謎 (東大ベストセラー出版会 PICASO/編) 2006-1 160p 三省堂 B6 1500円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会

2006192 泉返し・百十一点 東北学院大学泉キャンパスことば (高橋巖/著) 2006-9 340p 高文堂出版社 A5 2571円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会

2006193 モバイルコミュニケーション 携帯電話の会話分析 (山崎敬一/編) 2006-4 237p 大修館書店 A5 1800円 コミュニケーション>言葉と生活>談話

2006194 しぐさの民俗学 呪術的世界と心性 (常光徹/著) 2006-9 339p ミネルヴァ書房 A5 2800円 コミュニケーション>言葉と生活>非言語行動

2006195 Maji bijii8 目つき・顔つき・態度を学べ!! (佐藤綾子/著) 2006-12 114p ディスカヴァー・トゥエンティワン B6 1000円 コミュニケーション>言葉と生活>非言

語行動

- 2006196 ユニバーサル手話シリーズ3 会社で使う手話 仕事の基本を手話で学ぼう (高桐尊史; 塩谷武志/手話指導@春山礼子/編@秦政/監修) 2006-6 285p UDジャパン A5 1500円 コミュニケーション>言葉と生活>手話
- 2006197 ハルキ文庫 ダジャレ練習帳 (多治家礼/著) 2006-1 189p 角川春樹事務所 A6 580円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉遊び
- 2006198 岩波新書 新赤版1019 ことば遊びの楽しみ (阿刀田高/著) 2006-5 203p 岩波書店 B40 700円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉遊び
- 2006199 滅入るマガ (高橋正典/著) 2006-5 111p 新風舎 B6 1100円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉遊び
- 2006200 ダジャレは世を救う (ジョーク伊藤/著) 2006-11 78p 文芸社 B6 900円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉遊び
- 2006201 えんぴつで奥の細道 (大迫閑歩/書@伊藤洋/監修) 2006-1 227p ポプラ社 B5 1400円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他) 【『えんぴつで奥の細道』】
- 2006202 外国人力士はなぜ日本語がうまいのか あなたに役立つ「ことば習得」のコツ 新装版 (宮崎里司/著) 2006-1 218p 明治書院 B6 1300円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006203 点字のレッスン (阿佐博/著) 2006-11 80p 視覚障害者支援総合センター(博文館新社) B5 1300円 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006204 そんな言葉づかいでは大恥をかく 常識知らず、とバカにされないために (日本語倶楽部/編) 2006-2 254p 河出書房新社 B6 476円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006205 できる人になるための「図解」「話す力」「聞く力」が身につくノート (高嶋幸広/著) 2006-2 167p PHP研究所 A5 1100円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006206 KAWADE 夢新書313 知らないと恥をかく常識な日本語700問 あなたの日本語チェックと、言葉力アップが同時にできる本 (柴田謙介; 日本語倶楽部/著) 2006-2 195p 河出書房新社 B40 720円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006207 だいわ文庫 13-1E ついつい! 「あいまい」に使っちゃう日本語の本 (日本社/著) 2006-3 310p 大和書房 A6 743円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006208 日本語通の日本語知らず (川本信幹/著) 2006-4 349p 主婦の友インフォス情報社(主婦の友社) B6 1600円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006209 解けないと恥ずかしい! 「日本語力」検定 (日本語力検定委員会/編) 2006-5 190p 彩図社 A6 552円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006210 問題だ! そのバイト語 その言葉は耳障り! 直すべし、その言い方! (浦野啓子

/著) 2006-6 164p 東洋経済新報社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方
>言葉の使い方一般

2006211 B&T ブックス テスト形式!やり直しの日本語 日本語初段から師範まで (佐藤尚子;田島ますみ;小林佳代子/編著@小野博/監修) 2006-7 202p 日刊工業新聞社 B5 1600 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006212 創元ビジネス双書 ビジネスマン・ことばのマナー イザというときのひとこと 新版 (村岡正雄/著) 2006-7 220p 創元社 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006213 学研「大人のテスト」文庫3 正確な日本語力 金田一春彦先生の特別教室 (井上明美/編) 2006-7 127p 学習研究社 A6 500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006214 日本語・言の葉レッスン帖 (言の葉研究会/著@末岡実/監修) 2006-7 214p 海苑社 A5 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006215 大人の「国語力」が面白いほど身につく! (話題の達人倶楽部/編) 2006-8 237p 青春出版社 B6 476 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006216 美しい日本語の書き方・話し方 (山岸弘子/監修) 2006-8 127p 成美堂出版 A5 950 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006217 使えないと恥ずかしい「ボキャブラ」検定 (ボキャブラリー検定委員会/編) 2006-9 190p 彩図社 A6 552 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006218 知れば差がつく日本語の作法 (高橋清之/著) 2006-9 159p 新風舎 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006219 日本語どっち!? (北原保雄/著) 2006-9 158p 金の星社 B6 900 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006220 ステラ MOOK NHK ことばおじさんのナットク日本語塾 1 (NHK サービスセンター/編刊) 2006-10 136p NHKサービスセンター B5 小 762 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般 【テレビ番組関連の図書】

2006221 NHK シリーズ NHK アナウンサーのはなすきくよむ 実践新社会人編 (日本放送協会;日本放送出版協会/編) 2006-10 243p 日本放送出版協会 A5 580 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006222 マズい日本語レストラン ムカつくコトバを出されたらどうする!? (樋口裕一/語る人) 2006-10 145p オレンジページ B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006223 ミニブックシリーズ 常識のまぎらわしい日常語 (リベラル社/編) 2006-10 79p リベラル社(星雲社) A6 500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

2006224 ミニブックシリーズ 常識の間違えやすい同音語 (リベラル社/編) 2006-10 79p リベラル社(星雲社) A6 500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方

方一般

- 2006225 日本語への文士の心構え すぐれた文章を書くために (大久保房男/著)
2006-10 193p アートデイズ B6 1600 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の
使い方一般
- 2006226 勘違いことばの辞典 (西谷裕子/著) 2006-11 310p 東京堂出版 B6 1800
円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006227 読む力・聴く力 (河合隼雄;立花隆;谷川俊太郎/著) 2006-11 194p 岩波書
店 B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006228 日本語力が身につく言語思考パズル (中村万里/著) 2006-11 109p 創言社
A5 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006229 かなり役立つ日本語ドリル 問題な日本語 番外 (北原保雄/監修) 2006-12
159p 大修館書店 B6 850 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006230 ぶんか社文庫 言ってはいけないおかしな日本語 (諸星美智直/監修) 2006-12
223p ぶんか社 A6 619 円 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006231 場面別敬語の正しい使い方 恥をかかない!すぐに身につく! 基本ルールから
感じのいい「言葉づかい・話し方」まで (尾形圭子/著) 2006-2 189p 大和出版 B6
1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006232 その敬語、ヘンですよ! 2時間でわかるビジネス常識 (志田唯史/著@野元菊
雄/監修) 2006-3 174p アーク出版 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方
>敬語
- 2006233 敬語ネイティブになろう!! (草薙裕/著) 2006-4 159p くろしお出版 B6
1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006234 実践!ビジネス敬語 社会人の基本はきちんとした「口のきき方」から (川本信
幹/著) 2006-5 191p 主婦の友インフォス情報社(主婦の友社) B6 1300 円 コミュ
ニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006235 新書y154 敬語レッスンブック (晴山陽一/著) 2006-6 211p 洋泉社 B40
780 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006236 敬語練習帳 いちばん問題な日本語 (有吉忠行/著) 2006-6 206p 幻冬舎 B6
1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006237 そのまま使える!ビジネス敬語の基本講座 オールカラーでわかりやすい! (ブ
レインズ株式会社/監修) 2006-10 175p 成美堂出版 B6 950 円 コミュニケーション
>言葉の使い方>敬語
- 2006238 頭がいい人の敬語の使い方 仕事がデキる人間が使う究極の話術 (本郷陽二/監
修) 2006-11 197p 日本文芸社 B6 648 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006239 スラスラ話せる敬語入門 一目でわかる!! すぐに使える!! (渡辺由佳/著)
2006-11 219p かんき出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006240 やばい敬語 あぶない会話 気まずい空気 (生活情報研究会/著) 2006-12
174p ごま書房 B6 952 円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語

- 2006241 祥伝社黄金文庫 敬語の達人 クイズでわかるあなたの勘違い (山岸弘子/著)
2006-12 275p 祥伝社 A6 571円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006242 Business Manner Guide Book 正しい敬語事例&フレーズ辞典 シーン別!これだけは押さえておきたい (大嶋利佳/著) 2006-12 223p 秀和システム B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006243 「はぐらかし」の技術 (梅森浩一/著) 2006-1 167p 日本経済新聞社 B6 1200円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006244 その道のプロが鍛える実戦「会話力」!! (知的生活追跡班/編) 2006-1 237p 青春出版社 B6 476円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006245 なぜか、いつも会話がはずまない人へ 口ベタでもうまくいく! (大畠常靖/著) 2006-1 220p 総合法令出版 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006246 人に好かれる人嫌われる人の「ものの言い方」 (斎藤茂太/著) 2006-1 197p 新講社 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006247 <図解>「できる人」の話し方、その見逃せない法則 (ホーガン, ケビン/著@五十嵐哲/訳) 2006-2 95p PHP研究所 B5 952円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006248 Asuka business & language books あたりまえだけどなかなかできない説明のルール (鶴野充茂/著) 2006-2 213p 明日香出版社 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006249 知的生きかた文庫 一週間が変わるいい女の「言葉塾」 あなたはもっともっと素敵になれる! (松原惇子/著) 2006-2 173p 三笠書房 A6 533円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006250 リュウ・ブックスアステ新書 21 人は「話し方」で9割変わる (福田健/著) 2006-2 221p 経済界 B6 800円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006251 人を2時間飽きさせない「雑談力」 (多湖輝/著) 2006-2 189p 新講社 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006252 3分以内で「自分」を売り込む仕事術 古谷治子のビジネス塾 選ばれるビジネスパーソンになるための基本ルール (古谷治子/著) 2006-3 190p 実業之日本社 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006253 「物語力」で人を動かせ! (平野日出木/著) 2006-3 250p 三笠書房 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006254 いつも「うまくいく人」の反論の技術 (箱田忠昭/著) 2006-3 197p すばる舎 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006255 かわいい大人になる!話し方レッスン (渡辺由佳/著) 2006-3 207p すばる舎 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006256 ちくま文庫 質問力 話し上手はここがちがう (斎藤孝/著) 2006-3 233p 筑摩書房 A6 480円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006257 集英社文庫 人の心を動かす「ことば」の極意 (斎藤茂太/著) 2006-3 250p

集英社 A6 457円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006258 男のユーモア話術 (金子登/著) 2006-3 219p ロングセラーズ B6 905円
コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006259 PHP新書390 頭がいい人、悪い人の<口ぐせ> (樋口裕一/著) 2006-3 221p
PHP研究所 B6 714円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006260 KAWADE 夢新書 頭がいい人の心理トリックの会話術 (小泉十三/著) 2006-3
201p 河出書房新社 B6 720円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006261 文句を言う技術 相手も自分も得する人間関係をつくる! (谷川須佐雄/著)
2006-3 206p 有楽出版社;実業之日本社 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使
い方>話す
2006262 論理力 「コトバの力」を鍛える超技術! (北岡俊明;ディベート大学/著)
2006-3 229p こう書房 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006263 1分で話をまとめる技術 「頭がいい人」が武器にする (樋口裕一/著) 2006-4
220p 青春出版社 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006264 ワニ文庫 ことば美人のプチ・テクニク 思わず「うん!」と言わせる (杉山
美奈子/著) 2006-4 157p ベストセラーズ A6 571円 コミュニケーション>言葉の使
い方>話す
2006265 PHP文庫 その言い方では、人はついてこない やる気を確実に引き出す「感情表
現」スキル (原孝/著) 2006-4 244p PHP研究所 A6 476円 コミュニケーション
>言葉の使い方>話す
2006266 びっくりするほど上手くなる!話し方の技術 (桜井弘/著) 2006-4 111p 中
経出版 B5 1000円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006267 エレガントなマナーと話し方 魅力的な女性になる 77のレッスン (住友淑恵/
監修) 2006-4 127p 成美堂出版 A5 900円 コミュニケーション>言葉の使い方>話
す
2006268 小心者でもサラリとかわせる「断る」心理テクニク (内藤誼人/著) 2006-4
231p ゴマブックス B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006269 心がきちんと伝わる話し方 パブリック・スピーキングのポイント (中野雄一郎
/著) 2006-4 63p いのちのことば社サイトブックス B6 600円 コミュニケーション
>言葉の使い方>話す
2006270 知的生きかた文庫 聡明な女性は会話上手 あなたの魅力を伝える話し方とマナ
ー (小笠原敬承斎/著) 2006-4 189p 三笠書房 A6 533円 コミュニケーション>言
葉の使い方>話す
2006271 PHP文庫 頭のいい女の話し方 42 (八坂裕子/著) 2006-4 260p PHP研究
所 A6 533円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006272 突破流・実践ヤクザ式対話術 (宮崎学/著@西原理恵子/漫画) 2006-4 207p
白夜書房 B6 1429円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006273 二見文庫 魔法のほめ言葉 心をつかむ! (桜井弘/著) 2006-4 229p 二見

- 書房 A6 600円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006274 シリーズ日本語があぶない 話したい、話せない、「話す」の壁 (久世光彦/著代表) 2006-4 196p ゆまに書房 A5 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006275 成美文庫 「できる人」の話し方 (梶原しげる/監修) 2006-5 222p 成美堂出版 A6 505円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006276 「ホントにそうだ!」と相手を納得させる技術 プレゼン・企画・営業・販売に役立つ (高橋浩一/著) 2006-5 174p あさ出版 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006277 あなたの熱意はなぜ伝わらないのか 「話し方」「聞き方」で損をしている人へ 対人関係がスムーズにいくコミュニケーション術 (岸英光/著) 2006-5 223p かんき出版 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006278 KAWADE 夢文庫 これをマネるだけですらすら話せるスピーチ・挨拶 (暮らしの達人研究班/編) 2006-5 223p 河出書房新社 A6 514円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006279 PHP文庫 なぜ、あなたの話は1割も通じないのか 相手の心を確実に動かす技術 (高島幸広/著) 2006-5 205p PHP研究所 A6 457円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006280 ビジネスマナーものの言い方辞典 信頼度・好感度が確実にアップ! (シーズ/著) 2006-5 223p 技術評論社 B6 1380円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006281 ソフトバンク新書11 口説く技術 (内藤誼人/著) 2006-5 174p ソフトバンククリエイティブ B6 700円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006282 PHP文庫 仕事ができる人の魔法の口ぐせ (高城幸司/著) 2006-5 219p PHP研究所 A6 476円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006283 瞬間・交笑術。 今日から人脈がみるみる増える! 大人を笑わせる23の法則 (溝端隆三; 徳田神也/著) 2006-5 191p G.B. B6 619円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006284 論理的な話し方が身につく本 ストーリーの組み立てから説得テクニックまで (西村克己/著) 2006-5 159p PHPエディターズ・グループ(PHP研究所) B6 1100円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006285 15秒でツカミ 90秒でオトすアサーティブ交渉術 年間276日「研修女王」が教える (大串亜由美/著) 2006-6 220p ダイヤモンド社 B6 1429円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006286 「10聞いて」「3話す」人に好かれる会話術 (斎藤茂太/著) 2006-6 158p 新講社 B6 1200円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006287 ビジネス心理学シリーズ1 「なぜか、人の心をつかむ話し方」が身につく本 (樺旦純/著) 2006-6 198p 同文館出版 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006288 「言い方ひとつ」人の心を動かす会話力 (渋谷昌三/著) 2006-6 190p 新講

- 社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006289 できる説得 (多湖輝/著) 2006-6 195p ゴマブックス B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006290 PHP 文庫 ダンナの気分をよくする魔法の言葉 「この話し方」で亭主はあなたの思うツボ?! (今井登茂子/監修) 2006-6 235p PHP 研究所 A6 495 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006291 愛される話し方塾 幸せになる!美人になる! (松田綾子/著) 2006-6 191p 主婦の友社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006292 ぶんか社文庫 好感度 200%up の話し方 (渋谷昌三/著) 2006-6 220p ぶんか社 A6 581 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006293 淑女のためのセンスのいい話し方 (上月マリア/著) 2006-6 222p 青春出版社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006294 人を動かす言葉の戦略 部下が動く、上司が動く、顧客が動く (プレジデント編集部/編) 2006-6 255p プレジデント社 B6 952 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006295 老会話 親子からビジネスまで、どう話す?どう接する? (梶原しげる/著) 2006-6 199p 東洋経済新報社 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006296 “交渉美人”は生き方上手 30歳から始める協調的交渉術 (野沢聡子/著) 2006-7 223p 郵研社 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006297 「なぜか好かれる女性」の話し方のルール 仕事がすっきりとうまくいく (樺旦純/著) 2006-7 196p 青春出版社 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006298 「モテる男」の日本語 ビジネスでも合コンでも使える 18 の最強フレーズ (梅森浩一/著) 2006-7 155p 宝島社 B6 1143 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006299 中公新書ラクレ 221 あなたの話は、なぜまわりくどいか (矢幡洋/著) 2006-7 230p 中央公論新社 B6 740 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006300 インド人はなぜ言い負かすのがうまいのか 誰でも交渉に強くなれる本 (榎本博明/監修) 2006-7 205p インデックス・コミュニケーションズ B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006301 愛がとどく話し方 Love is the Message (八坂裕子/著) 2006-7 206p DHC B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006302 好かれる人の魔法の言葉 言い方ひとつでトクをする好感度アップの会話術 (島田宣子/著) 2006-7 223p こう書房 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006303 幸せを呼ぶ美人話法 (広瀬久美子/著) 2006-7 243p 海竜社 B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006304 仕事ができる人は「話し方」が 9 割 (唐沢明/著) 2006-7 222p 広済堂出版

B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006305 成美文庫 人を動かす!話し方練習帳 (神戸健二/著) 2006-7 237p 成美堂
出版 A6 524 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006306 人前で 3 分、あがらずに話せる本 もう恥をかきたくない! (金井英之/著)
2006-7 231p すばる舎 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006307 「雑談」のうまい人はチャンスをつかむ (多湖輝/著) 2006-8 174p 新講社
B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006308 たった 3 分で美人になる話し方 Beautiful Woman Training (大嶋利佳/著)
2006-8 207p アスカ・エフ・プロダクツ(明日香出版社) B6 1300 円 コミュニケーシ
ョン>言葉の使い方>話す
2006309 なぜ、あの人の言い分だけ通るのか? できる人の自己主張テクニック (佐藤綾
子/著) 2006-8 222p シーアンドアール研究所 B6 1429 円 コミュニケーション>言
葉の使い方>話す
2006310 ビジネスいらすとれいてっど 人に好かれるものの言い方・伝え方のルールとマナ
ー (古谷治子/監修) 2006-8 125p 日本実業出版社 B6 1200 円 コミュニケーショ
ン>言葉の使い方>話す
2006311 成美文庫 論理的な話し方が面白いほどできる本 (西部直樹/著) 2006-8 234p
成美堂出版 A6 524 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006312 成美文庫 「会話力」検定ドリル (植松二郎/構成@轡田隆史/監修) 2006-9
238p 成美堂出版 A6 524 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006313 「図解」他人を動かすのが上手な人の「心理術」 明日からすぐに、そしてずっと
役に立つ! (伊東明/著) 2006-9 97p P H P 研究所 B5 952 円 コミュニケーショ
ン>言葉の使い方>話す
2006314 講談社+ 新書 317-1C あなたの「言い分」はなぜ通らないか (中島孝志/著)
2006-9 190p 講談社 B6 800 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006315 リュウ・ブックスアステ新書 24 あなたの「話し方」がダメな理由 1 分間で、人
を「とりこ」にする方法 (福田健/著) 2006-9 213p 経済界 B6 800 円 コミュニケ
ーション>言葉の使い方>話す
2006316 さようなら! 「あがり症」 10 人から 100 人の前でラクに話せる (麻生けんた
ろう/著) 2006-9 223p 同文館出版 B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方
>話す
2006317 セレクション社会心理学 10 依頼と説得の心理学 人は他者にどう影響を与える
か (今井芳昭/著) 2006-9 274p サイエンス社 B6 1500 円 コミュニケーション>
言葉の使い方>話す
2006318 中経の文庫 上手な話し方の技術 (桜井弘/著) 2006-9 189p 中経出版 A6
495 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006319 心を引きつける人に好かれる話し方 (大嶋友秀/著) 2006-9 255p 永岡書店
A6 486 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006320 成美文庫 成功者に学ぶ心をつかむ言葉術 (夏川賀央/著) 2006-9 221p 成
美堂出版 A6 505 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006321 日本一高いコンサルタントと心理臨床家が教える仕事で頭ひとつ抜きん出る裏ト
ーク術 (佐藤昌弘;堀之内高久/著) 2006-9 245p ダイヤモンド社 B6 1429 円 コ
ミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006322 論理的に「話す」技術 PREP 法で簡単に身につく (大嶋友秀/著) 2006-9 206p
日本実業出版社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006323 論理表現の方法 (橋本恵子/著) 2006-9 96p 創言社 A5 1200 円 コミュ
ニケーション>言葉の使い方>話す

2006324 Seishun Super Bbooks ことばのマナー大人の話し方便利帳 さらりと使えるピカ
イチのフレーズ集 (知的生活研究所/著) 2006-10 125p 青春出版社 B6 1100 円 コ
ミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006325 文春新書 531 ネット時代の反論術 (仲正昌樹/著) 2006-10 216p 文芸春秋
B40 730 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006326 会話の達人 たった一言で「この人は信頼できる」と思われる 63 の方法 (中谷
彰宏/著) 2006-10 209p ベストセラーズ B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使
い方>話す

2006327 自分をうまく伝える 15 の方法 (マクファーラン,ビル/著@金井真弓/訳)
2006-10 247p オープンナレッジ B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話
す

2006328 幻冬舎セレクト 信頼される人のキメの一言 (浦野啓子/著) 2006-10 209p
幻冬舎 B6 952 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006329 図解「伝える」技術ルール 10 話して伝える書いて伝える図表で伝える コミュ
ニケーション技術のカリスマ藤沢晃治先生の誌上公開セミナー (藤沢晃治/著) 2006-10
95p 講談社 B5 952 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006330 誰からも好かれるスマートな話し方 (古谷治子/監修) 2006-10 159p ナツメ
社 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006331 朝倉千恵子の「人を動かす話し方」の技術 5 日間レッスン (朝倉千恵子/著)
2006-10 191p 主婦の友インフォス情報社(主婦の友社) B6 1400 円 コミュニケーシ
ョン>言葉の使い方>話す

2006332 ワニ文庫 40 歳からの人を動かす「表現力」 (中島孝志/著) 2006-11 239p
ベストセラーズ A6 571 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006333 「あがり」を克服できる話し方 (金井英之/著) 2006-11 238p 早稲田出版 B6
1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006334 「人見知り」な人ほど話し上手になれる 「沈黙」がこわい 東北から上京して
30 年超、多くのセミナーで人気講師となった私の方法 (野村郁夫/著) 2006-11 191p ア
スカ・エフ・プロダクツ(明日香出版社) B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い
方>話す

- 2006335 なぜか主張がとおる人の話し方&考え方 (太田龍樹/著) 2006-11 192p P H P 研究所 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006336 集英社 be 文庫 幸運の 99%は話し方で決まる! (八坂裕子/著) 2006-11 223p 集英社 A6 552 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006337 KAWADE 夢文庫 女性に好かれる言葉嫌われる言葉 モテる男は、言葉づかいを知っている (夢プロジェクト/編) 2006-11 220p 河出書房新社 A6 514 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006338 KAWADE 夢文庫 男が舞いあがるひと言ムツとくるひと言 賢い女性は、言葉づかいを知っている (夢プロジェクト/編) 2006-11 223p 河出書房新社 A6 514 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006339 必ず、人生がうまくいく「ひとこと」の魔法 (今井登茂子/著) 2006-11 180p P H P 研究所 B6 1000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006340 ちくま文庫 あなたの話はなぜ「通じない」のか (山田ズーニー/著) 2006-12 249p 筑摩書房 A6 480 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006341 自分の考えを「5 分でまとめ」「3 分で伝える」技術 (和田秀樹/著) 2006-12 190p 新講社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006342 人が育つ話し方 海上自衛隊でのカウンセリングから生まれた (渡辺秀樹/著) 2006-12 231p 新日本文芸協会(星雲社) B6 1600 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006343 成功する「話し方」7つの黄金律 できる人だけが知っている (吉野真由美/著) 2006-12 237p ソフトバンククリエイティブ B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006344 声がよく簡単トレーニング 好感度アップ! (福島英/著) 2006-1 175p 成美堂出版 A5 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006345 あなたの声がかぐんぐんよくなる!! 1人でできるボイストレーニング CD ブック (亀淵友香/著) 2006-2 126p 主婦と生活社 A5 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006346 人に愛される声の演出力 (尾塚理恵子/著) 2006-2 190p 中経出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006347 図解・できる人は声が違う!みるみる声をよくする本 声ひとつであなたに対する信頼が大きく変わる! (福島英/監修) 2006-2 95p 洋泉社 B5 1000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006348 声の魔法 あなたを輝かせるステキな声の育て方 (浜田真実/著) 2006-3 222p アスペクト B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006349 PHP 文庫 発声力 「ボイストレーニング」であなたの人生が変わる! (亀淵友香/著@松永敦/医学監修) 2006-3 194p P H P 研究所 A6 457 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006350 美人の声 あなたの魅力を最大限に引き出す (谷川須佐雄/著) 2006-4 223p

あさ出版 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006351 ヴォイストレーニング実践講座 声の基礎づくりからプロの使える声になるメニュー (福島英/著) 2006-7 159p シンコーミュージック・エンタテイメント A5 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006352 声を出せば脳はルンルン (飯島晶子/著) 2006-7 87p 清流出版 A5 1700円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006353 Asuka Business & Language Books 絶妙な「声」を発する技術 あなたの魅力を最大に発揮する「宝物の声」 (福島英/著) 2006-7 245p 明日香出版社 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006354 言葉と声の磨き方 一瞬であなたの印象を変える技術 (白石謙二/著) 2006-10 158p フォレスト出版 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006355 サルでも使える会議の本 (吉本精樹/著) 2006-1 163p アスカ・エフ・プロダクツ(明日香出版社) B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006356 会議の教科書 強い企業の基本の「型」を盗む! (山崎将志/著) 2006-1 207p ソフトバンククリエイティブ A5 1500円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006357 できる人の会議に出る技術 仕事の基本 ココで同期に差をつける! (堀公俊; 荒金雅子; 本山雅英/著@日本ファシリテーション協会/監修) 2006-3 185p 日本能率協会マネジメントセンター B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006358 いい会議○悪い会議× (樋口裕一/著) 2006-4 215p 海竜社 B6 1400円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006359 絵で見てわかる集会の進め方 A to Z (柳義子/著) 2006-4 85p やどかり出版 A5 1000円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006360 パンドラ新書 41 議論に絶対勝つ! 最強の知的会話術 相手に「手ごわい」と思わせる鉄壁テクニック (清水勤/著) 2006-4 228p 日本文芸社 B6 838円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006361 デイバートの達人が教える説得する技術 なぜか主張が通る人の技術と習慣 (太田龍樹/著) 2006-5 207p フォレスト出版 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006362 いつまでそんな会議やってんの! (古賀ひろのり/著) 2006-6 276p 総合法令出版 B6 1500円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006363 実務で役立つプロジェクトファシリテーション 本音を引き出し納得を生み出す会議の進め方 (中西真人/著) 2006-6 183p 翔泳社 A5 2000円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006364 B&T ブックス 本物の会議 (山田豊; 笠井洋/著) 2006-6 165p 日刊工業新聞社 A5 1500円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006365 講談社現代新書 1855 だまされない<議論力> (吉岡友治/著) 2006-8 237p 講談社 B6 720円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
2006366 ファシリテーション・グラフィック 議論を「見える化」する技法 (堀公俊; 加

藤彰/著) 2006-9 221p 日本経済新聞社 A5 2000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006367 燃える!会議術 早く終わって、結果が出る! 98%の会社で「ムダな議論」が行われている (プレジデント編集部/編) 2006-9 213p プレジデント社 B6 952 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006368 Asuka Business & Language Books あたりまえだけどなかなかできない会議のルール (宇都出雅巳/著) 2006-11 215p 明日香出版社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006369 新潮新書 190 会議で事件を起こせ (山田豊/著) 2006-11 207p 新潮社 B6 680 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006370 図解雑学ディベート (鈴木勉/著) 2006-11 223p ナツメ社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006371 中経の文庫 ディベートが面白いほどできる本 (茂木秀昭/著) 2006-12 253p 中経出版 A6 552 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006372 PHP ビジネス新書 18 今すぐできる!ファシリテーション 効果的なミーティングとプロジェクトを目指して (堀公俊/著) 2006-12 237p PHP 研究所 B6 820 円 コミュニケーション>言葉の使い方>話す

2006373 「できる人」の聞き方&質問テクニック (箱田忠昭/著) 2006-3 196p フォレスト出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006374 パンドラ新書 42 「傾聴」話し上手は聴き上手 「聴く」ことであなたの人間力・仕事力がアップ!! (鈴木絹英/著) 2006-4 222p 日本文芸社 B6 838 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006375 要点を聞く技術 どんな人の話もムダにしない 52 の手法 (浦野啓子/著) 2006-5 190p 実業之日本社 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006376 聴き上手は、コミュニケーション上手 職場の人間関係、接客・営業、子育て、介護、ボランティア...すべては《聴くこと》で変わる (井原伸允/編著) 2006-9 343p (ビジネス教育出版社) B6 1800 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006377 Asuka Business & Language Books 絶妙な「聞き方」の技術 NLP 理論・インプロ・心理学を駆使した!人間関係をよりよくするための「例の方法」話を聞けば相手の気持ちが見えてくる (宇都出雅巳/著) 2006-10 180p 明日香出版社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006378 聞く技術 きちんと「受けて」きちんと「返す」 (今井登茂子/著) 2006-11 197p 講談社 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006379 ほんとうに頭のいい人は聞き上手 (多湖輝/著) 2006-11 189p 新講社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>聞く

2006380 <世界>を書く技術と思想 21 世紀のメディア表現 (山本武信/著) 2006-1 293p ミネルヴァ書房 B6 3400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006381 ケース・メソッドで学ぶ文章上達法 (松永美弘/著) 2006-1 132p 学文社 A5

1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006382 わかる・読ませる小さな文章 (村上玄一/著) 2006-2 222p 幻冬舎 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006383 スグ身につく!論理的なコトバの使い方&文章術 頭をスッキリ整理するスキルが身につく! (出口汪/著) 2006-2 223p フォレスト出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006384 日本語を知る・磨く 文章を書く技術 (佐竹秀雄/著) 2006-2 254p ベレ出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006385 KAWADE 夢文庫 これをマネるだけですらすら打てるメール文 (暮らしの達人研究班/編) 2006-3 223p 河出書房新社 A6 514 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006386 教師のための文章教室 自己表現力を高める 50 のポイント (鈕持勉/著) 2006-3 165p ジアース教育新社 A5 1333 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006387 魂の文章術 書くことから始めよう (ゴールドバーグ, ナタリー/著@小谷啓子/訳) 2006-3 271p 春秋社 B6 1800 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006388 読むだけで「書く力」が劇的に伸びる本 作文指導のプロが教える大人のための文章講座 (芦永奈雄/著) 2006-3 228p 大和出版 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006389 日本語上手。ひと味ちがう表現へ (名古屋大学日本語表現研究会/編) 2006-3 142p 三弥井書店 A5 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006390 論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術 (古郡廷治/著) 2006-3 220p 日本エディタースクール出版部 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006391 いますぐ書けちゃう作文力 子どもたちと、むかし子どもだった大人たち、必読! 斎藤孝とつくる本 (斎藤孝/著) 2006-4 153p どりむ社 A5 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006392 KAWADE 夢文庫 これをマネるだけですらすら書ける手紙・はがき文 (暮らしの達人研究班/編) 2006-4 222p 河出書房新社 A6 514 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006393 講談社現代新書 1834 スラスラ書ける!ビジネス文書 (清水義範/著) 2006-4 201p 講談社 B6 720 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006394 頭のいい人がしている仕事のメモ術・ノート術 (中川裕/著) 2006-4 207p ぱる出版 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006395 宝島社新書 208 樋口式「頭のいい人」の文章練習帳 (樋口裕一/著) 2006-4 159p 宝島社 B6 714 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006396 文章の新教室 (佐久間保明/著) 2006-4 168p 武蔵野美術大学出版局 A5 1900 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006397 あたりまえだけどなかなか書けない文章のルール (堀内伸浩/著) 2006-5 213p クロスメディア・パブリッシング(明日香出版社) B6 1300 円 コミュニケーション>言

葉の使い方>書く

2006398 ビジネスマンの書き方塾 速く書けて、的確に伝わるビジネス文書術 (日本語再勉強会/編) 2006-5 192p はまの出版 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006399 ビジネス文書の書式文例 270 書き方の基本がわかり応用自在 (同文館出版株式会社/編著) 2006-5 301p 同文館出版 A5 2700 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006400 ビジネス文章力の鉄則 10分間で超速スキル up! (永山嘉昭/著) 2006-5 189p 日経 B P 社(日経 B P 出版センター) A5 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006401 句読点活用辞典 第3版 (大類雅敏/編著) 2006-5 313p 栄光出版社 B6 2000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006402 日本でいちばんわかりやすい文章術読本 ぐんぐん書きたくなる (秋庭道博/著) 2006-5 212p 日本エディタースクール出版部 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006403 「書く力」が「仕事力」を高める! (福島哲史/著) 2006-6 219p ロングセラーズ B6 905 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006404 「町田式」正しい文章の書き方 言いたいことが正確に伝わる! (町田健/著) 2006-6 207p P H P 研究所 B6 1100 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006405 「読ませる!」文章術 あなたのビジネスチャンスが10倍広がる (沼田裕/著) 2006-6 215p 大和出版 B6 1400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006406 「文章の学校」の教科書 基礎編 1週間でマスター プロの現場には文章上達のヒントがいっぱい! (編集の学校;文章の学校/監修) 2006-6 207p 雷鳥社 B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006407 小学館文庫 リンボウ先生の文章術教室 (林望/著) 2006-6 236p 小学館 A6 533 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006408 悪魔の文章術 (樋口裕一/著) 2006-6 222p 三笠書房 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006409 朝日文庫 炎の作文塾 (川村二郎;朝日新聞レッツ編集部/編) 2006-6 270p 朝日新聞社 A6 600 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006410 上手な旅行記の書き方 旅を書く読む本にする (岳真也/著) 2006-6 215p 心交社 B6 1500 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006411 ちくま新書 600 大学生の論文執筆法 (石原千秋/著) 2006-6 254p 筑摩書房 B6 740 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006412 論理的な文章の書き方が面白いほど身につく本 知りたいことがすぐわかる 「わかりやすい文章」を書くための基本ポイント 35 (西村克己/著) 2006-6 158p 中経出版 B6 1100 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006413 Web文章上達ハンドブック 良いテキストを書くための30カ条 (森屋義男/著)

2006-7 102p 日本エディタースクール出版部 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の
使い方>書く

2006414 カリスマ先生の小論文・作文 7 日間で基礎から学びなおす (樋口裕一/著)
2006-7 237p P H P 研究所 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006415 福田和也の「文章教室」 (福田和也/著) 2006-7 263p 講談社 B6 1500 円
コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006416 明文術 伝わる日本語の書きかた (阿部圭一/著) 2006-8 194p N T T 出版
A5 1800 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006417 よくわかる文章表現の技術 4 発想編 (石黒圭/著) 2006-9 310p 明治書院
A5 1900 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006418 何かを書きたいあなたへ ケータイ小説の女王が教える文章術! (内藤みか/著)
2006-10 222p ビジネス社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006419 ソフトバンク新書 23 「書ける人」になるブログ文章教室 (山川健一/著)
2006-11 246p ソフトバンククリエイティブ B6 700 円 コミュニケーション>言葉の使
い方>書く

2006420 祥伝社新書 55 まず「書いてみる」生活 「読書」だけではもったいない (鷲
田小彌太/著) 2006-11 231p 祥伝社 B6 760 円 コミュニケーション>言葉の使い方
>書く

2006421 ビジネス文書と日本語表現 正しい美しい日本語で相手の心をつかむ (河田美恵
子/著) 2006-11 141p 学文社 B5 2000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006422 メモ取り・手帳術が面白いほど身につく本 知りたいことがすぐわかる 仕事力ア
ップ! 目標や夢を叶える最新のメモ・手帳術 36 (松山真之助/著) 2006-12 158p 中経
出版 B6 1100 円 コミュニケーション>言葉の使い方>書く

2006423 読書世論調査 2006 年版 第 59 回読書世論調査 第 51 回学校読書調査 (毎日
新聞社/編) 2006-3 107p 毎日新聞東京本社広告局(毎日企画サービス) A5 3000 円
コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006424 人恋しくて本好きに (山野博史/著) 2006-8 246p 五月書房 B6 2800 円 コ
ミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006425 PHP 新書 415 本の読み方 スロー・リーディングの実践 (平野啓一郎/著)
2006-9 225p P H P 研究所 B6 720 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006426 朝日新書 3 使える読書 (斎藤孝/著) 2006-10 237p 朝日新聞社 B6 720
円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006427 NHK ライブラリー-211 読書からはじまる (長田弘/著) 2006-10 220p 日本
放送出版協会 A6 830 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006428 王様の速読術 1 冊 30 分でも必要な知識は吸収できる (斉藤英治/著) 2006-5
220p ダイヤモンド社 B6 1429 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006429 最強の速読術 理論もトレーニング法もひと目でわかるイラスト図解版 (斉藤英
治/著) 2006-8 95p 河出書房新社 B5 933 円 コミュニケーション>言葉の使い方>

読む

- 2006430 七田式 7 日で挑戦！「簡単すぎる右脳速読」 (七田真/著) 2006-8 159p ゴマブックス A5 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006431 斎藤孝の速読塾 これで頭がグングンよくなる！ (斎藤孝/著) 2006-10 202p 筑摩書房 B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006432 はじめての朗読レッスン (川和孝/著) 2006-6 141p 新水社 A5 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006433 日本語を生かすメリハリ読み！ 漱石で学ぶ「和」の朗読法 (安田登/著) 2006-8 238p 春秋社 A5 2000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006434 プラスパズルの漢字塾 (佐藤一男/著) 2006-1 246p リオン社(二見書房) B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006435 知っているようで知らない間違いやすい漢字 440 (岡田話史/著) 2006-1 222p P H P 研究所 B6 小 950 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006436 ラクラク漢字正読力 例文で覚える読み分け術 (鈴木昭夫/著) 2006-2 351p ベストセラーズ B6 小 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006437 漢字を正しく使い分ける辞典 (中村明/著) 2006-2 451p 集英社 B6 1700 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006438 ぶんか社文庫 10 歳若返る漢字練習帳 (日本漢字文化研究所/著) 2006-3 237p ぶんか社 A6 543 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006439 フシギ読み漢字 なんて読む？ (加納喜光/監修) 2006-3 207p 集英社 B6 1300 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006440 学生・教師・社会人のための漢字ハンドブック (近藤政美;浜千代いづみ/編著) 2006-3 175p 和泉書院 B5 1800 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006441 漢字を正しく書けていますか (宮岡政徳;宮岡秀美/編・執筆) 2006-3 223p クリックコード(ソニー・マガジズ) B6 1200 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006442 リイド文庫 大人の常識新漢字力 漢字「脳」力がどんどん高まる！ (漢字力研究会/編) 2006-3 158p リイド社 A6 400 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006443 絶対脳力を 120%ひきだす大人の漢字ドリル おもしろくて、悩ましい！ (岡田寿彦/著@大島清/監修) 2006-4 95p 主婦の友社 B5 1000 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006444 ぶんか社文庫 10 歳若返る漢字問題集 (漢字脳力向上委員会/著) 2006-6 207p ぶんか社 A6 571 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006445 読めないと恥ずかしい漢字 1500 日本人なら、これくらいは知らなくちゃ！ (日本語倶楽部/編) 2006-8 255p 河出書房新社 B6 476 円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006446 広済堂文庫 ヒューマン文庫 どう読む、どう書く？究極の IQ 漢字ドリル (幸

- 運社/編) 2006-9 220p 広済堂出版 A6 571円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006447 リイド文庫 大人に役立つ漢字力を高める本 (山下和久/著) 2006-10 191p
リイド社 A6 476円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006448 漢字の達人 「日本語力」が面白いほど身につく! (漢字こだわり研究会/著)
2006-12 256p 竹書房 B6 476円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力
- 2006449 角川文庫 読めそうで読めない不思議な漢字 (日本語を考える会/編) 2006-12
156p 角川学芸出版(角川書店) A6 400円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字
能力
- 2006450 日本通になる漢字クイズ 美しい日本の言葉 1000 (志田唯史/著) 2006-12
222p アーク出版 B6 1300円 コミュニケーション>言葉の使い方>漢字能力

マスコミュニケーション

 文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
 【トピック】

- 2006451 NHK シリーズ NHK アナウンサーのはなすきくよむ 豊かな日本語編 (日本放送協会;日本放送出版協会/編) 2006-4 249p 日本放送出版協会 A5 580円 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般
- 2006452 方言とドラマと私 ローカル色のパレット広げて (大原穰子/著) 2006-4 190p
新日本出版社 B6 1700円 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般
- 2006453 こころを射るキャッチフレーズの秘密 コピーの虎! (岩永嘉弘/著) 2006-6
227p 秀和システム B6 1400円 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般
- 2006454 「バカ売れ」キャッチコピーが面白いほど書ける本 (中山マコト/著) 2006-7
239p 中経出版 B6 1500円 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般
- 2006455 最新用字用語ブック 第5版 (時事通信社/編著) 2006-6 735p 時事通信社
出版局(時事通信社) B6 1700円 マスコミュニケーション>マスコミの用字・用語

国語教育

文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類

【トピック】

- 2006456 新潮文庫 祖国とは国語 (藤原正彦/著) 2006-1 236p 新潮社 A6 400 円
国語教育>国語教育一般 【藤原正彦氏の著作】
- 2006457 英語より日本語を学べ 焦眉の急は国語教育の再生だ (竹村健一;斎藤孝/著)
2006-6 221p 太陽企画出版 B6 1500 円 国語教育>国語教育一般
- 2006458 子どもと話すシリーズ 子どもと話す 言葉ってなに? (影浦峯/著) 2006-7
170p 現代企画室 B6 1200 円 国語教育>国語教育一般
- 2006459 子どもが聴いてくれる話し方と子どもが話してくれる聴き方 CD&ワークブック
(フェイバ,アデル;マズリッシュ,エレイン/著@リーディ三津乃;中野早苗/訳) 2006-8
147p きこ書房 A5 1200 円 国語教育>国語教育一般
- 2006460 基幹学力シリーズ3 聞く・話す・読む・書く 4Rsを育てるスモールステップ (間
嶋哲/著@基幹学力研究会/編著) 2006-8 142p 明治図書出版 A5 1800 円 国語教育>
国語教育一般
- 2006461 読んで遊んで覚える母と子の日本語トレーニング お受験のカリスマが明かす最
強のメソッド (三石由起子/著) 2006-12 158p 大和出版 A5 1500 円 国語教育>国
語教育一般
- 2006462 子どもが必ず本好きになる16の方法・実践アニメーション (有元秀文/著) 2006-1
127p 合同出版 B5 1800 円 国語教育>読む
- 2006463 日本語を読むということ 大人も子どもも (佐々木洋子/著) 2006-2 127p 新
風舎 B6 1200 円 国語教育>読む
- 2006464 子どもの学ぶ力を伸ばす「朝の読書」 自ら考え、自ら学ぶ意欲を育てる (林公
/著) 2006-3 109p メディアパル A5 1200 円 国語教育>読む
- 2006465 子どもの読書環境と図書館 (日本図書館研究会編集委員会/編) 2006-5 232p
日本図書館研究会(日本図書館協会) A5 2381 円 国語教育>読む
- 2006466 中学生はこれを読め! 気分にあわせて読んでみよう!これ読め!セレクション
北海道の書店員おすすめの120冊はこれだ! (北海道書店商業組合/編) 2006-7 79p 北
海道新聞社 A5 500 円 国語教育>読む
- 2006467 渡したい本がある君のために。 成功と幸せが集まって来る「読書のすすめ」 (清
水克衛/著) 2006-7 156p ゴマブックス A5 1500 円 国語教育>読む
- 2006468 ベネッセ発小学生からの「考えて書く力」 (ベネッセ教育研究開発センター/著
@有元秀文/監修) 2006-4 245p 日経B P社(日経B P出版センター) B6 1300 円 国
語教育>書く

- 2006469 “書く力”で子どもを伸ばす 親が教えられるよい作文よい感想文 (樋口裕一/著) 2006-7 207p 学習研究社 B6 1300円 国語教育>書く
- 2006470 下村昇の漢字ワールド1 日本の漢字・学校の漢字 (下村昇/著) 2006-3 158p 高文研 A5 1600円 国語教育>国語教育(その他)
- 2006471 下村昇の漢字ワールド4 生きている漢字・死んでいる漢字 (下村昇/著) 2006-3 174p 高文研 A5 1600円 国語教育>国語教育(その他)
- 2006472 子どものころとことばを育てる (大熊喜代松/著) 2006-3 255p 新風舎 B6 1800円 国語教育>国語教育(その他)
- 2006473 「言葉の力」は家庭で伸ばす 今日からできる最強メソッド 斎藤孝の実践母親塾 (斎藤孝/著) 2006-5 223p 旺文社 B6 1200円 国語教育>国語教育(その他)
- 2006474 7歳から「辞書」を引いて頭をきたえる (深谷圭助/著) 2006-9 253p すばる舎 B6 1500円 国語教育>国語教育(その他) 【辞書とウェブの連動】

日本語教育

-
- | 文献番号 | 書名 (著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 | 分類 |
|---------|---------------------------------|--------|------|----------|----|-------|-------|
| | 【トピック】 | | | | | | |
| 2006475 | はじめての人のための日本語の教え方ハンドブック (田中寛/著) | 2006-3 | 464p | 国際語学社 | A5 | 2000円 | 日本語教育 |
| 2006476 | あなたもなれる!日本語教師 (中村良広/著) | 2006-4 | 224p | 松柏社 | A5 | 2200円 | 日本語教育 |

言語

-
- | 文献番号 | 書名 (著者) | 発行年月 | ページ | 発行所(発売所) | 判型 | 本体価格 | 分類 |
|---------|---|--------|------|----------|----|-------|---------|
| | 【トピック】 | | | | | | |
| 2006477 | 世界のことばと文化シリーズ アジア世界のことばと文化 (砂岡和子;池田雅之/編著) | 2006-3 | 305p | 成文堂 | A5 | 2800円 | 言語>言語一般 |
| 2006478 | 英語はアジアを結ぶ (本名信行/著) | 2006-3 | 238p | 玉川大学出版部 | B6 | 1800円 | 言語>言語一般 |
| 2006479 | あたらしい教科書3 ことば (加賀野井秀一;酒井邦嘉;竹内敏晴;橋爪大三郎) | | | | | | |

- /監修) 2006-4 143p プチグラパブリッシング B6 1500円 言語>言語一般
- 2006480 世界のことばと文化シリーズ ヨーロッパ世界のことばと文化 (池田雅之;矢野安剛/編著) 2006-5 306p 成文堂 A5 2800円 言語>言語一般
- 2006481 ことばと自然 子どもの未来を拓く (鈴木孝夫;ニコル,C.W./著) 2006-12 212p アートデイズ B6 1600円 言語>言語一般
- 2006482 外国語で発想するための日本語レッスン (三森ゆりか/著) 2006-6 223p 白水社 B6 1500円 言語>日本語と他言語
- 2006483 新しい外国語辞典 世界二ホン語的ソラミミ言葉 2663! (新しい外国語辞典製作委員会/編) 2006-10 231p アートン B6 1400円 言語>日本語と他言語
- 2006484 文春文庫 言葉のちから (鈴木孝夫/著) 2006-11 284p 文芸春秋 A6 543円 言語>日本語と他言語
- 2006485 日本人と中国人とのコミュニケーション 「ちょっと」はちょっと... ポンフェイ博士の日本語の不思議 (彭飛/著) 2006-3 206p 和泉書院 B6 1000円 言語>日本語と他言語
- 2006486 日本語と中国語 (劉徳有/著) 2006-4 246p 講談社 B6 1700円 言語>日本語と他言語
- 2006487 日本語の謎 韓国語で日本語にメスを入れる (裴学泰/著) 2006-9 266p 文芸社 B6 1500円 言語>日本語と他言語
- 2006488 日本語と英語のスクランブル (服部博/著) 2006-2 223p ブイツーソリューション(星雲社) B6 1200円 言語>日本語と他言語
- 2006489 NHK ブックス 1066 英語の感覚・日本語の感覚 <ことばの意味>のしくみ (池上嘉彦/著) 2006-8 249p 日本放送出版協会 B6 970円 言語>日本語と他言語
- 2006490 聖書の日本語 翻訳の歴史 (鈴木範久/著) 2006-2 287p 岩波書店 B6 3200円 言語>翻訳
- 2006491 特盛!SF 翻訳講座 翻訳のウラ技、業界のウラ話 (大森望/著) 2006-3 255p 研究社 B6 1800円 言語>翻訳
- 2006492 翻訳教室 (柴田元幸/著) 2006-3 333p 新書館 B6 1800円 言語>翻訳
- 2006493 コレって英語で? (デイリー・ヨミウリ/編) 2006-9 222p 東京堂出版 B6 1500円 言語>翻訳
- 2006494 南日本ブックス 恋文の翻訳 日中おうらい (陳躍/著) 2006-12 329p 南日本新聞社(南日本新聞開発センター) B6 1429円 言語>翻訳
- 2006495 ちくま学芸文庫 実践翻訳の技術 さらば学校英語 (別宮貞徳/著) 2006-12 348p 筑摩書房 A6 1000円 言語>翻訳
- 2006496 祥伝社黄金文庫 日本人に一番合った英語学習法 明治の人は、なぜあれほどできたのか (斎藤兆史/著) 2006-3 187p 祥伝社 A6 524円 言語>他言語の教育・学習
- 2006497 日本標準ブックレット 2 どうする?小学校英語必修化 (太田美智彦/著) 2006-7 62p 日本標準 A5 600円 言語>他言語の教育・学習
- 2006498 日本の英語教育に必要なこと 小学校英語と英語教育政策 (大津由紀雄/編著)

2006-7 304p 慶応義塾大学出版会 B6 1800 円 言語 > 他言語の教育・学習
 2006499 英語支配とことばの平等 英語が世界標準語でいいのか? (津田幸男/著)
 2006-9 261p 慶応義塾大学出版会 B6 2400 円 言語 > 他言語の教育・学習
 2006500 講談社+ 新書 316-1C 世界最速! 「英語脳」の育て方 日本語からはじめる僕の
 英語独習法 (中野健史/著) 2006-9 180p 講談社 B6 800 円 言語 > 他言語の教育・
 学習

辞書・辞典

 文献番号 書名 (著者) 発行年月 ページ 発行所(発売所) 判型 本体価格 分類
 【トピック】

2006501 面白発掘あるある「広辞苑」 (ほんの森/編) 2006-1 310p シーエイチシー
 (コアラブックス) B6 1400 円 辞書・辞典 > 辞書をめぐって
 2006502 辞書の政治学 ことばの規範とはなにか (安田敏朗/著) 2006-2 253p 平凡
 社 B6 2800 円 辞書・辞典 > 辞書をめぐって
 2006503 辞書・事典全情報 1998-2005 (日外アソシエーツ/編刊) 2006-5 830p 日外
 アソシエーツ(紀伊国屋書店) A5 19000 円 辞書・辞典 > 辞書をめぐって
 2006504 MAX ムック Wikipedia 完全活用ガイド (吉沢英明/著) 2006-11 95p マック
 ス B5 1000 円 辞書・辞典 > 辞書をめぐって 【『ウィキペディア』】
 2006505 現代国語例解辞典 第4版 (小学館辞典編集部/編@林巨樹;松井栄一/監修)
 2006-1 1671p 小学館 B6 2900 円 辞書・辞典 > 国語辞典
 2006506 日本国語大辞典 精選版1 あ~こ (小学館国語辞典編集部/編) 2006-1 2190p
 小学館 B5 15000 円 辞書・辞典 > 国語辞典 【辞書への一般参加】
 2006507 例解新国語辞典 第7版 (林四郎;相沢正夫;大島資生;篠崎晃一/編著) 2006-1
 1321p 三省堂 B6 2500 円 辞書・辞典 > 国語辞典
 2006508 日本国語大辞典 精選版2 さ~の (小学館国語辞典編集部/編) 2006-2 2158p
 小学館 B5 15000 円 辞書・辞典 > 国語辞典 【辞書への一般参加】
 2006509 常用国語辞典 改訂第3版;パステル版 (石井庄司/編) 2006-3 832p 学習研
 究社 B6小 1600 円 辞書・辞典 > 国語辞典
 2006510 日本国語大辞典 精選版3 は~ん 漢字索引 (小学館国語辞典編集部/編)
 2006-3 2125p 小学館 B5 15000 円 辞書・辞典 > 国語辞典 【辞書への一般参加】
 2006511 大辞林 第3版 (松村明;三省堂編修所/編) 2006-10 2974p 三省堂 B5
 7800 円 辞書・辞典 > 国語辞典 【辞書とウェブの連動】
 2006512 日本古代中世人名辞典 (平野邦雄;瀬野精一郎/編) 2006-11 1213p 吉川弘
 文館 B5 20000 円 辞書・辞典 > 固有名辞典

- 2006513 難読姓氏・地名大事典 コンパクト版 (丹羽基二/著) 2006-2 324p 新人物往来社 B6 4800 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006514 苗字と地名の由来事典 (丹羽基二/著) 2006-8 262p 新人物往来社 A5 3800 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006515 東京の地名由来辞典 (竹内誠/編) 2006-3 466p 東京堂出版 B6 3200 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006516 Truth in Fantasy 事典シリーズ9 幻想地名事典 (桂令夫;草野巧;佐藤俊之;司馬炳介;秦野啓;山北篤/著@山北篤/監修) 2006-9 485p 新紀元社 A5 2500 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006517 日本古代地名事典 コンパクト版 (吉田茂樹/著) 2006-9 241p 新人物往来社 B6 4800 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006518 野鳥文芸辞典 1 あ行 (御厨正治/著) 2006-6 315p 近代文芸社 B6 2000 円 辞書・辞典>固有名辞典
- 2006519 文章表現のための類語類句辞典 (安田章/編) 2006-9 919p 三省堂 B6 2500 円 辞書・辞典>類語辞典
- 2006520 新潟南蒲原(三条・下田・栄)方言集 (大久保誠/著) 2006-8 154p (考古堂書店) B5 1600 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006521 静岡県草と木の方言 (野口英昭/著) 2006-7 358p 静岡新聞社 A5 2000 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006522 京都府ことば辞典 (堀井令以知/編著) 2006-10 301p おうふう A5 3800 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006523 なつかしい堺のことば (川村淳二/編) 2006-6 213p 堺泉州出版会 A5 1000 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006524 山香方言考 方言はふるさとの無形文化財 (本田幸雄/編著) 2006-3 136p 山香町観光協会 A5 600 円(税込) 辞書・辞典>方言辞典
- 2006525 鹿児島弁おもしてか語源辞典 (橋口満/著) 2006-12 307p 高城書房 B6 2000 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006526 沖縄語辞典 那覇方言を中心に (内間直仁;野原三義/編著) 2006-5 442p 研究社 B6 3200 円 辞書・辞典>方言辞典
- 2006527 イミダス 最新キーワード事典 2006 (集英社/編刊) 2006-1 1332p 集英社 B5 2429 円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典
- 2006528 現代用語の基礎知識 2006 (自由国民社/編刊) 2006-1 1697p 自由国民社 A5 2286 円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典
- 2006529 知恵蔵 朝日現代用語 2006 (朝日新聞社/編刊) 2006-1 1272p 朝日新聞社 B5 2429 円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典
- 2006530 朝日キーワード 2006 (朝日新聞社/編刊) 2006-1 360p 朝日新聞社 A5 1000 円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典
- 2006531 時事ニュースワード 2006 (時事通信社/編著) 2006-2 350p 時事通信出版

局(時事通信社) A5 1200円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006532 知らないと恥ずかしい現代用語 (知っておきたい現代用語研究会/編) 2006-6
126p 彩図社 B6 680円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006533 みんなで国語辞典! これも、日本語 (「もっと明鏡」委員会/編@北原保雄/監
修) 2006-12 199p 大修館書店 B6 950円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典 【辞
書への一般参加】

2006534 新語・流行語大全 1945 2006 ことばの戦後史 (木村伝兵衛;谷川由布子/ほ
か著) 2006-12 332p 自由国民社 B6 1600円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞
典

2006535 imidas 現代人のカタカナ語欧文略語辞典 世界がわかる時代が見える (イミダ
ス編集部/編@信達郎;Vardaman,J.M./監修) 2006-4 911p 集英社 A5 2000円 辞書・
辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006536 現代用語の基礎知識シリーズ カタカナ・外来語/略語辞典 全訂版 (現代用語
の基礎知識編集部/編@大森良子/執筆@堀内克明/監修・執筆) 2006-4 927p 自由国民社
A5 2286円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006537 朝日新聞のカタカナ語辞典 (朝日新聞社用語幹事/編@河合伸/監修) 2006-8
606p 朝日新聞社 B6 1800円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006538 ザ・カタカナ語ディクショナリー (ササキマサタカ/著) 2006-10 255p 小学
館 B6 1300円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006539 アルファベット略語便利辞典 (兼古和昌;鈴木芳明;高橋昭/編著@篠崎晃一/
監修) 2006-11 542p 小学館 B6 2000円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006540 スッチー用語まるわかり辞典 よくわかる!すぐわかる!すごく役に立つ!? 専
門用語が開く、別世界のとびら (NOKO;からえ;Global CA Sisters/著) 2006-5 204p
イカロス出版 A5 1600円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006541 黒単 ちょいワルちょいやバ 業界用語の裏知識 (ウラ語倶楽部/編) 2006-10
230p 竹書房 B6 476円 辞書・辞典>新語・外来語・特殊語辞典

2006542 死語大全 (死語研究会/編) 2006-11 181p 彩図社 A6 552円 辞書・辞典
>新語・外来語・特殊語辞典

2006543 総解説シリーズ 世界の話・名言・ことわざ 総解説 改訂第7版 (江川卓/
ほか著) 2006-1 1011p 自由国民社 A5 2800円 辞書・辞典>ことわざ・慣用句・熟
語辞典

2006544 特選実用ブックス 暮らし ことわざ・四字熟語に強くなる! ビジネスに使えて、
日本語力もアップ! (CULTURE編集部/編) 2006-2 256p 世界文化社 B5小 1700円
辞書・辞典>ことわざ・慣用句・熟語辞典

2006545 脳を鍛える故事ことわざ辞典 (田島諸介/著) 2006-5 534p 梧桐書院 B6
1500円 辞書・辞典>ことわざ・慣用句・熟語辞典

2006546 知っておきたい日本語コロケーション辞典 (学研辞典編集部/編@金田一秀穂/
監修) 2006-7 399p 学習研究社 A5 2200円 辞書・辞典>ことわざ・慣用句・熟語辞

典

- 2006547 特選・暮らしの本 四字熟語辞典 (米津千之/編著) 2006-12 344p 有紀書房 B5
2200 円 辞書・辞典>ことわざ・慣用句・熟語辞典
- 2006548 知ってびっくり! 仏教由来の日本語 212 (草木舎/編著) 2006-4 174p アー
ツアンドクラフツ B6 1700 円 辞書・辞典>語源辞典
- 2006549 食べる日本語 (早川文代/著) 2006-3 191p 毎日新聞社 B6 952 円 辞書・
辞典>表現辞典
- 2006550 美しい日本語の辞典 (小学館辞典編集部/編) 2006-4 486p 小学館 B6 2000
円 辞書・辞典>表現辞典
- 2006551 動植物ことば辞典 (東郷吉男;上野信太郎/著) 2006-5 275p 東京堂出版 B6
2500 円 辞書・辞典>表現辞典
- 2006552 おいしさの表現辞典 (川端晶子;淵上匠子/編) 2006-8 420p 東京堂出版 B6
2800 円 辞書・辞典>表現辞典
- 2006553 日本語の類義表現辞典 (森田良行/著) 2006-9 325p 東京堂出版 B6 2800
円 辞書・辞典>表現辞典
- 2006554 愉快犯あくまの辞典 (小野泰次郎/著) 2006-9 158p 北方新社 B6 952 円
辞書・辞典>表現辞典
- 2006555 日本語使いさばき辞典 時に応じ場合に即し 改訂増補版 (現代言語研究会/著)
2006-10 646p あすとり出版 B6 2800 円 辞書・辞典>表現辞典
- 2006556 日本文学色彩用語集成 近世 (伊原昭/著) 2006-2 1372p 笠間書院 A5
28000 円 辞書・辞典>その他言葉辞典
- 2006557 PHP 文庫 にほん料理名ものしり事典 知って美味しい! (志の島忠;浪川寛治
/著) 2006-5 485p P H P 研究所 A6 743 円 辞書・辞典>その他言葉辞典
- 2006558 数の日本史事典 (阿部猛/著) 2006-7 202p 同成社 B6 1900 円 辞書・辞
典>その他言葉辞典
- 2006559 五十音で引ける手話単語集 見やすい・わかりやすい (南瑠霞/著) 2006-8
527p 日本文芸社 規格外 2100 円 辞書・辞典>その他言葉辞典
- 2006560 色の用語事典 写真・イラストでよくわかる (長谷井康子/著) 2006-10 229p
新星出版社 A5 1700 円 辞書・辞典>その他言葉辞典
- 2006561 同じ読みで意味の違う言葉の辞典 新版 (現代言語研究会/著) 2006-10 671p
あすとり出版 B6 2500 円 辞書・辞典>その他言葉辞典
- 2006562 新選漢和辞典 第7版 ワイド版 2色刷 人名用漢字対応版 (小林信明/編)
2006-1 1647p 小学館 B6 2800 円 辞書・辞典>漢和辞典
- 2006563 人名字解 (白川静;津崎幸博/著) 2006-1 272p 平凡社 B6 1900 円 辞書・
辞典>漢和辞典
- 2006564 全訳漢辞海 第2版 (佐藤進;浜口富士雄/編@戸川芳郎/監修) 2006-1 1917p
三省堂 B6 2900 円 辞書・辞典>漢和辞典
- 2006565 例解新漢和辞典 第3版 (山田俊雄;戸川芳郎;影山輝国/編著) 2006-1 1293p

三省堂 B6 2500 円 辞書・辞典 > 漢和辞典

2006566 常用漢和辞典 改訂第 3 版 (石井庄司/編) 2006-3 832p 学習研究社 B6
1600 円 辞書・辞典 > 漢和辞典

2006567 ウソ読みで引ける難読語辞典 (玄冬書林/編著@篠崎晃一/監修) 2006-10 318p
小学館 B6 1800 円 辞書・辞典 > 漢和辞典

2006568 旺文社漢字典 第 2 版 (小和田顕; 遠藤哲夫; 伊東倫厚; 宇野茂彦; 大島晃/編)
2006-10 1477p 旺文社 B6 2800 円 辞書・辞典 > 漢和辞典

総合雑誌記事一覧

日本語一般

日本語の歴史

音声・音韻

文字

語彙

文法

文章・文体

方言

言葉と機械

コミュニケーション

マスコミュニケーション

国語教育

日本語教育

言語

辞書・辞典

書評・紹介

日本語一般

- 文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

- 2006001 同人雑誌評 日本語だけでは通用しないという悪夢 (松本徹) 文学界 60-1
2006-1 pp.318-325 文芸春秋 日本語一般
- 2006002 読む人・書く人・作る人 ここではない場所への想像力 (角田光代) 図書 681
2006-1 p.1 岩波書店 日本語一般
- 2006003 今、古典を読むということ (久保田淳) 図書 681 2006-1 pp.2-5 岩波書店
日本語一般
- 2006004 連載；ジローとパスカルのヘンな日本語，日本人(5) (山井教雄) 現代 40-3
2006-3 pp.333-341 講談社 日本語一般
- 2006005 <読書の時間 Book Lesson> 藤原正彦著『国家の品格』 (藤原正彦@喜多由
浩/聞き手) 正論 408 2006-3 pp.356-359 産経新聞社 日本語一般 【藤原正彦氏の
国語論】
- 2006006 連載；思考の遊歩(1) 音声中心主義的パーソナリティ (北田暁大) 文学界
60-3 2006-3 pp.212-214 文芸春秋 日本語一般
- 2006007 連載；日々のシンボ－(1) ペラペラ (南伸坊) m y b 8 2006-3 pp.34-35
みやび出版 日本語一般
- 2006008 特集；気になる日本語 <対談> 日本語を慈しむ感性をどう育むか。(山崎正
和；阿刀田高) 潮 566 2006-4 pp.212-219 潮出版社 日本語一般
- 2006009 特集；気になる日本語 日本語に隠された“驚きの法則”。(北原保雄) 潮 566
2006-4 pp.220-224 潮出版社 日本語一般
- 2006010 特集；気になる日本語 心に響く日本語。「言わぬは言うにいやまさる」(久
世光彦) 潮 566 2006-4 pp.226-227 潮出版社 日本語一般
- 2006011 連載；ジローとパスカルのヘンな日本語，日本人(6・特別版 ダボス会議) (山
井教雄) 現代 40-4 2006-4 pp.301-309 講談社 日本語一般
- 2006012 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」「ヤバイ食べ物」って？(飯沢春美) 正
論 409 2006-4 p.352 産経新聞社 日本語一般
- 2006013 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」「ネット」で親を殺すとは(亀岡武) 正
論 409 2006-4 pp.354-356 産経新聞社 日本語一般
- 2006014 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」文部科学省よ！(沢田秀男) 正論 409
2006-4 pp.356-357 産経新聞社 日本語一般
- 2006015 連載；この人を見よ！(1) <読書空間> アーサー・ピナード(大内悟史) 論
座 131 2006-4 pp.300-301 朝日新聞社 日本語一般
- 2006016 連載；思考の遊歩(2) メディアとしての「と」(北田暁大) 文学界 60-4

- 2006-4 pp.294-296 文芸春秋 日本語一般
- 2006017 連載；ジローとパスカルのヘンな日本語，日本人(7・最終回) (山井教雄) 現代 40-5 2006-5 pp.301-309 講談社 日本語一般
- 2006018 <編集者へ 編集者から> (谷口浩三) 正論 410 2006-5 pp.380-382 産経新聞社 日本語一般
- 2006019 <インタビュー> 著者・藤原正彦氏に聞く ベストセラー『国家の品格』への質問 (藤原正彦@薬師寺克行/聞き手) 論座 132 2006-5 pp.28-37 朝日新聞社 日本語一般 【藤原正彦氏の国語論】
- 2006020 同時代を読む ことばの力 (柴田武) myb 9 2006-5 pp.2-3 みやび出版 日本語一般
- 2006021 特集；次代に伝えたい日本語 <対談> 真に知的な言葉の使い方 音読・翻訳・対話から学ぶ (内田樹; 斎藤孝) 中央公論 121-6 2006-6 pp.44-55 中央公論新社 日本語一般
- 2006022 特集；次代に伝えたい日本語 狂言から考える“音”の重要性 (野村万斎) 中央公論 121-6 2006-6 pp.64-65 中央公論新社 日本語一般
- 2006023 <爆笑憂国座談会> 私たちの嫌いな日本語 (阿川弘之；阿川佐和子；村上龍) 文芸春秋 84-8 2006-6 pp.150-161 文芸春秋 日本語一般
- 2006024 <対談> 仕事に生きる本 人生を豊かにする一冊 トップは読書で磨かれる (葛西敬之；福原義春) 文芸春秋 84-8 2006-6 pp.174-185 文芸春秋 日本語一般
- 2006025 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 美しい日本語を守りたい (青木裕子) 文芸春秋 84-9 2006-7 pp.446-447 文芸春秋 日本語一般
- 2006026 特集；国語再建 言葉をめぐる 12章 (荒川洋治) 文学界 60-7 2006-7 pp.130-139 文芸春秋 日本語一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006027 教養講座 ニホン語をめぐる知的冒険 バイト敬語はなぜ広がった？「一度」と「一回」はどう違う？ (山口仲美；飯田朝子) 現代 40-8 2006-8 pp.296-304 講談社 日本語一般
- 2006028 <対談> 何で小学校で英語やるの 異議あり英語教育 (鳥飼玖美子；ピーターセン，マーク) 文芸春秋 84-11 2006-8 pp.200-208 文芸春秋 日本語一般 【早期英語教育について】
- 2006029 連載；21世紀の仕掛け人 商店街は日本語の宝庫だ (ビナード，アーサー@淵沢進/取材) Voice 344 2006-8 pp.30-39 PHP 研究所 日本語一般
- 2006030 ずいひつ波音 英語って何なの？ (西垣通) 潮 571 2006-9 pp.52-53 潮出版社 日本語一般 【早期英語教育について】
- 2006031 ずいひつ波音 古池，その後 (長谷川耀) 潮 572 2006-10 pp.52-53 潮出版社 日本語一般
- 2006032 <説苑> 英語で話すときも苗字を先に (鈴木睦美) 中央公論 121-10 2006-10 p.354 中央公論新社 日本語一般
- 2006033 連載；大江健三郎・読書講義(2) 生きること・本を読むこと 故郷から切り離さ

- れて (大江健三郎) すばる 28-10 2006-10 pp.170-182 集英社 日本語一般
- 2006034 特集; 言論テロと右翼 「標的」となった人たち 「何を言ったか」ではなく「誰が言ったか」で叩かれる (姜尚中) 論座 138 2006-11 pp.54-55 朝日新聞社 日本語一般
- 2006035 連載; 大江健三郎・読書講義(3) 生きること・本を読むこと 文体を読みとる, 文体を作る。 (大江健三郎) すばる 28-11 2006-11 pp.234-247 集英社 日本語一般
- 2006036 <編集後記> 本の窓 29-9 2006-11 p.104 小学館 日本語一般
- 2006037 <言ったもん勝ち> 若者たちへ 若者言葉の乱れ (近岡富蔵) 正論 417 2006-12 p.367 産経新聞社 日本語一般
- 2006038 <これを見逃すな!!> 言葉は的確に, 間違い多いアナ (戸塚光男) 正論 417 2006-12 p.386 産経新聞社 日本語一般
- 2006512 連載; ジローとパスカルのヘンな日本語, 日本人(3) (山井教雄) 現代 40-1 2006-1 pp.365-373 講談社 日本語一般
- 2006521 間違いだらけの国語教科書 (萩野貞樹) Voice 344 2006-8 pp.220-225 PHP 研究所 日本語一般
- 2006523 特集; 教育は再生するか 子供を強くする8つのアイデア 「ことば科」で感性を伸ばそう (金田一秀穂) Voice 347 2006-11 pp.92-93 PHP 研究所 日本語一般 【学力の低下と教育再生会議】

日本語の歴史

-
- | 文献番号 | 記事タイトル | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 |
|---------|--|-----------|-------|--------|---------|------------|------------|-------------------|-------------------|
| 2006039 | 連載; ジローとパスカルのヘンな日本語, 日本人(4) | (山井教雄) | 現代 | 40-2 | 2006-2 | pp.365-373 | 講談社 | 日本語の歴史 > 日本語一般の歴史 | |
| 2006040 | 連載; 師弟 歴史を変えた人びと(22) 学問の核をつかんだ“一夜の出会い” 本居宣長と賀茂真淵 | (童門冬二) | 潮 | 565 | 2006-3 | pp.300-305 | 潮出版社 | 日本語の歴史 > 日本語一般の歴史 | |
| 2006041 | 連載; 明治の表象空間(8) 片仮名の註 | (松浦寿輝) | 新潮 | 103-9 | 2006-9 | pp.268-275 | 新潮社 | 日本語の歴史 > 日本語一般の歴史 | |
| 2006042 | 「校訂」という教養 | (やまぐちヨウジ) | 新潮 | 45 | 25-10 | 2006-10 | pp.228-234 | 新潮社 | 日本語の歴史 > 日本語一般の歴史 |
| 2006043 | 連載; 明治の表象空間(9) | (松浦寿輝) | 新潮 | 103-10 | 2006-10 | pp.286-293 | 新潮社 | 日本語の歴史 > 日本語一般の歴史 | |
| 2006044 | 連載; 巻末御免(264) 転写剽窃蛙面 | (谷沢永一) | Voice | 348 | 2006-12 | p.258 | | | |

PHP 研究所 日本語の歴史>日本語一般の歴史

2006045 連載;所有の誕生(4) グーテンベルクは偉いか (宮武久佳) すばる 28-1
2006-1 pp.260-267 集英社 日本語の歴史>文字の歴史

2006046 敦煌で漢字で書かれた前漢の麻の紙を発見 中国図書 18-10 2006-10 p.18
内山書店 日本語の歴史>文字の歴史

2006047 <ハイ,せいろん調査室です> (五味友一) 正論 416 2006-11 p.393 産
経新聞社 日本語の歴史>文字の歴史

2006048 連載;言の葉のしずく(125) 菱々 (出久根達郎) 諸君! 38-1 2006-1 p.112
文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006049 連載;さすらいの仏教語(8) 餓鬼 (玄侑宗久) 中央公論 121-1 2006-1
p.337 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006050 連載;生活の中の仏教用語(231) 七難 (浅見直一郎) 文芸春秋 84-1 2006-1
p.201 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006051 連載;言の葉のしずく(126) 武張る (出久根達郎) 諸君! 38-2 2006-2
p.331 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006052 連載;さすらいの仏教語(9) 素性 (玄侑宗久) 中央公論 121-2 2006-2
p.345 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006053 連載;生活の中の仏教用語(232) 会釈 (木村宣彰) 文芸春秋 84-3 2006-2
p.229 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006054 連載;上機嫌な私(14) 「十人並」の女 (小谷野敦) 文学界 60-2 2006-2
pp.210-212 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006055 連載;言の葉のしずく(127) 疎開 (出久根達郎) 諸君! 38-3 2006-3 p.263
文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006056 連載;さすらいの仏教語(10) 阿弥陀クジ (玄侑宗久) 中央公論 121-3
2006-3 p.313 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006057 連載;生活の中の仏教用語(233) 極楽 (中川皓三郎) 文芸春秋 84-4 2006-3
p.197 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006058 数え方「かた(方)」を尋ねて 中央文書から地方文書へ (三保忠夫) 本郷 62
2006-3 pp.19-21 吉川弘文館 日本語の歴史>語彙の歴史

2006059 特集;気になる日本語 心に響く日本語。「うつろふ」(山崎洋子) 潮 566
2006-4 pp.229-230 潮出版社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006060 連載;さすらいの仏教語(11) 油断 (玄侑宗久) 中央公論 121-4 2006-4
p.359 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006061 連載;生活の中の仏教用語(234) 虚仮 (浅見直一郎) 文芸春秋 84-5 2006-4
p.229 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006062 最初の名字 名字の発生 (中田みのる) ぐんしょ 72 2006-4 pp.28-35 続
群書類従完成会 日本語の歴史>語彙の歴史

2006063 尊称<貴様>と卑称<拙者・家来> 『備前磯屋文書』から (境淳伍) ぐんし

よ 72 2006-4 pp.36-39 続群書類従完成会 日本語の歴史>語彙の歴史

2006064 連載;言の葉のしずく(129) 器械 (出久根達郎) 諸君! 38-5 2006-5 p.229
文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006065 連載;さすらいの仏教語(12) うろうろ (玄侑宗久) 中央公論 121-5 2006-5
p.291 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006066 連載;生活の中の仏教用語(235) 堪忍 (木村宣彰) 文芸春秋 84-7 2006-5
p.269 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006067 連載;ことばの背景(43) ゲスのかんぐり (野村雅昭) 国語教室 83 2006-5
p.48 大修館書店 日本語の歴史>語彙の歴史

2006068 連載;さすらいの仏教語(13) ないしょ (玄侑宗久) 中央公論 121-6 2006-6
p.307 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006069 死語になった神経衰弱 (斎藤茂太) 文芸春秋 84-8 2006-6 pp.83-85 文芸
春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006070 連載;生活の中の仏教用語(236) 奈落 (中川皓三郎) 文芸春秋 84-8 2006-6
p.223 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006071 連載;さすらいの仏教語(14) 工夫 (玄侑宗久) 中央公論 121-7 2006-7
p.299 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006072 連載;生活の中の仏教用語(237) 玄翁 (沙加戸弘) 文芸春秋 84-9 2006-7
p.199 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006073 連載;百年前の男と女 雑書から覗く明治・大正(10) 男は神経衰弱,女はヒステ
リー (石原千秋) 本 31-7 2006-7 pp.34-41 講談社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006074 連載;言の葉のしずく(132) 色眼鏡 (出久根達郎) 諸君! 38-8 2006-8
p.239 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006075 連載;さすらいの仏教語(15) がたびし (玄侑宗久) 中央公論 121-8 2006-8
p.323 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006076 連載;生活の中の仏教用語(238) 堪能 (木村宣彰) 文芸春秋 84-11 2006-8
p.209 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006077 連載;さすらいの仏教語(16) めっぼう (玄侑宗久) 中央公論 121-9 2006-9
p.310 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006078 連載;生活の中の仏教用語(239) 畜生 (中川皓三郎) 文芸春秋 84-12 2006-9
p.199 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006079 連載;ことば創生記(12) 肉弾 (石山茂利夫) my b 11 2006-9 p.31 み
やび出版 日本語の歴史>語彙の歴史

2006080 連載;言の葉のしずく(134) チェッ (出久根達郎) 諸君! 38-10 2006-10
p.239 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史

2006081 連載;さすらいの仏教語(17) ふしだら (玄侑宗久) 中央公論 121-10
2006-10 p.325 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史

2006082 連載;生活の中の仏教用語(240) 沢庵 (沙加戸弘) 文芸春秋 84-13 2006-10

- p.229 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006083 連載;旬を食する(2) サンマ (林望) 図書 690 2006-10 pp.26-31 岩波書店 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006084 特集;江戸の通になる 時代小説を愉しむためのキーワード 12 (菊池仁) 本の窓 29-8 2006-10 pp.10-13 小学館 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006085 <ハイ,せいろん調査室です> (福田精一) 正論 416 2006-11 p.395 産経新聞社 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006086 連載;さすらいの仏教語(18) ご開帳 (玄侑宗久) 中央公論 121-11 2006-11 p.302 中央公論新社 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006087 連載;生活の中の仏教用語(241) 微妙 (木村宣彰) 文芸春秋 84-16 2006-11 p.197 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006088 連載;ことば創生記(13) 漫談(上) (石山茂利夫) my b 12 2006-11 p.32 みやび出版 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006089 連載;ことばの背景(44) ハンケチ王子 (野村雅昭) 国語教室 84 2006-11 p.49 大修館書店 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006090 連載;古典の窓 けそう (馬淵和夫) 国語教室 84 2006-11 pp.54-55 大修館書店 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006091 連載;百年前の男と女 雑書から覗く明治・大正(14) 危険思想だった「自我」(石原千秋) 本 31-11 2006-11 pp.46-53 講談社 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006092 連載;言の葉のしずく(136) 玉箒 (出久根達郎) 諸君! 38-12 2006-12 p.127 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006093 連載;生活の中の仏教用語(242) 餓鬼 (中川皓三郎) 文芸春秋 84-17 2006-12 p.261 文芸春秋 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006094 ムラが消える日 (大山喬平) 図書 692 2006-12 pp.6-9 岩波書店 日本語の歴史>語彙の歴史
- 2006095 連載;ことば・ことば・ことば(2) ボクの将来 (長谷川摂子) 未来 482 2006-11 pp.10-13 未来社 日本語の歴史>文法の歴史
- 2006096 <ハイ,せいろん調査室です> (金子昭二) 正論 406 2006-2 pp.388-389 産経新聞社 日本語の歴史>文章・文体の歴史
- 2006097 漢詩への感謝 (高橋睦郎) 新潮 103-4 2006-4 pp.174-183 新潮社 日本語の歴史>文章・文体の歴史
- 2006098 日本の訓点の源流 (小林芳規) 汲古 49 2006-6 pp.1-17 汲古書院 日本語の歴史>文章・文体の歴史
- 2006099 連載;明治の表象空間(10) (松浦寿輝) 新潮 103-11 2006-11 pp.332-339 新潮社 日本語の歴史>文章・文体の歴史
- 2006100 連載;遊歩のグラフィズム(26) 古代・種子・散文 (平出隆) 図書 691 2006-11 pp.58-63 岩波書店 日本語の歴史>文章・文体の歴史
- 2006101 <歴史のヒーロー・ヒロイン> 三遊亭円朝・田鎖綱紀 速記と言文一致運動 (金

原瑞人) 本郷 66 2006-11 p.21 吉川弘文館 日本語の歴史>文章・文体の歴史
2006102 連載;明治の表象空間(11) (松浦寿輝) 新潮 103-12 2006-12 pp.308-315
新潮社 日本語の歴史>文章・文体の歴史

音声・音韻

文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

2006103 連載;西洋音楽から見たニッポン(11) シン,と1ツ刎ねないと (石井宏) Voice
338 2006-2 pp.218-225 PHP 研究所 音声・音韻
2006104 連載;西洋音楽から見たニッポン(12・最終回) 一拍子の音楽 (石井宏) Voice
339 2006-3 pp.218-225 PHP 研究所 音声・音韻
2006105 耳の勉強 (池内紀) 文芸春秋 84-12 2006-9 pp.84-85 文芸春秋 音声・
音韻
2006106 冬の音律,冬の音楽 (吉松隆) 学鐙 103-4 2006-12 pp.10-13 丸善 音声・
音韻

文字

文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

2006107 井の頭だより 日本語の面白さ (吉村昭) 文芸春秋 別冊 262 2006-3
p.582 文芸春秋 文字>漢字
2006108 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(4) (磯崎新) 新潮 103-4 2006-4
pp.256-265 新潮社 文字>漢字
2006109 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(5) (磯崎新) 新潮 103-5 2006-5
pp.336-345 新潮社 文字>漢字
2006110 連載;言葉と世界(71) 黙読の山 (荒川洋治) 諸君! 38-6 2006-6 p.269
文芸春秋 文字>漢字
2006111 ジャンノエル・クラン 自ら考案した漢字ゲームで日本語の魅力を世界に発信
(酒井玲子) 潮 569 2006-7 pp.36-37 潮出版社 文字>漢字
2006112 特集;国語再建 文字政策は漱石の時代を目標とせよ (白川静@石川忠司/聞き

- 手) 文学界 60-7 2006-7 pp.122-129 文芸春秋 文字>漢字 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006113 連載;言葉と世界(77) 小さい別れ (荒川洋治) 諸君! 38-12 2006-12 p.237 文芸春秋 文字>漢字
- 2006114 漢字の共時論的研究 (志村和久) 汲古 50 2006-12 pp.49-53 汲古書院 文字>漢字
- 2006115 連載;ニッポンの名文(35) 「ケネディー大統領暗殺」の見出しが (山口文憲) 文学界 60-10 2006-10 p.243 文芸春秋 文字>記号
- 2006116 特集;次代に伝えたい日本語 書き言葉に宿る「表現」の力 (リービ英雄) 中央公論 121-6 2006-6 pp.66-67 中央公論新社 文字>表記法
- 2006117 特集;国語再建 まず筆の持ち方を教えよ (石川九楊) 文学界 60-7 2006-7 pp.140-155 文芸春秋 文字>表記法 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006118 読む人・書く人・作る人 ひらがなの述語 (小森陽一) 図書 692 2006-12 p.1 岩波書店 文字>表記法
- 2006119 連載;侃侃諤諤 戯曲『ギャル文字版日本文学盛衰史』 群像 61-3 2006-3 pp.300-301 講談社 文字>文字(その他)
- 2006120 連載;日本の顔 石川九楊 (原田達夫/写真) 文芸春秋 84-5 2006-4 pp.1-8(巻頭グラビア) 文芸春秋 文字>文字(その他)
- 2006121 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(7) (磯崎新) 新潮 103-7 2006-7 pp.260-269 新潮社 文字>文字(その他)
- 2006122 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(8) (磯崎新) 新潮 103-8 2006-8 pp.232-241 新潮社 文字>文字(その他)
- 2006123 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(9) (磯崎新) 新潮 103-10 2006-10 pp.276-285 新潮社 文字>文字(その他)

語彙

-
- | 文献番号 | 記事標題 | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 | |
|---------|---------------|--------------|---------|-----------|-------|--------|------------|----------|--------|----------|
| 2006124 | 「もっと明鏡」キャンペーン | みんなで作ろう国語辞典! | 発表! | 「もっと明鏡」大賞 | 国語教室 | 84 | 2006-11 | pp.14-19 | 大修館書店 | 語彙>言葉の意味 |
| 2006125 | 連載;古代往還(8) | 虹 | (中西進) | 中央公論 | 121-1 | 2006-1 | pp.138-139 | 中央公論新社 | 語彙>語源 | |
| 2006126 | 連載;ことば創生記(8) | がめつい | (石山茂利夫) | m y b | 7 | 2006-1 | p.27 | みやび出版 | 語彙>語源 | |

- 2006127 連載;ことば創生記(9) 電池 (石山茂利夫) my b 8 2006-3 p.32 みやび出版 語彙>語源
- 2006128 連載;ことば創生記(10) 恐妻(上) (石山茂利夫) my b 9 2006-5 p.32 みやび出版 語彙>語源
- 2006129 連載;ことば創生記(11) 恐妻(下) (石山茂利夫) my b 10 2006-7 p.31 みやび出版 語彙>語源
- 2006130 連載;流行語辞典 ドラッグコンビニ;下流社会;パソボラ;バブル・ゼネレーション;ブラジャケ (亀井肇) 潮 563 2006-1 p.130 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006131 連載;人間,とりあえず主義(88) コンプライアンス (なだいなだ) ちくま 418 2006-1 pp.2-3 筑摩書房 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006132 連載;流行語辞典 マリナーゼ;ホールフード;LEGEND;空スイーツ;アナトレ;アサイー (亀井肇) 潮 564 2006-2 p.158 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006133 連載;ニッポンの名文(27) 老人力で子供を守る (山口文憲) 文学界 60-2 2006-2 p.213 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006134 連載;流行語辞典 刺繍カフェ;ハローメッセージャー;ハートバッジ;フンワリカ;父子消費;ソフトダーツ (亀井肇) 潮 565 2006-3 p.178 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006135 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 ロハス (玉村豊男) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.285-287 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006136 連載;流行語辞典 駅ナカカフェ;きれいめ商品;こどもびいる;セレクト書店;ヘッドスパ;フォーク酒場 (亀井肇) 潮 566 2006-4 p.225 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006137 連載;言の葉のしずく(128) 梅の四貴 (出久根達郎) 諸君! 38-4 2006-4 p.327 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006138 連載;人間,とりあえず主義(91) 言い換えるより (なだいなだ) ちくま 421 2006-4 pp.2-3 筑摩書房 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006139 連載;流行語辞典 ブックカフェ;国家の品格;デート DV;市民記者;待ち組;ポケモン遊園地 (亀井肇) 潮 567 2006-5 p.178 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語 【藤原正彦氏の国語論】
- 2006140 連載;流行語辞典 花育;メルマネ;ナナロク世代;フリーレント;阿木山麗子;植物性乳酸菌 (亀井肇) 潮 568 2006-6 p.178 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006141 連載;流行語辞典 のまのまイエイ! ;マウストーク;シネマ歌舞伎;環国人情;リプラス;クロサギ;ヨゴリーノ (亀井肇) 潮 569 2006-7 p.178 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語

- 2006142 連載；ニッポンの名文(32) ふれあい (山口文憲) 文学界 60-7 2006-7 p.263 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006143 連載；食前食語(10) 「スローフード」と「ロハス」 (山本益博) my b 10 2006-7 pp.12-13 みやび出版 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006144 連載；流行語辞典 バングス；参加型ライブハウス；アクティブシニア；キャラ弁；ソースラー；新成田離婚 (亀井肇) 潮 570 2006-8 p.85 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006145 連載；流行語辞典 秋採用；茶葉健康法；軽キャンカー；サロンマダム；新人類ジュニア；たこ焼きパーク (亀井肇) 潮 571 2006-9 p.178 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006146 連載；流行語辞典 ブログ製本；フェイクデザート；給茶スポット；アーチ眉；ヴログ；黒酢バー；ミュージアムウェディング (亀井肇) 潮 572 2006-10 p.158 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006147 連載；葎の髓から(104) 「お言葉」は終わりましたが (阿川弘之) 文芸春秋 84-13 2006-10 pp.77-78 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006148 連載；人間，とりあえず主義(97) 「女・賢い」と「賢い・女」 (なだいなだ) ちくま 427 2006-10 pp.2-3 筑摩書房 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006149 連載；流行語辞典 電子トリセツ；姫碗；子育てタクシー；年長フリーター；企業通貨；ベタドラマ (亀井肇) 潮 573 2006-11 p.99 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006150 連載；ニッポンの名文(36) 愛されうまいもの (山口文憲) 文学界 60-11 2006-11 p.247 文芸春秋 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006151 連載；流行語辞典 アラサー；アイキー；マヨネーズ風調味料；ツリーハウス；レギング；アジアンビューティー；朝給食 (亀井肇) 潮 574 2006-12 p.224 潮出版社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006152 連載；さすらいの仏教語(19) 祇園 (玄侑宗久) 中央公論 121-12 2006-12 p.213 中央公論新社 語彙>新語・流行語・和語・漢語・外来語
- 2006153 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」 意味不明の「認知症」 (加納学) 正論 409 2006-4 pp.350-351 産経新聞社 語彙>特殊語
- 2006154 連載；言の葉のしずく(130) 馬食い (出久根達郎) 諸君！ 38-6 2006-6 p.242 文芸春秋 語彙>特殊語
- 2006155 連載；言の葉のしずく(131) 利き目 (出久根達郎) 諸君！ 38-7 2006-7 p.195 文芸春秋 語彙>特殊語
- 2006156 新潮 俗語の世界 (米川明彦) 新潮 103-7 2006-7 pp.220-221 新潮社 語彙>特殊語
- 2006157 連載；言の葉のしずく(135) 飯弁慶 (出久根達郎) 諸君！ 38-11 2006-11 p.267 文芸春秋 語彙>特殊語
- 2006158 特集；現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 麻垣康三 (森喜朗)

- 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.266-268 文芸春秋 語彙>固有名>命名
 2006159 連載;所有の誕生(10) ポストンの誘惑 (宮武久佳) すばる 28-7 2006-7
 pp.280-287 集英社 語彙>固有名>命名
 2006160 特集;エッセー特集 君の名は ふたりの龍 (渋沢龍子) 正論 408 2006-3
 pp.31-32 産経新聞社 語彙>固有名>人名
 2006161 特集;エッセー特集 君の名は 四十八願(よいなら)さん (丹羽基二) 正論
 408 2006-3 pp.32-34 産経新聞社 語彙>固有名>人名
 2006162 特集;エッセー特集 君の名は 珍しいのがとりえ (青柳いづみこ) 正論 408
 2006-3 pp.34-35 産経新聞社 語彙>固有名>人名
 2006163 特集;エッセー特集 君の名は 歌舞伎と“くるわ” (廓正子) 正論 408
 2006-3 pp.36-37 産経新聞社 語彙>固有名>人名
 2006164 特集;エッセー特集 君の名は「雪」への憧れ (佐伯順子) 正論 408 2006-3
 pp.39-40 産経新聞社 語彙>固有名>人名
 2006165 連載;落語の向こうのニッポン(4) 小さんと留公 (堀井憲一郎) 本 31-12
 2006-12 pp.36-41 講談社 語彙>固有名>人名
 2006166 連載;<文化財>取材日記 合併の犠牲となる地名 (片岡正人) 本郷 61
 2006-1 pp.18-20 吉川弘文館 語彙>固有名>地名
 2006167 「真珠湾」はない (原徳三) 文芸春秋 84-12 2006-9 pp.82-84 文芸春秋
 語彙>固有名>地名
 2006168 連載;世はこともなし?(17) 丹羽基二の旅 (石井英夫) 正論 416 2006-11
 pp.154-156 産経新聞社 語彙>固有名>地名
 2006169 連載;鳥の眼・虫の眼(19) 長すぎるタイトル (相馬悠々) 文学界 60-9
 2006-9 p.296 文芸春秋 語彙>固有名>固有名(その他)
 2006170 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 「夜なべ」も消えるのか (中井実) 文
 芸春秋 84-1 2006-1 pp.444-445 文芸春秋 語彙>語彙(その他)
 2006171 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 学力低下 (陰山英男)
 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.276-277 文芸春秋 語彙>語彙(その他) 【学力の低下と
 教育再生会議】
 2006172 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 MOTTAINAI (徳岡孝夫)
 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.277-279 文芸春秋 語彙>語彙(その他)
 2006173 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 ニート (玄田有史)
 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.292-293 文芸春秋 語彙>語彙(その他)
 2006174 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 方言ブーム (金田一
 秀穂) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.295-296 文芸春秋 語彙>語彙(その他) 【「方言
 ブーム」の行方】
 2006175 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 首都直下型地震 (鎌
 田浩毅) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.300-301 文芸春秋 語彙>語彙(その他)
 2006176 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 ブログ (山本一郎)

文芸春秋 84-4 2006-3 pp.301-303 文芸春秋 語彙 > 語彙(その他) 【インターネットと言葉】

2006177 特集;現代人必携 推薦図書リスト付き 日本の常識 44 小中高一貫教育 (和田秀樹) 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.303-304 文芸春秋 語彙 > 語彙(その他)

2006178 連載;食前食語(8) 「生産,消費,活用」 (山本益博) my b 8 2006-3 pp.12-13 みやび出版 語彙 > 語彙(その他)

2006179 この書もしありせば 『完本日本料理事物起源』を讀みて (林望) 図書 683 2006-3 pp.11-13 岩波書店 語彙 > 語彙(その他)

2006180 連載;一月一話 使わなかった言葉 誇りという言葉 (鶴見俊輔) 図書 683 2006-3 p.31 岩波書店 語彙 > 語彙(その他)

2006181 特集;気になる日本語 心に響く日本語。「術」(多田容子) 潮 566 2006-4 pp.227-228 潮出版社 語彙 > 語彙(その他)

2006182 連載;一月一話 使わなかった言葉 耳順 (鶴見俊輔) 図書 691 2006-11 p.43 岩波書店 語彙 > 語彙(その他)

文法

文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

2006183 連載;絶叫委員会(5) パニック発言 (穂村弘) ちくま 425 2006-8 pp.30-31 筑摩書房 文法

2006184 連載;上機嫌な私(21) 「全然~ない」の迷信 (小谷野敦) 文学界 60-9 2006-9 pp.210-212 文芸春秋 文法

2006185 連載;私の日本語雑記(2) センテンスを終える難しさ (中井久夫) 図書 689 2006-9 pp.28-37 岩波書店 文法

2006186 連載;ニッポンの名文(37) 乗用車も一台限りですので (山口文憲) 文学界 60-12 2006-12 p.305 文芸春秋 文法

文章・文体

文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

- 2006187 連載；ニッポンの小説(13) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-1 2006-1 pp.195-207 文芸春秋 文章・文体
- 2006188 連載；ニッポンの名文(26) めいわくですからボクたち団地にはすめません (山口文憲) 文学界 60-1 2006-1 p.223 文芸春秋 文章・文体
- 2006189 連載；鳥の眼・虫の眼(11) 川上弘美は職人である (相馬悠々) 文学界 60-1 2006-1 p.328 文芸春秋 文章・文体
- 2006190 詩の時間 (高橋順子) 図書 681 2006-1 pp.12-15 岩波書店 文章・文体
- 2006191 連載；日本人の教養(27) 詩人は金魚を突き殺す (柳田邦男) 新潮 45 25-2 2006-2 pp.248-256 新潮社 文章・文体
- 2006192 連載；都築響一の夜露死苦現代詩(14) 人生に必要なことは、みんな湯呑みから教わった あるいは詠み人知らずの説教詩 (都築響一) 新潮 103-2 2006-2 pp.262-269 新潮社 文章・文体
- 2006193 連載；ニッポンの小説(14) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-2 2006-2 pp.180-193 文芸春秋 文章・文体
- 2006194 連載；都築響一の夜露死苦現代詩(15) ヒトが生んでヒトが驚く あるいは見世物小屋の口上詩 (都築響一) 新潮 103-3 2006-3 pp.156-163 新潮社 文章・文体
- 2006195 連載；小説をめぐる(25) 人間の意図をこえたもの (保坂和志) 新潮 103-3 2006-3 pp.192-209 新潮社 文章・文体
- 2006196 連載；ニッポンの小説(15) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-3 2006-3 pp.198-210 文芸春秋 文章・文体
- 2006197 悲しきギャグをまた一つ (佐藤康智) 群像 61-4 2006-4 p.322 講談社 文章・文体
- 2006198 連載；都築響一の夜露死苦現代詩(16) 肉体言語としてのラップ・ミュージック あるいは渋谷の街の即興歌人 (都築響一) 新潮 103-4 2006-4 pp.222-229 新潮社 文章・文体
- 2006199 連載；ニッポンの小説(16) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-4 2006-4 pp.270-282 文芸春秋 文章・文体
- 2006200 連載；ニッポンの小説(17) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-5 2006-5 pp.206-217 文芸春秋 文章・文体
- 2006201 連載；古典の窓 枕詞の可能性 子規・短歌・俳諧 (佐藤勝明) 国語教室 83 2006-5 pp.53-56 大修館書店 文章・文体
- 2006202 <対談> 面談文芸時評(番外編) 言語と音響の群衆劇にむけて (渡辺直己；平井玄) 新潮 103-6 2006-6 pp.169-184 新潮社 文章・文体
- 2006203 連載；ニッポンの小説(18) ちからが足りなくて(承前) (高橋源一郎) 文学界 60-6 2006-6 pp.220-232 文芸春秋 文章・文体
- 2006204 連載；言葉と世界(72) 第三の書評 (荒川洋治) 諸君! 38-7 2006-7 p.55 文芸春秋 文章・文体
- 2006205 連載；ニッポンの小説(19) ぼくと叔父さん (高橋源一郎) 文学界 60-7

- 2006-7 pp.179-190 文芸春秋 文章・文体
- 2006206 特集；現代短歌の主題 私の作歌法 いのちの一秒（島田修三） my b 10
- 2006-7 pp.27-30 みやび出版 文章・文体
- 2006207 漢詩の美学 『音読したい漢詩・漢文傑作選』の著者に聞く（海江田万里）本の窓 29-6 2006-7 pp.20-23 小学館 文章・文体
- 2006208 連載；ニッポンの小説(20) ぼくと叔父さん(承前)（高橋源一郎）文学界 60-8 2006-8 pp.196-208 文芸春秋 文章・文体
- 2006209 連載；ニッポンの小説(21) 全文引用（高橋源一郎）文学界 60-9 2006-9 pp.150-163 文芸春秋 文章・文体
- 2006210 連載；21世紀の仕掛け人 東京タワーは寂しい存在（リリー・フランキー@池上冬樹/取材）Voice 346 2006-10 pp.34-43 PHP 研究所 文章・文体
- 2006211 特集；短詩形文学の試み 切れと近代 <鼎談> 利休,芭蕉,そして子規「切る」から生まれる新しきもの（金子兜太;熊倉功夫;高橋睦郎@石寒太/司会）すばる 28-10 2006-10 pp.188-203 集英社 文章・文体
- 2006212 特集；短詩形文学の試み 切れと近代 最短詩形表現史の軌跡と未来 脳内縮小写像の世界（堀切実）すばる 28-10 2006-10 pp.204-221 集英社 文章・文体
- 2006213 特集；短詩形文学の試み 切れと近代 子規の俳句革新運動 加藤楸邨の芭蕉・蕪村観より鳥瞰して（石寒太）すばる 28-10 2006-10 pp.222-230 集英社 文章・文体
- 2006214 連載；ニッポンの小説(22) 全文引用(承前)（高橋源一郎）文学界 60-10 2006-10 pp.190-202 文芸春秋 文章・文体
- 2006215 連載；遊歩のグラフィズム(25) 日記的瞬間（平出隆）図書 690 2006-10 pp.58-63 岩波書店 文章・文体
- 2006216 連載；ニッポンの小説(23) 全文引用(承前)（高橋源一郎）文学界 60-11 2006-11 pp.189-201 文芸春秋 文章・文体
- 2006217 連載；漢文のとびら 煙花三月 揚州に下る（向嶋成美）国語教室 84 2006-11 pp.56-60 大修館書店 文章・文体
- 2006218 特集；豊かな日本語表現 <インタビュー> 言葉こそ想像力です 豊かな日本語表現を探る（カビラ, ジョン）本の窓 29-9 2006-11 pp.2-11 小学館 文章・文体
- 2006219 特集；豊かな日本語表現 古川柳で味わう日本語の妙味（清博美）本の窓 29-9 2006-11 pp.12-15 小学館 文章・文体
- 2006220 連載；40歳からの「趣味ナビ」(27・最終回) 文章教室（中原悦子）新潮 45 25-12 2006-12 pp.162-165 新潮社 文章・文体
- 2006221 <対談> 愛羅武現代詩（谷川俊太郎;都築響一）新潮 103-12 2006-12 pp.224-237 新潮社 文章・文体
- 2006222 連載；ニッポンの小説(24) 全文引用(承前)（高橋源一郎）文学界 60-12 2006-12 pp.263-275 文芸春秋 文章・文体
- 2006223 言葉の血肉を取り戻す「地貌季語」（柳田邦男）図書 692 2006-12 pp.2-5

方言

-
- | 文献番号 | 記事標題 | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 |
|---------|------------------------|---------------------|-------------|---------|--------|---------|------------|---------|----------------------|
| 2006224 | 連載;高座舌鼓(8) | あげ玉 | (林家正蔵) | 中央公論 | 121-3 | 2006-3 | p.203 | 中央公論新社 | 方言>方言一般 |
| 2006225 | 井の頭だより | 方言 | (吉村昭) | 文芸春秋 別冊 | 263 | 2006-5 | p.678 | 文芸春秋 | 方言>方言一般 |
| 2006226 | <対談> | 方言ブームは日本人を温める | (斎藤孝;金田一秀穂) | Voice | 342 | 2006-6 | pp.164-173 | PHP 研究所 | 方言>方言一般 【「方言ブーム」の行方】 |
| 2006227 | ネオ方言の最近の様相 | (真田信治) | 学鐙 | 103-2 | 2006-6 | pp.6-9 | 丸善 | 方言>方言一般 | |
| 2006228 | 連載;西村宗のステージ(64) | 言葉 | (西村宗) | 正論 | 414 | 2006-9 | pp.362-363 | 産経新聞社 | 方言>方言一般 |
| 2006229 | 上方芸能の特徴と大阪弁 | 地域語(方言)を守るということ | (木津川計) | 学鐙 | 103-3 | 2006-9 | pp.10-13 | 丸善 | 方言>方言一般 |
| 2006230 | 連載;リレーエッセイ<ことばへの誘い>(3) | 京ことばと日本語と | (秦恒平) | m y b | 12 | 2006-11 | pp.4-7 | みやび出版 | 方言>方言一般 |
| 2006231 | 連載;リレーエッセイ<ことばへの誘い>(1) | “山の手のことば”はどこに | (野村雅昭) | m y b | 10 | 2006-7 | pp.4-7 | みやび出版 | 方言>各地の方言 |
| 2006232 | 連載;リレーエッセイ<ことばへの誘い>(2) | (私的)津軽弁での方言詩考 その下書き | (伊奈かつべい) | m y b | 11 | 2006-9 | pp.4-7 | みやび出版 | 方言>各地の方言 |
| 2006233 | 連載;ことば・ことば・ことば(3) | 私の母語(1) | (長谷川摂子) | 未来 | 483 | 2006-12 | pp.14-17 | 未来社 | 方言>各地の方言 |

言葉と機械

-
- | 文献番号 | 記事標題 | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 | |
|---------|-------------|-------------|--------------------|--------|------|------|--------|------------|--------|-------|
| 2006234 | 特集;子供たちを守れ! | 「子供の安全」最新報告 | 地縁・血縁から「電縁」コミュニティへ | (滝井宏臣) | 現代 | 40-1 | 2006-1 | pp.252-260 | 講談社 | 言葉と機械 |

- 2006235 連載；日本人の教養(26) 個人情報保護でこの世は暗黒へ (柳田邦男) 新潮 45 25-1 2006-1 pp.114-122 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006236 Foreign Affairs インターネットの管理を誰に委ねるのか 自由放任か規制か (クキエル, ケネス・ニール) 論座 128 2006-1 pp.273-281 朝日新聞社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006237 連載；都築響一の夜露死苦現代詩(13) アイ・シング・ザ・ボディ・エレクトリック あるいは箱の中の見えない詩人たち (都築響一) 新潮 103-1 2006-1 pp.400-404 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006238 連載；もったいない...(11) パクリの時代 (赤瀬川原平) ちくま 418 2006-1 pp.34-37 筑摩書房 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006239 連載；コーヒー一杯三〇円の時代(14) 電話番号の下に(呼)があった (赤瀬川原平) 世界 749 2006-2 pp.164-167 岩波書店 言葉と機械
- 2006240 連載；未来の窓(107) 「エディタリアンの会」の発足 (西谷能英) 未来 473 2006-2 pp.42-43 未来社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006241 連載；日本人の教養(28) IT バブルと脳内汚染 (柳田邦男) 新潮 45 25-3 2006-3 pp.250-258 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006242 連載；ロスト・オン・ザ・ネット(65) 調べることは調べられること (青山南) すばる 28-3 2006-3 pp.320-323 集英社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006243 NTT と NHK はこう変わる 「通信・放送懇」座長が語る本音 (松原聡) Voice 341 2006-5 pp.116-123 PHP 研究所 言葉と機械
- 2006244 潮流 06 『ウェブ進化論』に疑問が二つ (東浩紀) 論座 132 2006-5 pp.26-27 朝日新聞社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006245 特集；インターネットの新局面 ネットワーク化が生む「危機」と「創発」 (茂木健一郎) 論座 132 2006-5 pp.113-119 朝日新聞社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006246 特集；インターネットの新局面 世界は検索し尽くされるのか (森健) 論座 132 2006-5 pp.120-127 朝日新聞社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006247 <徹底討論> ウェブ進化と人間の変容 (梅田望夫；平野啓一郎) 新潮 103-6 2006-6 pp.154-168 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006248 コミュニケーション形態の変化と世論の重層性を考える (池田謙一) UP 35-6 2006-6 pp.19-23 東京大学出版会 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006249 連載；麹町電網測候所 諸君！ 38-7 2006-7 pp.332-337 文芸春秋 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006250 連載；コラム 10 の眼 経済 インターネットの中の隠者 (竹内靖雄) 新潮 45 25-7 2006-7 pp.198-199 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006251 IT だけに頼るな (桜井正光) 文芸春秋 84-9 2006-7 pp.90-91 文芸春秋 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006252 <徹底討論> ウェブ進化と人間の変容(2) (梅田望夫；平野啓一郎) 新潮

103-7 2006-7 pp.200-213 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006253 特別企画 「ユビキタス」で社会が変わる, 暮らしが変わる インフラの整備本格化へ (坂村健;佐藤信秋@木場弘子/聞き手) 中央公論 121-8 2006-8 pp.192-199 中央公論新社 言葉と機械
2006254 連載; ブログ・ハンティング Web2.0 (吉田操) 中央公論 121-8 2006-8 pp.308-309 中央公論新社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006255 グーグルを倒すのは'75 世代だ (梅田望夫@森健/聞き手) 文芸春秋 84-11 2006-8 pp.296-304 文芸春秋 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006256 特集; 「子どもの安全」を考える IT 技術は小学生を守るか 携帯電話, IC タグ, 監視カメラ, 街角ロボット... (大内悟史) 論座 135 2006-8 pp.126-133 朝日新聞社 言葉と機械
2006257 連載; ロスト・オン・ザ・ネット(69) 国境なき言葉たち (青山南) すばる 28-8 2006-8 pp.320-323 集英社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006258 <学術出版> グーグルブックサーチ UP 35-8 2006-8 p.61 東京大学出版会 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006259 「古代チベット語文献オンライン」プロジェクト (今枝由郎) 図書 688 2006-8 pp.22-27 岩波書店 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006260 <対談> 子供の脳が汚される! (柳田邦男;岡田尊司) Voice 345 2006-9 pp.210-219 PHP 研究所 言葉と機械
2006261 潮流 06 映画版『日本沈没』には「日本」が欠けている (東浩紀) 論座 136 2006-9 pp.24-25 朝日新聞社 言葉と機械
2006262 連載; ロスト・オン・ザ・ネット(70) 全世界図書館への接近 (青山南) すばる 28-9 2006-9 pp.448-451 集英社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006263 <Ushio News Index> Web2.0 でネットはどう進化する。 (小沢一樹) 潮 572 2006-10 pp.60-61 潮出版社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006264 <ボイス往来> インターネットは負の存在か (木村晴美) Voice 346 2006-10 p.258 PHP 研究所 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006265 連載; 思考の遊歩(7) ケータイのリテラシー (北田暁大) 文学界 60-10 2006-10 pp.240-242 文芸春秋 言葉と機械
2006266 連載; 日本人の教養(36) 名を隠す日本人 お前は何者か? (柳田邦男) 新潮 45 25-11 2006-11 pp.246-254 新潮社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006267 連載; ブログ時評 on SEKAI ネット言論はいま 「オーマイニュース 日本版」が直面する危機 (団藤保晴) 世界 758 2006-11 pp.162-163 岩波書店 言葉と機械 【インターネットと言葉】
2006268 <ルポ> ややこしい子とともに生きる(下) (河原ノリエ) 世界 758 2006-11 pp.264-275 岩波書店 言葉と機械
2006269 ミクシィ 時価総額二千億円の罫 (佐々木俊尚) 文芸春秋 84-16 2006-11 pp.278-285 文芸春秋 言葉と機械 【インターネットと言葉】

- 2006270 特集;教育の力を取り戻す <巻頭エッセイ> 小石と核兵器の違い (柳田邦男) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.12-13 文芸春秋 言葉と機械 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006271 連載;思考の遊歩(8) ケータイ・パラドックス? (北田暁大) 文学界 60-11 2006-11 pp.244-246 文芸春秋 言葉と機械
- 2006272 インターネット制覇をもくろむ中国の野望 誰も書かないレッドチャイナの禁忌 (佐々木俊尚) 諸君! 38-12 2006-12 pp.182-189 文芸春秋 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006273 「わたしたち」のポジション アジア・太平洋の言論の自由と日本のヒップホップ・ナショナリズムを考える (中村和恵) 世界 759 2006-12 pp.305-313 岩波書店 言葉と機械
- 2006274 <対談> 現代科学を“身体性”と“クオリア”で乗り越える グーグルVS.古武術&最新脳科学 (甲野善紀;茂木健一郎) 中央公論 121-12 2006-12 pp.202-212 中央公論新社 言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006275 <Book Street この著者に会いたい> 『本の読み方 スロー・リーディングの実践』 (平野啓一郎@尾崎真理子/聞き手) Voice 348 2006-12 pp.174-179 PHP 研究所 言葉と機械
- 2006276 <随筆> ふりがな書き殴る (鈴木清剛) 群像 61-12 2006-12 pp.340-341 講談社 言葉と機械
- 2006277 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(72・最終回) ネットからは逃げられないが (青山南) すばる 28-12 2006-12 pp.318-321 集英社 言葉と機械 【インターネットと言葉】

コミュニケーション

 文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

- 2006278 連載;二十一世紀の「社会と宗教」を語る(1) 活字文化の発展に向けて。(秋谷栄之助) 潮 563 2006-1 pp.114-121 潮出版社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006279 連載;日本人の教養(29) “心の分婣”は三年かかる (柳田邦男) 新潮 45 25-4 2006-4 pp.244-252 新潮社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006280 <言ったもん勝ち>携帯電話 電車の悪夢 (飯田和洋) 正論 411 2006-6 p.382 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006281 <言ったもん勝ち>携帯電話 頼むから前を向いて (安田公子) 正論 411 2006-6 pp.382-383 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般

- 2006282 <言ったもん勝ち>携帯電話 三十年前に書いたことが... (後閑暢夫) 正論 411 2006-6 p.384 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006283 <言ったもん勝ち>携帯電話 ケータイ不持・老骨 の弁 (志田俊) 正論 411 2006-6 pp.384-385 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006284 <言ったもん勝ち>携帯電話 両刃の剣 (宮内和雄) 正論 411 2006-6 pp.385-386 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006285 <言ったもん勝ち>携帯電話 罵声に驚く (飯島つよし) 正論 411 2006-6 p.387 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006286 <言ったもん勝ち>携帯電話 必要ないもの (沢田秀男) 正論 411 2006-6 pp.388-389 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006287 <言ったもん勝ち>携帯電話 時代錯誤では? (櫛田美幸) 正論 411 2006-6 p.389 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006288 <言ったもん勝ち>携帯電話 持たない者の強み (鈴木智恵子) 正論 411 2006-6 pp.389-390 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006289 <言ったもん勝ち>携帯電話 十八歳未満は使用禁止に (桶谷伸) 正論 411 2006-6 p.390 産経新聞社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006290 連載;テレビ国家(1) 権力のメディア的変容について (石田英敬) 世界 753 2006-6 pp.49-57 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般 【テレビと言葉】
- 2006291 連載;テレビ国家(2) 公共空間の変容について (石田英敬) 世界 754 2006-7 pp.138-146 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般 【テレビと言葉】
- 2006292 特集;「親力」がわが子の能力を決める わが子を“サル”にしないための父親力 (正高信男) 中央公論 121-9 2006-9 pp.42-49 中央公論新社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活一般
- 2006293 特集;「対話」のすすめ 納得することで人は「やる気」が出る。 (和田裕美) 潮 565 2006-3 pp.112-117 潮出版社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会
- 2006294 特集;憲法にとって「国」とは何か 壁に囲まれた「自由」 (坂東真砂子) 世界 753 2006-6 pp.135-142 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会
- 2006295 連載;テレビ国家(4) 内面化されるネオリベリズム (石田英敬) 世界 757 2006-10 pp.104-112 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会 【テレビと言葉】
- 2006296 連載;インテリジェンス・アイ(53) 「放送禁止用語」にまともな議論を (佐々淳行) 諸君! 38-11 2006-11 pp.242-244 文芸春秋 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会
- 2006297 連載;食前食語(12) 「仕事が生きてある」 (山本益博) my b 12 2006-11 pp.14-15 みやび出版 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と社会
- 2006298 特集;「対話」のすすめ <対談> 「こころ」と「こころ」をつなぐ対話。 (山

- 根基世；堀田力） 潮 565 2006-3 pp.98-105 潮出版社 コミュニケーション>言葉と生活>談話
- 2006299 賢い患者は日本語が上手 医者との対話をスムーズに進める秘訣を教えます（丸谷オ一；中井修） 文芸春秋 84-4 2006-3 pp.178-186 文芸春秋 コミュニケーション>言葉と生活>談話
- 2006300 <巻頭随筆> 怒りを静める対話術指南（星幸広） 国語教室 84 2006-11 pp.2-3 大修館書店 コミュニケーション>言葉と生活>談話
- 2006301 手話シャンソン（朝倉まみ） 文芸春秋 84-11 2006-8 pp.78-79 文芸春秋 コミュニケーション>言葉と生活>手話
- 2006302 <対談> がん医療の理想と現実（絵門ゆう子；岩本裕） 波 40-1 2006-1 pp.52-56 新潮社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006303 連載；「脳とこころ」の不思議に迫る(2) <対談> 「嫌われる人」はなぜ嫌われる？（河合隼雄；茂木健一郎） 潮 565 2006-3 pp.232-239 潮出版社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006304 心理学で読み解く若者たちの変化（速水敏彦） 本 31-3 2006-3 pp.22-24 講談社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006305 <ルポ> 「学力低下」を追う(上) こどもの生活破壊{ライフハザード}が学力低下をまねく？（滝井宏臣） 世界 751 2006-4 pp.270-280 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他） 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006306 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 賢い患者になるために（益田怜子） 文芸春秋 84-5 2006-4 p.446 文芸春秋 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006307 <ルポ> 「学力低下」を追う(下) 子育てネットワークが「見えない学力」をはぐくむ（滝井宏臣） 世界 752 2006-5 pp.198-208 岩波書店 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他） 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006308 4月22日「よい夫婦の日」記念エッセイ あなたがくれた3つの言葉 現代 40-6 2006-6 pp.275-290 講談社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006309 「頭のいい子」と「いい子」最新事情（中島京子） 群像 61-7 2006-7 p.335 講談社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006310 総力特集；「日本の教育」最前線 「キレル子ども」と「学級崩壊」をなくす方法（草薙厚子） 現代 40-8 2006-8 pp.204-211 講談社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006311 連載；哲学者というならず者がいる(23) 「前に来なさい！」（中島義道） 新潮 45 25-8 2006-8 pp.138-141 新潮社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）
- 2006312 特集；「親力」がわが子の能力を決める 子どもの異変に気づかぬ親たち 話せない、聞けない、描けない...（正司昌子） 中央公論 121-9 2006-9 pp.50-56 中央公論新社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活（その他）

- 2006313 特集;「親力」がわが子の能力を決める 親子のコミュニケーションを勘違いしていませんか (金田一秀穂) 中央公論 121-9 2006-9 pp.74-77 中央公論新社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006314 連載;言葉と世界(75) 南方通信 (荒川洋治) 諸君! 38-10 2006-10 p.201 文芸春秋 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006315 連載;ことば・ことば・ことば(1) 流れるイカダ (長谷川摂子) 未来 481 2006-10 pp.1-3 未来社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006316 連載;日々のシンボー(5) お返事 (南伸坊) my b 12 2006-11 pp.34-35 みやび出版 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006317 紙の上の授業(1) (大倉将人) ちくま 428 2006-11 p.78 筑摩書房 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006318 特集;心にのこる「出会い」 ことばの重みを教えてくれた受刑者。(山根基世) 潮 574 2006-12 pp.202-205 潮出版社 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006319 紙の上の授業(2) (大倉将人) ちくま 429 2006-12 p.78 筑摩書房 コミュニケーション>言葉と生活>言葉と生活(その他)
- 2006320 特集;「対話」のすすめ 話す人も聴く人も元気になる“傾聴の力”。(鈴木絹英) 潮 565 2006-3 pp.106-111 潮出版社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006321 特集;気になる日本語 心に響く日本語。「あーそーびーまーしょ」(小田嶋隆) 潮 566 2006-4 pp.228-229 潮出版社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006322 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」 「細かな」と、「細やかな」の違い (高倉忠博) 正論 409 2006-4 p.353 産経新聞社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006323 <Ushio 情報 Box> 会話のマナー&常識 (石井美佐) 潮 567 2006-5 pp.278-281 潮出版社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006324 特集;怒られたこと 人を育てる 人が育つ 「言葉」より「態度」「行動」だった (山口昭男) 論座 132 2006-5 pp.195-196 朝日新聞社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006325 連載;ニッポンの名文(30) 多目的トイレはこの裏側です (山口文憲) 文学界 60-5 2006-5 p.231 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006326 連載;主婦の眼 ママの声(65) 子供の叱り方 (えみ子) 正論 411 2006-6 pp.180-181 産経新聞社 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006327 連載;ニッポンの名文(33) 撤収してください (山口文憲) 文学界 60-8 2006-8 p.281 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般
- 2006328 「辞」の効用 故金谷治氏に捧げる (小倉芳彦) 図書 688 2006-8 pp.28-31 岩波書店 コミュニケーション>言葉の使い方>言葉の使い方一般

- 2006329 連載;ニッポンの名文(28) デーモン小暮閣下さん (山口文憲) 文学界 60-3
2006-3 p.215 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006330 特集;次代に伝えたい日本語 敬語とユーモアを残しつつづきたい (田辺聖子) 中央公論 121-6 2006-6 pp.62-63 中央公論新社 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006331 連載;足下を掘る(11) 謙譲の美德 (丸山敏秋) 正論 414 2006-9
pp.202-203 産経新聞社 コミュニケーション>言葉の使い方>敬語
- 2006332 特集;エッセー特集 春,一年生 誉め言葉が大変な良薬に (生島ヒロシ) 正論 410 2006-5 pp.39-40 産経新聞社 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006333 特集;次代に伝えたい日本語 テレビに品格を生む,話し方の基本 (鈴木健二) 中央公論 121-6 2006-6 pp.60-61 中央公論新社 コミュニケーション>言葉の使い方>話す 【藤原正彦氏の国語論;テレビと言葉】
- 2006334 連載;私の日本語雑記(1) 間投詞から始める (中井久夫) 図書 687 2006-7
pp.28-35 岩波書店 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006335 民話を語り継ぐということ 松谷みよ子氏インタビュー (松谷みよ子@編集部/聞き手) 未来 479 2006-8 pp.32-37 未来社 コミュニケーション>言葉の使い方>話す
- 2006336 連載;古今東西の著名人に学ぶテクニック 恋愛書簡術(1) アポリネール(1) (中条省平) 中央公論 121-5 2006-5 pp.258-259 中央公論新社 コミュニケーション>言葉の使い方>書く
- 2006337 連載;ニッポンの名文(31) お疲れ様です (山口文憲) 文学界 60-6 2006-6
p.309 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>書く
- 2006338 連載;わたしのこだわり(2) こだわらない (赤川次郎) 図書 687 2006-7
pp.40-42 岩波書店 コミュニケーション>言葉の使い方>書く
- 2006339 連載;ニッポンの名文(34) とある建設の会社の人が子犬のときに (山口文憲) 文学界 60-9 2006-9 p.203 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>書く
- 2006340 <達人対談> 筆は道具でなく「第二の手」です (石川九楊;ビートたけし) 新潮 45 25-10 2006-10 pp.76-87 新潮社 コミュニケーション>言葉の使い方>書く
- 2006341 朗読 (若村麻由美) 文芸春秋 84-1 2006-1 pp.84-86 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006342 読む人・書く人・作る人 余白への書きこみ (青野聡) 図書 683 2006-3 p.1 岩波書店 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006343 <座談会> 新書という可能性 (斎藤美奈子;佐藤俊樹;永江朗) 図書 684 2006-4 pp.2-11 岩波書店 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006344 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 教員よ,本を読め (加藤正雄) 文芸春秋 84-9 2006-7 p.446 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>読む
- 2006345 連載;言葉と世界(74) 十万人の読書 (荒川洋治) 諸君! 38-9 2006-9
p.137 文芸春秋 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006346 <Ushio News Index> 新サービスで生き残りをかける「公立図書館」。(前原政之) 潮 573 2006-11 pp.62-63 潮出版社 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

2006347 ずいひつ波音 青春といえば (金原瑞人) 潮 574 2006-12 pp.52-53 潮出版社 コミュニケーション>言葉の使い方>読む

マスコミュニケーション

文献番号 記事タイトル (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

2006348 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」「方」の大安売り (後閑暢夫) 正論 409
2006-4 pp.352-353 産経新聞社 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般
【テレビと言葉】

2006349 「言葉のチカラ」と新聞,そしてテレビ (佐柄木俊郎) 世界 754 2006-7
pp.147-155 岩波書店 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般 【テレビ
と言葉】

2006350 連載;テレビ国家(3) 政治の変容について (石田英敬) 世界 756 2006-9
pp.41-49 岩波書店 マスコミュニケーション>マスコミュニケーション一般 【テレビと
言葉】

2006351 テレビの品格を問う みのもんだから亀田兄弟まで (永六輔;黒柳徹子;久米宏)
文芸春秋 84-13 2006-10 pp.196-206 文芸春秋 マスコミュニケーション>マスコミュ
ニケーション一般 【藤原正彦氏の国語論;テレビと言葉】

2006352 だからラジオは面白い (清水克彦) 新潮 45 25-4 2006-4 pp.130-136 新
潮社 マスコミュニケーション>マスコミの用字・用語 【テレビと言葉】

2006353 <言ったもん勝ち>「乱れた日本語」プロのアナウンサーでさえ (鈴木晃) 正
論 409 2006-4 pp.351-352 産経新聞社 マスコミュニケーション>マスコミの用字・用
語 【テレビと言葉】

国語教育

文献番号 記事標題 (著者) 誌名 巻号 発行年月 ページ 発行所 分類 【トピック】

2006354 特集;子供たちを守れ! 「ゆとり教育」が招いた混乱と残骸 キーマンの元次官が明かした文科省の失敗 (前屋毅) 現代 40-1 2006-1 pp.242-251 講談社 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006355 特集;教育再建 <対談> 秀才殺しの教育はもうやめよ 学校に任せず,家庭で鍛えろ (藤原正彦;桜井よしこ) 中央公論 121-1 2006-1 pp.40-49 中央公論新社 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議;藤原正彦氏の国語論】

2006356 漫画とテレビで大もて『ドラゴン桜』の罨 (松永暢史) 正論 406 2006-2 pp.334-344 産経新聞社 国語教育>国語教育一般

2006357 ゆとり教育の先にあるもの ちくまプリマー新書一周年に寄せて (三好由紀彦) ちくま 419 2006-2 pp.20-21 筑摩書房 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006358 懸賞論文「教育再建」入選作発表(最優秀作) 正統的な学習の復活を (長谷川一恵) 中央公論 121-3 2006-3 pp.222-225 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006359 「自ら学ぶ力」べた褒め社会の光と影 学歴社会から学習資本主義社会へ (荻谷剛彦) 中央公論 121-3 2006-3 pp.234-245 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006360 特集;日記礼賛 校長先生,東奔西走す (陰山英男) 文芸春秋 84-5 2006-4 pp.316-320 文芸春秋 国語教育>国語教育一般

2006361 特集;日本の教育を糺す <対談> 起死回生のカギはエリート教育にあり 人間とケダモノの違いは本を読むか読まないかだ! (藤原正彦;曾野綾子) 諸君! 38-5 2006-5 pp.130-141 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議;藤原正彦氏の国語論】

2006362 特集;次代に伝えたい日本語 耳で聴いてこそ,リズム感が身につく (鹿島茂) 中央公論 121-6 2006-6 pp.58-59 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006363 連載;所有の誕生(9) カーネギーの遺産 (宮武久佳) すばる 28-6 2006-6 pp.410-417 集英社 国語教育>国語教育一般

2006364 <読書の時間 Book Lesson> 松永暢史著『男の子を伸ばす母親は,ここが違う!』 (松永暢史@喜多由浩/聞き手) 正論 412 2006-7 pp.358-361 産経新聞社 国語教育>国語教育一般

2006365 子供に「退屈力」をつけよ (斎藤孝) 文芸春秋 84-9 2006-7 pp.310-319 文芸春秋 国語教育>国語教育一般

2006366 <対談> エリートの復権 (福田和也;北康利) Voice 343 2006-7 pp.116-126 PHP 研究所 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006367 特集;国語再建 <対談> 「日本人の誇り」は国語教育から (藤原正彦;斎藤

孝) 文学界 60-7 2006-7 pp.106-120 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議;藤原正彦氏の国語論】

2006368 日本のオトナ教育には「落語」がよるしいようで... (中野翠;京須偕充) 諸君! 38-9 2006-9 pp.202-213 文芸春秋 国語教育>国語教育一般

2006369 特集;「親力」がわが子の能力を決める 正しい生活習慣が学力を伸ばす 「百ます計算」よりも「早寝・早起き・朝御飯」 (陰山英男) 中央公論 121-9 2006-9 pp.32-41 中央公論新社 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006370 文科省にこれだけは言っておきたい! (松永暢史) 正論 415 2006-10 pp.330-337 産経新聞社 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006371 特集;公立校は立ち直るか <対談> 3000人の民間校長をリクルートせよ 学校には“経営力”が必要だ (藤原和博;中井浩一) 中央公論 121-11 2006-11 pp.41-49 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006372 特集;公立校は立ち直るか <ルポ> 親子の本音が招く,人気校への雪崩現象 品川区教育改革の今 (小林哲夫) 中央公論 121-11 2006-11 pp.50-60 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006373 特集;公立校は立ち直るか 水準を満たさない学校と不適格教師は退場してもらおう 安倍新政権のキーマンが語る (下村博文) 中央公論 121-11 2006-11 pp.62-67 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006374 特集;公立校は立ち直るか “公教育”の知的プラットフォームを再建せよ (内田樹) 中央公論 121-11 2006-11 pp.68-75 中央公論新社 国語教育>国語教育一般

2006375 特集;教育の力を取り戻す <巻頭エッセイ> 教育崩壊と経済合理性 (内田樹) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.14-15 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006376 特集;教育の力を取り戻す 民間人校長連続インタビュー&ルポ 学校はどう変わり,どこへ向かうのか(アンケート付き) (久田恵) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.16-33 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006377 特集;教育の力を取り戻す このままでは手遅れになる 子供たちに「心の母港」を (鈴木孝夫) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.34-42 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006378 特集;教育の力を取り戻す <特別対談> 教育に夢と憧れを 僕が小学校の先生になったら (斎藤孝;乙武洋匡) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.70-79 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006379 特集;教育の力を取り戻す 私の教師時代 七十年前の三年半 (秋山ちえ子) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.82-83 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】

2006380 特集;教育の力を取り戻す 素読とテレビ電話と (加地伸行) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.184-189 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議;テレビと言葉】

- 2006381 特集;教育の力を取り戻す <特別対談> 品格ある日本人を育てるには (阿川弘之;藤原正彦) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 pp.190-202 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議;藤原正彦氏の国語論】
- 2006382 おしまいのページで 役に立つ学問,立たない学問 (徳岡孝夫) 文芸春秋 特別版/臨時増刊号 84-15 2006-11 p.208 文芸春秋 国語教育>国語教育一般
- 2006383 特集;教育は再生するか <対談> 母親よ,哲学を語れ 子供たちに「耐える力」を (曾野綾子;上坂冬子) Voice 347 2006-11 pp.48-57 PHP 研究所 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006384 連載;乙武洋匡 教育レポート(8) 人前で発言できない子どもたち (乙武洋匡) 現代 40-12 2006-12 pp.274-282 講談社 国語教育>国語教育一般
- 2006385 特集;「教育再生」やるなら,この手しかない ザけんなヨ!「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 読書教育は図書館より古本屋で (出久根達郎) 諸君! 38-12 2006-12 pp.146-148 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006386 特集;「教育再生」やるなら,この手しかない ザけんなヨ!「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 「読解力,理解力」「想像力」「表現力」の三位一体で (鈴木光司) 諸君! 38-12 2006-12 pp.150-151 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006387 特集;「教育再生」やるなら,この手しかない ザけんなヨ!「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 「教育に朝日新聞を」の弊害 (潮匡人) 諸君! 38-12 2006-12 pp.159-160 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006388 教育特集;子供を殺すのは教師か親か これが本物の教育再生会議だ カリスマ教育者 3人が論じ尽くす (陰山英男;斎藤孝;藤原和博) 文芸春秋 84-17 2006-12 pp.130-144 文芸春秋 国語教育>国語教育一般 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006389 2006年度センター試験国語の「漢文」について (天野成之) 漢文教室 192 2006-5 pp.29-31 大修館書店 国語教育>国語教育(その他)
- 2006390 漢文デジタル事情 (塚田勝郎) 漢文教室 192 2006-5 pp.32-34 大修館書店 国語教育>国語教育(その他)
- 2006391 ずいひつ波音 ガリガリブ~リ (七沢菜波) 潮 569 2006-7 pp.56-58 潮出版社 国語教育>国語教育(その他)
- 2006392 特集;教育は再生するか 子供を強くする8つのアイデア 古典に学ぶ日本人の信仰心 (山折哲雄) Voice 347 2006-11 pp.84-85 PHP 研究所 国語教育>国語教育(その他) 【学力の低下と教育再生会議】
- 2006393 特集;「教育再生」やるなら,この手しかない ザけんなヨ!「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 小中学生にはもっと古文・漢文を (岡崎久彦) 諸君! 38-12 2006-12 pp.145-146 文芸春秋 国語教育>国語教育(その他) 【学力の低下と教育再生会議】

日本語教育

-
- | 文献番号 | 記事タイトル | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 |
|---------|--|--------|-------|------|---------|------------|---------|-------|----------------|
| 2006394 | 連載;乙武洋匡 教育レポート(4) 言葉の壁を越えて | (乙武洋匡) | 現代 | 40-4 | 2006-4 | pp.204-213 | 講談社 | 日本語教育 | |
| 2006395 | 総力特集;「日本の教育」最前線 外国人 Gakkou が浮き彫りにする「ご都合主義」 | (姜誠) | 現代 | 40-8 | 2006-8 | pp.194-202 | 講談社 | 日本語教育 | |
| 2006396 | 特集;教育は再生するか 大学教育は工場でもできる | (渡部昇一) | Voice | 347 | 2006-11 | pp.72-77 | PHP 研究所 | 日本語教育 | 【学力の低下と教育再生会議】 |
-

言語

-
- | 文献番号 | 記事タイトル | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 |
|---------|-------------------------------------|-----------------|-------|-------|--------|------------|---------|----|-----------|
| 2006397 | ずいひつ波音 語法の檻 | (内田樹) | 潮 | 563 | 2006-1 | pp.55-57 | 潮出版社 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006398 | 連載;極薄の閥のうえを 漢字考(1) | (磯崎新) | 新潮 | 103-1 | 2006-1 | pp.328-337 | 新潮社 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006399 | 連載;思考の補助線(8) 紙一枚の文字列の中に | (茂木健一郎) | ちくま | 418 | 2006-1 | pp.38-41 | 筑摩書房 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006400 | 連載;一月一話 使わなかった言葉 言葉は使しよう | (鶴見俊輔) | 図書 | 681 | 2006-1 | p.45 | 岩波書店 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006401 | 連載;音を紡ぐひとたち(1) “Saiko” 海を渡ったクレオール之歌 | (松田美緒) | 未来 | 472 | 2006-1 | pp.22-23 | 未来社 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006402 | 連載;大学の余白/余白の大学(15) この奈落にこそ基盤が... | (大宮勘一郎) | 未来 | 472 | 2006-1 | pp.28-32 | 未来社 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006403 | この奈落にこそ基盤が... 大学の余白/余白の大学 | (大宮勘一郎) | 未来 | 472 | 2006-1 | pp.28-32 | 未来社 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006404 | 連載;21 世紀の仕掛け人 大人の脳は子供に「進化」する | (茂木健一郎@小出重幸/取材) | Voice | 338 | 2006-2 | pp.30-39 | PHP 研究所 | 言語 | 言語 > 言語一般 |
| 2006405 | 連載;極薄の閥のうえを 漢字考(2) | (磯崎新) | 新潮 | 103-2 | 2006-2 | | | | |
-

pp.302-311 新潮社 言語>言語一般

2006406 連載;小説の設計図(メカニクス)(19) 「尻すぼみ(アンチクライマクス)」の/と結末(クライマクス) (前田壘) 文学界 60-2 2006-2 pp.214-225 文芸春秋 言語>言語一般

2006407 読む人・書く人・作る人 珊瑚礁とフィクション (管啓次郎) 図書 682 2006-2 p.1 岩波書店 言語>言語一般

2006408 連載;極薄の鬨のうえを 漢字考(3) (磯崎新) 新潮 103-3 2006-3 pp.182-190 新潮社 言語>言語一般

2006409 連載;異国の客(12) クリスマス, EU と多言語性, コーブランド, ブルギニヨン (池沢夏樹) すばる 28-3 2006-3 pp.288-298 集英社 言語>言語一般

2006410 特集;言語のリストラ 滅びゆくことばの行方 絶滅の危機に瀕した言語 (宮岡伯人) my b 8 2006-3 pp.14-18 みやび出版 言語>言語一般

2006411 特集;言語のリストラ 滅びゆくことばの行方 今,求められる環境にやさしい言語学 ツンドラのトナカイ遊牧民の言語から (呉人恵) my b 8 2006-3 pp.19-27 みやび出版 言語>言語一般

2006412 特集;言語のリストラ 滅びゆくことばの行方 グローバル化にのぞむ少数言語のストラテジー (田中克彦) my b 8 2006-3 pp.28-31 みやび出版 言語>言語一般

2006413 脳内汚染が子供をむしばむ (岡田尊司;斎藤孝) 文芸春秋 84-5 2006-4 pp.168-176 文芸春秋 言語>言語一般

2006414 特集;日台作家キャラバン <座談会> 台東での対話 言語の問題をめぐって (ラポガン,シャマン;詹澈;リービ英雄;茅野裕城子) すばる 28-4 2006-4 pp.144-153 集英社 言語>言語一般

2006415 エッセー 幻の英語 (石黒達昌) 文学界 60-4 2006-4 pp.13-15 文芸春秋 言語>言語一般

2006416 連載;一月一話 使わなかった言葉 金鶴泳『凍える口』と日本 (鶴見俊輔) 図書 684 2006-4 p.33 岩波書店 言語>言語一般

2006417 連載;群島 世界論(5) 二世の井 (今福龍太) すばる 28-5 2006-5 pp.386-399 集英社 言語>言語一般

2006418 連載;ロスト・オン・ザ・ネット(67) 翻訳者の怒りと飢え (青山南) すばる 28-5 2006-5 pp.414-417 集英社 言語>言語一般

2006419 特集;昔話の再発見 門前の言語学徒,昔話研究を学ぶ (辻星児) my b 9 2006-5 pp.29-31 みやび出版 言語>言語一般

2006420 連載;イヌの放課後(21) イヌは人の言葉を理解している? (森詠) 本の窓 29-4 2006-5 pp.86-91 小学館 言語>言語一般

2006421 <Ushio News Index> 脳は本当に「脳トレ」で鍛えられるのか。 (前原政之) 潮 568 2006-6 pp.64-65 潮出版社 言語>言語一般

2006422 いまお仕事中ですから (中村紘子) 文芸春秋 84-8 2006-6 pp.81-83 文芸春秋 言語>言語一般

- 2006423 連載；極薄の鬨のうえを 漢字考(6) (磯崎新) 新潮 103-6 2006-6
pp.234-242 新潮社 言語>言語一般
- 2006424 On Campus/Campus Wide 東大発,新しい英語教科書 (シーラ,ホーンズ;矢口
祐人) UP 35-6 2006-6 pp.1-4 東京大学出版会 言語>言語一般
- 2006425 小特集;ジャン=リュック・ナンシー “winke-winke”あるいは一神教の翻訳可能
性 報告/ナンシー来日講演会・討論会 (西山達也) 未来 477 2006-6 pp.4-7 未来
社 言語>言語一般
- 2006426 連載;霊と女たち(7) テレサ,世界の霊性(後) (杉浦勉) 未来 477 2006-6
pp.18-23 未来社 言語>言語一般
- 2006427 <投稿> 特集「言語のリストラ 滅びゆくことばの行方」にんえて (高橋昭)
myb 10 2006-7 pp.44-45 みやび出版 言語>言語一般
- 2006428 連載;かたち三昧(31) 暗号はゼロのかたち(1) (高山宏) UP 35-7 2006-7
pp.12-13 東京大学出版会 言語>言語一般
- 2006429 連載;反哲学入門(2) 第一章 哲学は西欧人だけの思考法である(承前) (木田
元) 波 40-7 2006-7 pp.8-17 新潮社 言語>言語一般
- 2006430 特別企画;脳とところ 連載;「脳とところ」の不思議に迫る(4) <対談> 脳で
ところがどこまでわかるか。(河合隼雄;茂木健一郎) 潮 570 2006-8 pp.70-77 潮
出版社 言語>言語一般
- 2006431 連載;かたち三昧(32) 「言葉と物」のペダゴジックス (高山宏) UP 35-8
2006-8 pp.6-7 東京大学出版会 言語>言語一般
- 2006432 動物はしゃべらない ハダカデバネズミの音声コミュニケーション (岡ノ谷一
夫) 図書 688 2006-8 pp.12-15 岩波書店 言語>言語一般
- 2006433 連載;一月一話 使わなかった言葉 自分のなかの知らない言葉 (鶴見俊輔) 図
書 688 2006-8 p.35 岩波書店 言語>言語一般
- 2006434 連載;反哲学入門(3) 第一章 哲学は西欧人だけの思考法である(承前) (木田
元) 波 40-8 2006-8 pp.16-23 新潮社 言語>言語一般
- 2006435 連載;菅野覚明 宮川敬之往復連載 『眼蔵』をよむ(39) 第1部「仏性」巻 口
バの「意味」と馬の「文字」 (宮川敬之) 本 31-8 2006-8 pp.62-67 講談社 言語
>言語一般
- 2006436 <対談> 異言語に身を晒す 新しい文学のモデルをめぐって (大江健三郎;リ
ービ英雄) 世界 756 2006-9 pp.50-61 岩波書店 言語>言語一般
- 2006437 連載;群島 世界論(9) 誰でもない者(オメーロス)の海へ (今福龍太) すば
る 28-9 2006-9 pp.408-422 集英社 言語>言語一般
- 2006438 連載;かたち三昧(33) 言葉の永久機関 (高山宏) UP 35-9 2006-9
pp.36-37 東京大学出版会 言語>言語一般
- 2006439 呆けないための脳の鍛え方 (川島隆太) 文芸春秋 84-13 2006-10
pp.280-288 文芸春秋 言語>言語一般
- 2006440 連載;群島 世界論(10) 薄明の王国 (今福龍太) すばる 28-10 2006-10

- pp.320-333 集英社 言語>言語一般
- 2006441 連載;かたち三昧(34) ちゃんと面白い英文学 (高山宏) UP 35-10 2006-10
pp.24-25 東京大学出版会 言語>言語一般
- 2006442 連載;一月一話 使わなかった言葉 言葉にあらわれる洞察 (鶴見俊輔) 図書
690 2006-10 p.41 岩波書店 言語>言語一般
- 2006443 連載;「英語」千夜一夜 <コラム 本の学校> キャンセルはラッキー? (尾
島恵子) 本の窓 29-8 2006-10 p.79 小学館 言語>言語一般
- 2006444 中国で開かれた「日本知識クイズ大会」観戦記 (松井樹) 新潮 45 25-11
2006-11 pp.84-88 新潮社 言語>言語一般
- 2006445 特集;日本人の体育 子どもを蝕む肥満と筋力・持久力低下 徹底データ解析 (藤
原勝夫) 中央公論 121-11 2006-11 pp.166-175 中央公論新社 言語>言語一般
- 2006446 新潮 文字のないアイヌ語のテクスト 金成マツノートの行方 (村崎恭子) 新
潮 103-11 2006-11 pp.242-243 新潮社 言語>言語一般
- 2006447 連載;言葉に憑かれた人たち 人工言語地平から(10) 「思想家の王」ブリッセと
言語の起源 (東郷雄二) すばる 28-11 2006-11 pp.318-325 集英社 言語>言語一
般
- 2006448 連載;群島 世界論(11) ブラジル島, 漂流 (今福龍太) すばる 28-11
2006-11 pp.416-429 集英社 言語>言語一般
- 2006449 連載;私の日本語雑記(3) 日本語文を組み立てる (中井久夫) 図書 691
2006-11 pp.36-42 岩波書店 言語>言語一般
- 2006450 連載;反哲学入門(6) 第二章 古代ギリシアで起こったこと(承前) (木田元)
波 40-11 2006-11 pp.36-43 新潮社 言語>言語一般
- 2006451 連載;群島 世界論(12) 私は舌である (今福龍太) すばる 28-12 2006-12
pp.305-317 集英社 言語>言語一般
- 2006452 連載;足下を掘る(5) 漢字の復活 (丸山敏秋) 正論 408 2006-3 pp.196-197
産経新聞社 言語>日本語と他言語
- 2006453 特集;中国・韓国の若者は本当に反米・反日か? 日中十代意識調査 情報と現実
の間で揺れるケータイ世代 (原田曜平) 中央公論 121-3 2006-3 pp.70-79 中央公論
新社 言語>日本語と他言語
- 2006454 連載;韓流 出版事情(7) “デジログ”時代には情報の“味”が大切だ (韓淇
皓) 論座 131 2006-4 pp.234-239 朝日新聞社 言語>日本語と他言語 【インターネ
ットと言葉】
- 2006455 連載;「英語」千夜一夜 <コラム 本の学校> ブランジェリーナの喜び (尾
島恵子) 本の窓 29-3 2006-4 p.81 小学館 言語>日本語と他言語
- 2006456 ずいひつ波音 外国語, 雑感 (若合春侑) 潮 567 2006-5 pp.58-59 潮出
版社 言語>日本語と他言語
- 2006457 連載;自由時間 異国を楽しむ(17) 言葉の壁 (池内紀) 中央公論 121-5
2006-5 pp.270-273 中央公論新社 言語>日本語と他言語

- 2006458 <新教材著者エッセイ> May I help you? (堀田力) 国語教室 83 2006-5 pp.5-7 大修館書店 言語>日本語と他言語
- 2006459 連載;一月一話 使わなかった言葉 夢で出会う言葉 (鶴見俊輔) 図書 685 2006-5 p.31 岩波書店 言語>日本語と他言語
- 2006460 特集;エッセイ特集 「たしなみ」について 砂漠にあふれるお姫さま (黒田勝弘) 正論 411 2006-6 pp.34-36 産経新聞社 言語>日本語と他言語
- 2006461 特集;エッセイ特集 「たしなみ」について また一人紳士がいなくなった (マークス寿子) 正論 411 2006-6 pp.36-38 産経新聞社 言語>日本語と他言語
- 2006462 英語での「おしゃべり」 (青野聡) 群像 61-6 2006-6 pp.176-177 講談社 言語>日本語と他言語
- 2006463 <対談> 異言語体験と「文学の力」 多文化世界の魅力とは何か (青木保;リービ英雄) 中央公論 121-7 2006-7 pp.176-188 中央公論新社 言語>日本語と他言語
- 2006464 連載;韓流 出版事情(10) 「書くこと・読むこと」に関する本が書店であふれかえる理由 (韓淇皓) 論座 134 2006-7 pp.212-217 朝日新聞社 言語>日本語と他言語
- 2006465 連載;「英語」千夜一夜 <コラム 本の学校> 若者を夢中にさせる酔っ払い文学 (尾島恵子) 本の窓 29-6 2006-7 p.79 小学館 言語>日本語と他言語
- 2006466 無価値な本が支配する フランス出版事情 (シュヴァルツ,アントワーヌ@橋本一径/訳) 世界 755 2006-8 pp.260-264 岩波書店 言語>日本語と他言語
- 2006467 ジョークで見る日本人と中国人 (早坂隆) 文芸春秋 84-17 2006-12 pp.346-355 文芸春秋 言語>日本語と他言語
- 2006468 イギリスの中等教育 教科書に頼らない教育の魅力 (小笠原祐子) 学鏡 103-4 2006-12 pp.18-21 丸善 言語>日本語と他言語
- 2006469 連載;だから翻訳はおもしろい(33) 卵を抱きながら。もしくは、くせになる翻訳。(松永美穂) 図書 681 2006-1 pp.23-25 岩波書店 言語>翻訳
- 2006470 連作短歌調『イリアス』 ホメロス定型訳の試み (内田勝利) 図書 682 2006-2 pp.20-23 岩波書店 言語>翻訳
- 2006471 連載;だから翻訳はおもしろい(34) 飼い犬のしあわせ (丘沢静也) 図書 682 2006-2 pp.34-36 岩波書店 言語>翻訳
- 2006472 連載;だから翻訳はおもしろい(35) 翻訳における不公平について (中務哲郎) 図書 683 2006-3 pp.28-30 岩波書店 言語>翻訳
- 2006473 連載;だから翻訳はおもしろい(36) 翻訳の魔力 (富士川義之) 図書 684 2006-4 pp.30-32 岩波書店 言語>翻訳
- 2006474 連載;だから翻訳はおもしろい(37) 君子,危うきに近寄らず (亀山郁夫) 図書 685 2006-5 pp.28-30 岩波書店 言語>翻訳
- 2006475 特集;世界は村上春樹をどう読むか 国際シンポジウム <ワークショップ 1> 翻訳の現場から見る村上ワールドの魅力 (柴田元幸;沼野充義/案内人) 文学界 60-6 2006-6 pp.138-157 文芸春秋 言語>翻訳

- 2006476 特集;世界は村上春樹をどう読むか 国際シンポジウム <ワークショップ 2>
グローバル化のなかの村上文学と日本表象 (藤井省三;四方田犬彦/案内人) 文
学界 60-6 2006-6 pp.158-174 文芸春秋 言語>翻訳
- 2006477 連載;カーヴの隅の本棚(4) 詩人の蠟燭 (鴻巣友季子) 文学界 60-7 2006-7
pp.206-207 文芸春秋 言語>翻訳
- 2006478 連載;文化季評(11) 阿部良雄あるいは情熱と責任 (松浦寿輝) UP 35-7
2006-7 pp.57-61 東京大学出版会 言語>翻訳
- 2006479 連載;一月一話 使わなかった言葉 翻訳のすきま (鶴見俊輔) 図書 689
2006-9 p.47 岩波書店 言語>翻訳
- 2006480 タキツス『年代記』前編を訳了して (岡崎邦博) my b 12 2006-11 pp.38-41
みやび出版 言語>翻訳
- 2006481 <こぼればなし> 図書 692 2006-12 p.64 岩波書店 言語>翻訳
- 2006482 小学校に英語はいらない! (斎藤兆史) 論座 130 2006-3 pp.154-161 朝
日新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006483 <Ushio News Index> 親子で海外留学!新しい英語教育が注目の的。(小此木
律子) 潮 566 2006-4 pp.64-65 潮出版社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教
育について】
- 2006484 『学ぼう!算数』を作った理由 (西村和雄) Voice 340 2006-4 pp.142-149
PHP 研究所 言語>他言語の教育・学習
- 2006485 特集;日本はどっちだ 小学生に英語教育は必要か (中西輝政) 文芸春秋 84-7
2006-5 pp.161-164 文芸春秋 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006486 連載;「英語」千夜一夜 <コラム 本の学校> タダで英語を習う方法 (尾島
恵子) 本の窓 29-4 2006-5 p.81 小学館 言語>他言語の教育・学習
- 2006487 <Ushio News Index> 高まる賛否両論!「小学校英語必修化」あなたはどっち?
(前原政之) 潮 568 2006-6 pp.62-63 潮出版社 言語>他言語の教育・学習 【早期
英語教育について】
- 2006488 連載;コラム 10の眼 テレビ 発情するか 外国語講座 (岩切徹) 新潮 45 25-6
2006-6 pp.208-209 新潮社 言語>他言語の教育・学習 【テレビと言葉】
- 2006489 誰が責任をとるのか?「英語教育」の惨状 (樽谷賢二) 新潮 45 25-6 2006-6
pp.224-228 新潮社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006490 時評 2006 思想なき英語教育熱の危うさ (藤原智美) 中央公論 121-6 2006-6
pp.30-31 中央公論新社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006491 特集;次代に伝えたい日本語 なぜ今、英語よりも日本語なのか (大野晋) 中
央公論 121-6 2006-6 pp.56-57 中央公論新社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語
教育について】
- 2006492 誤解だらけの英語教育 (篠沢秀夫) 正論 412 2006-7 pp.252-259 産経新
聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006493 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 外国人力士の日本語 (田代忠彦) 正

- 論 412 2006-7 p.370 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006494 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 小学校はカルチャーセンターにあらず (丘哲也) 正論 412 2006-7 pp.371-372 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006495 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 個人・企業・国の将来を左右する英語力 (古田紀年) 正論 412 2006-7 p.372 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006496 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 教育の究極の目的を考えて (鈴木規章) 正論 412 2006-7 pp.372-373 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006497 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 英語教育は中学からが妥当 (峰芳子) 正論 412 2006-7 pp.373-374 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006498 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 英語にも日本語力が必要 (中本義信) 正論 412 2006-7 p.374 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006499 <言ったもん勝ち>英語教育 vs 国語教育 言葉の壁を取り除け (加藤啓) 正論 412 2006-7 p.375 産経新聞社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006500 連載;虹の彼方に 小学校から英語教育? (池沢夏樹) 現代 40-9 2006-9 p.27 講談社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006501 <三人の卓子 読者と筆者と編集者> 英語は中学校からが妥当 (峰ヨシ子) 文芸春秋 84-12 2006-9 pp.492-493 文芸春秋 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006502 特集;揺れる小学校英語教育 <ルポ> 現場はこんなに進んでいる 地方実験校の取り組み (杉山春) 中央公論 121-10 2006-10 pp.199-210 中央公論新社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006503 特集;揺れる小学校英語教育 子どもの可能性を広げる多言語学習 「害酷語教育」という思い込み (金森強) 中央公論 121-10 2006-10 pp.211-218 中央公論新社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006504 特集;揺れる小学校英語教育 今こそ挫折の歴史に学べ 日本人は明治時代から始めていた (斎藤兆史) 中央公論 121-10 2006-10 pp.219-227 中央公論新社 言語>他言語の教育・学習 【早期英語教育について】
- 2006505 特集;「教育再生」やるなら、この手しかない ザけんなヨ! 「文科省&日教組」の言いなりにやったからこうなった! 英語以外は切り捨てる「外国語教育」は× (薬師院仁志) 諸君! 38-12 2006-12 pp.148-149 文芸春秋 言語>他言語の教育・学習 【学力の低下と教育再生会議;早期英語教育について】

辞書・辞典

-
- | 文献番号 | 記事タイトル | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 | | |
|---------|---------------|--------------|------------|-----------------------|-------------|--------|---------------|---------|---------------|---------------|---------------|
| 2006506 | 特集；辞書は愛しい | <座談会> | 辞書に言いたい放題 | (別役実；中沢けい；鳥飼否宇；佳多山大地) | 本の窓 | 29-1 | 2006-1 | pp.2-15 | 小学館 | 辞書・辞典>辞書をめぐって | |
| 2006507 | 特集；辞書は愛しい | あだやおろそかには... | (三木卓) | 本の窓 | 29-1 | 2006-1 | pp.16-19 | 小学館 | 辞書・辞典>辞書をめぐって | | |
| 2006508 | <編集後記> | 本の窓 | 29-1 | 2006-1 | p.104 | 小学館 | 辞書・辞典>辞書をめぐって | | | | |
| 2006509 | 連載；書店での現象(9) | <味読・愛読 | 文学界図書室> | ユニークな語学書 | 紀伊国屋書店(新宿区) | 文学界 | 60-4 | 2006-4 | p.269 | 文芸春秋 | 辞書・辞典>辞書をめぐって |
| 2006510 | 特集；国語辞典を作る楽しさ | <対談> | 国語辞典を作る楽しさ | (梶原しげる；北原保雄) | 国語教室 | 84 | 2006-11 | pp.4-13 | 大修館書店 | 辞書・辞典>辞書をめぐって | |

書評・紹介

-
- | 文献番号 | 記事タイトル | (著者) | 誌名 | 巻号 | 発行年月 | ページ | 発行所 | 分類 | 【トピック】 | | |
|---------|------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|--------|--------|----------|--------|-------------------------|-----|-------------------------|
| 2006511 | <本のエッセンス> | 受賞作を読む | 講談社エッセイ賞 | アーサー・ビナード著『日本語ぼこりぼこり』 | (関口苑生) | 現代 | 40-1 | 2006-1 | p.357 | 講談社 | 書評・紹介>日本語一般 |
| 2006513 | <読まずにすませるベストセラー> | 藤原正彦著『国家の品格』 | 論理以前の情緒で祖国と日本人を作り直せ！ | (紅林一馬) | 新潮 | 45 | 25-2 | 2006-2 | pp.181-182 | 新潮社 | 書評・紹介>日本語一般 【藤原正彦氏の国語論】 |
| 2006514 | 世にも楽しい | 安野光雅・藤原正彦著『世にも美しい日本語入門』 | (南伸坊) | ちくま | 419 | 2006-2 | pp.10-11 | 筑摩書房 | 書評・紹介>日本語一般 【藤原正彦氏の国語論】 | | |
| 2006515 | 「かわいい」と日本文化 | 四方田犬彦著『「かわいい」論』 | (四方田犬彦) | ちくま | 419 | 2006-2 | pp.12-13 | 筑摩書房 | 書評・紹介>日本語一般 | | |
| 2006516 | 連載；ベストセラー温故知新 | 藤原正彦著『国家の品格』 | (岡崎武志) | 中央公 | | | | | | | |

論 121-4 2006-4 pp.354-355 中央公論新社 書評・紹介>日本語一般 【藤原正彦氏の国語論】

2006517 <Ushio Library 今月の新刊> 中江克己著『なるほど!日本語うんちく事典』 潮 567 2006-5 p.255 潮出版社 書評・紹介>日本語一般

2006518 <味読・愛読 文学界図書室 書評> 鈴木範久著『聖書の日本語』 日本語に根をはる聖書のことば (伊藤氏貴) 文学界 60-5 2006-5 pp.267-269 文芸春秋 書評・紹介>日本語一般

2006519 <本のエッセンス> 柳田邦男著『石に言葉を教える』 現代 40-8 2006-8 p.334 講談社 書評・紹介>日本語一般

2006520 <Book Street 企業家の一冊> 藤原正彦著『国家の品格』 (鈴木英夫) Voice 344 2006-8 pp.180-181 PHP 研究所 書評・紹介>日本語一般 【藤原正彦氏の国語論】

2006522 <読書空間 Book Review> 東照二著『歴代首相の言語力を診断する』 (高瀬淳一) 論座 137 2006-10 pp.306-307 朝日新聞社 書評・紹介>日本語一般

2006524 <えつらん室> 定延利之著『日本語不思議図鑑』 (大森京樹) 国語教室 84 2006-11 p.62 大修館書店 書評・紹介>日本語一般

2006525 <Ushio Library 今月の文庫> 北原保雄著『達人の日本語』 潮 563 2006-1 p.256 潮出版社 書評・紹介>日本語の歴史

2006526 連載;2005年読書アンケート(1) 森博達著『日本書紀の謎を解く』;加藤徹著『漢文力』;宋協毅主編『日本語文化研究』第二集 (盧濤) 中国図書 18-1 2006-1 pp.13-14 内山書店 書評・紹介>日本語の歴史

2006527 入門書こそは究極の読みもの 山村修著『<狐>が選んだ入門書 (山村修) ちくま 425 2006-8 pp.16-17 筑摩書房 書評・紹介>日本語の歴史

2006528 <私の編集した本> 時田昌瑞著『絵で楽しむ 江戸のことわざ』 (植草武士) 本の窓 29-3 2006-4 p.85 小学館 書評・紹介>日本語の歴史

2006529 <Book Street 編集者の眼> 坂田聡著『苗字と名前の歴史』 本郷 63 2006-5 p.37 吉川弘文館 書評・紹介>日本語の歴史

2006530 <新刊情報> 北原保雄著『北原保雄の日本語文法セミナー』 『国語教室』好評連載,待望の単行本化 国語教室 84 2006-11 p.61 大修館書店 書評・紹介>日本語の歴史

2006531 鈴木誠史著『声のふしぎ百科』 (粕谷英樹) 学燈 103-1 2006-3 p.53 丸善 書評・紹介>音声・音韻

2006532 <えつらん室> 田部井文雄著『「完璧」はなぜ「完ぺき」と書くのか』 (加藤和江) 国語教室 83 2006-5 p.62 大修館書店 書評・紹介>文字

2006533 <Bunshun Book Club>新書一点賭け(11) 猪塚恵美子著『人生がガラリ変わる!美しい文字を書く技術』;『新しい国語表記ハンドブック【第四版】』 (日垣隆) 文芸春秋 84-5 2006-4 pp.374-375 文芸春秋 書評・紹介>文字

2006534 <Book Street 編集者の眼> 天野清文・実松幸男・宮原一郎著『ステップアップ 古文書の読み解き方』 本郷 66 2006-11 p.37 吉川弘文館 書評・紹介>文字

- 2006535 <えつらん室> 国広哲弥著『日本語の多義動詞 理想の国語辞典2』 (野村耕一郎) 国語教室 83 2006-5 p.62 大修館書店 書評・紹介>語彙
- 2006536 「引退」から「リタイア」へ 桐野裕著『思いどおりにリタイアできる人生設計術』 (桐野裕) ちくま 418 2006-1 pp.10-11 筑摩書房 書評・紹介>語彙
- 2006537 <読書の時間> 小関智弘著『職人ことばの「技と粹」』 正論 415 2006-10 p.361 産経新聞社 書評・紹介>語彙
- 2006538 <えつらん室> 別役実著『左見右見四字熟語』 (安野祐) 国語教室 83 2006-5 p.63 大修館書店 書評・紹介>語彙
- 2006539 <アンケート>東大教師が新入生にすすめる本 服部英雄著『地名の歴史学』 (榎原雅治) UP 35-4 2006-4 pp.13-15 東京大学出版会 書評・紹介>語彙
- 2006540 <Book Street 編集者の眼> 藤井正雄著『戒名のはなし』 本郷 66 2006-11 p.37 吉川弘文館 書評・紹介>語彙
- 2006541 こんな手法があったとは! 福田里香著『スイーツ オノマトペ』 (春日一枝) ちくま 418 2006-1 pp.14-15 筑摩書房 書評・紹介>語彙
- 2006542 <私の編集した本> 飯田朝子著『数え方もひとしお』 (大江和弘) 本の窓 29-1 2006-1 p.85 小学館 書評・紹介>語彙
- 2006543 <読書の時間> 宮坂静生著『語りかける季語 ゆるやかな日本』 正論 417 2006-12 p.356 産経新聞社 書評・紹介>語彙
- 2006544 <Book Street 編集者の眼> 池田温編『日本古代史を学ぶための漢文入門』 本郷 61 2006-1 p.33 吉川弘文館 書評・紹介>文章・文体
- 2006545 <Book Review 読書きのうきょう> “なにをぼやぼやしているのだ”という気になる本 (鴻巣友季子) 論座 130 2006-3 pp.323-327 朝日新聞社 書評・紹介>文章・文体
- 2006546 <味読・愛読 文学界図書室 書評> 吉本隆明著『詩学叙説』 思想的軌跡の原点 (伊藤氏貴) 文学界 60-4 2006-4 pp.326-328 文芸春秋 書評・紹介>文章・文体
- 2006547 <新刊紹介> 若林力著『江戸川柳で愉しむ中国の故事』 (渡辺雅之) 漢文教室 192 2006-5 p.37 大修館書店 書評・紹介>文章・文体
- 2006548 詩の世界。「放り出され方」 柴田翔著『詩への道しるべ』 (小野省子) ちくま 424 2006-7 pp.12-13 筑摩書房 書評・紹介>文章・文体
- 2006549 <読まずにすませるベストセラー> 佐々木俊尚著『グーグル Google』 中小企業経営者向けのネット新時代の案内書 (紀田伊輔) 新潮 45 25-8 2006-8 pp.160-161 新潮社 書評・紹介>言葉と機械 【インターネットと言葉】
- 2006550 蒐集する目と,説得する言葉 都築響一著『夜露死苦現代詩』 (村上春樹) 波 40-9 2006-9 pp.22-23 新潮社 書評・紹介>文章・文体
- 2006551 漢詩のリズム 石川忠久著『漢詩の魅力』 (興膳宏) ちくま 427 2006-10 pp.22-23 筑摩書房 書評・紹介>文章・文体
- 2006552 <すばる文学カフェ 本> 都築響一著『夜露死苦現代詩』 花の女子大生に夜露

死苦 (前田壘) すばる 28-11 2006-11 p.456 集英社 書評・紹介>文章・文体

2006553 <えつらん室> 石川忠久著『新 漢詩の世界』 (大前田八郎) 国語教室 84
2006-11 p.63 大修館書店 書評・紹介>文章・文体

2006554 <えつらん室> 浜本純逸編『現代若者方言詩集 けっぱれ,ちゅら日本語』 (藤
本恵) 国語教室 83 2006-5 p.63 大修館書店 書評・紹介>方言

2006555 <新潮新書> 方言はあかんのン? 札埜和男『大阪弁「ほんまもん」講座』 (札
埜和男) 波 40-4 2006-4 p.68 新潮社 書評・紹介>方言

2006556 <Monthly Book Review> 梅田望夫著『ウェブ進化論』 IT革命の第二幕を伝える
「架け橋」 (吉崎達彦) 中央公論 121-5 2006-5 pp.281-282 中央公論新社 書評・
紹介>言葉と機械 【インターネットと言葉】

2006557 <読書空間 Book Review> 梅田望夫著『ウェブ進化論 本当の大変化はこれか
ら始まる』 (山本一郎) 論座 132 2006-5 p.307 朝日新聞社 書評・紹介>言葉と
機械 【インターネットと言葉】

2006558 『ウェブ進化論』のさきにあるもの 梅田望夫著『ウェブ進化論 本当の大変化は
これから始まる』 (東浩紀) ちくま 423 2006-6 pp.4-5 筑摩書房 書評・紹介>言
葉と機械 【インターネットと言葉】

2006559 <読書空間 Book Review> 佐々木俊尚著『グーグル Google 既存のビジネス
を破壊する』 (森健) 論座 134 2006-7 p.323 朝日新聞社 書評・紹介>言葉と機
械 【インターネットと言葉】

2006560 <読書空間 Book Review> 湯川鶴章著『ブログがジャーナリズムを変える』
(井上トシユキ) 論座 137 2006-10 p.318 朝日新聞社 書評・紹介>言葉と機械

2006561 <読書空間 Book Review> 森健著『グーグル・アマゾン化する社会』 (西垣
通) 論座 139 2006-12 p.316 朝日新聞社 書評・紹介>言葉と機械 【インターネッ
トと言葉】

2006562 コミュニケーションに限られた手段はない 有川浩著『レインツリーの国』 (清
成幸仁) 波 40-10 2006-10 pp.24-25 新潮社 書評・紹介>コミュニケーション

2006563 連載;「英語」千夜一夜 <コラム 本の学校> 厳しいしつけの復活 (尾島恵
子) 本の窓 29-2 2006-2 p.81 小学館 書評・紹介>コミュニケーション

2006564 連載;ベストセラー温故知新 白石昌則・東京農工大学の学生の皆さん著『生協の
白石さん』 (岡崎武志) 中央公論 121-2 2006-2 pp.340-341 中央公論新社 書評・
紹介>コミュニケーション

2006565 連載;ベストセラー温故知新 竹内一郎著『人は見た目が9割』 (岡崎武志) 中
央公論 121-3 2006-3 pp.308-309 中央公論新社 書評・紹介>コミュニケーション

2006566 <Ushio Library 今月の文庫> 斎藤茂太著『人の心を動かす「ことば」の極意』
潮 568 2006-6 p.254 潮出版社 書評・紹介>コミュニケーション

2006567 <私の編集した本> 渋谷昌三著『ビジネスパーソンのための「言い訳」の技術 22
の性格別 成功のケーススタディ』 (中川博邦) 本の窓 29-9 2006-11 p.84 小学館
書評・紹介>コミュニケーション

- 2006568 <えつらん室> 蒲谷宏・川口義一・坂本恵・清ルミ・内海美也子著『敬語表現教育の方法』(高木美嘉) 国語教室 84 2006-11 p.62 大修館書店 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006569 <すばる文学カフェ 本> 読書日録 石井裕之著『なぜ、占い師は信用されるのか?「コールドリーディング」のすべて』(香山リカ) すばる 28-1 2006-1 pp.322-323 集英社 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006570 <Ushio Library 今月の書評> 原田武夫著『超一級の交渉術』(蟹瀬誠一) 潮 573 2006-11 p.252 潮出版社 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006571 <アンケート>東大教師が新入生にすすめる本 加藤典洋著『言語表現法講義』(能智正博) UP 35-4 2006-4 pp.3-4 東京大学出版会 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006572 <私の編集した本> 尾崎左永子訳『神と歌の物語 新訳 古事記』(北村正昭) 本の窓 29-1 2006-1 p.85 小学館 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006573 特集;新赤版この10冊 机上の空論に終わらせない具体性 斎藤孝著『読書力』(河合隼雄) 図書 684 2006-4 pp.22-23 岩波書店 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006574 <Book Street ワンポイント書評> 林望著『リンボウ先生が読む漱石「夢十夜」』Voice 341 2006-5 p.185 PHP 研究所 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006575 <Ushio Library 今月の文庫> 吉本隆明著『読書の方法』 潮 569 2006-7 p.255 潮出版社 書評・紹介>コミュニケーション
- 2006576 <読書の時間> 塩原経央著『国語の底力』(渡部昇一) 正論 412 2006-7 pp.362-363 産経新聞社 書評・紹介>国語教育
- 2006577 <読書の時間> 和田秀樹著『教育格差』 正論 413 2006-8 p.344 産経新聞社 書評・紹介>国語教育
- 2006578 勤労と責任を重んじ 大村はまを読む 大村はま著『日本の教師に伝えたいこと』(上野健爾) ちくま 426 2006-9 pp.18-19 筑摩書房 書評・紹介>国語教育
- 2006579 <新刊紹介> 田部井文雄編『漢文教育の諸相 研究と教育の視座から』(大上正美) 漢文教室 192 2006-5 p.35 大修館書店 書評・紹介>国語教育
- 2006580 わかっちゃいるけど「おもしろい」 上野誠著『おもしろ古典教室』(大塚ひかり) ちくま 422 2006-5 pp.16-17 筑摩書房 書評・紹介>国語教育
- 2006581 <今月の本棚> 中村吉広著『チベット語になった「坊っちゃん」』 中国図書 18-1 2006-1 p.1 内山書店 書評・紹介>言語
- 2006582 書評 祈りと無神論 ジャック・デリダ『名を救う』(鵜飼哲) 未来 474 2006-3 pp.30-35 未来社 書評・紹介>言語
- 2006583 <私の編集した本> 中村吉広著『チベット語になった「坊ちゃん」 中国・青海省 草原に播かれた日本語の種』(神長幹雄) 本の窓 29-3 2006-4 p.85 小学館 書評・紹介>言語
- 2006584 <Bunshun Book Club>新書一点賭け(14) キム・ジョンキュー著『知的な大人の勉強法 英語を制する「ライティング」』(日垣隆) 文芸春秋 84-9 2006-7 pp.372-373

文芸春秋 書評・紹介>言語

2006585 <読まずにすませるベストセラー> 早坂隆著『世界の日本人ジョーク集』 経済
大国やハイテク国家像が見事な笑い話に (紅林一馬) 新潮 45 25-12 2006-12
pp.225-226 新潮社 書評・紹介>言語

2006586 連載;2005年読書アンケート(1) 平山久雄著『平山久雄語学論文集』 (望月
真澄) 中国図書 18-1 2006-1 pp.6-7 内山書店 書評・紹介>言語

2006587 連載;2005年読書アンケート(2) 齊藤兆史著『英語襲来と日本人 えげれず語事
始』 (渡辺晴夫) 中国図書 18-2 2006-2 pp.4-5 内山書店 書評・紹介>言語

2006588 <著者インタビュー> 日本の「長所」は何か 『日本人はなぜ日本を愛せないの
か』を語る (鈴木孝夫) 波 40-2 2006-2 pp.66-67 新潮社 書評・紹介>言語

2006589 <アンケート>東大教師が新入生にすすめる本 田中克彦著『ことばと国家』;高
島俊男著『漢字と日本人』 (西田睦) UP 35-4 2006-4 pp.19-21 東京大学出版会
書評・紹介>言語

2006590 <今月の本棚> 張世涛編著『中国語の「看板」を読もう!』 中国図書 18-4
2006-4 p.1 内山書店 書評・紹介>言語

2006591 <本のエッセンス> 茂木健一郎著『ひらめき脳』 現代 40-7 2006-7 p.302
講談社 書評・紹介>言語

2006592 言葉と心をめぐる成長物語 リンダ・スー・パーク著『木槿の咲く庭 スンヒィと
テヨルの物語』 (重松清) 波 40-7 2006-7 pp.20-21 新潮社 書評・紹介>言語

2006593 連載;ベストセラー温故知新 大迫閑歩著・伊藤洋監修『えんぴつで奥の細道』;
多湖輝著『頭の体操』 (岡崎武志) 中央公論 121-8 2006-8 pp.318-319 中央公論新
社 書評・紹介>言語

2006594 <読書空間 Book Review> マーク・エイブリー著『「消えゆくことば」の地を訪
ねて』 (渡瀬夏彦) 論座 135 2006-8 p.317 朝日新聞社 書評・紹介>言語

2006595 <すばる文学カフェ 本> 読書日録 ミズン,スティーヴン著・熊谷淳子/訳『歌
うネアンデルタール』 (石倉敏明) すばる 28-9 2006-9 pp.452-453 集英社 書評・
紹介>言語

2006596 速読は,効果的な脳の活用法 斎藤孝著『斎藤孝の速読塾 これで頭がグングンよ
くなる!』 (池谷裕二) ちくま 428 2006-11 pp.12-13 筑摩書房 書評・紹介>言
語

2006597 鈴木良次編『言語科学の百科事典』 (辻幸夫) 学鐙 103-4 2006-12 p.53
丸善 書評・紹介>言語

2006598 <私の書評> 『八十四歳。英語,イギリス,ひとり旅』を読む 英会話を学ぶと
いうこと (尾島恵子) 本の窓 29-4 2006-5 pp.84-85 小学館 書評・紹介>言語

2006599 <Book Plaza 本の広場> 鳥飼玖美子著『危うし!小学校英語』 諸君! 38-8
2006-8 pp.256-257 文芸春秋 書評・紹介>言語 【早期英語教育について】

2006600 <新刊紹介> 高橋忠彦・高橋久子共著『日本の古辞書 序文・跋文を読む』 (紀
田順一郎) 漢文教室 192 2006-5 p.36 大修館書店 書評・紹介>辞書・辞典

- 2006601 <読書空間 Book Review> 安田敏朗著『辞書の政治学 ことばの規範とはなにか』(紀田順一郎) 論座 132 2006-5 pp.298-299 朝日新聞社 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006602 <対談> 人名辞典の世界 (竹内誠;山田邦明) 本郷 61 2006-1 pp.2-11 吉川弘文館 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006603 <えつらん室> 塚本慶一編・高田裕子・張弘編著『中国語新語ビジネス用語辞典』(松原いずみ) 国語教室 84 2006-11 p.63 大修館書店 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006604 <読書の時間> 榛谷泰明編『ほめことばの事典』 正論 405 2006-1 p.361 産経新聞社 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006605 上笙一郎編『日本童謡事典』(工藤直子) 学燈 103-1 2006-3 pp.36-39 丸善 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006606 (財)日本色彩研究所編『色の百科事典』(小町谷朝生) 学燈 103-1 2006-3 p.52 丸善 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006607 特集;辞典新刊を語る・2006 春 三つの民俗学辞典 (福田アジオ) 本郷 62 2006-3 pp.5-7 吉川弘文館 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006608 音の百科事典編集委員会編『音の百科事典』(小沼純一) 学燈 103-2 2006-6 p.54 丸善 書評・紹介>辞書・辞典
- 2006609 字解とは何か (志村和久) 汲古 49 2006-6 pp.58-59 汲古書院 書評・紹介>辞書・辞典

新聞記事一覧

英語教育をめぐる状況

教育の見直しと「言葉の力」への注目

出版・読書状況

日本語教育をめぐる状況

マスメディア

敬語

世相を表す言葉

英語教育をめぐる状況

文献番号 記事タイトル 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類
(検索キーを列挙)】

200601140 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 小学英語 一辺倒な世界観をただせ
(笹田巖) 朝日 朝刊 2006-1-14 p.12 【外国語習得】

200601290 総合 スキャナー ICプレーヤー50万台 故障絶対しない? センター試験
初の英語リスニング 予備校側「トラブル心配」 センター「準備は万全」 読売 朝
刊 2006-1-15 p.3 【外国語習得 話す・聞く 情報化社会】

200601670 2006 チャンネルYou 知りたい! 故障は大丈夫? センター試験
初の英語リスニング ICプレーヤーで実施 毎日 夕刊 2006-1-18 p.1 【外国語習得
話す・聞く】

200601990 ライバルは騒音 大学、対策あの手この手 初のリスニング試験 続く実学志向
経済・教育に人気 朝日 夕刊 2006-1-21 p.14 【話す・聞く 情報化社会 外国語習得】

200602080 社会 センター試験リスニング不具合 耳に「ザー」 受験生動揺 「音漏れ・
騒音あった」 公平性確保へ見直し必要 朝日 朝刊 2006-1-22 p.39 【話す・聞く 情
報化社会 外国語習得】

200602110 とうきょう 千代田区の中高一貫校 区外応募が10倍超す 独自の英語教育
など評価か 〔九段中等教育学校〕 毎日 朝刊 2006-1-22 p.29 【外国語習得】

200602120 センター試験 リスニング機器不良続出 受験生「ショック」 毎日 朝刊
2006-1-22 p.31 【外国語習得 情報化社会 話す・聞く】

200602130 リスニング425人再テスト センター試験 機器の故障など 読売 朝刊
2006-1-22 p.1 【外国語習得 情報化社会】

200602180 総合 社説 センター試験 新機軸はいいけれど 〔英語のリスニングテスト〕
朝日 朝刊 2006-1-23 p.3 【外国語習得 話す・聞く 情報化社会】

200602220 第2社会 リスニング 不具合「1100人に1人」 予備校の模試より高率
〔大学入試センター試験〕 朝日 朝刊 2006-1-23 p.38 【外国語習得 情報化社会 話
す・聞く】

200602260 リスニング不具合461人 センター側「想定内」 「機器不良ゼロ」一転 9
人が28日再試験 毎日 朝刊 2006-1-23 p.31 【外国語習得 情報化社会 話す・聞く】

200602280 社会 機器不調の5人「放置」 センター試験リスニング 訴え通らず 別問題
で再試へ 人的ミス明らか 読売 朝刊 2006-1-23 p.38 【話す・聞く 情報化社会 外
国語習得】

200602490 オピニオン 声 リスニングの試験まだ尚早 〔センター試験〕 朝日 朝刊
2006-1-26 p.14 【外国語習得 話す・聞く 情報化社会】

200602610 公立小で英語授業 自治体判断で正式科目に 2008年度から 読売 夕刊
2006-1-26 p.1 【教育政策 外国語習得】

200602670 投書 気流 英語リスニング入試にも必要? 読売 朝刊 2006-1-27 p.12
【外国語習得話す・聞く】

200602800 KODOMO 知る ニュースウィークリー 大学入試センター試験 英語リス
ニングで混乱 読売 夕刊 2006-1-28 p.16 【外国語習得 話す・聞く 情報化社会】

200602980 解説 論点 リスニング導入 英語教師質向上の契機に〔大学入試センター試
験〕(井上貞明) 読売 朝刊 2006-1-30 p.9 【外国語習得 話す・聞く】

200603010 教育 教育ルネサンス 月曜版 センター試験リスニング 「易しかった」が大
勢 でも... 「問題、途中で急に長く」「隣の音漏れ、気になる」 読売 朝刊 2006-1-30
p.29 【外国語習得 話す・聞く】

200603540 オピニオン 声 リスニングは公平な方法で〔大学入試センター試験の英語〕
朝日 朝刊 2006-2-6 p.10 【話す・聞く 外国語習得 情報化社会】

200604500 政治 公立小学校で英語授業 「教育の弾力化」全国展開 特区推進本部決定
読売 朝刊 2006-2-16 p.4 【外国語習得】

200605630 小学英語 イエスカノーカ 教研集会で効果を論議 読売 夕刊 2006-2-27
p.22 【外国語習得】

200606420 オピニオン 大学 全入時代、薄れる理念 転換期のセンター試験 「序列化か
ら到達度判断へ難度そろえデータ活用を」 天野郁夫・国立大学財務・経営センター研究部
長〔センター試験でリスニングテストを行うことに疑問〕 朝日 朝刊 2006-3-6 p.8
【外国語習得 話す・聞く】

200606780 とれんど 小学生の英語に賛否 読売 夕刊 2006-3-8 p.2 【外国語習得
国語教育】

200606920暮らしWORLD からだ百科 早期教育は有効か 対話しながら長所を探し
て 学習に締め切り? 「英語耳」つくるには 脳の潜在力 毎日 夕刊 2006-3-9 p.4
【幼児教育 言語学 外国語習得】

200606980 とうきょうワイド 中高一貫校 外国語やキャリア教育特色に 08年度開校
2校 検討委が報告書 立川、武蔵野地区で計280人 毎日 朝刊 2006-3-10 p.26
【外国語習得】

200607720 社会 全国の公立小学校 93%で英語教育 文科省調査 1年生から75%
/6割超で外国人ら指導助手 読売 朝刊 2006-3-17 p.37 【外国語習得 教育政策】

200608110 公立小、93%が「英語活動」 文科省調査 朝日 夕刊 2006-3-20 p.3 【外
国語習得】

200608720 あなたに問いたいことがある 日本のスイッチ 第172回 結果発表 公
立小の93%が英語教育をしているとの調査結果 いいことだ62% 必要性に疑問38%
毎日 朝刊 2006-3-27 p.30 【外国語習得】

200608780 総合 「小学生も英語必修」 中教審部会 5年から週1時間 導入に異論の委
員も 朝日 朝刊 2006-3-28 p.3 【教育政策 外国語習得】

200608810 小学校で英語必修 中教審提言 2年後にも 高学年で週1回 毎日 朝刊
2006-3-28 p.1 【教育政策 外国語習得】

200608890 社会 英語 小5から必修化へ 親、財界は歓迎 専門家「まずは国語」 読売
朝刊 2006-3-28 p.38 【教育政策 外国語習得 国語教育】

200608970 総合 社説 小学校の英語 必修化して「国語力」は大丈夫か 読売 朝刊
2006-3-29 p.3 【教育政策 国語教育 外国語習得】

200610210 とうきょうワイド 石原知事 「新しい発想を培うのは国語力」 英語必修化を
再批判 毎日 朝刊 2006-4-8 p.22 【外国語習得 国語教育】

200610230 投書 気流 小学校の英語必修化 本場の発音聴き正しい英語学べ 読売 朝
刊 2006-4-8 p.12 【外国語習得 音声・音韻】

200610240 投書 気流 小学校の英語必修化 質低い中学授業まず改善すべき 読売 朝
刊 2006-4-8 p.12 【外国語習得】

200610250 投書 気流 小学校の英語必修化 まず日本語学び「読み書き」磨け 読売 朝
刊 2006-4-8 p.12 【外国語習得 国語教育】

200610280 地域 都民版 「英語より国語の教育」 知事 小学校からの必修批判 読売
朝刊 2006-4-8 p.35 【外国語習得 国語教育】

200611050 2006 チャンネルYou 知りたい 小学校の英語必修化 先生募る不安
発音に自信ない 親からプレッシャー 質と量の差是正を狙い 中教審 毎日 夕刊
2006-4-15 p.1 【外国語習得 教育政策】

200611060 週刊KODOMO新聞 ニュースウイークリー 小5から英語を必修に? 「国
際人へ」早く親しむ 保護者は高い関心 韓国などでは定着 学者に反対の声 時間確保な
ど問題 読売 夕刊 2006-4-15 p.5 【外国語習得 教育政策 海外言語事情】

200611400 いきいき生活 石田衣良の白黒つけます!! 小学生に英語教育は必要? 不
必要? ゼロサムじゃないよ (石田衣良) 毎日 朝刊 2006-4-18 p.15 【外国語習得 国
語教育】

200611480 経済 ゲーセン留学 コナミとNOVA、ゲーム開発 難易度いろいろ 遊びな
がら英語力 朝日 朝刊 2006-4-19 p.11 【外国語習得】

200612000 時代の風 国際会議の公用語 アジアでも現実的課題 [英語の位置付け 小学
校での英語教育についても] (青木保) 毎日 朝刊 2006-4-23 p.2 【外国語 海外
言語事情 外国語習得】

200612070 オピニオン きょうの論点 小学校から英語を必修? 国際教養大学長 中嶋
嶺雄(なかじまみねお)さん 地球市民の発信力育成を 立教大教授(英語教育、通訳翻訳
論) 鳥飼玖美子(とりかいくみこ)さん 日本語で考える教育こそ 朝日 朝刊 2006-4-24
p.9 【外国語習得 国語教育】

200612870 投書 気流 4月の投書 英語や「公立塾」 教育の質に関心 読売 朝刊
2006-5-1 p.8 【外国語習得 国語教育】

200612880 投書 気流 小学校英語より中高を見直して 読売 朝刊 2006-5-1 p.8
【外国語習得】

- 200612920 解説 論陣論客 小学校の英語必修化 国家戦略と位置づけて 中学以降の支援充実を (中嶋嶺雄;大津由紀雄) 読売 朝刊 2006-5-2 p.13 【外国語習得 国語教育 海外言語事情】
- 200613480 オピニオン 声 英語と国語の教育の連携を 朝日 朝刊 2006-5-9 p.12 【外国語習得 国語教育】
- 200613670 英語教育実態は? 同じ? 違う? 世界と日本 英 外国語オンチ 政府は苦慮 米 安全保障のため促進 外国語教育 中 3億人が学習 仏 大学・高校の9割学ぶ 露 語学力も「カネ次第」 イラン アラビア語不人気? 日本 公立小94%英語教育 必修化提言も 毎日 朝刊 2006-5-11 p.8 【海外言語事情 外国語習得 言語政策 教育政策】
- 200613880 [b e - b] Readers be between テーマ:小学生の英語 3500人が答えました 英語は小学校から必修にすべきだと思いますか? 必修化に反対が多数派 朝日 朝刊 2006-5-13 p.7 【外国語習得 国語教育 教育政策】
- 200614020 闘論 小学校の英語必修化 国際教養大学長 中嶋嶺雄氏 英語教育は国家戦略 グローバル化遅れる お茶の水女子大教授 藤原正彦氏 優先順位はずっと下 「英語で国際人」うそ 毎日 朝刊 2006-5-15 p.3 【外国語習得 国語教育 言語政策】
- 200614300 諮問会議が新戦略 フリーター2割減/TOEIC700点倍増 毎日 朝刊 2006-5-19 p.2 【外国語習得】
- 200615250 「教育」本社世論調査 学力低下根強い危機感 英語必修化 小学生の親高い関心 賛成67% 反対の80%日本語が先 読売 朝刊 2006-5-28 p.21 【教育政策 国語教育 外国語習得】
- 200615540 生活 生活 趣味で上達 英会話 「ホピングリッシュ」講座が人気 「楽しめないと続かない」 台本なしでもてなし英語 教育番組 「ジスイズベン」より「アクすくう」 料理家栗原さん [NHK教育「3か月トピック英会話」] 朝日 朝刊 2006-6-1 p.24 【放送 外国語習得】
- 200616350 総合 発見「英語脳スイッチ」 京大など報告 バイリンガルの大脳奥でON 朝日 朝刊 2006-6-9 p.3 【言語学 外国語習得】
- 200616500 教育 Re: 「小学校英語の必修化に疑問」 日本語力への影響めぐり賛否 朝日 朝刊 2006-6-11 p.33 【教育政策 外国語習得 国語教育】
- 200617660 オピニオン みんなの広場 児童の英語は国語にも良い影響 毎日 朝刊 2006-6-25 p.5 【国語教育 外国語習得】
- 200617920 暮らし 教育 暮らし 学び 小学校の英語活動支援5地域決まる 文科省 読売 朝刊 2006-6-28 p.16 【外国語習得】
- 200618280 教育 Re: 「小学校英語の必修化に疑問」に反響 「最低週2回」「教員に不安」 [6月11日付記事に対して] 朝日 朝刊 2006-7-2 p.32 【教育政策 外国語習得】
- 200618790 文化 本よみうり堂 文庫新書 『危うし! 小学校英語』 鳥飼玖美子著 文春新書 読売 朝刊 2006-7-9 p.15 【外国語習得 教育政策】

200618940 オピニオンワイド みんなの広場 失敗必至 児童への英語教育 毎日 朝刊
2006-7-12 p.4 【外国語習得 教育政策】

200618970 暮らし 教育 暮らし 学び 国立大「使える英語」 TOEIC、TOEFL
で単位認定 読売 朝刊 2006-7-12 p.19 【外国語習得】

200619720 暮らし 教育 暮らし 学び 教育ルネサンス No.370 小中一貫9 英
語力強化へ教材工夫 読売 朝刊 2006-7-21 p.12 【外国語習得】

200620410 オピニオンワイド みんなの広場 児童英語導入の考え自体お粗末 毎日 朝
刊 2006-7-27 p.7 【外国語習得 教育政策】

200621180 経済 ケータイで英語学習 NTT子会社とTBSがサイト [「キャットチャ
ットABC」] 読売 朝刊 2006-8-5 p.8 【電話 外国語習得 情報化社会】

200621320 新教育の森 英語力UP 先生から 小学校必修化 沖縄・名護市 「08年想
定いち早く」「英検レベル一つ上げよう」 パソコンで集中学習 毎日 朝刊 2006-8-7
p.23 【外国語習得 情報化社会 教育政策】

200622910 総合 小学校英語、充実へ予算 来年度38億円 文科省が要求 教材費や人材
増員 朝日 朝刊 2006-8-29 p.2 【外国語習得 教育政策】

200623090 小学英語 積極派54%、消極派40% 文科省調査 朝日 夕刊 2006-8-30
p.14 【外国語習得 教育政策】

200625670 第2社会 「小学校英語必修は不要」 伊吹文科相 [最低限の日本語の能力が
身につけていない現状] 朝日 朝刊 2006-9-28 p.38 【言語政策 外国語習得 国語教
育】

200625680 小学校英語「必修化は不要」 伊吹文科相 [日本語など最低限の素養や学力を
つけさせるのが先決] 毎日 朝刊 2006-9-28 p.2 【言語政策 外国語習得 国語教育】

200625700 政治 小学校の英語必修 文科相が慎重姿勢 「国語しっかりと」 読売 朝刊
2006-9-28 p.4 【言語政策 国語教育 外国語習得】

200625830 小学校の英語必修化 お菓子にたとえ 文科相が再否定 [国語などの基礎教科
の重要性訴える] 朝日 夕刊 2006-9-29 p.22 【教育政策 外国語習得 国語教育】

200625960 週刊KODOMO新聞 ジュニアプレス どうしてる? 短期留学 高校生年
3万5000人豪や米へ 読売 夕刊 2006-9-30 p.14 【異文化コミュニケーション 外
国語習得 海外言語事情】

200625970 オピニオン 声 英語必修よりもまず日本語力 朝日 朝刊 2006-10-1 p.8
【外国語習得 国語教育 教育政策】

200626520 暮らし 教育 暮らし 学び 考 小学校の英語必修化 何のため学ぶ?もう
一度原点に 読売 朝刊 2006-10-7 p.14 【外国語習得 国語教育 教育政策】

200626850 オピニオン 声 今の英語教育まず見直して [小学校の英語教育義務化より
も] 朝日 朝刊 2006-10-12 p.14 【外国語習得 教育政策】

200630410 教育 小学校英語 教員の大半「態勢不十分」 民間調査 教材・指導力 特に
課題 [ベネッセコーポレーション調査] 朝日 朝刊 2006-11-19 p.31 【教育政策 外
国語習得】

200630560 新教育の森 特区で小中一貫英語教育 熊本県富合町 楽しくゆったり 少人数、ゲーム交え学力も向上 毎日 朝刊 2006-11-20 p.21 【教育政策 外国語習得】
200632000 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 小学英語 九九のように基礎体得を (フォスター敬子) 朝日 朝刊 2006-12-2 p.14 【教育政策 外国語習得】
200632970 横浜市立大・国際総合科学部 2年生半数、留年の危機 英語充実への必修化 TOEFL 500点に届かず 朝日 夕刊 2006-12-8 p.14 【外国語習得】
200634710 スピーキングなど回答はパソコンで TOEIC、来年から 毎日 朝刊 2006-12-25 p.22 【外国語習得 情報化社会 話す・聞く 書く・読む】

教育の見直しと「言葉の力」への注目

文献番号 記事タイトル [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類 (検索キーを列挙)】

200603810 次期学習指導要領 「言葉の力」を柱に 「ゆとり」転換 思考力を育成 全面改訂へ文科省原案 [古典の音読・暗記や要約力の促進(国語)など 国語力の育成と関連づけた論理的思考力や表現力の重要性を強調] 朝日 朝刊 2006-2-9 p.1 【教育政策 国語教育】

200603840 第2社会 論理力強化どう道筋 次期学習指導要領 [基本的な考え方に「言葉の力」据える] 朝日 朝刊 2006-2-9 p.38 【教育政策 国語教育】

200603850 「国数理」小中で授業増 学力低下食い止め 中教審部会報告案 [国語はすべての教科の基本 古典や名作に触れ、日本の言語文化に親しむ 表現力を身につける] 読売 朝刊 2006-2-9 p.1 【教育政策 国語教育】

200604200 中教審部会 授業時数増加を検討 審議経過報告 「国語力や理数充実を」[小学校での英語教育も充実する必要がある] 毎日 夕刊 2006-2-13 p.3 【国語教育 外国語習得 教育政策】

200604220 総合 指導要領「06年度中にも改訂」 文科次官 [すべての教科の基本に言葉の力を据えるよう提言] 朝日 朝刊 2006-2-14 p.3 【教育政策 国語教育】

200604300 [ぴーぷる] PRのページ 特集 「社会人基礎力」に定義 経産省 若者育成の観点から 求める「人材像」も明確化 [コミュニケーション能力など] 読売 朝刊 2006-2-14 p.1 【コミュニケーション 国語教育】

200610270 暮らし 教育 暮らし 学び 小1「軟着陸」作戦 スター作り、紙芝居授業も [子どもにコミュニケーション力や適応力が育っていないことから起こる小1ギャップ問題] 読売 朝刊 2006-4-8 p.17 【話す・聞く 国語教育】

200613120 暮らし 教育 暮らし 学び 漢検で国語力アップ 中学校の団体受検増加

文章への苦手意識薄れる 読売 朝刊 2006-5-4 p.16 【国語教育 漢字】
200613950 総合 社会人 12の基礎力 課題発見力主体性など 政府が評価基準〔発信力、傾聴力〕 読売 朝刊 2006-5-14 p.2 【コミュニケーション 話す・聞く】
200615320 [Y&Yしごと] 人間関係を重視の傾向 今年度の新入社員〔日本能率協会実施の「会社や社会に対する意識調査」 今後伸ばしたい能力にコミュニケーション能力、語学力〕 読売 朝刊 2006-5-29 p.3 【コミュニケーション 外国語習得】
200616380 地域 都学力テスト 中学理数で正答率上昇 小学生は国語、理科が微増 読売 朝刊 2006-6-9 p.34 【国語教育 外国語習得】
200617310 オピニオンワイド 記者の目 「基礎学力充実」を掲げる大学 「最高学府」の意義どこへ 「ひらがな」学生も人材〔日本語を学び直す大学生〕 毎日 朝刊 2006-6-21 p.6 【国語教育 漢字】
200617380 第2社会 九九暗記・接続詞使い分け 小学校で 都、最低限の学力明示へ〔ローマ字で自分の名前が書けない高校生も〕 朝日 朝刊 2006-6-22 p.38 【国語教育 漢字 ローマ字】
200619210 第3社会 論理的な思考「苦手」 小4～中3 国・数の課題調査 「文章書く訓練を」教育研 朝日 朝刊 2006-7-15 p.29 【国語教育 文章 書く・読む】
200619240 小中学生学力テスト 学習意欲高める工夫を 学年応じ正答率上昇 同時実施のアンケート 漢字練習、年々嫌いに 毎日 朝刊 2006-7-15 p.29 【国語教育 漢字】
200619280 解説 解説スペシャル 3万7000人学力調査に見る課題 文章書く力なお弱点 国語 記憶中心、応用きかず 算数数学 日本の子供の学力低下 国際調査に危機感 文科省 「考える力」問う流れ定着 読売 朝刊 2006-7-15 p.15 【国語教育 漢字 書く・読む 文章】
200619300 社会 小・中学生学力調査 「現場の実感と同じ」 授業時間不足 教師悲鳴も 読売 朝刊 2006-7-15 p.38 【国語教育 漢字 書く・読む 文章 語彙・用語】
200620620 総合 次期指導要領 国語、学習の基本に 「論理的思考」を重視〔文部科学省次期学習指導要領〕 朝日 朝刊 2006-7-29 p.3 【国語教育 教育政策】
200620720 教育 漢字「必要」でも「嫌い」？ 国立教育研 児童・生徒調査 高学年ほど顕著な傾向〔文章を書くことについても〕 朝日 朝刊 2006-7-30 p.22 【漢字 国語教育 書く・読む】
200623280 社会 小中学生 計算「文章題」は苦手〔総合初等教育研究所「「計算の力」の習得に関する調査」〕 読売 朝刊 2006-9-2 p.38 【文章 国語教育 書く・読む】
200624240 第2社会 つかめぬ暴力の原因 公立小学生 衝動的に刺す・殴る 小学校にもカウンセラー〔会話をしたり、言語化されない相手の気持ちを察したりする力弱い今の子ども〕 朝日 朝刊 2006-9-14 p.34 【話す・聞く コミュニケーション 国語教育】
200624270 暮らし 教育 暮らし 学び 入学前に復習 大学「中高レベル」指導に力〔リメディアル(再履修)教育 論文が書けない学生が多いため、日本語表現を最重点に挙げる大学も多い〕 読売 朝刊 2006-9-14 p.16 【国語教育】
200626020 教育 あんてな ホットする会話 学校で外で〔子どものコミュニケーション

能力の衰え 指導要領では国語を中心に「話す」「聞く」が大きな柱に) 朝日 朝刊
2006-10-1 p.29 【差別用語 コミュニケーション 国語教育 話す・聞く】
200626830 「いのちのメール」16日から 若者の電話離れに対応 朝日 夕刊
2006-10-11 p.3 【情報化社会 電話 書く・読む】
200626960 政治 教育再生会議座長 野依良治氏 「対話力育てたい」 読売 朝刊
2006-10-14 p.4 【国語教育 コミュニケーション 話す・聞く】
200627550 週刊KODOMO新聞 青春リサーチ 上手な勉強法わからない科目は 「解
法」ない国語が1位 [中学生対象読売新聞社調査 英語に男女差] 読売 夕刊
2006-10-21 p.8 【国語教育 外国語習得】
200629150 中学毛筆「必修逃れ」 大阪・枚方 14校「通常の国語確保」 読売 夕刊
2006-11-4 p.18 【国語教育 書く・読む】
200629870 死なないで いじめ 救いの手どこに ネットで悪口、中傷 「軽い感覚」匿名
で大量に 学校、教委対応後手 毎日 夕刊 2006-11-14 p.8 【情報化社会 差別用語
言葉遣い】
200629950 無視や悪口など精神的いじめ 「被害も加害も経験」4割 高校生6400人調
査 [京都大大学院木原雅子助教授と全国高等学校PTA連合会調査 携帯電話やインター
ネットの利用でいじめが陰湿化] 読売 朝刊 2006-11-15 p.1 【コミュニケーション
電話 情報化社会】
200630530 オピニオン 時流自論 いじめという集団の自傷行為 [携帯電話所持は年齢に
より線引きをすべき] (藤原新也) 朝日 朝刊 2006-11-20 p.9 【電話 情報化社会
差別用語】
200630590 投書 気流 書写で必修逃れ 良さを見直して 読売 朝刊 2006-11-20
p.11 【国語教育 書く・読む】
200630920 第2東京 いのち 自殺予防メール手応え 開始1カ月 東京いのちの電話
新たな試み 若者からの相談4割 「最初と最後の1行難しい」 4年目の相談員 書く行
為に抑止効果 田村毅・東京学芸大助教授 朝日 朝刊 2006-11-23 p.34 【電話情報化
社会 書く・読む】
200630940 投書 気流 書写を学ぶには時間が足りない [11月20日付投書「書写で必
修逃れ良さを見直して」に対して] 読売 朝刊 2006-11-23 p.10 【国語教育 書く・
読む】
200631220 第2社会 「Ijime(イジメ)」ドイツ注目 連日報道 自国の暴力問題と
絡め 朝日 朝刊 2006-11-25 p.38 【海外言語事情 日本語】
200632450 第2社会 対話ゲームでいじめ防げ さいたま市の全小中学校 「嫌と言えるよ
うに」 朝日 朝刊 2006-12-4 p.38 【話す・聞く】
200633100 授業時間30年ぶり増加? 教育再生集中審議 歓迎派「詳しく教えられる」
不安派「子の帰宅遅くなる」 教師複雑 [国語の授業時間数 音読のための時間ほしい]
読売 夕刊 2006-12-9 p.14 【教育政策 国語教育 書く・読む】
200633250 解説 緩話急題 いじめ緊急アピール 心に届かない言葉 読売 朝刊

2006-12-12 p.15 【文章 言葉遣い】

200633410 地域 都民版 いじめ根絶へ小中学生提言 港区でふれあいトーク 見ぬふりしない 汚い言葉使わない 読売 朝刊 2006-12-13 p.35 【話す・聞く 差別用語 言葉遣い 国語教育】

200633740 教育 「ゆとり」原因学力不足深刻 大学の2割で補習 「せめて必修は学んで」必修漏れ多い肯定意見 大阪の大学生68人アンケート「機会奪われた」の声も〔語彙力不足で論文が読めない、英検3級が取れないなど〕朝日 朝刊 2006-12-17 p.18 【教育政策 国語教育 外国語習得】

教育の見直しと「言葉の力」への注目(連載「教育ルネサンス」)

文献番号 記事タイトル〔備考〕(著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ【分類(検索キーを列挙)】

200603790 社会 教育ルネサンス No.255 深める伝え合う力2 対人関係スキルで円満 読売 朝刊 2006-2-8 p.37 【コミュニケーション 話す・聞く 国語教育】

200603880 社会 教育ルネサンス No.256 深める伝え合う力3 企画運営自分の言葉で〔関西文化学術研究都市「大川センター」で「子どもたちが企画運営する子どもたちのためのワークショップ(参加型体験学習)」〕読売 朝刊 2006-2-9 p.37 【国語教育 話す・聞く】

200604000 社会 教育ルネサンス No.257 深める伝え合う力4 接し方の「物差し」学ぶ 低下する「表現する力」 読売 朝刊 2006-2-10 p.37 【コミュニケーション 国語教育】

200604110 社会 教育ルネサンス No.258 深める伝え合う力5 吉本流「ツッコミ笑学校」〔笑いを取り入れた授業やクラブ活動〕読売 朝刊 2006-2-11 p.37 【コミュニケーション 話す・聞く】

200604280 社会 教育ルネサンス No.259 深める伝え合う力6 「話す・聞く」指導手探り〔大津市瀬田北中学校〕読売 朝刊 2006-2-14 p.37 【話す・聞く 国語教育】

200604430 社会 教育ルネサンス No.260 深める伝え合う力7 表現力磨く「ことば科」 広島県の「ことばの教育」〔広島県立広島中学校、竹原市立忠海中学校〕読売 朝刊 2006-2-15 p.37 【話す・聞く 国語教育】

200604510 社会 教育ルネサンス No.261 深める伝え合う力8 「群読」でつく基礎体力〔島根県太田市立朝波小学校 群馬大学元教授高橋俊三さん〕読売 朝刊 2006-2-16 p.37 【音声・音韻 国語教育 話す・聞く】

- 200604580 社会 教育ルネサンス No. 262 深める伝え合う力9 全校で「表現力」
 系統立て 「話すこと・聞くこと」を学ぶ時間〔金沢市立米泉小学校〕 読売 朝刊
 2006-2-17 p.37 【話す・聞く 国語教育】
- 200604650 社会 教育ルネサンス No. 263 深める伝え合う力10 「日本語力」特
 区を活用〔宇都宮市立清原北小学校 東京都世田谷区〕 読売 朝刊 2006-2-18 p.37
 【話す・聞く 国語教育 外国語習得】
- 200605050 社会 教育ルネサンス No. 264 深める伝え合う力11 聞き書きで学ぶ
 会話術〔秋田県仙北市立角館中学校〕 読売 朝刊 2006-2-21 p.37 【話す・聞く 国
 語教育】
- 200605400 社会 教育ルネサンス No. 267 深める伝え合う力14 ギブ&テーク気
 持ち培養 樋口裕一さんに聞く〔書くことを介してコミュニケーション力をはぐくむ小論
 文教育〕 読売 朝刊 2006-2-24 p.37 【書く・読む 国語教育 話す・聞く】
- 200605490 社会 教育ルネサンス No. 268 深める伝え合う力15 読者の声 大人
 も巻き込んで訓練 米国で学んだ方法の実践も〔コーチングなど〕 読売 朝刊
 2006-2-25 p.37 【話す・聞く】
- 200629550 暮らし 教育 暮らし 学び 教育ルネサンス No. 448 「命」を学ぶ8
 心遣い言葉遣いから 読売 朝刊 2006-11-9 p.19 【国語教育 言葉遣い】
- 200629970 暮らし 教育 教育ルネサンス No. 452 「命」を学ぶ12 ネット相談
 心の闇に光〔「いのちの電話」 若者の電話離れからネット相談導入〕 読売 朝刊
 2006-11-15 p.21 【情報化社会 電話】
- 200630230 暮らし 教育 教育ルネサンス No. 454 「命」を学ぶ14 読者の声
 「あったか言葉」探したい〔子供の話に耳を傾けるのは親の務め 子供たちの最近の言葉
 遣いのひどさ〕 読売 朝刊 2006-11-17 p.19 【話す・聞く 国語教育 言葉遣い 差
 別用語】

教育の見直しと「言葉の力」への注目(連載「対人力を磨く」)

 文献番号 記事標題〔備考〕(著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ【分類
 (検索キーを列挙)】

- 200609840 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く3 「あいさつを」「質問恐れず」 生活
 態度冊子に学ぶ〔名古屋大学 読書量も減る傾向〕 読売 朝刊 2006-4-6 p.15 【あ
 いさつ 話す・聞く 読書 国語教育】
- 200610050 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く4 新入生キャンプで議論 意見まとめ
 るコツつかむ〔立教大学〕 読売 朝刊 2006-4-7 p.15 【コミュニケーション 話す・
 聞く】

- 200610260 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く5 初対面に強くなる研修 社会人と会話 面接の練習 読売 朝刊 2006-4-8 p.15 【話す・聞く】
- 200610510 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く6 社内コミュニケーション重視 味わい深い「同じ釜の飯」 読売 朝刊 2006-4-11 p.19 【コミュニケーション 話す・聞く】
- 200610650 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く7 あいさつは「即戦力」 マナー教育に再び注目 読売 朝刊 2006-4-12 p.17 【非言語行動 コミュニケーション あいさつ 言葉遣い】
- 200610780 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く8 部下の話に耳を傾ける ×訊く ×聞く 聴く 読売 朝刊 2006-4-13 p.21 【話す・聞く】
- 200611040 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く10 会話しやすい「自由席」 メールだけに頼らない〔企業や大学で〕 読売 朝刊 2006-4-15 p.15 【情報化社会 話す・聞く】
- 200612460 暮らし 暮らし 家庭 対人力を磨く 読者の反響 信頼とは積み上げるもの 無理せず一歩ずつ 読売 朝刊 2006-4-28 p.15 【コミュニケーション 話す・聞く】

出版・読書状況

文献番号 記事標題 〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類 (検索キーを列挙)】

200600690 文化総合 文化 鑑賞してますか4 崇高さより自分さがし 総クリエイター時代 イベントに参加 居場所を確認〔自費出版 ネット検索が追い風〕 朝日 朝刊 2006-1-10 p.21 【出版 情報化社会】

200600760 テレビ情報BOX 鈴木美潮のdonnaどんな 新聞読んで記憶力改善〔『脳を鍛える新聞の読みかた』 中央公論新社〕 (鈴木美潮) 読売 夕刊 2006-1-10 p.12 【新聞】

200600920 文化総合 文化 パソコンで作家気分 原稿用紙、明朝体などソフト化〔ワープロソフト「一太郎文芸」〕 朝日 朝刊 2006-1-12 p.31 【情報化社会 文字 出版】

200602350 PR 読書と出版 『「朝の読書」はもうひとつの学校』 朝の読書推進協議会編、メディアパル 読売 夕刊 2006-1-24 p.19 【読書 国語教育】

200603610 教育 教育ルネサンス 月曜版 書道特区 静岡・伊東市 小1から指導 パソコン時代こそ字を書こう 「情緒安定」「礼儀身につく」期待 読売 朝刊 2006-2-6 p.33 【教育政策 国語教育 書く・読む】

200604090 国会図書館、独立法人化 自民・国会事務局改革案 憲政記念館も 毎日 朝刊 2006-2-11 p.2 【図書館】

200604900 文化 文化 単眼複眼 ケータイ小説が「青春文学大賞」受賞 高校生、「いじ

り」題材に 『りはめより100倍恐ろしい』 木堂椎 角川書店〔ケータイで執筆したことで独特の抑揚〕 朝日 夕刊 2006-2-20 p.4 【言語芸術 電話 情報化社会 文章 書く・読む】

200605060 社会 小学生限定の小説賞〔小学館が「12歳の文学賞」を創設〕 読売 朝刊 2006-2-21 p.37 【出版 言語芸術】

200605610 全面広告 読書文化の新潮流 つくる1 版元、電子書籍に積極進出 読者に根強い「紙でなければ」 新刊7万8000点、2兆円市場 つくる2 ネットと出版、融合の時代 ベストセラー、いまの空気映す タイトルに強烈なインパクト うる1 読者の手元へ「早く確実に」 出版界の発展支えた取次業 効率化阻む「多品種少量生産」 うる2 「偶然の出会い」楽しめる本屋 書店員、店頭POPに工夫 読み聞かせ・共同仕入れも（清田義昭） 朝日 夕刊 2006-2-27 p.8 【情報化社会 出版 命名 書く・読む】

200605770 文化 高2、ケータイで書いた小説 木堂椎さん『りはめより100倍恐ろしい』〔第1回野生時代青春文学大賞を受賞 文章は削るより継ぎ足していく〕 読売 夕刊 2006-2-28 p.4 【電話 言語芸術 情報化社会 文章 書く・読む】

200607040 「ケータイ小説」大ブームに ネット発ベストセラー続々 新しい文体、作家生まれるかも 毎日 夕刊 2006-3-10 p.9 【電話 出版 文体 書く・読む 情報化社会】

200608030 闘論 国会図書館改革 参議院議員 坂本由紀子氏 人員スリム化は可能 第三者評価が必要 駿河台大副学長 成田憲彦氏 議員の調査力に打撃 「政治主導」に逆行 朝日 朝刊 2006-3-20 p.3 【図書館】

200609850 暮らし 暮らし 家庭 彩事記 えんぴつ 世代を超え愛される感触 読売 朝刊 2006-4-6 p.15 【書く・読む】

200610120 とれんど 国会図書館の改革 読売 夕刊 2006-4-7 p.2 【図書館】

200610910 ブログ登録者半年で83%増 868万人、総務省調べ 毎日 朝刊 2006-4-14 p.8 【情報化社会】

200611330 文化 「本すべて収集」は命綱 国会図書館の独立行政法人化（藤本由香里） 朝日 夕刊 2006-4-17 p.10 【図書館】

200611720 暮らし 教育 暮らし 学び 「図書整備費なお増額を」 学校図書館協議会など要望書 読売 朝刊 2006-4-20 p.17 【図書館 読書 国語教育】

200612500 文化芸能 パソコン活字に手書き文字 「気分」や「味わい」求める 朝日 夕刊 2006-4-28 p.7 【情報化社会 文字 書く・読む】

200613550 地域 新宿に「こども図書館」 23区初の区営、蔵書6万冊 読売 朝刊 2006-5-9 p.30 【読書国語教育 図書館】

200613870 総合 「読み聞かせ」に細かい注文 絵本の著作権めぐり作家・出版団体 現場は「萎縮が心配」 朝日 朝刊 2006-5-13 p.3 【読書 書く・読む 出版 幼児教育】

200614190 朗読CD、カセットの対象拡大 人気作家作品やエッセーも 高齢化社会に対応 毎日 夕刊 2006-5-17 p.5 【出版 書く・読む 読書 話す・聞く 言語障害】

200614650 文化 潮流 日本型ブログ文化 ルーツは平安朝？〔日記などの個人的な内容が中心〕（和田雄志） 読売 朝刊 2006-5-22 p.17 【書く・読む 情報化社会】

- 200614980 特集ワールド 川島隆太・東北大教授に脳を聞く 「創造」すれば活性化 朝食抜くとガス欠〔読み書き計算、コミュニケーションは重要〕 毎日 夕刊 2006-5-25 p.4 【書く・読む コミュニケーション】
- 200615840 読書 読書 売れてる本 『えんぴつで奥の細道』 大迫閑歩書 伊藤洋監修 ポプラ社〔薄く印刷された書き文字を鉛筆でなぞる〕(小柳学) 朝日 朝刊 2006-6-4 p.16 【読書 言語芸術 書く・読む】
- 200615890 千代田区立全4図書館 「指定管理者制度」へ移行 専門業者に運営一任 より柔軟なサービス目指す 新庁舎移転に合わせ導入へ 毎日 朝刊 2006-6-4 p.28 【図書館】
- 200616160 窓 論説委員室から 変わる図書館〔インターネットで検索と予約〕 朝日 夕刊 2006-6-6 p.2 【図書館 情報化社会】
- 200616230 オピニオンワイド 記者の目 民営化が進む図書館 利用者軽視の公費削減 地域との議論尽くせ 毎日 朝刊 2006-6-7 p.6 【図書館】
- 200616310 総合 顔 55万部のベストセラーになった『えんぴつで奥の細道』の編集者 浅井四葉(あさいしろう)さん 名文なぞり俳聖の旅追体験 読売 朝刊 2006-6-8 p.2 【読書 言語芸術 書く・読む】
- 200616330 文字・活字文化振興法推進協議会を発足 全国出版協会 毎日 夕刊 2006-6-8 p.6 【言語政策 出版】
- 200616710 暮らし 教育 暮らし 学び 読書離れ対策 10代の気持ちで 図書館大作戦 中学生と感想やり取り 高校生が「お薦めリスト」 読売 朝刊 2006-6-13 p.18 【読書 図書館 国語教育】
- 200617210 暮らし 暮らし 家庭 図書館 広がる月曜開館 開館日数・時間も拡大傾向 読売 朝刊 2006-6-19 p.15 【図書館】
- 200617220 小中学校の蔵書足りない!? 文科省2004年度末調査 基準達成は3割台 読売 夕刊 2006-6-19 p.2 【図書館 国語教育 教育政策】
- 200617320 BOOK WATCHING 新刊 暮らし・教育 『脳の力こぶ』 科学と文学による新『学問のすゝめ』 川島隆太/藤原智美著 集英社〔危ない英語教育 読み書き計算、読書の重要性〕 毎日 朝刊 2006-6-21 p.11 【外国語習得 国語教育】
- 200617830 経済 情報ディスク クイズで鍛える日本語〔日本語トレーニング機「日本語鍛えよう」 金田一秀穂監修 タカラトミー〕 読売 朝刊 2006-6-27 p.13 【日本語】
- 200618860 社会 ケータイ文化1 メール感覚で「10分小説」 5か月で150万アクセス 毎回ヤマ場あり 読売 朝刊 2006-7-11 p.37 【電話 情報化社会 出版 言語芸術】
- 200619860 第2社会 活字離れストップ? 図書館で借りた本 小学生最多18.7冊〔文部科学省調査〕 朝日 朝刊 2006-7-22 p.38 【読書 図書館 国語教育】
- 200619890 小学生は本が大好き 04年度の貸出冊数過去最高〔文部科学省の社会教育調査中間報告〕 毎日 朝刊 2006-7-22 p.26 【読書 図書館 国語教育】
- 200619910 社会 小学生 活字離れに歯止め? 図書館貸し出し過去最高 年18.7冊

2004年度〔文部科学省の社会教育調査中間報告〕 読売 朝刊 2006-7-22 p.37 【読書 図書館 国語教育】

200620130 暮らし 暮らし 家庭 ブログ製本 サービス次々 形になる喜び 読売 朝刊 2006-7-24 p.13 【情報化社会 出版】

200620750 電子書籍が急成長 凸版印刷から分社の「ビットウェイ」 通信速度の向上が転機に 4万件を提供 毎日 朝刊 2006-7-30 p.25 【出版 情報化社会 電話】

200621750 夏の読書特集 読む+ で脳を鍛える 書写 赤瀬川氏 手本通りが受ける 井上氏 癒しの波が来た 辛酸氏 すぐ入っていける懐かしさ 井上氏 ひょっとして世界の先端? 〔『えんぴつで奥の細道』ポプラ社 書・大迫閑歩、監修・伊藤洋〕 (赤瀬川原平; 辛酸なめ子; 井上章一) 朝日 朝刊 2006-8-13 p.10 【読書 書く・読む 出版】

200621890 本よみうり堂 トレンド館 『これも日本語! あれもニホン語?』 米川明彦著 NHK出版 読売 夕刊 2006-8-16 p.5 【日本語】

200621910 なぞり書き本 えんぴつで行く奥の細道 なぜか若者に人気 読売 夕刊 2006-8-16 p.14 【書く・読む 言語芸術 出版】

200622100 総合 時時刻刻 「学習療法」300施設に 「脳トレ」川島教授が考案 認知症改善に効果? スタッフ目を見て会話、機能改善の傾向 効果疑問視する声 満足・達成感に意味 朝日 朝刊 2006-8-20 p.2 【書く・読む 話す・聞く】

200622590 地域 立川に「雑誌図書館」 都方針 124万冊、09年度までに 〔「マガジンバンク」(仮称)〕 読売 朝刊 2006-8-25 p.30 【図書館 出版】

200622630 朗読ブームの背景を探る 団塊に人気 若者はPCで ボランティア主導 ビジネスでも注目 本にふれる機会にも 毎日 夕刊 2006-8-25 p.6 【書く・読む 情報化社会】

200622850 メディア事情 癒やしの「する本」 〔『えんぴつで奥の細道』ポプラ社 ブログ、自費出版 自分の主体性を出版物に反映させたいことの表現のひとつ〕 (清田義昭) 毎日 朝刊 2006-8-28 p.27 【出版 書く・読む 情報化社会】

200622860 文化 小説はブログに...隔世の感 大衆文壇2作家のひ孫連載開始 〔平山瑞穂さん「シュガーな俺」 菊池勇生さん「タナトスと危険なダンスを」〕 読売 朝刊 2006-8-28 p.12 【情報化社会 言語芸術】

200623820 [be-b] Digital てくの生活入門 あの字どう書く?と思ったら 三カ条 一、生活の中で言葉を意識する習慣身につける 二、タイピングでたたき込めば、一石二鳥? 三、正しい用法・用例の学習にもパソコン活用 〔タカラトミー「日本語鍛えよう」 ジャストシステム「たたいて気づく「問題な日本語」」「日本語ドリル」〕 朝日 朝刊 2006-9-9 p.6 【日本語 情報化社会 漢字】

200625850 読みたい 本の現場 『えんぴつで奥の細道』監修伊藤洋 ポプラ社 大迫閑歩さん えんぴつで「書く本」ブーム作り90万部 書家がこだわった「あたたかい字」 毎日 夕刊 2006-9-29 p.3 【書く・読む】

200626330 とうきょう 全国おはなし隊 児童書500冊乗せ読み聞かせ あすから都内巡回 毎日 朝刊 2006-10-4 p.23 【幼児教育 読書 図書館 国語教育 書く・読む】

200626410 携帯向け電子書籍の市場が前年の3.8倍に〔インターネット生活研究所まとめ〕 毎日 夕刊 2006-10-5 p.8 【電話 情報化社会 出版】

200626820 文化 論壇 論の現場1 ブログ大きな影響力 成果を本に、信頼性確保 無責任な議論 読売 朝刊 2006-10-11 p.21 【情報化社会 出版】

200627530 総合 「活字文化推進機構」設立へ 来年10月にも 経済、労働、新聞など協力 読売 朝刊 2006-10-21 p.2 【言語政策 読書 国語教育】

200628160 学校読書調査 「読む楽しみ知る」が最多 小学生月に読書9.7冊 毎日 朝刊 2006-10-27 p.3 【読書 国語教育】

200628210 総合 社説 活字文化の日 読書の楽しさを伝えていきたい 読売 朝刊 2006-10-27 p.3 【読書 国語教育 図書館】

200628510 20代の「本離れ」進む 「1か月読まず」7ポイント増48% 本社世論調査 読売 朝刊 2006-10-30 p.1 【読書】

200628880 とうきょうワイド 記者Maiコラム 進化する図書館 総合的な情報発信の場へ 毎日 朝刊 2006-11-2 p.22 【図書館】

200629370 文化 ライトノベル進化論(上 マンガ的な内容 10代狙い続々参入 読売 朝刊 2006-11-7 p.23 【出版】

200629860 文化 単眼複眼 「書けない」常用漢字 文化審議会国語分科会 見直し議論も〔ブログ言語のはんらんで漢字や日本語表現の誤用が増幅〕 朝日 夕刊 2006-11-14 p.7 【漢字 書く・読む 情報化社会 言語政策】

200630750 文化 ライトノベル進化論(下 「良質な青春小説」のような...? 読売 朝刊 2006-11-21 p.23 【出版 外来語】

200630800 広告のページ 広告 PR 読書と出版 『脳を鍛える大人の書写ドリル』 川島隆太著 くもん出版 読売 夕刊 2006-11-21 p.14 【書く・読む】

200631480 総合 活字離れに危機感 読書の楽しさ訴え 「言葉の力」シンポ〔「言葉の力と日本の未来」(文字・活字文化推進機構設立準備会主催)〕 読売 朝刊 2006-11-26 p.2 【読書】

200632230 企画特集 読書推進シンポジウム ストップ!活字離れ 「言葉の力と日本の未来」シンポ 大人になるにつれ減る読書量 進む言語能力の低下 美しい日本語守ろう 「文字・活字文化推進機構」来秋創設へ (林真理子;高木剛;肥田美代子;村山隆雄;斉藤博明;北村正任;児玉清) 毎日 朝刊 2006-12-3 p.8 【読書 国語教育 言語政策】

200632480 シンポジウム「言葉の力と日本の未来」 美しい日本語大切に 日本の将来に危機感 英語よりまず国語力 読書で人生切り開く 広めたいNIE活動 生き方考える契機に 学校図書館の整備を (児玉清;林真理子;斉藤博明;北村正任;高木剛;村山隆雄) 読売 朝刊 2006-12-4 p.13 【読書 国語教育 外国語習得】

200632490 シンポジウム「言葉の力と日本の未来」 言葉の貧しさ いじめの一因 肥田美代子さん 出版文化産業振興財団理事長〔読書体験の不足〕 読売 朝刊 2006-12-4 p.13 【言葉遣い 読書 国語教育】

200632810 経済 携帯で「日本語力」全国一斉判定 初回は70万人参加〔2007年1

月にジャストシステム実施) 朝日 朝刊 2006-12-7 p.11 【電話 日本語 情報化社会】
 200632840 これが売れた 06 鉛筆と関連商品 大人の塗り絵ブームで復権 子どもの減少で生産量落ち込む 毎日 朝刊 2006-12-7 p.13 【書く・読む】
 200633820 [Y&Y日曜版] 旬 THEヒットチャート ニンテンドーDSソフト 常識、漢字「脳力」試そう [アイイーインスティテュート 「200万人の漢検 とことん漢字脳」] 読売 朝刊 2006-12-17 p.4 【漢字 情報化社会】
 200633940 文化 潮流 回顧出版2006 ネット進化「紙」転換点 雑誌苦戦、電子化に活路 評判増幅され本は堅調 本文検索の衝撃 広がる無料事典 電子コミック活況 人気集中しやすい 読売 朝刊 2006-12-18 p.17 【出版 情報化社会】
 200634190 広告のページ 広告 うちどく 「朝の読書」の次は「家読(うちどく)」 家ではボクたちが先生さ。 読売 朝刊 2006-12-20 p.8 【読書 国語教育】
 200634310 EVENING INFO PR ニンテンドーDSソフト「クイズ!日本語王」発売 読売 夕刊 2006-12-20 p.6 【情報化社会 日本語】
 200634610 読書 読書 年末特集 2006ベストセラーこの1年 トップは『国家の品格』 2006出版界この1年 雑誌は依然不振、書店経営苦境に 朝日 朝刊 2006-12-24 p.11 【出版】

日本語教育をめぐる状況

 文献番号 記事標題 [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類 (検索キーを列举)】

200600310 オピニオンワイド 記者の目 少年少女の夢の扉を閉ざすな 外国人の義務教育化急務 法律で国民理解獲得を 毎日 朝刊 2006-1-6 p.7 【異文化コミュニケーション 教育政策 日本語教育】

200602950 新教育の森 日系南米人の教育問題 国の対策これから 課程の研究、不就学の実態調査 公教育なじめず中退多数 民間が学習支援 独自に取り組む自治体も 母国語と日本語 通訳サポーター 毎日 朝刊 2006-1-30 p.14 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200604270 国際 仏、移民「選別」へ 政策見直し 有能人材受け入れ優遇 [仏語習得を求める] 読売 朝刊 2006-2-14 p.6 【海外言語事情 外国語習得】

200606550 「難民冷遇国」返上へ 初の定住支援施設 来月に都内に [日本語・母国語教育など] 毎日 夕刊 2006-3-6 p.10 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200608140 第2東京 ガイジンから隣人へ1 日本語教室ボランティア頼み 孤立化防ぐ「居場所」にも 朝日 朝刊 2006-3-21 p.34 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200608220 東京 東京 ガイジンから隣人へ2 壁厚い高校受験 習得へ日本語漬けの日々 朝日 朝刊 2006-3-22 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200608280 「外国人労働者」対応に遅れ 独の先進事例を紹介 都内シンポ〔外務省・国際移住機関共催「外国人問題にどう対処すべきか」〕読売朝刊 2006-3-22 p.23【異文化コミュニケーション 海外言語事情 日本語教育外国語習得】

200608960 とうきょうワイド 支える 東京ボランティア奮闘記 日本語教室、相談、交流が柱 対等な関係、大きな課題 外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク 毎日朝刊 2006-3-29 p.26【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200610720 日本での生活改善検討へ 在住外国人 言葉 雇用 社会保障...管理も強化 安倍官房長官主導 来月にも連絡会議 毎日朝刊 2006-4-13 p.2【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200611410 国際 米の日本語授業存続の危機 中国・スペイン語 削れぬ一方〔公立小中高校〕読売朝刊 2006-4-18 p.9【海外言語事情 外国語習得 日本語教育】

200612380 第3社会 日本語指導必要な子 最多の2万人超〔文部科学省調査〕朝日朝刊 2006-4-27 p.37【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200613260 オピニオン 発言席 外国人受け入れ体制整備を（北脇保之）毎日朝刊 2006-5-7 p.5【異文化コミュニケーション 日本語教育 外国語】

200613890 国際 06点描中国東北5 鶏西 日本語教育 街のブランド 夢見る若者集まる炭鉱都市 徹底した実力主義で評判に 読売朝刊 2006-5-13 p.6【海外言語事情 日本語教育】

200615430 総合 日本語力たりないと在留日系人資格再考も 法務省が試案 朝日朝刊 2006-5-31 p.2【日本語教育 言語政策 異文化コミュニケーション】

200615480 政治 外国人労働者解禁試案 法務省PT 日本語検定など義務化 読売朝刊 2006-5-31 p.4【日本語教育言語政策 異文化コミュニケーション】

200615710 暮らし 教育 暮らし 学び 日本語指導必要な児童・生徒2万人 読売朝刊 2006-6-2 p.18【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200616670 オピニオン 声 外国語情報も緊急時に必要 朝日朝刊 2006-6-13 p.12【外国語 放送 異文化コミュニケーション】

200618750 教育 Re: 「外国人児童の指導 自治体でばらつき」 社会的問題と考えるかどうか 朝日朝刊 2006-7-9 p.33【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200619020 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(上 少年院国際科で 読み書き幼稚園レベル 学校行かず非行に走り 日本語づけ24時間 褒められ自信 社会での心得も学ぶ 毎日朝刊 2006-7-13 p.13【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200619110 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(中 県立高校で 卒業2~3割...別室で「取り出し授業」 学力・日本語能力大きい個人差 個別指導の制度化痛感 毎日朝刊 2006-7-14 p.13【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200619230 いきいき生活 ニッポンの壁 来日少年は今(下 新宿・親子日本語教室で 孤立する女性たちの居場所に 友得て暮らしに張り 支えはボランティア どう向き合う多文化共生 毎日朝刊 2006-7-15 p.14【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200619540 総合 外国人労働者受け入れ拡大 自民特別委が方針〔一定の日本語能力や技

能を持つ「優秀な人材」の受け入れ、外国人子弟への日本語教育の実施などを求める〕 読売 朝刊 2006-7-19 p.2 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200620970 総合 在日ブラジル人の子教育支援 「言葉の壁」 不登校急増 群馬、静岡などの企業中心に基金 読売 朝刊 2006-8-2 p.2 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200622470 外国人労働者 健保加入実態を調査 政府方針 企業の指導強化〔外国人労働者の日本語習得体制も充実させる方針〕 毎日 朝刊 2006-8-24 p.1 【日本語教育 異文化コミュニケーション 言語政策】

200623480 国際 「すべての移民は英語を」 豪首相、イスラム批判 読売 朝刊 2006-9-5 p.7 【海外言語事情 外国語習得 異文化コミュニケーション】

200623930 看護師など受け入れへ 人数枠盛られず 比と経済協定 自動車は日本譲歩 労働市場 一層の開放要求へ フィリピン 語学研修など不満 毎日 朝刊 2006-9-10 p.7 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200624560 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 朝日新聞アジアネットワーク 日本語熱 海外普及に戦略的対応を〔中国東北延辺朝鮮族自治州で日本語学習離れ〕（李鋼哲） 朝日 朝刊 2006-9-16 p.12 【日本語教育 海外言語事情 言語政策】

200624850 国際 豪 移民に「市民権テスト」 政権が方針 英語力、民主主義理解問う 読売 朝刊 2006-9-19 p.9 【海外言語事情 外国語習得 言語政策 異文化コミュニケーション】

200624910 不法移民7000世帯に許可証 フランス〔仏語習得の意欲なども判断基準に〕 朝日 朝刊 2006-9-20 p.6 【海外言語事情 言語問題 言語政策 異文化コミュニケーション】

200625250 総合 外国人研修の廃止検討 法務省チーム 「労働者確保に悪用」〔一定の日本語能力があることなどを条件とする新制度を創設する案〕 朝日 朝刊 2006-9-23 p.3 【異文化コミュニケーション 言語政策 日本語教育】

200627380 中国大学生に日本語ブーム 対日観、なお複雑 毎日 朝刊 2006-10-19 p.8 【海外言語事情 日本語教育】

200629560 地域 都民版 外国人、子供向け 「手書き」絵本 ただしいひらがな 東京学芸大生 2年かけ力作〔『ひらがないろは』日本地域社会研究所〕 読売 朝刊 2006-11-9 p.35 【日本語教育 国語教育 仮名 書く・読む】

200630000 求む、日本語話せる人材... ビジネス拡大で需要増 中国・大連 朝日 夕刊 2006-11-15 p.2 【日本語 海外言語事情 日本語教育】

200630030 オピニオン 私の視点 教育改革 外国人受け入れ態勢整備を〔外国人の子どもに対する日本語教育〕 朝日 朝刊 2006-11-16 p.14 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200632530 受験の4割中国で 48カ国で日本語能力試験 53万人中21万人！ 人材需要高まり 毎日 夕刊 2006-12-4 p.6 【日本語教育 海外言語事情】

200633110 東京 東京 西日暮里で教室 NPOに「地球市民賞」 外国籍の子受験後押し

初年度は全員合格〔多文化共生センター東京〕朝日朝刊 2006-12-10 p.37 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

日本語教育をめぐる状況(連載「教育ルネサンス」)

文献番号 記事タイトル〔備考〕(著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ【分類
(検索キーを列挙)】

200608210 社会 教育ルネサンス No.284 築く多文化共生1 外国人子弟に市立教室 28.6万人...ブラジル人の外国人登録者〔岐阜県可児市「ばら教室KAN I(可児)」〕 読売朝刊 2006-3-21 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200608400 社会 教育ルネサンス No.285 築く多文化共生2 理解助ける2か国語授業 2万人...日本語指導が必要な子供 読売朝刊 2006-3-23 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション外国語】

200608490 社会 教育ルネサンス No.286 築く多文化共生3 外国人学校 広がる支援 117校...各種学校として認可された外国人学校〔静岡県浜松市南米系外国人学校「ムンド・デ・アレグリア」〕 読売朝刊 2006-3-24 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション 外国語】

200608570 社会 教育ルネサンス No.287 築く多文化共生4 大学院生ら「助っ人」起用 3万9511組...年間の国際結婚数〔早稲田大学日本語教育研究科〕 読売朝刊 2006-3-25 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200608880 社会 教育ルネサンス No.288 築く多文化共生5 入試の日本語高い壁 8131人...公立高校に在籍する外国人生徒数〔「多文化共生センター・東京21」の「たぶんかフリースクール」〕 読売朝刊 2006-3-28 p.37 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

200609090 社会 教育ルネサンス No.290 築く多文化共生7 外国人同士で問題共有 12万8500人...国内で日本語を学ぶ外国人〔中・高の外国人生徒〕 読売朝刊 2006-3-30 p.37 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200609180 社会 教育ルネサンス No.291 築く多文化共生8 プイ・チ・トルンさんに聞く「橋渡し役」の養成必要〔愛知県豊田市国際交流協会事務局長 外国人の子供に対する日本語教育〕 読売朝刊 2006-3-31 p.37 【異文化コミュニケーション 日本語教育】

200622580 暮らし 教育 暮らし 学び 教育ルネサンス No.395 夏の学校14 外国人の子日本語特訓 2万人、日本語の指導必要〔NPO「全国日本語教師会」〕 読売朝刊 2006-8-25 p.15 【日本語教育 異文化コミュニケーション】

マスメディア

文献番号 記事タイトル [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類
(検索キーを列挙)】

200604010 「NHKで外国人向け放送を」 首相が検討指示、縮小論に影響? 朝日 夕刊
2006-2-10 p.3 【放送 外国語 異文化コミュニケーション】

200604830 全国で同一価格 新聞の特殊指定「存続」84% 本社世論調査 「宅配制維持」
91% [p.2に調査結果あり 役立っているメディアについても] 読売 朝刊
2006-2-20 p.1 【新聞 放送 出版 情報化社会】

200604870 解説 ワイド時典 新聞の特殊指定 社会的使命を重視 公共性配慮 異なる
定価割引を禁止 指定見直し 戸別配達網崩壊の危機 価格競争 「知る権利」損なう恐れ
「読者が待っている」雪壁越え新聞配達 記録的豪雪 新潟・津南町 災害時には避難所にも
読売 朝刊 2006-2-20 p.15 【新聞】

200604910 総合 新聞販売 宅配制「維持」91% 本社世論調査 「値段同じに」75%
朝日 朝刊 2006-2-21 p.2 【新聞】

200605240 総合 韓国ネット紙、日本進出 「市民記者」浸透するか [インターネット新聞
「オーマイニュース」] 朝日 朝刊 2006-2-23 p.3 【海外言語事情 情報化社会】

200605310 社会 韓流ネット新聞上陸 「オーマイニュース」日本版 市民記者の告発が売
り 読売 朝刊 2006-2-23 p.37 【情報化社会 海外言語事情 新聞】

200605510 2006 チャンネルYou 知りたい! 韓国政権「生みの親」ネット新聞日
本へ 根付くか市民記者 身近な記事売り物 「主観的」と批判も 毎日 夕刊 2006-2-25
p.1 【海外言語事情 情報化社会 新聞】

200605920 特集 新聞の「特殊指定」見直し問題 言論文化守る基盤 新聞宅配が揺れる
「特殊指定」 新聞の定価を維持 公平な情報伝達のため再販制度を補完 86% 「宅配制
度存続を」 数学者・お茶の水女子大教授藤原正彦さん 活字復興に水差すな 毎日 朝刊
2006-3-2 p.10 【新聞】

200606110 総合 新聞販売 特殊指定見直し反対 自民懇話会 公取委に申し入れ 朝日
朝刊 2006-3-4 p.2 【新聞】

200606190 新聞特殊指定「国民望んでいる」「見直し反対」相次ぐ 自民懇話会 毎日 朝
刊 2006-3-4 p.1 【新聞】

200606270 「新聞宅配、民主主義の基礎」 特殊指定見直し 自民、異論続出 読売 朝刊
2006-3-4 p.37 【新聞】

200607540 新聞協会 「特殊指定」堅持を 特別決議 全会一致で採択 毎日 朝刊
2006-3-16 p.1 【新聞】

200607600 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「読者が待つ」責任の重さ (山本一力)

読売 朝刊 2006-3-16 p.15 【新聞 読書】
200607610 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「安売り競争」でどうなる (上田隆穂)
読売 朝刊 2006-3-16 p.15 【新聞】
200607620 解説 談論 新聞の特殊指定見直し論 「知る権利」脅かす可能性 (鈴木秀美)
読売 朝刊 2006-3-16 p.15 【新聞 情報化社会 海外言語事情】
200607640 社会 「特殊指定と再販 車の両輪」 特別決議 新聞協会会長ら会見 新聞特殊指定の堅持を求める特別決議(全文) 読売 朝刊 2006-3-16 p.37 【新聞】
200608060 新聞の「全国同一価格」 特殊指定なぜ必要か 明日もお宅に届けたい 新聞は実質的公共財 皆が読める環境守って 堀田力さんに聞く 各戸配達に世論の支持 本社調査 雪の坂道一步一步 Q & A 再販制だけでは不十分 朝日 朝刊 2006-3-20 p.33 【新聞】
200608150 第3社会 メディア 韓国ネット新聞上陸へ 「市民記者」根付くか 韓国 チップOK / 主観的と批判も 日本 関係者「刺激になる」 オーマイニユース呉連鎬代表に聞く 両国共同取材、実現したい 朝日 朝刊 2006-3-21 p.37 【海外言語事情 情報化社会 新聞】
200608260 総合 NHK国際放送強化論点 外務省 「海外交流審」きょう発足 読売 朝刊 2006-3-22 p.2 【放送 外国語 異文化コミュニケーション】
200608980 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(上 生活支える情報源 避難所に届く励ましの記事 読売 朝刊 2006-3-29 p.15 【新聞】
200609080 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(中 活字文化と教育 読解力養う好教材 身近にあってこそ 読売 朝刊 2006-3-30 p.13 【新聞 国語教育 書く・読む】
200609170 解説 新聞の宅配を守ろう 特殊指定問題(下 「見直し」広がる反対 公取委の独断 与野党が疑義 読売 朝刊 2006-3-31 p.13 【新聞】
200609550 新聞特殊指定 「維持するべきだ」73% 本社世論調査 宅配支持も80% 毎日 朝刊 2006-4-4 p.1 【新聞】
200609960 新聞特殊指定 「維持」へ議員立法 毎日 朝刊 2006-4-7 p.2 【新聞】
200610020 新聞シンポ 宅配制の大切さ訴え 鹿島茂さん「購読二極化」を憂慮 毎日 朝刊 2006-4-7 p.27 【新聞】
200610040 総合 新聞の特殊指定撤廃 活字文化振興に影響 新聞協会シンポ 公取委への批判相次ぐ 自民 丹羽・古賀派も撤廃反対 読売 朝刊 2006-4-7 p.2 【新聞】
200610380 新聞の「特殊指定」見直し問題 宅配崩壊に危惧 公取委方針相次ぐ批判 「同一価格は社会基盤」 竹島・公取委委員長 「マインドコントロールの議論」 「特殊指定は矛盾」50年の行政否定 毎日 朝刊 2006-4-9 p.28 【新聞】
200610540 日本新聞協会 公開シンポジウム 活字文化があぶない!メディアの役割と責任 育て考える力 言葉の力信じ 「電車で読書」今は昔 多様な論調守る宅配 ネット、短絡思考招く 人権口実に報道規制 新聞通じた教育期待 (藤田博司;鹿島茂;鈴木秀美;山川洋一郎;山本哲朗) 朝日 朝刊 2006-4-12 p.16 【新聞 情報化社会 書く・読む 読書 国語教育】

- 200610580 シンポ「活字文化が危ない！」 多メディアの時代 新聞、大きな役割 乱暴な規制緩和論 鈴木氏 公取委に説明責任 山川氏 表現力低下を危惧 山本氏 情報格差で混乱も 鹿島氏 特殊指定の維持訴え 新聞協会 (藤田博司;鹿島茂;鈴木秀美;山川洋一郎;山本哲朗) 毎日 朝刊 2006-4-12 p.10 【新聞 書く・読む 国語教育 情報化社会 読書】
- 200610640 日本新聞協会 公開シンポジウム 「活字文化があぶない! メディアの役割と責任」 知る権利に「黄信号」 宅配制度の崩壊防げ 仏は情報二極化進む 鹿島 特殊指定に配慮必要 鈴木 保護が必要な規制も 藤田 多様な論調守るべき 山川 子供に「活字環境」を 山本 (藤田博司;山川洋一郎;鈴木秀美;鹿島茂;山本哲朗) 読売 朝刊 2006-4-12 p.14 【新聞 情報化社会 書く・読む 読書 国語教育】
- 200610890 活字議連 「特殊指定堅持」を決議 新聞の配達網崩壊を懸念 毎日 朝刊 2006-4-14 p.3 【新聞】
- 200610920 総合 「新聞特殊指定 堅持を」 超党派議連が決議採択 [p.37に決議の全文あり] 読売 朝刊 2006-4-14 p.2 【新聞】
- 200611680 インタビュー 新聞「特殊指定」を考える 司会者 みのもんださん 「情報発信減ってもいいの？」 毎日 朝刊 2006-4-20 p.27 【新聞】
- 200612180 インタビュー 新聞「特殊指定」を考える 公正取引委員会委員長 竹島一彦さん 「宅配」「知る権利」ピンとずれてる 独禁法に反する値引き規制 毎日 朝刊 2006-4-25 p.24 【新聞】
- 200614000 新聞特殊指定維持か廃止か 全政党が廃止反対表明 公取「個別配達に影響なし」「知る権利損なう」議員立法へ 日本新聞協会の考え 全国同一価格多様な言論守る 竹島一彦公取委員長インタビュー 価格競争行われていない 朝日 朝刊 2006-5-15 p.31 【新聞】
- 200615600 新聞特殊指定存続へ 公取委、与党に見解伝達 [p.37に要旨あり] 読売 朝刊 2006-6-1 p.1 【新聞】
- 200615770 第2社会 新聞特殊指定 廃止見合わせを発表 公取委 見直し再開は未定 教科書は廃止決定 「適切な判断」新聞協会談話 「実害」指摘後押しなく 朝日 朝刊 2006-6-3 p.38 【新聞】
- 200615780 新聞特殊指定 廃止見送り正式発表 公取委 今後の見直しは未定 「国民の意見 適切に判断」 北村正任・新聞協会会長 毎日 朝刊 2006-6-3 p.2 【新聞】
- 200615800 解説 解説スペシャル 新聞特殊指定廃止見送り 論点を検証 法的根拠 新聞 公正な競争確保に必要 公取委 50年にわたる告示「誤り」 戸別配達への影響 議論は平行線 伊従寛(いよりひろし)弁護士(元公取委委員) 一方的な見直し問題 鈴木秀美・大阪大大学院高等司法研究科教授(憲法、メディア法) 新聞も必要な改革を 読売 朝刊 2006-6-3 p.14 【新聞】
- 200622920 第2社会 オーマイニュース日本版サイト始動 [「市民記者」の書いた記事を掲載するのが特徴] 朝日 朝刊 2006-8-29 p.34 【海外言語事情 情報化社会】
- 200624620 日本版オーマイニュース 市民参加型...差別化がカギ 毎日 朝刊 2006-9-16

p.16 【情報化社会】

200630160 国際 衛星テレビ局アルジャジーラ 世界向け英語放送 目標は「文明の懸け橋」 欧米メディアへの挑戦 朝日 朝刊 2006-11-17 p.8 【海外言語事情 放送 外国語】

200632940 国際 仏版CNN誕生 放送90か国 本家やBBCに対抗 読売 朝刊 2006-12-8 p.7 【海外言語事情 放送 外国語】

200633540 解説 論点 海外への情報発信 英語のTV放送効果的 (笹川陽平) 読売 朝刊 2006-12-14 p.15 【放送 外国語】

200634880 国際 英語版アル・ジャジーラ1か月 中東の視点に存在感 英BBC アラビア語に対抗 読売 朝刊 2006-12-27 p.6 【海外言語事情 放送 外国語 異文化コミュニケーション】

200635060 総合 ニュース海外配信来年度から強化 政府、米CATVと契約へ 読売 朝刊 2006-12-29 p.2 【海外言語事情 放送 外国語 異文化コミュニケーション】

敬語

文献番号 記事タイトル [備考] (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ 【分類 (検索キーを列挙)】

200606610 掲示板2006 丁寧も度が過ぎると... [「する」「人」を「させていただく」「方」と言う傾向] 毎日 朝刊 2006-3-7 p.28 【言葉遣い 敬語】

200611980 第3社会 ことば談話室 ~いただけます 高度成長時代に広まる 朝日 朝刊 2006-4-23 p.33 【言葉遣い 敬語】

200613250 第3社会 ことば談話室 敬語の使い方 文化審が指針づくり [「ご いただけます」という言い方] 朝日 朝刊 2006-5-7 p.37 【敬語】

200615170 オピニオン 声 若い世代 バイトで敬語初めて学んだ 朝日 朝刊 2006-5-28 p.6 【敬語】

200615920 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 敬語は主語を意識して 敬語は人間関係を良くする 敬語の規則を覚えよう 迷ったら主語を思い出そう 読売 朝刊 2006-6-4 p.7 【敬語】

200617180 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 真意伝わらない二重敬語 敬語は意味を考えて使おう 二重敬語に気を付けよう 尊敬語と謙譲語の混在に気を付けよう [「 でよろしかったですか」「 になります」などの誤用についても] 読売 朝刊 2006-6-18 p.7 【敬語 文法 言葉遣い】

200617690 [Y&Y日曜版] オ マナーBiz check! マナー講師・秋葉正枝 悪い話の後に良い話 話し方一つで印象は変化 前向きな言葉で話そう 言葉本来の意味を大

切に 読売 朝刊 2006-6-25 p.9 【コミュニケーション 話す・聞く 敬語 言葉遣い】
200620380 総合 おつけしますか？ 菓子、茶わん、手紙、くつした... 使い分け・性差歴然 「美化語」文化庁調査 怒り心頭に達する？発する？ 振りまくのはあいそ？あいきょう？〔05年度「国語に関する世論調査」 重複表現についても〕朝日 朝刊 2006-7-27 p.3 【敬語 文法 語彙・用語 成句 言葉遣い】
200620420 4人に3人誤って使用 文化庁国語世論調査 誤 怒り心頭に達する 正 怒り心頭に発する〔敬語、慣用句、重複表現などについて〕毎日 朝刊 2006-7-27 p.30 【成句 文法 語彙・用語】
200620430 総合 社説 敬語の使い方 「お疲れさま」か「ご苦労さま」か〔文化庁の「国語に関する世論調査」〕読売 朝刊 2006-7-27 p.3 【敬語 あいさつ】
200620480 社会 文化庁調査 部下に「お疲れさま」今や常識 上下の意識薄れて... 「ご苦労さま」少数派に 「怒り心頭に達する」慣用句誤用も〔「国語に関する世論調査」〕読売 朝刊 2006-7-27 p.35 【あいさつ 敬語 成句 語彙・用語】
200621430 解説 論陣論客 基本学び、けいこ重ねて 永崎一則(ながさきかずのり)氏 応用きかぬ「バイト敬語」井上史雄(いのうえふみお)氏 読売 朝刊 2006-8-8 p.13 【敬語】
200622890 特集ワールド ちょっと待った！ 上司をねぎらう言葉 北原保雄さん その場に応じて「ご苦労さま」デーブ・スペクターさん 無難で中立っぽい「お疲れさま」毎日 夕刊 2006-8-28 p.2 【あいさつ 敬語】
200623080 窓 論説委員室から させていただく〔過剰な敬語〕朝日 夕刊 2006-8-30 p.2 【敬語 言葉遣い】
200623720 窓 論説委員室から 続・させていただく〔8月30日付本欄「させていただく」に対して〕朝日 夕刊 2006-9-7 p.2 【敬語 言葉遣い】
200626220 敬語にQ & A 取引先の年下に使う必要は？ 文化審小委が指針 毎日 朝刊 2006-10-3 p.30 【敬語 言語政策】
200626310 文化総合 文化 敬語3 5分類に 「美化語」新設 「謙譲語」分割 文化審議会小委が指針案 朝日 朝刊 2006-10-4 p.23 【敬語 言語政策】
200626540 悩める社会人に朗報！？ 敬語使い方虎の巻 文化審議会指針作り Q & A 5分類に背景 読売 夕刊 2006-10-7 p.14 【敬語 言語政策】
200627850 第3社会 文化審議会分科会 敬語の分類議論 朝日 朝刊 2006-10-24 p.33 【言語政策 敬語】
200628310 [b e - e] らいふ 95歳・私の証 あるがまゝ行く 病院内での敬語の使い方〔敬語を五つに分類する新しい指針案 患者さんを「さん」「様」と呼ぶ〕(日野原重明) 朝日 朝刊 2006-10-28 p.5 【敬語 呼称 言語政策】
200628480 総合 社説 敬語の指針 かえって分かりづらい〔文化審議会の国語分科会〕朝日 朝刊 2006-10-30 p.3 【敬語 言語政策】
200629530 敬語指針で意見募集〔文化庁文化審議会国語分科会〕毎日 朝刊 2006-11-9 p.3 【敬語 言語政策】

- 200629580 敬語指針の意見公募〔文化審議会国語分科会〕朝日 夕刊 2006-11-9 p.14
【敬語 言語政策】
- 200629690 街 ひと メガロポリス ホテルマン 敬語研修 マニュアル語に危機感 東京都・椿山荘の藤田観光 朝日 夕刊 2006-11-11 p.15 【敬語 言葉遣い】
- 200629780 [Y&Y日曜版] オ マナーB i Z c h e c k ! マナー講師・平井智子 就活 完結で正確な敬語で 言葉遣いはビジネスの大事なマナー 電話で話すときも笑顔で一言を惜しまない 読売 朝刊 2006-11-12 p.7 【言葉遣い 敬語 電話 話す・聞く】
- 200630660 文化 敬語指針を問う 思いやる心あればこそ 分類より身近な具体例で解説を 敬語がなかった故郷 「丁寧語」を定めては (出久根達郎) 朝日 夕刊 2006-11-20 p.4 【敬語 言語政策】
- 200631640 総合 社説 敬語の指針 「5分類」も理解の助けになる 読売 朝刊 2006-11-27 p.3 【敬語 言語政策】
- 200631880 文化 敬語指針を問う 敬語五分類は混乱の元 謙譲語の変化は途中段階 電車がまいます 「敬意低減の法則」 (井上史雄) 朝日 夕刊 2006-11-30 p.17 【言語政策 敬語】
- 200631990 オピニオン 私の視点 ウィークエンド 敬語指針 「美化語」新設に疑義あり (萩野貞樹) 朝日 朝刊 2006-12-2 p.14 【敬語 言語政策】
- 200632900 オピニオン 声 心こもる言葉必要なのでは [12月2日付私の視点「美化語」新設に疑義あり」に共感] 朝日 朝刊 2006-12-8 p.14 【敬語 言語政策 語彙・用語】
- 200634010 第3社会 「敬語5分類案」賛否半々〔文化審議会国語分科会〕朝日 朝刊 2006-12-19 p.33 【敬語 言語政策】
- 200634690 [Y&Y日曜版] オ マナーB Z c h e c k ! マナー講師・友野由佳子 「ちゃん」付けはやめて 親しき仲にも礼儀あり 社内での呼び方にも注意 一人ひとりが小さな気遣いを 読売 朝刊 2006-12-24 p.5 【呼称 敬語】

世相を表す言葉

 文献番号 記事タイトル〔備考〕 (著者) 新聞名 朝夕刊 発行年月日 ページ【分類 (検索キーを列挙)】

200602700 長屋のご隠居てれび指南帳 長屋のホリエモン考 [「カルイ、ヤバイ、アブナイ」の否定的な意味が逆転 負け犬、勝ち組・負け組、ニート、下層社会は不愉快な言葉 ボランティアは義民と訳せないか] (松尾羊一) 毎日 夕刊 2006-1-27 p.4 【語彙・用語 外来語 流行語】

- 200603170 そのほかのニュース エロかわいい女〔形容詞の合成がブーム〕(荻原魚雷) 毎日 夕刊 2006-2-1 p.6 【流行語】
- 200603500 政治 「勝ち組」「負け組」批判に対抗 反省すべきは「待ち組」 フリーター、ニート意味 首相「力発揮できる社会に」 読売 朝刊 2006-2-5 p.4 【流行語】
- 200604390 オピニオンワイド みんなの広場 人生の評価 勝ち負けではない〔「勝ち組、負け組」〕 毎日 朝刊 2006-2-15 p.4 【流行語】
- 200610030 Newsの窓 勝ち組 本来の意味変え 毎日 朝刊 2006-4-7 p.27 【語彙・用語 流行語】
- 200611550 文化 つれづれ 銭カネのこと3〔最近、「下流」「下層」という用語が一人歩き〕 読売 朝刊 2006-4-19 p.19 【語彙・用語 流行語】
- 200611600 本よみうり堂 トレンド館 辰巳渚の「捨てない!本」 価値ある「希望」への取り組み〔「下流社会」という流行語は受け入れられない〕(辰巳渚) 読売 夕刊 2006-4-19 p.5 【流行語】
- 200613040 第3社会 ニュースがわからん! 「萌え~」ってなんじゃ? アニメ・ゲームファンの隠語 内からわきあがる熱い思い 朝日 朝刊 2006-5-3 p.29 【流行語】
- 200617040 よみうり寸評 [『キャリアガイダンス』(リクルート)特集 仕事に求められる「傾聴力」 多用される「力」という言い方] 読売 夕刊 2006-6-17 p.1 【流行語 話す・聞く】
- 200617360 そのほかのニュース 大人の女の「力」(荻原魚雷) 毎日 夕刊 2006-6-21 p.4 【流行語】
- 200624680 文化芸能 「王子」が来たワケ ひたむき・飾り気なし・かわいさ 中高年女性の心をギュ ヨン様ブームと重なる〔早稲田実業斎藤祐樹投手の愛称「ハンカチ王子」〕 朝日 夕刊 2006-9-16 p.5 【語彙・用語 流行語】
- 200627830 あなたに聞きたいことがある 日本のスイッチ 第202回 結果発表 「ようつべ」って言葉、どこかで聞いたことが あります13% ないです87% 映画を見に行く時、上映時間を事前に調べるなら 新聞や雑誌で31% ネットで68%〔米の動画投稿サイト「YouTube」のローマ字読み〕 毎日 朝刊 2006-10-23 p.28 【外来語 流行語 情報化社会 新聞 出版】
- 200629510 第2社会 「ハンカチ王子」今年の言葉に〔「ワード・オブ・ザ・イヤー2006」(朝日新聞社主催)〕 朝日 朝刊 2006-11-9 p.38 【流行語】
- 200631820 特集ワイド 流行語大賞 今年は何? スポーツ14語大漁 政治2語不作 「候補語はなんか、軽い」 毎日 夕刊 2006-11-29 p.2 【流行語】
- 200632010 第2社会 流行語大賞は「イナバウアー」 「品格」も同時受賞〔ユーキャン新語・流行語大賞〕 朝日 朝刊 2006-12-2 p.38 【流行語】
- 200632060 伝統の品格 輝き再びイナバウアー 新語・流行語大賞〔ユーキャン〕 毎日 朝刊 2006-12-2 p.30 【流行語】
- 200632100 社会 イナバウアー流行語も「金」 ハンカチ王子も入選〔ユーキャン新語・流行語大賞〕 読売 朝刊 2006-12-2 p.38 【流行語】

- 200632350 文化 本よみうり堂 文庫新書 『「流行語大賞」を読み解く』 木下幸雄著 N
HK出版生活人新書 読売 朝刊 2006-12-3 p.13 【流行語】
- 200633190 国際 今年の言葉 truthiness 「真実であってほしいこと」〔米国
辞書出版社メリアム・ウェブスターがサイト利用者の投票を基に発表〕 読売 朝刊
2006-12-10 p.7 【語彙・用語 海外言語事情流行語】
- 200633320 第2社会 「命」改めて思う06年〔日本漢字能力検定協会公募 今年の漢字〕
朝日 朝刊 2006-12-13 p.38 【漢字 命名】
- 200633370 現代の深い苦しみが潜む今年の漢字は...〔財団法人・日本漢字能力検定協会公
募〕 毎日 朝刊 2006-12-13 p.28 【漢字 命名】
- 200633380 命名、1位は大翔、陽奈〔ベネッセコーポレーション発表〕 毎日 朝刊
2006-12-13 p.28 【人名】
- 200633390 今年は「命」〔日本漢字能力検定協会 今年の漢字〕 読売 朝刊 2006-12-13
p.1 【漢字 命名】
- 200634070 経済 来年の注目ワード 松坂大輔、メタボ 今年は1位「核実験」、2位「耐
震偽装」〔エレクトリック・ライブラリー発表〕 読売 朝刊 2006-12-19 p.13 【流
行語】
- 200634330 総合 今年の人気「陸」くん「陽菜」ちゃん 新生児命名 明治安田生命調査 朝
日 朝刊 2006-12-21 p.2 【人名】
- 200634360 「陸」くん、「陽菜」ちゃんが1位 06年生まれ名前ベスト10 毎日 朝刊
2006-12-21 p.30 【人名】
- 200634410 社会 男の子は「陸(りく)」 女の子は「陽菜(ひな)」 2006年の命名1
位〔明治安田生命保険発表〕 読売 朝刊 2006-12-21 p.33 【人名】
- 200634550 [be-b] Readers between テーマ:今年を振り返る 全
員が答えました 今年を漢字で表せば? 「虚」の年救いはスポーツ 朝日 朝刊
2006-12-23 p.7 【漢字 命名】
- 200634920 ポップスタイルvol.38 News Review 検索ワードこの1年
アクセス多いのは不祥事や犯罪関連!?〔ヤフーのインターネット検索ランキング「mi
xi(ミクシィ)」が1位 「モバイル検索数ランキング」はパソコンよりさらにパーソナル〕
読売 夕刊 2006-12-27 p.7 【情報化社会 流行語 電話】

.....関連データの紹介.....▶

関連データの紹介

『国語年鑑』と国語学研究文献目録データベース

研究者が各自の研究を推進するためには、学界においてこれまでどのような先行研究が行われてきたかを把握しておくことが重要です。『国語年鑑』は、日本語の研究における文献目録として、昭和29年(1954年)に創刊されました。創刊号冒頭の「刊行のことば」では、西尾実・初代国立国語研究所長が刊行の目的について「ことばに関するあらゆる意見や研究や声を記録、整理して、問題を解決し、ことばの生活を進展させる基礎材料としたいためである」と述べています。以来半世紀以上にわたって刊行を続けており、日本語研究の必須文献として、学界からは継続して高い評価を受けています。日本語についてもっと学術的な情報も知りたいと思われる方は、ぜひ『国語年鑑』を御覧ください。

また、国語研究所のホームページでは1954年以降の雑誌論文を中心に文献データを検索することができます。

- ・『国語年鑑』：http://www.kokken.go.jp/kanko/kokugo_nenkan/
- ・国語学研究文献目録データベース：<http://www.kokken.go.jp/bunken/>

「切抜集」と「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」

国語研究所では創立直後の昭和24年(1949年)から「ことばについての意識・意見や、ことばをめぐる状況などを伝えている新聞記事」を集めた「切抜集」を作成しています。また、この記事資料を効率的に検索できるように「目録データベース」を作成し、ホームページ上で公開しています。このデータベースは日本語をめぐる戦後の言語意識・言語生活に関する半世紀にわたる情報を効率的に検索できる情報源として貴重なものです。

現在、国語研究所のホームページでは、1949年以降のデータを検索することができます。

このブックレットで紹介したトピックについて、1949年以降のデータの中にあるのかわからないのか、あるとすればどのような内容なのか、掲載記事や新聞によってその内容は同じなのか異なるのか、現在と比べてどのような違いがあるのかなど、調べてみてはいかがでしょうか。

「ことばに関する新聞記事見出しデータベース」：<http://www.kokken.go.jp/sinbun/>